

Prelude

オーナーズマニュアル

はじめに

安全に関する表示について

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

⚠危険

指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至るもの

⚠警告

指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

⚠注意

指示にしたがわないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示について

お車が故障や破損することを防ぐためのアドバイスや、取り扱いに注意いただきたいことを説明しています。

カスタマイズ可能な機能であることを示しています。

取扱説明書について

取扱説明書は、全てのモデルを対象としています。お客様のお車にはない装備や機能が記載されている場合があり、内容がお車と一致しない場合があります。イラストは代表例です。実際のお車と必ずしも一致するものではありません。仕様変更やシステムアップデートにより、お車の仕様と異なる場合があります。最新の情報については、Honda ホームページをご覧ください。 https://www.honda.co.jp/ownersmanual/HondaMotor/auto/

※: QR コード読み取り機能付きの携帯電話をお持ちの場合は、左の QR コードをご利用ください。ご利用にあたっては、お手持ちの携帯電話取扱説明書をご覧ください。QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

Honda Total Care プレミアム

Honda CONNECT を搭載したクルマと緊急サポートセンターやスマートフォンがつながることで、お客様のカーライフがさらに安心・ストレスフリーになるコネクテッドサービスを受けることができます。ご利用になるにはお申込み・ご契約が必要です。HondaTotal Care プレミアムの詳しいサービスの内容、およびご契約については Honda Total Care プレミアムのホームページをご覧ください。
https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/premium/
また、本書では、Honda Total Care プレミアムのサービスをご利用されるうえで、車両側の特有部分について説明があります。サービスをご利用になる際は、ホームページの詳細説明とともに本書の内容もご参照ください。
サービス内容並びに仕様について予告なく変更、または終了することがあります。

車両特有部分について

緊急通報
Q 緊急通報 ▶P.359
トラブルサポート
Q トラブルサポート ▶P.360

お車についてのお問い合わせ

お車の取り扱い方法、故障、修理に関するご相談については、お買い上げ頂きました Honda 販売店、または最寄り Honda 販売店にご相談ください。

販売店検索

クルマ Q&A

- お車についてのお問い合わせの際は、「自動車検査証（車検証）」をご用意ください。
- QR コードは、（株）デンソーウェーブの登録商標です。

車両データの記録について

この車には、車両の操作や制御、車両に搭載された各機能の作動履歴などに関するデータを記録する機能が装備されています。各機能の作動時や操作状況により、主に次のようなデータを記録します（車内の映像や音声は記録しません）。

- 車両の状態（車速など）
- 運転状態（アクセル、ブレーキ、ステアリング等の操作状況）
- SRS エアバッグシステムの作動状況
- 衝突軽減ブレーキ作動時の前方カメラ画像
- 車両の故障診断情報

データの取り扱いについて

Honda および Honda が委託した第三者は、記録されたデータを、不具合解析のための技術的診断や、Honda の車両の研究開発、品質向上のために、取得し利用することがあります。Honda は、取得したデータを、以下の場合を除き、第三者に開示または提供することはありません。

- お車の使用者の同意（リース車、レンタカーの場合は借主の同意）がある場合
- 警察、裁判所、政府機関等からの、法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行う等、所有者や使用者、お車が特定できないように加工したデータを、研究機関等に提供する場合

ワイヤレスによるシステムアップデートについて

この車のアプリケーションは、お客様のオーディオ装置及び接続されたデバイス固有の Honda ソフトウェアの更新を自動的に Honda のサーバーへ問い合わせます。アプリケーションは、次の内容を定期的に Honda のサーバーに送信します。
車両および接続されたデバイス情報、車台番号、モデルタイプ識別番号、ハードウェアおよびソフトウェアの部品番号、シリアル番号、ソフトウェアバージョン、設定言語、インターネットプロトコルアドレス、データ処理のログ（アラートまたは更新の表示、更新のダウンロードとインストール、ソフトウェアステータス等）

お客様の個人情報
Honda に送信された前述の情報がお客様の個人情報となる場合、当該情報は、個人情報保護法に従って扱われます。
Honda は、送信された情報をソフトウェアのアップデートに利用するほか、Honda のプライバシーポリシーに従って取扱います。詳細については、Honda Web サイト （https://www.honda.co.jp/privacy/hm/）を参照してください。

目次

1 運転の前に 11

ハイブリッドシステムについて ▶12 | 運転の前に確認していただきたいこと ▶16 |
お子さまの安全 ▶22 | エアバッグ ▶34 | ポップアップフードシステム ▶44 |
衝突後ブレーキシステム ▶46 | キー ▶47 | 施錠/解錠 ▶53 | ハンドル ▶63 | シート ▶64 |
シートベルト ▶71 | ミラー ▶78 | パワーウィンドー ▶80 | テールゲート ▶83

2 運転するときの操作 85

パワーシステムの起動・停止 ▶86 | シフト操作 ▶89 | ブレーキ ▶92 | 発進・走行中 ▶100 |
駐停車 ▶102 | リアワイドカメラシステム ▶104 | 給油 ▶106 | ウィンカー・ライト ▶110 |
ワイパー・ウォッシャー ▶116 | デフロスター（くもり止め）▶119 | 走行に関する機能 ▶121

3 各部の操作 129

室内灯 ▶130 | 室内装備品 ▶132 | シートヒーター ▶140 | エアコン ▶142 |
インフォテインメントシステム ▶147 | ディスプレイオーディオ 1▶156 |
ディスプレイオーディオ 2▶164 | ディスプレイオーディオ 3▶186 | 情報 ▶204

4 安全運転支援システム 212

Honda SENSING▶214 | 衝突軽減ブレーキ（CMBS）▶220 | 踏み間違い衝突軽減システム ▶226 |
急アクセル抑制機能*▶231 | 路外逸脱抑制機能 ▶234 | 歩行者事故低減ステアリング ▶238 |
渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール（ACC）▶242 | 車線維持支援システム（LKAS）▶253 |
トラフィックジャムアシスト（渋滞運転支援機能）▶258 | 先行車発進お知らせ機能 ▶263 |
標識認識機能 ▶266 | ブラインドスポットインフォメーション ▶270 | 後退出庫サポート ▶273 |
パーキングセンサーシステム ▶276

5 メーターについて 280

警告灯と表示灯 ▶281 | メーター ▶290 | マルチインフォメーションディスプレイ ▶294

6 メンテナンス 304

メンテナンスの前に ▶305 | ボンネット内のメンテナンス ▶307 | ワイパー ▶311 | タイヤ ▶313 |
エアコンのお手入れ ▶317 | 清掃 ▶318

7 万一の場合には 322

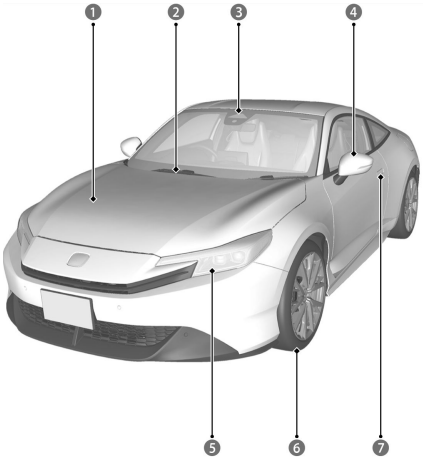
工具、発炎筒 ▶323 | 電球が切れたとき ▶325 | スマートキーの電池が切れたとき ▶326 |
パンクしたとき ▶328 | ジャッキの取り扱い ▶338 | パワーシステムが起動しないとき ▶340 |
12V バッテリーがあがったとき ▶343 | オーバーヒートしたとき ▶346 | 異常がおきたとき ▶348 |
ヒューズが切れたとき ▶350 | けん引したいとき ▶356 | フューエルリッドが解錠できないとき ▶357 |
テールゲートが開かないとき ▶358 | 緊急時や車両トラブルのとき ▶359

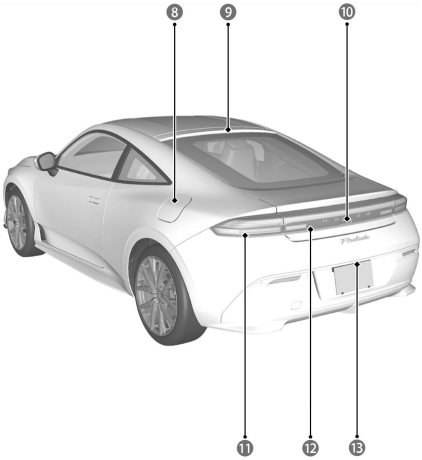
8 車両情報 362

仕様 ▶363 | オープンソースライセンス ▶365

✤: タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

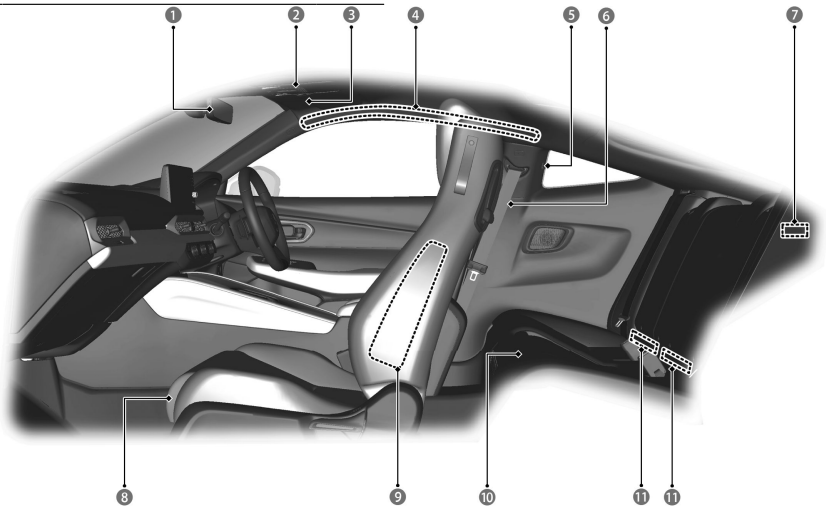
ビジュアル目次



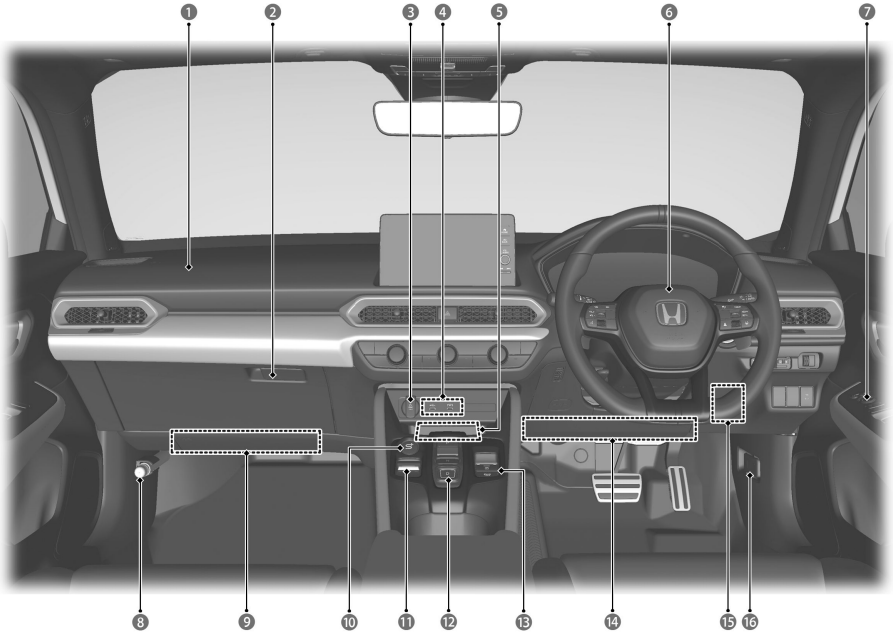


❶ ボンネット内のメンテナンス		►307
❷ ワイパー		►116
		►311
❸ フロントワイドビューカメラ		►217
❹ ドアミラー		►78
	ドアミラーウィンカー	►110
		►325
❺ ヘッドライト		►110
		►325
	デイタイムランニングライト/車幅灯	►110
		►112
		►325
	ウィンカー	►110
		►325
	アクティブコーナリングライト	►113
		►325
❻ タイヤ		►313
		►328
❼ 施錠/解錠		►53
❽ 給油のしかた		►106
❾ ハイマウントストップランプ		►325
❿ テールゲートの開閉		►84
⓫ 制動灯		►325
	尾灯	►110
		►325
	ウィンカー	►110
		►325
	後面側方灯	►325
⓬ 尾灯		►110
		►325
	後退灯	►325

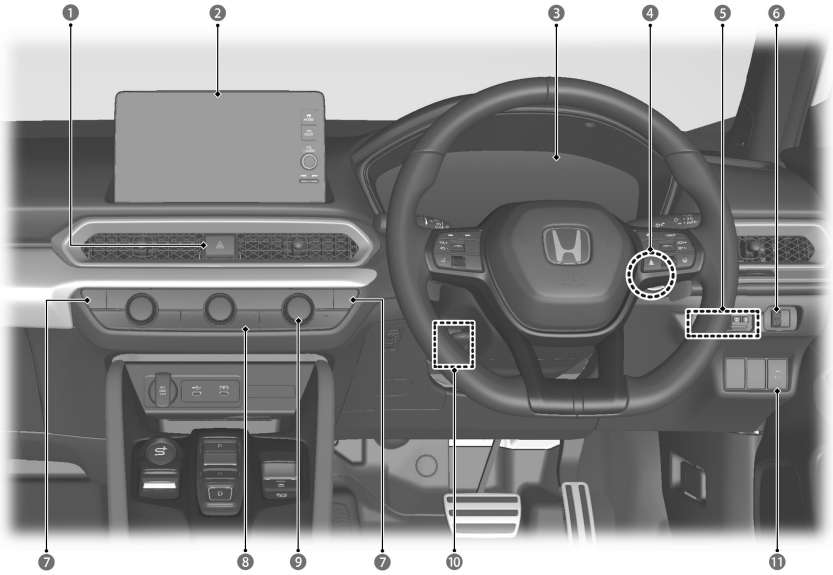
⓭	番号灯	▶325
	リアワイドカメラシステム	▶104



❶	ルームミラー	▶78
❷	室内灯	▶130
	マップランプ	▶130
	緊急通報ボタン	▶359
	トラブルサポートボタン	▶360
	サングラスボックス	▶138
❸	サンバイザー	▶133
	バニティミラー	
❹	サイドカーテンエアバッグシステム	▶40
❺	コートフック	▶137
❻	シートベルト	▶71
❼	カーゴスペース照明灯	
❽	フロントシート	▶66
❾	サイドエアバッグシステム	▶39
❿	リヤシート	▶68
⓫	ISOFIX 取付装置	▶28

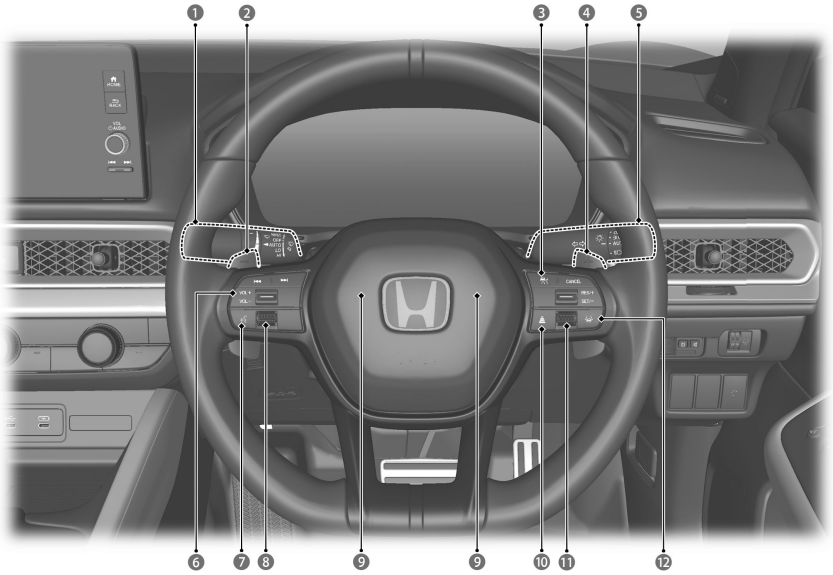


❶	SRS エアバッグシステム（助手席用）	►35
❷	グローブボックス	►132
❸	アクセサリーソケット	►133
❹	充電用 USB ジャック	►150
	通信/充電用 USB ジャック	►150
❺	ワイヤレス充電器	►134
❻	SRS エアバッグシステム（運転席用）	►35
❼	ドアミラー調節スイッチ	►78
	パワーウィンドースイッチ	►80
	マスタードアロックスイッチ	►60
❽	発炎筒	►323
❾	助手席ニーエアバッグ	►37
❿	Honda S + Shift スイッチ	►125
⓫	ドライブモードスイッチ	►121
⓬	シフトポジションスイッチ	►89
⓭	パーキングブレーキスイッチ	►92
	オートマチックブレーキホールドスイッチ	►95
⓮	運転席ニーエアバッグ	►37
⓯	室内ヒューズボックス	►350
⓰	ボンネット解除ノブ	►308



❶	非常点滅表示灯 (ハザードスイッチ)	
❷	ディスプレイオーディオ	►147
❸	警告灯	►281
	表示灯	►281
	メーター	►290
	マルチインフォメーションディスプレイ	►294
❹	POWER スイッチ	►86
❺	ETC 車載器※	
❻	イルミネーションコントロールダイヤル	►293
❼	シートヒータースイッチ	►140
❽	リヤデフロスター/ ヒーテッドドアミラー スイッチ	►119
❾	オートエアコン	►142
❿	ハンドル位置調節レバー	►63
⓫	(VSA OFF) スイッチ	►126

※: ETC 車載器については、同梱の取扱情報をご覧ください。



❶ ワイパー/ウォッシャースイッチ	►116
❷ −パドル	►125 ►123
❸ スイッチ	►243
❹ +パドル	►125 ►123
❺ ライト/ 方向指示器（ウィンカー）スイッチ	►110 ►110
❻ オーディオリモートコントロールスイッチ	►151
❼ (発話)スイッチ	►151
❽ レフトセレクターホイール	►151
❾ ホーンスイッチ（ 周辺）	
❿ ディスタンススイッチ	►246
⓫ ライトセレクターホイール	►294
⓬ スイッチ	►253

運転の前に

ハイブリッドシステムについて
e:HEV…… 12
走行モード……13
高電圧システム・バッテリーについて……14

運転の前に確認していただきたいこと
運転の準備……16
運転時の注意事項……18
降車時の注意事項……19
排気ガスの危険性……19
改造とアクセサリー…… 20

お子さまの安全
お子さまの安全を守るために…… 22
乳幼児の安全…… 23
チャイルドシートの取り付けかた…… 28
大きなお子さまの安全…… 32

エアバッグ
エアバッグについて…… 34
SRS エアバッグ（フロントエアバッグ）…… 35
ニーエアバッグ…… 37
サイドエアバッグ……39
サイドカーテンエアバッグ…… 40
エアバッグシステム警告灯…… 42
エアバッグのお手入れ…… 43

ポップアップフードシステム
ポップアップフードシステムについて……44

衝突後ブレーキシステム
衝突後ブレーキシステムについて…… 46

キー
キーについて…… 47
内蔵キー……51
キーナンバータグ……51

施錠/解錠
キーレスエントリーシステムを使った施錠/解錠方法……53
Honda スマートキーを携帯した施錠/解錠方法……54
降車時オートドアロック機能を用いた施錠方法……56
予約ロック機能を用いた施錠方法…… 58
キーを差し込んでの解錠……58
Honda スマートキーを使わない施錠方法……59
車内の施錠/解錠方法…… 60
衝撃感知ドアロック解除システム…… 61
こんなときは…… 61

ハンドル
ハンドルの調整方法…… 63

シート
シートの調整について…… 64
フロントシートの調整方法…… 66
リヤシートへの乗り降り……68
リヤシート……68
リアシートリマインダー……69

シートベルト
シートベルトについて…… 71
正しい着用法…… 73
シートベルトの点検方法……76
シートベルトのアンカーポイント…… 77

ミラー
ルームミラー…… 78
ドアミラー……78

パワーウィンドー
パワーウィンドーの開閉方法…… 80
キーレスエントリーシステムを使った開閉方法……82

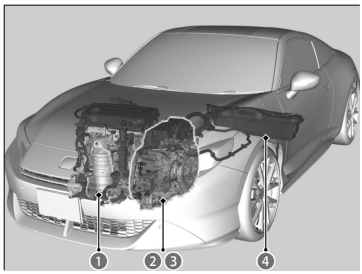
テールゲート
テールゲートの開閉時の注意…… 83
テールゲートの開閉方法……84

ハイブリッドシステムについて

e:HEV

e:HEV 車は、モーターとガソリンエンジンを搭載しており、その両方を動力源として使用します。そして、モーターは高電圧バッテリーやジェネレーター（発電機モーター）から供給された電気により駆動します。高電圧バッテリーは、エンジンとジェネレーターによる発電、または回生ブレーキにより充電されます。充電された程度に応じて、電力のみで走行することができます。

構成部品



❶ エンジン：
ジェネレーターを回します。状況によっては車軸を直接駆動します。

❷ ジェネレーター：
エンジンを始動します。エンジンが作動中はジェネレーターで発電してモーターに電力を供給したり、高電圧バッテリーを充電します。

❸ モーター：
車軸を直接駆動します（状況によってはエンジンと連動します）。また回生ブレーキで得た電気を高電圧バッテリーへ供給します。

❹ 高電圧バッテリー：
電気をためておき、モーターに電気を供給します。

高電圧部位や高電圧配線部は電磁シールド構造になっているため、従来の車や家電製品の電磁波と大きな差はありません。

バッテリーのタイプ

この車には 2 種類のバッテリーが装備されています。エアバッグ、ライト、アクセサリーを使用するための 12V バッテリーと、モーターの駆動と 12V バッテリーの充電をする高電圧バッテリーが装備されています。

e:HEV 車特有の音

パワーシステム起動時や走行中に、次のような音が聞こえることがあります。

エンジンの始動・停止時：
トランスミッションの作動音が車両前方から聞こえます。

加速時：
モーター作動音、エンジン作動音がエンジンルーム内から聞こえます。

減速時：
エネルギー回生のために、モーター回生の動作音がエンジンルーム内から聞こえます。また、低速走行でブレーキを踏んだときやブレーキシステムが切り換わるときにブレーキ装置から、音が聞こえることがあります。

エアコン、ヒーター作動時：
コンプレッサーやヒーターシステムの作動音がエンジンルーム内から聞こえます。

エネルギー効率について

通常のガソリンエンジン搭載車と同じように、この車の燃費や航続可能距離は、運転のしかたによって大きく左右されます。急加速や高速で走行すると、動力源がエンジンへ切り換わりやすくなります。 また暖房負荷や冷房負荷が高いとき、航続可能距離が短くなります。 いずれの場合も高電圧バッテリーの残量は早く低下します。

走行モード

モーター、ガソリンエンジン、ハイブリッド（モーターとエンジン）による走行の、合計 3 種類の走行モードがあります。走行状態に合わせて、システムが走行モードを自動的に選択します。

≫エアコンの使用状況、走行状態や高電圧バッテリーの状態により、エンジンが自動的に始動、停止します。

EV 走行

停車中または低速走行中に、メーターの EV 表示灯が点灯してモーターの動力のみで走行します。

ハイブリッド走行

走行中かつ強い負荷がかかっているとき（加速中や登坂中など）、エンジンが作動してジェネレーターを回し、その電力をモーターに供給することでモーター駆動をアシストして走行します。また、高電圧バッテリーを充電します。

エンジン走行（直接駆動）

高速走行中かつ負荷が少ないときに、主にエンジンの動力で走行します。また、高電圧バッテリーからの電力供給によりモーターをアシストしたり、モーターを発電機として作動させて高電圧バッテリーを充電します。

回生

減速時や下り坂でアクセルペダルも操作していないとき、モーターが発電機として働く回生ブレーキが作動し、回生ブレーキで得た電気を高電圧バッテリーへ供給します。

≫回生ブレーキ機能は、エンジンブレーキと同じような働きをし、パドルを操作して減速の強さを変更できます。

減速セレクター ►P.123

高電圧システム・バッテリーについて

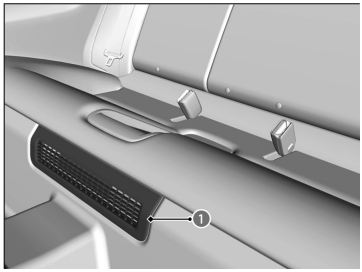
高電圧バッテリーの特性

長期間駐車をすると、高電圧バッテリーは少しずつ放電をします。バッテリーの性能を維持するために、少なくとも 3 ヶ月に一度、30 分以上走行をしてください。走行によりバッテリーに充電されます。長期間走行をしないと、高電圧バッテリー充電容量が低下したり、寿命が縮む原因となります。バッテリーの寿命を長くするために、夏場は日陰への駐車をおすすめします。

> **!** 高電圧バッテリーが放電しすぎないように注意をしてください。
> 充電量が 0 の状態で長期間放置されるとエンジンが始動できなくなるおそれがあります。

ご使用時の注意

高電圧システムの分解や、配線（オレンジ色）の取り外しなどを行うと感電するおそれがあります。点検・修理は、必ず Honda 販売店にご相談ください。



高電圧バッテリーの冷却風取り入れ口（❶）をふさがないでください。

冷却風取り入れ口がふさがれると高電圧バッテリーの温度が上昇するおそれがあります。高電圧バッテリーを保護するために出力が制限され、パワーシステム警告灯や 12V バッテリー充電警告灯が点灯することがあります。

⚠警告

車体が大きく破損・変形するような事故が起きたときは、感電するおそれがありますので高電圧部位や、それらを接続する配線（オレンジ色）には絶対触れないでください。
高電圧バッテリー液がもれているときは、バッテリー液が目や皮膚に付くとその部分が侵されますので、十分に注意してください。万一付着したときは、すぐに清浄な水で数分間洗浄した後、ただちに医師の診察を受けてください。

❗ 火災が発生したら電気火災用消火器を使用してください。
少量の水での消火は、かえって危険な場合がありますので、水はかけないでください。

❗ 車体が損傷を受けたときは、必ず Honda 販売店で修理を受けてください。

高電圧遮断システム

事故などにより車体が衝撃を受けたときに、高電圧遮断システムが作動する場合があります。システムが作動すると、高電圧システムが自動的に OFF になり、走行可能状態になりません。高電圧システムを再始動するには、Honda 販売店にご連絡ください。

廃車にするとき

高電圧バッテリーは、リチウムイオンバッテリーを使用しています。廃棄処分については特別な取り扱いが必要です。廃車するときは、Honda 販売店にご相談ください。

運転の前に確認していただきたいこと

運転の準備

乗車前の確認事項

- 車の周囲に子供はいないか、車の周りに障害物はないか
  ≫運転席から見えない死角や、バックミラーでは確認できない死角がありますので、乗車する前に確認してください。
- タイヤは正常か
  ≫空気圧、亀裂、損傷や異常な摩耗がないかを確認してください。
  Q タイヤのメンテナンスについて ►P.313
- ボンネットは完全に閉まっているか
  ≫走行中にボンネットが開くと、視界がさえぎられて危険です。
- 窓やミラーの視界、灯火器類の光をさえぎるものがないか
  ≫霜、雪、氷が付着している場合は取り除いてください。
  ≫屋根に雪が積もっている場合は、走行時に滑り落ちて視界をさえぎる可能性があるため取り除いてください。氷結しているときは、氷が溶けてから取り除いてください。
  ≫足回りに氷塊が付着している場合は、部品を損傷しないよう注意しながら取り除いてください。
- ドアが凍結していないか
  ≫凍結している場合は、ドアを無理にはがさずお湯をかけて溶かしてください。お湯をかける際は、ドアのキー穴部にかからないようにしてください。 無理にはがすと、ドアまわりのゴムがはがれます。凍結防止のため、お湯をかけた後は水分をよくふき取ってください。
- ボンネット内に可燃物の置き忘れや、燃えやすいものがないか
  ≫車両を長期間使用しなかった場合や、メンテナンスの後は、特に注意してください。火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。

> ! キーの電子部品の故障など、不具合が発生した場合は Honda 販売店にご相談ください。

乗車後の確認事項

- ドア、テールゲートは完全に閉まっているか
  ≫すべてのドア、テールゲートが施錠されていることを確認してください。
  Q キーレスエントリーシステムを使った施錠/解錠方法 ►P.53

- ドアやテールゲートが開いていたり、完全に閉まっていないと警告表示がマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。
  ≫ドア、テールゲートをもう一度正しく閉め直してください。警告表示は消灯し、正常な状態に戻ります。
  Q マルチインフォメーションディスプレイについて ►P.294
- 運転しやすい姿勢にシート位置を調節しているか
  ≫正しい運転姿勢がとれるよう、シート位置やヘッドレストの調節をしてください。
  Q フロントシートの調整方法 ►P.66
  Q シートの調整について ►P.64
- 同乗者のシートは安全が保たれるよう調節しているか
  ≫ダッシュボードからできるだけ離れた位置までシートを下げてください。
  Q フロントシートの調整方法 ►P.66
  Q シートの調整について ►P.64
- 乗員全員が正しくシートベルトを着用しているか
  ≫運転者と乗員が正しくシートベルトを着用していることを確認してください。
  Q 正しい着用法 ►P.73
- エアバッグシステム警告灯などが点灯していないか
  ≫エアバッグに関する説明をお読みいただき、シートの位置などを調節してください。
  Q エアバッグについて ►P.34
  Q エアバッグシステム警告灯 ►P.42
- お子さまの安全を守るために、チャイルドシートやシートベルトを着用しているか
  ≫お子さまが同乗する場合は、お子さまの年齢や身長・体重に応じてチャイルドシートやシートベルトなどで安全を確保するようにしてください。
  Q お子さまの安全を守るために ►P.22
- フロアマットは車に合ったものを適切に使用しているか
  ≫ペダルに引っかかっていたり、固定されていなかったり、重ねて使っているとブレーキやアクセルの操作の妨げとなり危険です。
- フロントシートの足元にものを置いていないか
  ≫ブレーキやアクセルの操作の妨げとなり危険です。
- 積み込んだ荷物が適切に固定されているか
  ≫不適切な荷物の積み込みは、タイヤに負担をかけたり走行中のバランスを維持できず危険です。
- 荷物はシートの高さを越えていないか
  ≫後方視界を妨げたり急ブレーキのときに荷物が飛び出したりするおそれがあり危険です。
- ルームミラー、ドアミラー、ハンドルは適切に調節したか
  ≫正しい運転姿勢で座り、それぞれ適切な位置に調節します。
  Q ルームミラー ►P.78
  Q ドアミラー ►P.78
  Q ハンドルの調整方法 ►P.63

- 動物を乗せるときは、動きまわらないようにしているか
  ≫運転の妨げになったり、急ブレーキのときなどに思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- メーターに異常を示す警告灯などが点灯していないか？
  ≫異常を示す警告灯の異常を解決してから走行します。
  警告灯と表示灯一覧 ►P.281

運転時の注意事項

霧が出た場合

視界が悪くなるため、昼間でもヘッドライトを下向きで点灯し、中央線、ガードレール、先行車のテールランプなどを目安にして、速度を落として走行してください。

風が強い場合

車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、速度を徐々に落として進路を立て直してください。 トンネルの出口、橋、土手の上、山を削った切り通しの走行時や大型トラックの追い越し時などには、特に横風の影響を受けやすいため、十分に注意してください。

雨が降っている場合

路面が滑りやすくなっているため、急ブレーキ、急加速、急ハンドルを避け通常より注意深く運転してください。また、わだちなどの水のたまりやすい場所ではハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

⚠注意

減速の強さを変更する際の車速には、十分注意する。 滑りやすい路面では、急激な回生ブレーキがタイヤのスリップを招くことがあります。

❗ 冠水路などの深い水たまりは走行しないでください。
パワーシステムや駆動系の破損、電装品の故障につながるおそれがあります。

その他

走行中、床下に強い衝撃を受けたときは、思わぬ事故につながるおそれがあるため、ただちに安全な場所に停車してブレーキフルードや燃料の漏れ、各部に損傷がないかを確認してください。

下記のような場合には、アンダースポイラー、アンダーカバー、フロントバンパー、リヤディフューザー、サイドシルを損傷するおそれがあります。

- 車止めのある場所への駐車
- 路肩に沿っての駐車
- 平坦路から上り坂・下り坂および上り坂・下り坂から平坦路への乗り入れ
- 路肩等段差のある場所への乗り降り
- 凹凸やわだちのある道路の走行
- くぼみ（穴）のある個所の通過
- 減速帯を乗り越えるとき

停車中や極低速のときハンドル操作を繰り返したり、ハンドルに力をかけて保持すると、EPS（電動パワーステアリング）システムの温度が上昇し、システム保護がはたらきハンドル操作が徐々に重くなります。

≫システムの温度が下がると復帰します。

≫断続的にシステム保護がはたらくと、システム破損の原因となります。

降車時の注意事項

坂道で駐車する場合

- パーキングブレーキをかけ、シフトポジションを P にしているか

  ≫タイヤに輪留めをすると効果が高まります。

  シフトポジションについて ►P.89

車から離れる場合

- お子さまや介護を必要とされる方、ペットを車内に残していないか

  ≫炎天下などでは車内が高温になることがあります。車内にお子さまや介護を必要とされる方、ペットを残したままにしないようにしてください。

- 車内にライターや炭酸飲料缶を放置していないか

  ≫車内温度上昇によりライターなどの可燃物が自然発火したり、缶などは破裂したりするおそれがあります。

排気ガスの危険性

一酸化炭素について

この車の排気ガスには一酸化炭素が含まれています。車をきちんと保守していれば、一酸化炭素が車内に入ることはありません。以下の場合は、排気ガスのもれがないか販売店で点検を受けてください。

- 排気音に異常を感じたとき

- 車が衝突し、排気システムが損傷した可能性があるとき

⚠警告

一酸化炭素を吸い込む危険性のある作業を避ける。

一酸化炭素は有毒です。一酸化炭素を吸い込むと意識不明になったり、死亡したりするおそれがあります。

密閉された場所での作業や、一酸化炭素を吸い込む危険性のある作業はしないでください。

降雪時や積雪のある場所では、パワーシステムを起動したままにしない。

周囲に積もった雪により排気ガスが滞留し車内に入ってくると、重大な傷害や死亡にいたるおそれがあります。

エンジンが始動している場合は、車両の周囲の雪を取り除くなどしてください。

! ガレージのドアを閉めたままエンジンを始動しないでください。

ガレージなどの密閉された場所は、一酸化炭素が急に充満するおそれがあります。ドアが開いている場合でも、ガレージから車を出す直前にエンジンを始動してください。

改造とアクセサリー

改造について

- 車の改造はしないでください。
- Honda 純正部品以外の、車の性能や機能に適さない部品を使用しないでください。
  ≫Honda が国土交通省に届け出をした部品以外のものを装着すると、違反になることがあります。
- 診断コネクターは、故障診断用の診断装置などの機器のみを接続するためのものです。
  ≫それ以外の機器を接続すると、車の電子機器に悪影響をおよぼしたり、12V バッテリーがあがるなど、思わぬトラブルを招くおそれがあります。
- 無線装置などの取り付けの際には、必ず Honda 販売店にご相談ください。
  ≫装置や取り付け方法が適切でない場合、電子機器部品に悪影響をおよぼすことがあります。

⚠警告

不正改造、電装品の分解・改造は、絶対に行わないでください。

- 法律で禁止されています。
- 適正な性能や機能を発揮しない可能性があります。
- 故障や火災など思わぬ事故につながる可能性があります。

⚠警告

高電圧バッテリーは、純正品の使用をおすすめします。純正品以外のバッテリーを使用した場合、過充電や火災など思わぬ事故につながる可能性があります。

車の性能、品質を維持するために、Honda 車に最も適した Honda 純正部品をお使いください。
純正部品には下記のマークが付いています。

お求め、装着に際しては、Honda 販売店にご相談ください。

HONDA
GENUINE PARTS

アクセサリーの取り付け

アクセサリーを取り付ける場合は、下記の項目を確認してください。

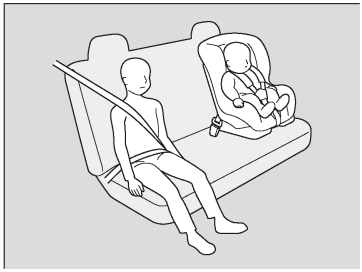
- アクセサリーをフロントガラスに取り付けていないか
  ≫アクセサリーの揺れる動きが車外の状況認識を遅らせることがあります。
  ≫吸盤がレンズのはたらきをして、火災につながるおそれがあります。
- エアバッグの作動や視界の妨げになる場所にアクセサリーを取り付けていないか

お子さまの安全

お子さまの安全を守るために

お子さまが乗車するときは、下記の注意点を確認し、お子さまの安全を確保してください。

- お子さまはリヤシートに乗せる
  ≫お子さまを助手席に乗せると、不意の動作が気になったり、スイッチ類をいたずらしたりするなど運転の妨げになるおそれがあります。また、SRS エアバッグが膨らむ際、強い衝撃があります。



- お子さまにも必ずシートベルトを着用させる
  ≫お子さまを抱えたり、ひざの上に乗せないでください。衝突したときに支えることができません。正しい着用方法でお子さまにもシートベルトをしてください。
- 乳幼児にはチャイルドシートを使用する
  ≫乳幼児を乗せるときは、必ずチャイルドシートを使用します。
- 車外に手や顔、ものを出さない
  ≫走行中や一時停止時などに、お子さまが車外に手や顔、ものなどを出さないようにしてください。思わぬ障害物により事故のおそれがあります。
- ドア、ウィンドー、シートなどの操作は必ず大人が行う
  ≫思わぬけがの原因となりますので、お子さまにはドア、ウィンドー、シートなどの操作をさせないでください。
- 車を離れるときは、お子さまを連れて出る
  ≫お子さまだけを車内に残さないでください。特に、炎天下の車内は高温になります。また、お子さまのいたずらにより、車の発進、火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠警告

チャイルドシートは後席に設置する。

助手席に設置すると SRS エアバッグが作動したときの衝撃で、重大な傷害を受けたり、死亡するおそれがあります。

⚠警告



シート前方の作動可能なエアバッグで保護されたシートには、後ろ向きチャイルドシートを絶対に取り付けないでください。

お子さまが死亡、または重大な傷害を受けるおそれがあります。

お子さまを助手席に乗せることをおすすめしない理由は下記の通りです。

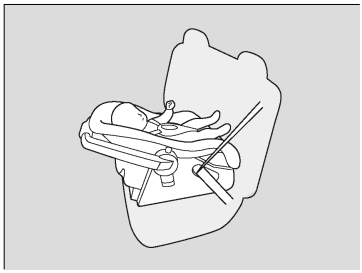
- お子さまが助手席のシートに正しく乗車できないと、SRS エアバッグが膨らんだときに重大な傷害を負うおそれがある
- お子さまの体の一部がサイドエアバッグの作動範囲に入ると、サイドエアバッグが膨らんだときに重大な傷害を負うおそれがある

乳幼児の安全

乳児のチャイルドシート

首のすわっていない乳児は、乳児用のチャイルドシートを正しく固定し、乗せてください。

後ろ向きのチャイルドシートの設置場所



リヤシートに設置することができます。

≫推奨するのは、助手席の真後ろの席への設置です。その場合、助手席には人を乗せず助手席のシートをできるだけ前に出してください。

≫設置したチャイルドシートとフロントシートが接触していないことを確認してください。

⚠警告

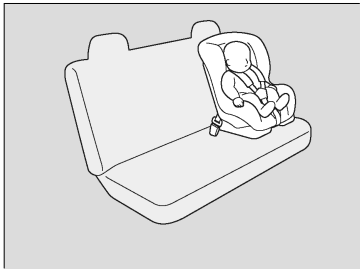
後ろ向きのチャイルドシートを前向きにして使わない。
前向きにして使うと前方から衝突したときに、乳児が重大な傷害を負うおそれがあります。

後ろ向きのチャイルドシートは助手席に設置しない。
助手席の SRS エアバッグが膨らんだときに、チャイルドシートの背面にエアバッグが当たり、乳児が重大な傷害を負ったり死亡したりするおそれがあります。

幼児のチャイルドシート

チャイルドシートメーカーが指定する範囲内の幼児は、前向きのチャイルドシートを正しく固定し、乗せてください。

前向きのチャイルドシートの設置場所



リヤシートへの設置を推奨します。

⚠警告

助手席に前向きのチャイルドシートを設置しない。
助手席に前向きのチャイルドシートを設置すると、助手席のシートが前に出すぎていたり、衝突したときに幼児の頭が前に投げ出されると SRS エアバッグで強い衝撃を受けるため、重大な傷害を負ったり死亡したりするおそれがあります。やむをえず助手席に前向きのチャイルドシートを設置する場合は、助手席のシートをできるだけ後ろに下げて設置してください。

チャイルドシートの選びかた

チャイルドシートを購入するときは、シートベルト固定タイプチャイルドシートまたは ISOFIX チャイルドシートをお選びください。

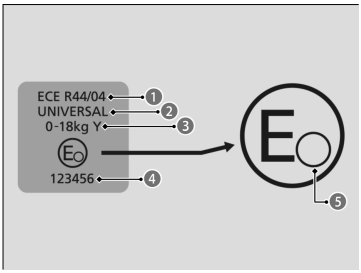
シートベルト固定タイプチャイルドシートは、シートベルトを用いて座席に固定します。
ISOFIX チャイルドシートは、リヤシート外側 2 座席に付属している下部取付金具とトップテザー取付金具で固定します。

チャイルドシート選択の条件

- チャイルドシートが一覧表に案内されているお子さまに合ったタイプとサイズであること
- チャイルドシートが取り付ける車の座席にあったものであること
- チャイルドシートが安全基準に適合したものであること
  UN R44 に適合したチャイルドシートをお勧めします。

! UN 基準の認可を受けたチャイルドシートには、認可マークが表示されています。
チャイルドシートについている認可マークを確認してください。

EC 認可表示（例）

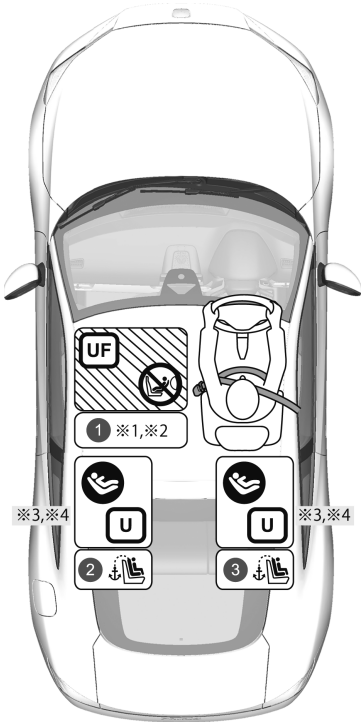


❶ 法規番号
❷ カテゴリー
❸ 体重範囲
❹ 認可番号
❺ 国番号

! Honda 純正のチャイルドシートをご用意しています。ご購入、ご使用に際しては Honda 販売店にご相談ください。

チャイルドシートについて

シート位置別チャイルドシート情報



U	車両のシートベルトで固定するタイプの汎用（ユニバーサル）チャイルドシートに適している
UF	車両のシートベルトで固定するタイプの前向きに取付ける汎用（ユニバーサル）チャイルドシートに適している
	ISOFIX チャイルドシートに適している
	前向きチャイルドシートのみに適している
	後ろ向きのチャイルドシート取り付け禁止
	トップテザー取付金具を装備している座席

※1: チャイルドシートを取り付ける場合、シートスライドを最も後ろの位置に調節してください。

- チャイルドシートがヘッドレストに干渉して安定して取り付けられない場合は、ヘッドレストを上に上げてください。
- チャイルドシートを取り付けるきはストラップを使用しないでください。
正しい着用法 ▶P.73
- サポートレッグ付きチャイルドシートが取り付けできます。

※2: ベルトユニバーサルタイプを取り付ける時はシートバックを最も前のロック位置に調節してください。
※3: チャイルドシートを取り付けるときは、お子様やチャイルドシートがフロントシートと接触しないようにフロントシートを調節してください。
※4: ISOFIX（下部取り付け金具用コネクター）でチャイルドシートを取り付けた座席ではシートベルトが使えません。

- ブースターシートを取り付ける場合は ISOFIX（下部取り付け金具用コネクター）を使用しないでください。

			シートの位置及びシート位置番号		
	サイズグループ 重量 身長		❶ 助手席※1	❷ 後席（左側）※3, ※4	❸ 後席（右側）※3, ※4
ベルト固定の汎用（ユニバーサル）チャイルドシートが搭載可能な着座位置（有/無）	グループ 0	10kg 以下	無	有	有
	グループ 0+	13kg 以下			
	グループ Ⅰ	9–18kg	有※2	有	有
	グループ Ⅱ	15–25kg			
	グループ Ⅲ	22–36kg			
i-Size チャイルドシートが搭載可能な着座位置（有/無）	150cm 以下		無	無	無
推奨チャイルドシートが搭載可能な着座位置（有/無）※5	Honda 純正チャイルドシートリスト参照		有	無	無
搭載可能な横向きチャイルドシート固定具（L1/L2）	—		無	無	無
搭載可能な最大の後ろ向きチャイルドシート固定具（R1/R2X/R2/R3）	グループ 0	10kg 以下	無	R1	R1
	グループ 0+	13kg 以下			
	グループ Ⅰ	9–18kg			
搭載可能な最大の前向きチャイルドシート固定具（F2X/F2/F3）	グループ Ⅰ	9–18kg	無	F2X	F2X
搭載可能な最大の前向きジュニアシート固定具（B2/B3）	150cm 以下		B3	無	無

※1: チャイルドシートを取り付ける場合、シートスライドを最も後ろの位置に調節してください。

- チャイルドシートがヘッドレストに干渉して安定して取り付けられない場合は、ヘッドレストを上に上げてください。
- チャイルドシートを取り付けるきはストラップを使用しないでください。

正しい着用法 ▶P.73

- サポートレッグ付きチャイルドシートが取り付けできます。

※2: ベルトユニバーサルタイプを取り付ける時はシートバックを最も前のロック位置に調節してください。

※3: チャイルドシートを取り付けるときは、お子様やチャイルドシートがフロントシートと接触しないようにフロントシートを調節してください。

※4: ISOFIX（下部取り付け金具用コネクター）でチャイルドシートを取り付けた座席ではシートベルトが使えません。

- ブースターシートを取り付ける場合は ISOFIX（下部取り付け金具用コネクター）を使用しないでください。

※5: 記載のチャイルドシートは車両販売時点の Honda 純正チャイルドシートです。最新の Honda 純正チャイルドシートについては販売店にお問い合わせください。Honda 純正チャイルドシート以外にも取り付けることができる場合があります。チャイルドシートメーカーにお問い合わせください。

推奨チャイルドシート

適用範囲	チャイルドシート	カテゴリー
身長 100cm 以上 150cm 以下	Honda Junior i-Size	i-Size Booster seat

推奨チャイルドシートのご購入は Honda 販売店にご相談ください。

固定具	お子さまの大きさ	使用の向き	形状、大きさ
ISO/L1 ISO/L2 ISO/R1	乳児 乳児 乳児	左 右 後ろ	寝台式 寝台式 ー
ISO/R2X ISO/R2 ISO/R3 ISO/F2X ISO/F2 ISO/F3	幼児 幼児 幼児 幼児 幼児 幼児	後ろ 後ろ 後ろ 前 前 前	小型 小型 大型 低型 低型 全高
ISO/B2 ISO/B3	学童 学童	前 前	狭幅 全幅

⚠警告

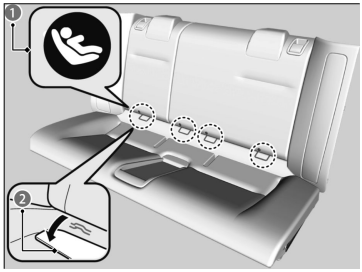
シートベルトは必ず正しく着用する。

シートベルトを正しく着用しないと、衝突したときに重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

チャイルドシートの取り付けかた

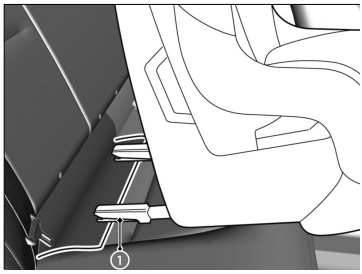
ISOFIX チャイルドシートの取り付け

ISOFIX チャイルドシートは、リヤシートに設置できます。チャイルドシートは、下部取付金具とトップテザー取付金具で固定します。



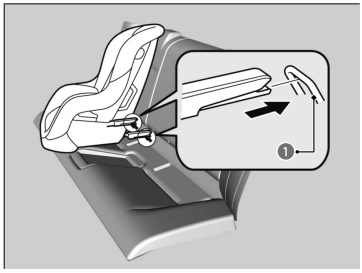
[1] マークの下にあるカバーをめくり下部取付金具を確認する。

❶ マーク
❷ カバー



[2] プローブがカバーの上に載るようにチャイルドシートを置く。

❶ プローブ

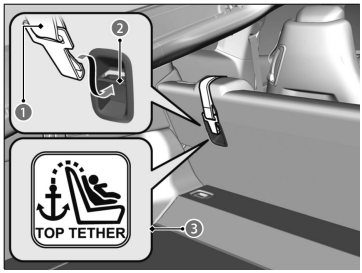


[3] チャイルドシートの取扱説明書にしたがって下部取付金具に取り付ける。

≫取り付けの際に、異物やシートベルトなどが下部取付金具にかみ込まないようにしてください。

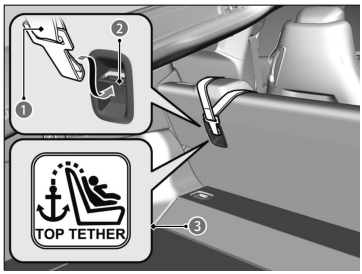
❶ 下部取付金具

▼1本タイプ



❶ トップテザーストラップ
❷ トップテザー取付金具
❸ トップテザー取付金具シンボル

▼2本タイプ



❶ トップテザーストラップ
❷ トップテザー取付金具
❸ トップテザー取付金具シンボル

[4] トップテザーストラップをトップテザー取付金具に引っかけ、ストラップを締める。
≫このときトップテザーストラップがねじれないように注意してください。

[5] チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認する。

⚠注意

トップテザー取付金具シンボルが無いフックに、トップテザーストラップを使用しないでください。

- ISOFIX チャイルドシートは、シートベルトで固定する必要はありません。
- チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読んでください。

⚠注意

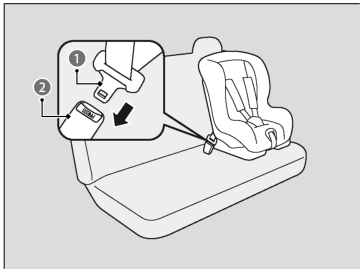
チャイルドシートが確実に固定されているか確認する。
確実に固定されていないと、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

下部取付金具周辺に、異物やシートベルトのかみ込みがないか確認する。

異物やシートベルトをかみ込むとチャイルドシートが確実に固定されず、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。

シートベルトでの取り付け



[1] チャイルドシートを座席に置く。

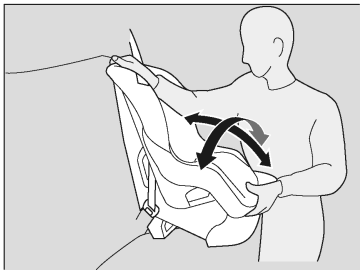
[2] シートベルトをチャイルドシートに通し、タングプレート（❶）をバックル（❷）に差し込む。

≫このとき、バックルが「カチッ」という音がするまできちんと差し込んでください。

≫チャイルドシートの種類によりシートベルトの固定に固定金具（ロッキングクリップ）が必要になります。

≫前席にチャイルドシートを取り付けるときはストラップを外してください。

Q 正しい着用法 ►P.73



[3] チャイルドシートに付属の取扱説明書にしたがって取り付ける。

[4] チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認する。

[5] フロントシートを適切な位置に調節する。

≫フロントシートとチャイルドシートの間に十分なスペースを確保してください。

Q フロントシートの調整方法 ►P.66

- チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読んでください。

⚠注意

チャイルドシートが確実に固定されているか確認する。

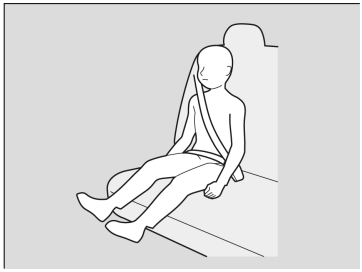
確実に固定されていないと、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。

大きなお子さまの安全

シートの使用について

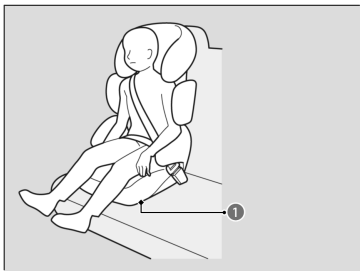
幼児用のチャイルドシートの使用条件を超えるお子さまは、リヤシートに乗せて三点式シートベルトを着用させてください。お子さまをシートに深くすわらせ、以下の確認項目でひとつでも適合しない場合、ジュニアシートの使用が必要です。

確認項目



- お子さまのひざがシートの前端で無理なく曲がっているか？
- 肩ベルトがお子さまの首と腕の間にかかっているか？
- 腰ベルトが低い位置にあり、お子さまの太ももに触れているか？
- 乗車中、無理なくすわっていられるか？

ジュニアシートに乗せる場合



三点式シートベルトを使用できず、ジュニアシートを用いる必要があるお子さまは、ジュニアシートをリヤシートに設置して使用してください。安全のため、お子さまがジュニアシートの使用に適した範囲に入っているか確認してください。

❶ ジュニアシート

- ジュニアシートの取り付けについては、ジュニアシートに付属の取扱説明書をよく読み、正しく取り付けてください。ジュニアシートには、座高の高いものと低いものがあります。お子さまが適切にシートベルトを着用できるものを選択してください。

やむをえず、お子さまを助手席に乗せる場合

正しい姿勢ですわる、走行中にシートベルトを着用するなどの規則をお子さまが守ることができ、お子さまを助手席に乗せても安全と判断した場合、下記の項目を守ってお子さまを乗車させてください。

- 取扱説明書をよく読み、シートベルトに関する指示と安全に関して十分に理解する

- 助手席を一番後ろまで下げる
- 上体を起こし、シートに深く腰かけるように指示する
- お子さまのシートベルトが正しい位置で、しっかり固定されているか確認する

⚠警告

お子さまは助手席に乗せない。

お子さまを助手席に乗せると、SRS エアバッグが膨らんだときに、重大な傷害を負うおそれがあります。やむをえず、助手席にお子さまを乗せる場合は、できるだけシートを後方に下げ、必要ならばジュニアシートを使用し、適切にシートベルトを着用してすわらせてください。

エアバッグ

エアバッグについて

エアバッグは、パワーモードが ON モードのときに車体が衝突による衝撃を受けると膨らみ、運転者および同乗者の受ける衝撃を緩和させます。 エアバッグには下記の種類があり、衝突の方向や条件などにより作動が一部異なります。

- SRS エアバッグ：フロントシートの前方向エアバッグ
- ニーエアバッグ：ハンドルの下とグローブボックスの下にあるエアバッグ
- サイドエアバッグ：フロントシートの横方向エアバッグ
- サイドカーテンエアバッグ：窓側の天井部両側についたエアバッグ

この車にはイベントデータレコーダー（EDR）が装備されています。
SRS エアバッグが作動したとき、もしくは一定以上 の衝突が発生した場合に車両データを記録します。
車両データの記録について ►P.3

⚠警告

エアバッグ装備車でもシートベルトは必ず使用する。
エアバッグは、衝撃を緩和するためのシステムで、シートベルトの補助拘束具です。エアバッグ装備車であっても、必ず正しくシートベルトを着用してください。シートベルトを着用しないと、衝突時にエアバッグの効果が十分に発揮されず、重大な傷害や死亡などの危険性が高くなります。

⚠注意

エアバッグが膨らんだ直後は、構成部品に触れない。
エアバッグの構成部品が熱くなっているため、やけどなどの思わぬけがをすることがあります。

エアバッグの分解、取り外しはしない。
不適切な取り扱いは故障や誤作動の原因となります。

エアバッグは非常に速い速度で膨らみます。
エアバッグとの接触により、すり傷、やけど、打撲などを受けることがあります。

エアバッグが膨らむときに、空中に粉が舞うことがあります。
この粉は無害ですが、場合によっては一時的に不快感をおぼえることがあります。安全を確認後、ただちに車外に出てください。

SRS エアバッグ（フロントエアバッグ）

SRS：サプリメンタルレストレイントシステム（Supplemental Restraint System）の略で、シートベルトの補助拘束の意味。
運転席と助手席についています。前方向からの衝突により、SRS エアバッグが膨らんで運転者と助手席の同乗者の頭と胸部への衝撃を緩和します。

格納場所

運転席側はハンドルの中央、助手席側はダッシュボードに SRS エアバッグが格納されています。どちらも「SRS AIRBAG」と表示されています。

作動のしくみ

SRS エアバッグが作動するのは、一定以上の衝撃で前方向から衝突したときです。このとき、センサーが衝突による急激な減速を検知し、コントロールユニットのはたらきにより運転席と助手席の SRS エアバッグが膨らみます。

⚠警告

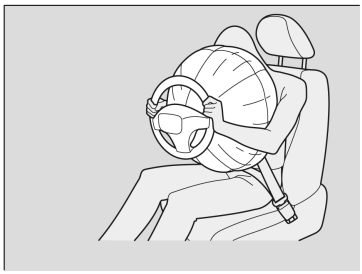
インストルメントパネルに手をついたり頭や胸を近づけた状態で乗車しない。
SRS エアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

ハンドルやインストルメントパネル上面に、ステッカーを貼ったり、ものを置いたりしない。

SRS エアバッグが正常に機能しなくなったり、エアバッグが膨らんだときに置いたものが飛んで運転者や同乗者がけがをする原因になります。

SRS エアバッグの作動



前方向から衝突すると、シートベルトが乗員の下半身と胴体を拘束し、SRS エアバッグが頭と胸部を保護します。運転者の視界を妨げたり、ハンドル操作の邪魔にならないように、SRS エアバッグは膨らんだ後すぐにしぼみます。

SRS エアバッグは、次のような場合に作動します。
・20～30km/h 以上の速度で、きわめて厚い固定されたコンクリートの壁に真正面から衝突したときと同等か、それ以上の衝撃を受けたとき
・車両の前方左右約 30 度以内の方向から強い衝撃を受けたとき
衝撃を吸収できるもの（車やガードレールのように変形するもの）に衝突した場合、作動するときの車速は高くなります。

次のような場合、車両下部に強い衝撃を受け、SRS エアバッグが作動することがあります。
・縁石や地面の突起物に衝突したとき
・深い溝や穴に落ちたとき
・高いところから落ちたとき
次のような場合、SRS エアバッグが作動しないことがあります。
・電柱、立ち木などへの衝突
・トラックなどへの潜り込み
・部分的な衝突や斜め方向からの衝突
車体の部位によって衝撃の吸収度合いが異なりますので、損傷状態の大小と SRS エアバッグの作動は必ずしも一致しません。

シートベルトだけで乗員を保護できるような低い速度での衝突や次のような場合、乗員保護の効果がないので作動しません。
ただし事故の状況、形態によっては、SRS エアバッグが作動することがあります。
・横方向からの衝突

・後部からの衝突
・横転または転覆

ニーエアバッグ

運転席、助手席それぞれの膝の前にあるエアバッグです。前方向からの衝突により、エアバッグが膨らみ、運転者と助手席の衝撃緩和を補助します。

⚠注意

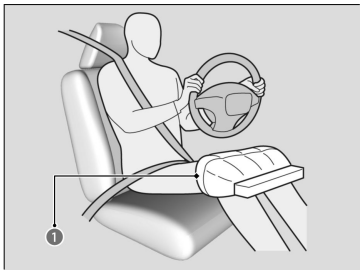
ニーエアバッグ格納部やその周辺にステッカーなどを貼ったり、アクセサリーなどをつけたりしない。

ニーエアバッグが正常に機能しなくなったり、エアバッグが膨らんだときにものが飛んでけがをする原因になります。

格納場所

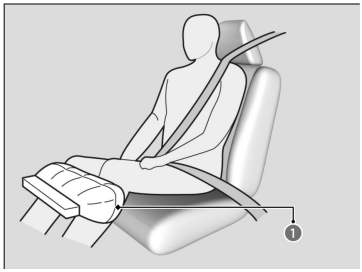
ニーエアバッグは運転席のハンドル下側、助手席はグローブボックス下側に格納されています。
どちらも「SRS AIRBAG」と表示されています。

作動のしくみ



運転席または助手席の SRS エアバッグが膨らむと、ニーエアバッグも膨らみます。

❶ ニーエアバッグ



❶ ニーエアバッグ

衝突が SRS エアバッグを展開するほどの衝撃でなくとも、ニーエアバッグだけ膨らむことがあります。
次のような場合、車両下部に強い衝撃を受け、ニーエアバッグが作動することがあります。
・縁石や地面の突起物に衝突したとき
・深い溝や穴に落ちたとき
・高いところから落ちたとき

次のような場合、ニーエアバッグが作動しないことがあります。
・電柱、立ち木などへの衝突
・トラックなどの潜り込み
・部分的な衝突や斜め方向からの衝突

車体の部位によって衝撃の吸収度合いが異なりますので、損傷状態の大小とニーエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

サイドエアバッグ

フロントシートの背もたれの外側にあるエアバッグです。
側面からの衝突により、エアバッグが膨らみ、運転者と助手席の同乗者の胸部への衝撃を緩和します。

⚠注意

ドアやその周辺にアクセサリーなどを取り付けたり、ものを置いたりしない。
正常に作動しなかったり、作動時にこれらのものが飛ぶことがあります。

サイドエアバッグ格納部に衝撃や無理な力を加えない。

ドアに寄りかからない。

サイドエアバッグの格納部に手や顔を必要以上に近づけない。

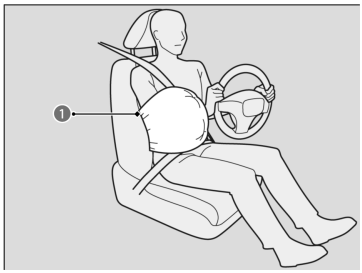
後席の同乗者は、フロントシートの背もたれを抱えない。
サイドエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け傷害を受けるおそれがあります。

サイドエアバッグの分解、取り外しはしない。
不適切な取り扱いは故障や誤作動の原因となります。

格納場所

運転席、助手席ともにシートの背もたれ外側に格納されています。 どちらも「SIDE AIRBAG」と表示されています。

作動のしくみ



センサーが一定以上の衝撃で側面方向から衝突を検知し、コントロールユニットのはたらきにより検知した側のサイドエアバッグが膨らみます。

❶ サイドエアバッグ

次のような場合、車両下部に強い衝撃を受け、サイドエアバッグが作動することがあります。

- 縁石や地面の突起物に衝突したとき
- 深い溝や穴に落ちたとき
- 高いところから落ちたとき

次のような場合、サイドエアバッグが作動しないことがあります。

- 乗員付近以外の側面への衝突

サイドエアバッグは乗員の受ける衝撃の大きさによって作動するようになっていますので、車両の損傷状態の大小とサイドエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

低い速度での衝突や次のような場合、乗員保護の効果がないので作動しません。
ただし事故の状況、形態によっては、サイドエアバッグが作動することがあります。

- 正面衝突
- 後部からの衝突
- 横転または転覆

> **!** サイドエアバッグは、シートベルトを着用し上体を起こしてシートに深く腰かけているときに保護効果を発揮します。
> サイドエアバッグの保護効果を維持するために、シートベルトは正しく着用してください。

> **!** サイドエアバッグがシートカバーによっては、正常に機能できなくなります。
> フロントシートへのシートカバー装着にあたっては Honda 販売店にご相談ください。

サイドカーテンエアバッグ

窓側の天井部にあるエアバッグです。側面からの衝突により、エアバッグが膨らみ、前席乗員の頭部への衝撃を緩和します。

⚠注意

サイドカーテンエアバッグが正常に作動しなかったり、作動時にものが飛んだりすることがあるので、以下のことに注意する。

- フロントガラス、ドアガラス、フロント、センター、リヤの各ピラーまわりにアクセサリーなどを取り付けない
- コートフックに重いものやとがったものをかけない

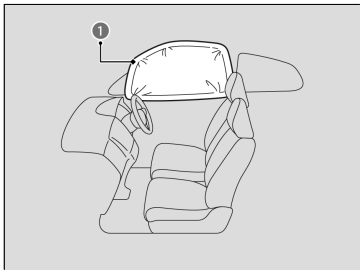
サイドカーテンエアバッグ収納部に衝撃を加えない。

収納部に傷が付いていたり、ひび割れがあるときは、Honda 販売店で交換してください。

格納場所

運転席側、助手席側ともに窓側の天井部に格納されています。 どちらも「SIDE CURTAIN AIRBAG」と表示されています。

作動のしくみ



サイドカーテンエアバッグが作動するのは、一定以上の衝撃で側面方向から衝突したときです。運転席側または助手席側のサイドカーテンエアバッグが膨らみます。

❶ サイドカーテンエアバッグ

サイドカーテンエアバッグの作動条件は、サイドエアバッグと同じ条件です。
前方向から衝突したときのサイドカーテンエアバッグの作動について

- 前方向からの衝突時、横方向に一定以上の力がかかると、SRS エアバッグが膨らんだ後必要な側のサイドカーテンエアバッグが膨らみます。

サイドカーテンエアバッグは側面からの衝突に対して作動するため、衝撃を受けた側のみ作動します。また、助手席側が衝撃を受けた場合は、助手席側に乗員がいないときでもサイドカーテンエアバッグが作動します。

サイドカーテンエアバッグは、シートベルトを着用し上体を起こしてシートに深く腰かけているときに保護効果を発揮します。
サイドカーテンエアバッグの保護効果を維持するために、シートベルトは正しく着用してください。

エアバッグシステム警告灯

エアバッグやシートベルトプリテンショナーの異常などを、警告灯やマルチインフォメーションディスプレイで知らせます。

エアバッグシステム警告灯



• パワーモードを ON にしたとき

パワーモードを ON にすると、エアバッグシステム警告灯が数秒間点灯し、消灯すれば正常です。

• 異常が発生したとき

エアバッグシステムまたはプリテンショナーシステムに異常があるときに点灯します。

エアバッグシステム警告灯が点灯状態のときは、Honda 販売店で点検を受けてください。
パワーモードを ON にしたときにエアバッグシステム警告灯が点灯しない場合も、エアバッグシステムまたはプリテンショナーシステムに異常がある可能性があります。ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

⚠警告

エアバッグシステム警告灯を無視しない。

エアバッグシステム警告灯を無視すると、エアバッグシステム、プリテンショナーシステムが正しく機能せず、重大な傷害を受けたり死亡したりするおそれがあります。エアバッグシステム警告灯が点灯する場合は、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

エアバッグのお手入れ

エアバッグシステムは、メンテナンスを必要とせず、部品交換の必要もありません。
ただし、以下の場合は Honda 販売店で点検を受けてください。

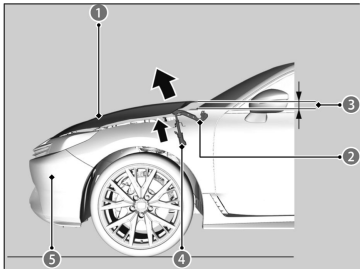
エアバッグが作動し、膨らんだとき

一度作動したエアバッグは、コントロールユニットやその他の関連部品とともに必ず交換する必要があります。
また、シートベルトプリテンショナーも同様に、一度作動した場合は新品と交換する必要があります。

> ❗ エアバッグ関連部品の再利用はしないでください。

ポップアップフードシステム

ポップアップフードシステムについて



ポップアップフードシステムは前方向からの衝突時にボンネットの後部を持ち上げてボンネット内の空間を確保し、歩行者の頭部への衝撃緩和を補助します。
パワーユニットは、左右のヒンジの車両前方に搭載されています。

1. ボンネット
2. ヒンジ
3. 約 100 mm上がります
4. パワーユニット
5. 歩行者インパクトセンサー

⚠警告

ポップアップフードシステムが作動した後は、パワーユニットが非常に熱くなっているため、やけどをするおそれがあります。
冷めるまではパワーユニットに触れないでください。

! ポップアップフードシステムが正常に機能するために、以下のことをお守りください。

- ボンネットを激しく閉めないでください。
- フロントバンパーに衝撃を与えないでください。
- 指定サイズのタイヤをお使いください。

システムは以下の状況でも作動することがあります。

- 車両下側に大きな衝撃を受けたとき
- 高速で突起物の上を乗り越えたとき、または深い溝の上を乗り越えたとき
- 歩行者インパクトセンサーに物がぶつかったとき

システムは以下の状況では作動しないことがあります。

- 後部または横方向からの衝突

- 横転または転覆
- 斜め方向や横からの歩行者との衝突

ポップアップフードシステムは、衝突時の位置、角度、車速などその他の条件によって作動しないことがあります。

- フロントバンパー周辺を損傷したとき、またはポップアップフードシステムが作動したときは、Honda 販売店で点検を受けてください。

ポップアップフードシステム警告表示



パワーモードを ON モードにしたとき

ポップアップフードシステムに異常があると考えられる場合、マルチインフォメーションディスプレイに警告が表示されます。

⚠警告

警告表示を無視すると、ポップアップフードシステムの異常につながることがあります。

異常が発生すると、歩行者との衝突時に、歩行者の深刻な傷害や死亡につながるおそれがあります。 ポップアップフードシステムの警告が表示されたときはすみやかに Honda 販売店で点検を受けてください。

衝突後ブレーキシステム

衝突後ブレーキシステムについて

エアバッグシステムが衝突を検知して作動したとき、衝突後ブレーキシステムがブレーキをかけるとともに駆動力を抑制させ、二次衝突による被害を軽減します。
このシステムの作動で必ずしも二次衝突の被害を軽減できるとは限りません。
事故の状況によって変わります。
衝突が発生した場合は、周囲の状況を確認し、適切に車両を操作して停車させてください。

衝突後ブレーキシステムの作動条件

走行中に前方向または横方向からの衝突により、エアバッグまたはシートベルトプリテンショナーが作動したときに衝突後ブレーキシステムが作動します。
ただし、システムを構成する部品が破損している場合は作動しません。

衝突後ブレーキシステムの解除条件

衝突後ブレーキシステムが作動したとき、次のいずれかの条件でシステムが解除されます。

- 車両が停車したとき
- アクセルペダルを離した後に踏み込んだとき

キー

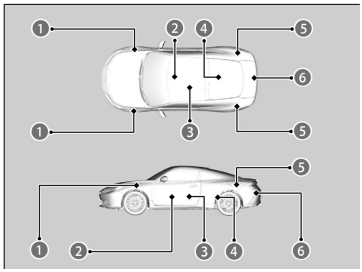
キーについて

パワーシステムの起動、停止のほかに、すべてのドア、テールゲート、フューエルリッドの施錠・解錠に使用できます。

微弱電波

Honda スマートキーを使用してドア、テールゲートの施錠/解錠操作をするときやパワーシステムを起動するとき、Honda スマートキーとの電子照合を行うために車両から電波が発信されます。
そのため、次のような場合に正常に作動しなかったり、不安定な動作となったりすることがあります。

- 強い電磁波を発する機器や設備が近くにあるとき
- 携帯電話や無線機などの通信機器やノートパソコンと一緒に Honda スマートキーを携帯しているとき
- Honda スマートキーが金属物に触れていたり覆われていたりするとき



❶ 車室外発信機（フロントフェンダー内）
❷ 車室内発信機（インストルメントパネル下）
❸ 車室内発信機（センターコンソール後ろ）
❹ 車室内発信機（フロア下）
❺ 車室外発信機（リヤフェンダー内）
❻ 車室外発信機（リヤバンパー内）

電池寿命は、使用状況により異なりますが約 2 年間です。Honda スマートキーは車両との通信のために常時受信動作をしているため、常に電池を消耗しています。
電波の受信動作を停止させ、電池の消耗を抑えることができます。Honda スマートキーの施錠ボタンと解錠ボタンを同時に約 3 秒長押しするとインジケーターが 2 回点滅し、電波の受信が停止します。Honda スマートキーのいずれかのボタンを 1 回押すと電波の受信が再開します。

⚠注意

植込み型心臓ペースメーカや植込み型除細動器などの医療機器を装着されている方は、車両に搭載されている発信機から 22cm 以内に近づかない。

Honda スマートキーシステムで発信されている電波が、機器の作動に影響を与える可能性があります。医療用電子機器を使用しているかたは、医師や医療用機器製造者に影響を確認してからご使用ください。

キーの故障を防ぐため、下記の点をお守りください。

- 日本国内でのみ使用する。
- 直射日光が当たる場所、高温、多湿の場所に置かない
- キーを落としたり、重いものをのせない
- キーに液体をかけない
- 砂や埃を避ける
- 電池交換時以外は分解しない

スマートキーの電池交換方法 ►P.326

- 改造をしない
- 火であぶらない
- テレビ、オーディオなど磁気を帯びた機器の近くに置いたりしない

Honda スマートキーは、特定小電力無線設備の技術基準適合証明を受けています。

キーの内部にある技術基準適合表示を故意に消去、改ざんしないでください。分解・改造したものを使用することは法律で禁止されています。

Honda スマートキーは運転者が携帯し、車内に残したまま降車しないでください。他の動作で施錠されると、キーの閉じ込めが起こるおそれがあります。

強い電波を受信し続けると電池を著しく消耗することがあるため、テレビやパソコンなどの電化製品の近くには置かないでください。

Honda スマートキー持ち去り警告ブザー

パワーモードが ON のとき

Honda スマートキーを車外に持ち出しドアを閉めると、メーター内に警告を表示するとともに、車内警告ブザーと車外警告ブザーが鳴ります。

パワーモードがアクセサリーモードのとき

Honda スマートキーを車外に持ち出しドアを閉めると、車外警告ブザーが鳴ります。

> Honda スマートキーを、インストルメントパネル、グローブボックスなどに置いた場合、電波状態により警告ブザーが鳴ることがあります。
> Honda スマートキーがパワーシステム起動の作動範囲内にあっても、周囲の環境や電波状態により警告ブザーが鳴ることがあります。

> Honda スマートキーを持ち出した状態で、パワーモードを OFF モードにすると、パワーモードの操作ができなくなります。
> パワーモードを操作するときは、Honda スマートキーを持っていることを確認してください。

> 窓からの受け渡しでは、Honda スマートキー持ち去り警告は作動しません。

警告ブザーの解除方法

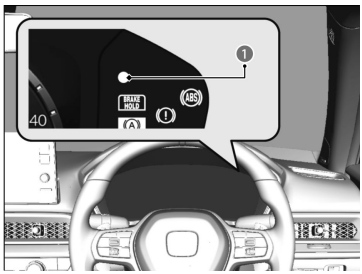
パワーモード ON の作動範囲内に Honda スマートキーを戻してドアを閉める。
≫警告状態が続くときは、Honda スマートキーの携帯位置を変更してください。

イモビライザーシステム

イモビライザーシステムとは、あらかじめ登録されたキーでないとパワーシステムの起動ができないようにしたシステムです。イモビライザーシステムでは、車両とキーの電子照合を行うときに微弱な電波を使用するため、下記の点に注意してください。

- POWER スイッチの近くに強い電波を発するものを近づけない
- キーを金属に触れさせたり、覆ったりしない
- ほかの車両のイモビライザーシステムのキーを近づけない
- 磁気を帯びたキーホルダーなどをキーと一緒に取り付けない

• システムの改造や追加をしないでください。システムが故障するおそれがあります。



POWER を押したとき、キーの情報を認識できないとメーター内のイモビライザーシステム表示灯が点滅します。

❶ イモビライザーシステム表示灯

セキュリティーアラームシステム

Honda スマートキーシステムまたはキーレスエントリーシステムを使わずにドア等を開けると警報装置が作動するシステムです。作動時はホーンが断続的に鳴り、非常点滅表示灯が点滅します。システムを解除させるには解錠するか、パワーシステムを起動します。

セットするには

セキュリティアラームシステムは、以下の条件が整うと自動的にセットされます。

- パワーモードが OFF モードのとき
- ボンネットが閉まっているとき
- Honda スマートキーシステムまたはキーレスエントリーシステムですべてのドアとテールゲートが施錠されているとき

セットされると

メーター内にあるセキュリティアラームシステム作動表示灯が点滅し、約 15 秒後に点滅間隔が長くなります。

セットを解除するには

Honda スマートキーシステムまたはキーレスエントリーシステムで解錠するか、パワーモードを ON モードにすると解除されます。同時に作動表示灯が消灯します。

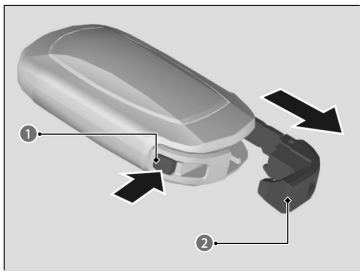
警報装置はセキュリティアラームシステムを停止させるまで、約 5 分間作動します。ホーンおよび非常点滅表示灯は、1 回の作動につき約 30 秒間作動し、その警報作動が 10 回行われます。
状況によっては、5 分間以上作動することがあります。

車内に人が乗っているときやウィンドーが開いているときでも、セキュリティアラームシステムは作動します。警報装置の思わぬ作動を防ぐために、人が乗っていたりウィンドーが開いているときには、セキュリティアラームシステムをセットしないでください。
セキュリティアラームシステムをセットした後に 12V バッテリーがあがり、12V バッテリーの充電、交換をすると、警報装置が作動することがあります。
そのときは、解錠操作でセキュリティアラームシステムを解除してください。
システムの改造や追加をしないでください。システムが故障するおそれがあります。

内蔵キー

Honda スマートキーの電池が切れたときや車の 12V バッテリーがあがったときは、内蔵キーを使用してください。

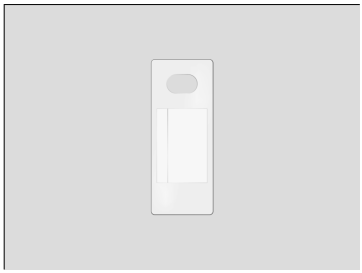
取り出し方法



ボタンを押しながら取り出します。
≫収納するときは、「カチッ」と音がするまで差し込みます。

❶ ボタン
❷ 内蔵キー

キーナンバータグ



キーナンバータグには、キーを購入する際に必要となる番号が記載されています。

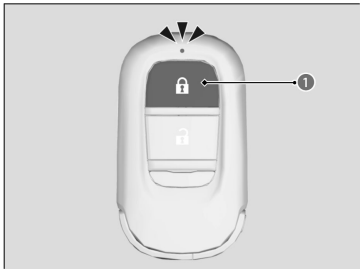
- キーを紛失したときや、追加購入したいときは、Honda 販売店に依頼してください。

> ! キーナンバータグは、キーとは別に車両以外の場所に大切に保管してください

施錠/解錠

キーレスエントリーシステムを使った施錠/解錠方法

施錠



施錠ボタン（❶）を押す。

1 回目：

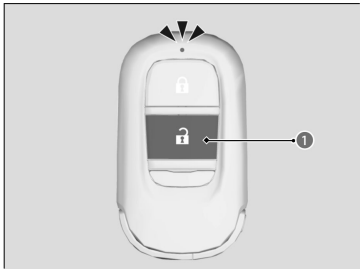
≫ドアハンドルが格納します。

≫非常点滅表示灯が 1 回点滅し、すべてのドアやテールゲート、フューエルリッドが施錠されます。

2 回目（施錠ボタンを押して 5 秒以内）：

≫アンサーバックブザーが鳴り、ドアやテールゲートが施錠されたか確認できます。

解錠



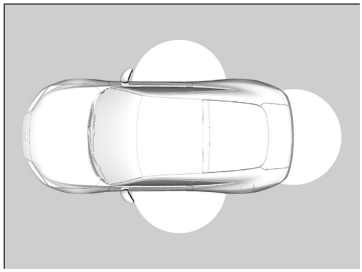
解錠ボタン（❶）を押す。

≫ドアハンドルが展開します。

≫非常点滅表示灯が 2 回点滅し、すべてのドアやテールゲート、フューエルリッドが解錠されます。

キーレスエントリーシステムで解錠操作をした場合、30 秒以内にドア、テールゲートを開けないと、展開しているドアハンドルが格納し、再び自動的に施錠されます。
パワーモードが OFF モードのときにドアハンドルが格納/ 展開していた場合、キー上の施錠/ 解錠ボタンを押すとドアハンドルは格納/ 展開します。
乗車後に運転席ドアを閉めて 30 秒経過、もしくはシフトを P 以外にした場合、助手席のドアハンドルは自動で格納します。

Honda スマートキーを携帯した施錠/解錠方法

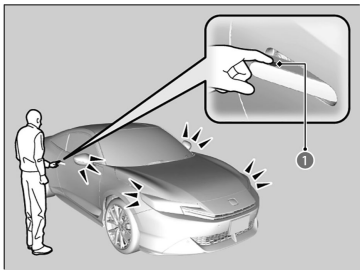


Honda スマートキーを携帯し車に近づくと、ドアハンドルが展開します。
ドアロックセンサー、ドアハンドル、テールゲートハンドル/ テールゲートのロックボタンを操作することでドア、テールゲート、フューエルリッドの施錠や解錠ができます。
≫施錠/解錠の作動範囲は約 80 ㎝以内です。

作動範囲内に Honda スマートキーがあるときは、大雨や洗車などで大量の水がドアハンドルにかかると、施錠/解錠されることがあります。

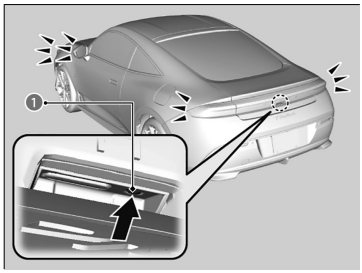
ディスプレイオーディオ画面をつかって、施錠/解錠時に鳴るブザー、ドアハンドルの自動格納/展開の設定変更ができます。
設定 ►P.194

施錠



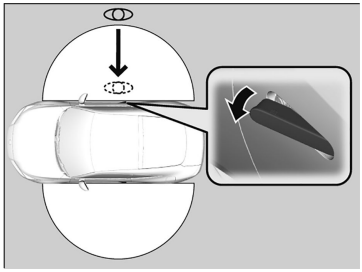
ドアハンドルのドアロックセンサーに触れる、またはテールゲートのロックボタンを押します。
≫「ピッ」というアンサーバック音が鳴り非常点滅表示灯が 1 回点滅し、すべてのドア、テールゲート、フューエルリッドが施錠されます。ドアハンドルが展開している場合、ドアハンドルが格納し、セキュリティセットされます。

❶ ドアロックセンサー



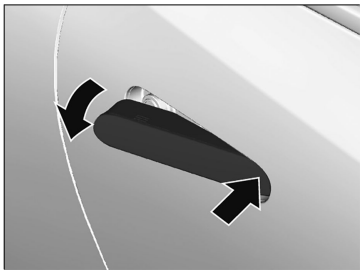
❶ ロックボタン

解錠



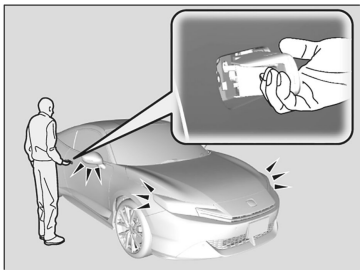
Honda スマートキーを携帯しながら車に向かって歩くと、ドアハンドルが自動的に展開します。

≫作動範囲はドアハンドルから約半径 2m 以内です。



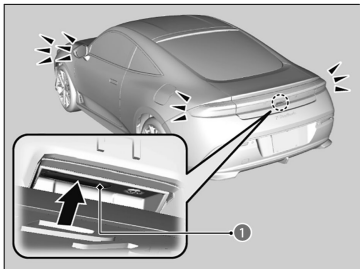
ドアハンドルが格納しているとき：
ドアハンドルの前側を押し込みます。

≫ドアハンドルが自動的に展開しない場合は、ドアハンドルの前側を内側に押します。



ドアハンドルを握る：

≫「ピピッ」というアンサーバック音が鳴り非常点滅表示灯が 2 回点滅し、すべてのドア、テールゲートが解錠します。



テールゲートハンドルを押す：

≫すべてのドア、テールゲート、フューエルリッドが解錠します。

≫非常点滅表示灯が点滅します。

≫ドアハンドルが展開します。

テールゲートの開閉方法 ►P.84

❶ テールゲートハンドル

Honda スマートキーシステムで解錠してから、約 30 秒以内にドア、テールゲートを開けないと、再び自動的に施錠され、ドアハンドルが格納します。

パワーモードが OFF モード以外のときは Honda スマートキーシステムによる施錠/ 解錠はできません。
ドアハンドル展開後、Honda スマートキーを携帯したまま約 2 分間車から離れずに作動範囲内にいた場合、ドアハンドルが格納します。解錠するには手動でドアハンドルを展開するか、Honda スマートキー上の解錠ボタンを押してください。
パワーモードが ON モードのときに、Honda スマートキーを携帯して車に近づいても、ドアハンドルは展開しません。
乗車後に運転席ドアを閉めて 30 秒経過、もしくはシフトを P 以外にした場合、ドアハンドルは自動で格納します。
前回乗車時より 8 日以上経過した後に作動範囲内に入っても自動で展開しません。この場合は一度解錠すると機能が復帰します。
ドアハンドルが展開したままで、Honda スマートキーを携帯して作動範囲外に出ると、30 秒後にドアハンドルが自動で格納します。
すべてのドア、テールゲートを施錠し、Honda スマートキーを携帯して作動範囲外に出た後、10 秒以内に作動範囲内に戻ってもドアハンドルは自動で展開しません。この場合は、手動でドアハンドルを展開するか、キーレスエントリーシステムをつかって解錠すると展開します。ただし作動範囲から出て 10 秒経過した後、作動範囲内に戻った場合はドアハンドルが自動で展開します。

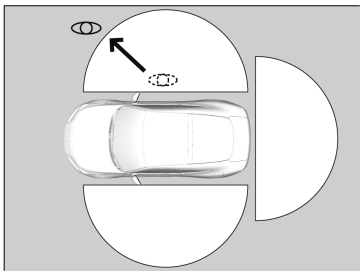
施錠/解錠ができないとき

- 革製やスキー用の手袋などを着用しているとき
- 施錠後約 2 秒間
- ドアハンドルを握った直後
- テールゲートハンドルを押した直後
- Honda スマートキーが地面の近くや高い位置にあるとき
- ドアやドアガラス、テールゲートに近づきすぎているとき

Honda スマートキーを携帯した施錠/解錠方法 ►P.54

降車時オートドアロック機能を用いた施錠方法

Honda スマートキーを携帯し、パワーモードが OFF の状態で車から離れると、すべてのドアやテールゲート、フューエルリッドが自動的に施錠します。



Hondaスマートキーを携帯し、降車する。すべてのドアとテールゲートを閉める

[1] 運転席または助手席のドアハンドル、テールゲートハンドルから周囲約 1.5 m以内で待つ

≫音が鳴り、降車時オートドアロック機能が起動します。

[2] 運転席または助手席のドアハンドル、テールゲートハンドルから周囲約 1.5 m以上離れて、約 2 秒待つ

≫音が鳴り、非常点滅表示灯が 1 回点滅し施錠され、展開していたドアハンドルが格納します。

- 降車時オートドアロック機能起動後に、作動範囲内で約 30 秒待つ場合も自動で施錠され、展開していたドアハンドルが格納します。
- 降車時オートドアロック機能起動後に、正常に作動しなかった場合はオートロック作動中止警告ブザーが鳴ります。

≫オートロック機能が起動してからドアを開けた場合、オートロック機能は中断されます。

降車時オートドアロック機能の工場出荷時の設定は OFF になっています。ON にするときは、ディスプレイオーディオ画面のカスタマイズ機能で設定を変更してください。

設定 ►P.194

オートロック機能を使用する時は、車内に残っている人がいないことを確認し、車から離れてください。

意図しないタイミングでオートロック機能が作動した場合、車外にいるときは再度解錠してください。

乗車しているときは、**POWER** スイッチを押し、車両を ON モードにしてください。

一時的にオートロック機能を OFF にするとき

[1] パワーシステムを停止し、運転席ドアを開ける。

[2] マスタードアロックスイッチを「施錠→解錠→施錠→解錠」の順番で押す。

≫アンサーバック音が鳴ります。

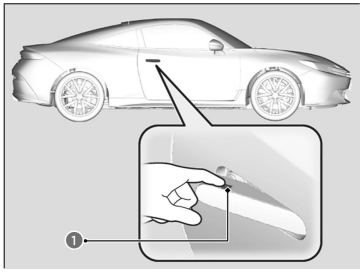
降車時オートドアロック機能を ON に戻すとき

以下のいずれかの操作をした場合、降車時オートロック機能が ON に戻ります。

- パワーシステムを起動する
- 内蔵キー、キーレスエントリーシステムもしくは Honda スマートキーシステムですべてのドアとテールゲートを施錠する

- Honda スマートキーを携帯したまま降車時オートドアロック機能の作動範囲内から離れる
- いずれかのドアを開ける

予約ロック機能を用いた施錠方法



❶ ドアロックセンサー

あらかじめ施錠操作をすることで、ドアやテールゲートを閉めた後、自動で施錠する機能です。
運転席ドアを閉めてから操作をしてください。

[1] 運転席のドアロックセンサーに触れる、または Honda スマートキーの施錠ボタンを押します。
≫通知音が鳴り、予約ロックが設定され、展開していたドアハンドルが格納します。

[2] すべてのドア、テールゲートを閉める。
≫施錠が完了すると通知音とハザード点滅で施錠を知らせます。

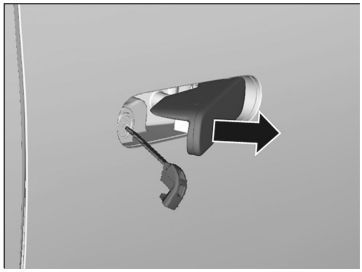
施錠が完了したことを確認してから車両から離れてください。

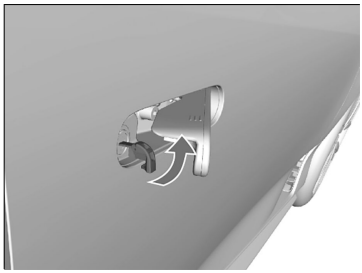
- 予約ロックによる施錠が完了する前に閉まっているドアまたはテールゲートを開くと予約ロックはキャンセルされます。

ディスプレイオーディオ画面で予約ロックの ON/OFF 設定を変更することができます。
設定 ►P.194

キーを差し込んでの解錠

Honda スマートキーのボタンで解錠できない場合は内蔵キーを使用してください。
鍵穴はドアハンドルを引いた裏側にあります。



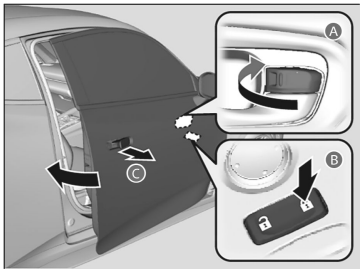


解錠するにはドアハンドルを引き続け、ハンドルの下にあるキーシリンダーに内蔵キーを完全に挿入し、回します。

Honda スマートキーを使わない施錠方法

Honda スマートキーが正常に作動しなくなったときや、内蔵キーを所持していないときに、Honda スマートキーや内蔵キーを使わずに施錠することができます。

運転席のドアの施錠方法



ノブ(A) を押し込むか、マスタードアロックスイッチ(B) を施錠のほうに押し、外側のドアハンドル(C) を引いたままドアを閉める。

≫運転席ドアで施錠すると、他のすべてのドア、テールゲート、フューエルリッドも同時に施錠されます。

運転席以外のドアの施錠方法

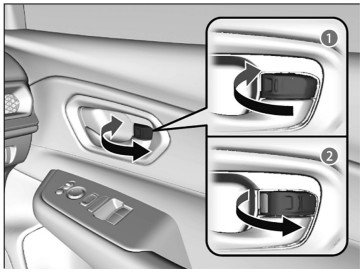
ノブを押し込み、ドアを閉める

キー閉じ込み防止装置

Honda スマートキーが車内の作動範囲内に置いてあると、施錠できません。

車内の施錠/解錠方法

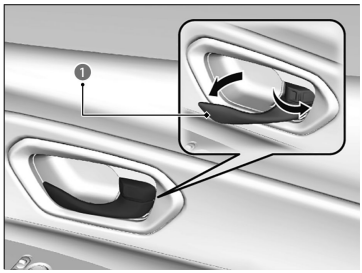
ノブを利用した施錠/解錠



＜施錠＞ノブを押し込む
＜解錠＞ノブを引き出す
≫運転席ドアのノブで施錠・解錠しすると、ほかのすべてのドアやテールゲート、フューエルリッドも同時に施錠/ 解錠されます。

❶ 施錠
❷ 解錠

運転席ドアハンドルでの解錠



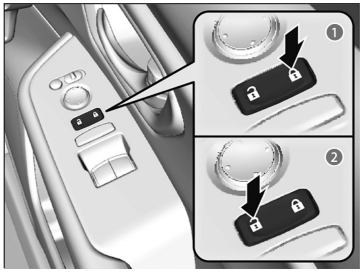
運転席ドアの内側のハンドルを引く。
≫施錠していてもドアが開きます。

❶ ハンドル

> ❗ 走行中でも運転席の内側のハンドルを引くとドアが解錠するため、走行中はドアハンドルを操作しないでください。

ドアハンドルにてドアを開けた場合、車外のドアハンドルが展開します。

マスタードアロックスイッチでの施錠/ 解錠



マスタードアロックスイッチを押す。
≫ほかのすべてのドアやテールゲート、フューエルリッドも同時に施錠/解錠されます。
≫車外のドアハンドルも連動して格納/ 展開します。

❶ 施錠
❷ 解錠

衝撃感知ドアロック解除システム

車両に衝撃が加わったときに、自動的にすべてのドア、テールゲートを解錠するシステムです。作動するのは以下の場合です。

- 正面からの衝撃：SRS エアバッグが作動したとき
- 側面からの衝撃：サイドエアバッグ/ サイドカーテンエアバッグが作動したとき
- 後面からの衝撃：衝撃が大きいとき
  ≫いずれの場合も、安全性を考慮して衝撃を受けてから約 10 秒後に解錠します。
- 衝撃の加わりかたや大きさによっては解錠しない場合があります。

こんなときは

運転席ドアを開けるとブザーが鳴るとき

以下の場合に該当していることが想定されます。

- パワーモードがアクセサリーモードになっている
- ライトを消し忘れている

ドアを閉めた後、車から離れるとブザーが鳴るとき

ドアが閉まりきる前に降車時オートドアロックの作動範囲から離れている可能性があります。

Q 降車時オートドアロック機能を用いた施錠方法 ►P.56

スマートキーの作動が安定しないとき

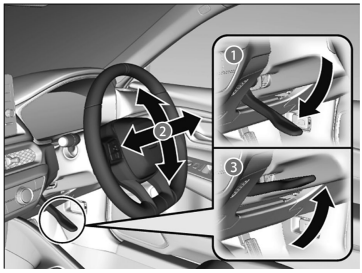
作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられます。

ボタンを押したときにインジケーターが点灯しない場合は、電池切れです。
スマートキーの電池交換方法 ►P.326

ハンドル

ハンドルの調整方法

適切な運転姿勢で無理なくハンドルを握れるように、ハンドルの位置を調節することができます。



❶ 解除
❷ 調節
❸ 固定

［1］ハンドル位置調節レバーを押し下げる。
≫ハンドル位置調節レバーは、コラムカバーの下にあります。

［2］ハンドルの位置を調節する。
≫調節した位置で、メーターや表示灯が見えることを確認してください。

［3］ハンドル位置調節レバーを引き上げ、ハンドルを固定する。
≫位置調節後、ハンドルに上下前後方向の力を加え、ハンドルがしっかり固定されていることを確認してください。

⚠注意

走行中にハンドル位置を調節しない。

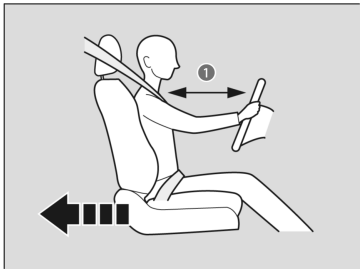
走行中に調節すると、ハンドル位置が動き、正確なハンドル操作ができないことがあり、衝突して重大な傷害を負うおそれがあります。ハンドルの調節は、必ず停車中に行ってください。

シート

シートの調整について

正しい姿勢

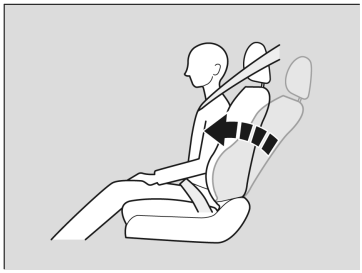
正しい姿勢がとれるようにシートを調節します。正しい運転姿勢とは、シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込め、ハンドル操作が楽にできる姿勢をいいます。同乗者の正しい姿勢とは、シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背が離れていない姿勢をいいます。



❶ 十分な距離をとる

シート位置の調整

運転者とハンドルとの間に十分な距離をとれるように、シートをできるだけ後ろに下げます。
助手席の同乗者のシートも同様に、ダッシュボードの SRS エアバッグからできるだけ離れた位置までシートを下げます。
シートの位置を調節したら、シートを前後に揺すり、固定されていることを確認します。



背もたれ角度の調節

シートに深く腰かけ、楽な姿勢ですわれるように背もたれを起こし調節します。
助手席の同乗者のシートも同様に、楽な姿勢ですわれるように背もたれ角度を調節します。

⚠警告

SRS エアバッグからできるだけ離れた位置までシートを下げる。
ハンドルやダッシュボードに近づきすぎると、フロントエアバッグが膨らむ際に重大な傷害を受けたり、死亡したりするおそれがあります。

背もたれを必要以上に倒さない。
背もたれを必要以上に倒すと、衝突したときに重大な傷害を受けたり、死亡したりするおそれがあります。

背もたれと背中の間にクッションなどを入れない。
正しい運転姿勢がとれません。また、シートベルトなどの効果が十分に発揮されません。

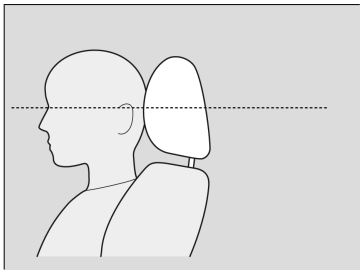
走行中にシートの調節はしない。
走行中に調節するとシートが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行前に行い、確実に固定されていることを確認してください。

シートを操作するときは、手や足などをはさまないように十分注意する。

シートの下に物を置かない。
物がはさまってシートが固定されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

フロントシートに純正以外のシートカバーを取り付けないでください。
サイドエアバッグがシートカバーによっては、正常に機能できなくなります。フロントシートへのシートカバー装着にあたっては Honda 販売店にご相談ください。

フロントシートヘッドレスト



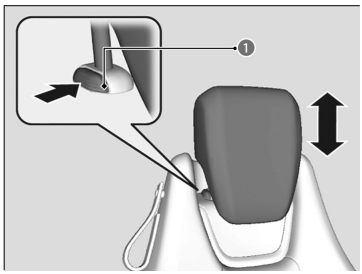
後頭部の中心が、ヘッドレストの中心に来るようにヘッドレストの高さを調節します。

⚠警告

ヘッドレストを固定できる高さを超えて使用しない。
走行前に必ず正しい位置に調節してください。

フロントシートの調整方法

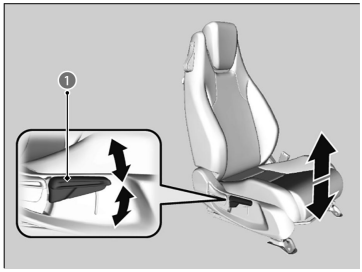
フロントマニュアルシート



ヘッドレストの調節

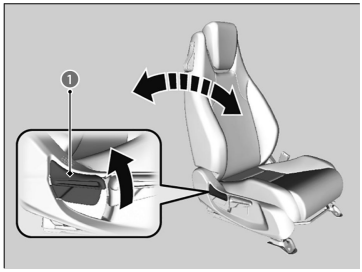
- 高くするときは、引き上げる
- 低くするときは、ノブを押しながら下げる

❶ ノブ



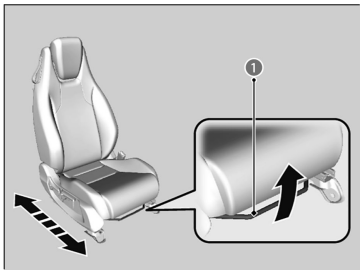
高さの調節(運転席)
レバーを繰り返し引き上げ/引き下げる。

❶ レバー



背もたれの角度調節
レバーを引き上げる

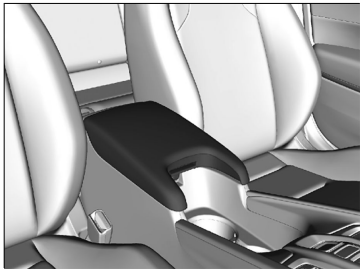
❶ レバー



前後位置の調節
レバーを引き上げる

❶ レバー

フロントシートアームレスト

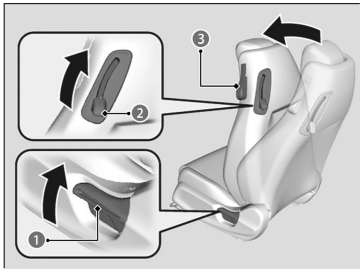


⚠警告

シートベルト着用時にアームレストに引っかけない。
万一のときにシートベルトの機能が発揮できず、重大な傷害を負うおそれがあります。

アームレストに腰をかけたり荷物を載せるなどの大きな力を加えない。
アームレストが破損するおそれがあります。

リヤシートへの乗り降り



レバーを引き上げると、背もたれが前へ倒れます。
≫後席側からはシートをスライドさせることができません。必要に応じて前席側からスライド操作してください。

❶ 前席レバー
❷ 後席用レバー
❸ ストラップ

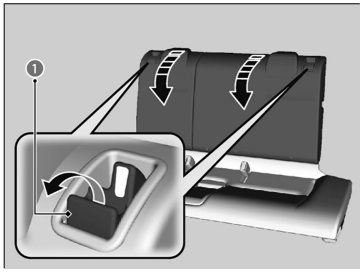
乗降時は足元に注意ください。
シートを操作したら、シートを前後にゆすり、確実に固定されていることを確認してください。

後席に乗り降りする際はフロントシートのストラップをつかまないでください。破損の原因になります。

リヤシート

背もたれの倒しかた

リヤシートを倒してカーゴスペースを広くできます。片側ずつ独立して行えます。



背もたれのレバーを引き、前方に倒す。

❶ レバー

- 背もたれを戻す場合は、シートを元に戻したら、シートを前後にゆすり、固定されていることを確認してください。

⚠注意

エンジンをかけた状態でシートを操作するときは、排気管の後方に立たない。

やけどなどの思わぬけがをすることがあります。

❗ シートを格納する前にシートの周りを確認してください。
シートの上にものやシートベルトやバックルを置いたまま操作しないでください。シートベルトやバックルが破損することがあります。

❗ 背もたれを倒すときは、カーゴスペースの荷物等を固定してください。
急停止のときなどに飛び出すおそれがあります。

リアシートリマインダー

後席への人や荷物の置き去りがないようにお知らせする機能です。この機能は、パワーモードを ON モードから OFF モードに変更するときに作動します。



マルチインフォメーションディスプレイにお知らせが表示され、音が鳴ります。

- パワーモードを OFF モードにしたとき、お知らせが行われ機能が終了します。
- このシステムは後席の人や荷物をセンサーで検出するのではなく、パワーモード変更のみを検知して後席に人や荷物がある可能性をお知らせします。

お知らせ機能が作動しないように設定することができます。
設定 ►P.194

シートベルト

シートベルトについて

シートベルトは、シートに体を固定することで安全を確保するための安全装置です。体の動きに合わせて伸縮し、強い衝撃を受けるとベルトが自動的にロックします。すべての席に三点式シートベルトが装備されています。

⚠警告

シートベルトは乗員全員が必ず正しく着用する。

シートベルトを正しく着用しないと、エアバッグが装備されていても、衝突したときに重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

乗車中は正しい姿勢を保つ。

正しい姿勢ですわらないと、衝突したときに傷害を受ける危険性が高くなります。

シートベルトの着用にあたっては、以下の点に注意してください。

- 運転者は正しい運転姿勢で、シートベルトを必ず着用
- 同乗者にも必ずシートベルトを着用
- シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、必ずチャイルドシートを使用
- 1 本のシートベルトを 2 人以上で使用しない
- ベルトにはクリップや洗たくばさみなどでたるみをつけない

シートベルトがロックしたとき

一度ベルトを強く引いてからゆるめ、ベルトをゆっくり引き出してください。

シートベルトがスムーズに巻き取られないとき

ベルトが汚れていないことを確認してください。
ベルトが汚れているとスムーズに巻き取られない場合があります。
ベルトが破損していたり、正しく作動しない場合は、ベルトを交換してください。

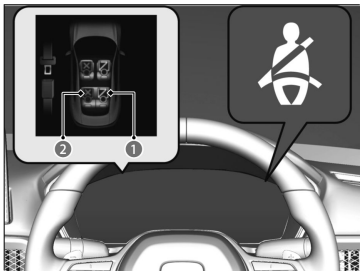
シートベルトリマインダー

▼フロント



シートベルトリマインダーは乗員のシートベルトの未着用をお知らせします。シートベルトを着用すると警告は消えます。

▼リア



❶ シートベルト着用
❷ シートベルト未着用

シートベルトを着用せずに走行した場合、停車したときや一定時間経過したときは、ブザーが停止します。

≫助手席に人がいないときでも、荷物を置くと反応することがあります。

≫助手席にお子さまや小柄な方を乗せたり、クッションを使用しているときは、反応しないことがあります。

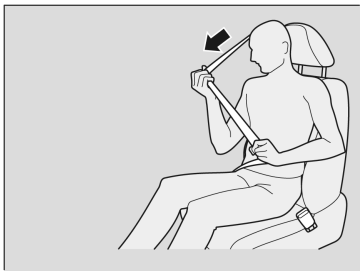
シートベルトプリテンショナー

シートベルトプリテンショナーは、フロントシートに装備しています。一定以上の前方向や側面からの衝撃を受けると自動的にシートベルトを引き込み、拘束します。
シートベルトプリテンショナーは、一度作動すると使用できません。
衝突によりシートベルトプリテンショナーが作動するとエアバッグシステム警告灯が点灯します。
衝突したときは、Honda 販売店で点検を受け、作動済みの場合は交換してください。

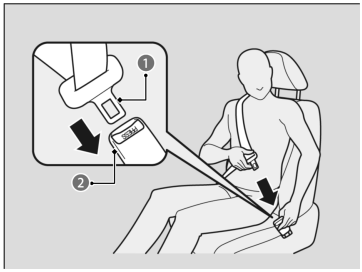
⚠注意

シートベルト引き込み装置の取り外し、分解などはしない。
誤作動や故障の原因となります。

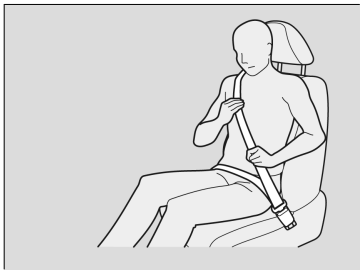
正しい着用法



[1] 正しい姿勢でシートにすわる。
[2] シートベルトをゆっくり引き出す。



[3] タングプレート（❶）をバックル（❷）に差し込む。
≫ベルトにねじれや引っかかりがないようにしてください。



[4] シートベルトが正しく着用できているか確認する。
≫肩ベルトは鎖骨の中心を通るように合わせ、首やあごに当たらないようにしてください。
≫腰ベルトは腰骨のできるだけ低い位置に合わせてください。
≫ベルトにたるみやねじれがないようにしてください。
[5] ベルトを引っ張り、バックルが固定されていることを確認する。

- シートベルトを外すには、バックルの赤色の **PRESS** を押してください。そのとき、ベルトが完全に収納されるようベルトに手を添えてください。

シートベルトが完全に引き込まれた位置でロックされた場合、一度シートベルトをしっかりと引っ張り、そしてもう一度巻き取らせることでロックが解除できます。
シートベルトロックを解除することが出来ない場合、そのシートに着座しないでください。
シートベルトについて ►P.71

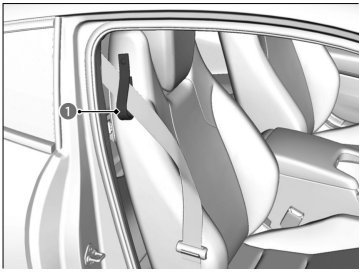
⚠注意

肩ベルトは腕の下に通したり、首の後ろに回さない。
シートベルトを正しく着用しないと、本来の機能を果たさず衝突時などに、けがをするおそれがあります。

シートベルトを十分に機能させるため、バックルおよび自動巻き取り装置の内部に異物を入れないようにしてください。

シートベルトの分解、改造はしないでください。正常に作動しないおそれがあります。

- 前席のシートベルトをストラップに通しておくと、シートベルトが取りやすくなります。
- 前席を調節してストラップがピラーより後方にある場合、ストラップを使用しないでください。
- シートベルトの巻き戻りが悪いときはシートベルトに手を添えて巻き戻してください。
- シートバックの操作や後席への乗り降りのとき、ストラップに強い力を加えないでください。



1 ストラップ

- シートベルトを着用した状態で事故にあったときは、Honda 販売店で点検を受け、ベルトが破損していたり、正しく作動しない場合は、ベルトを交換してください。

妊娠中のかたの着用法



肩ベルトは腹部を避け胸部にかかるように着用する。
腰ベルトは腹部を避けて、必ず腰骨のできるだけ低い位置にぴったり着用する。

⚠注意

妊娠中のシートベルト着用は、医師に確認する。

万一のとき、腹部、胸部、肩部などに圧迫を受けることがあります。

妊娠中のかたが運転または同乗するときは、ご自身と赤ちゃんを守るために、常に三点式シートベルトを着用してください。

妊娠中のかたは以下の点を注意してください。

万一の衝突時にフロントエアバッグによって、ご自身と赤ちゃんが傷害を受ける危険性が軽減されます。

- 運転するときは上体を起こして、運転に支障のない範囲でシートをなるべく後ろに下げる
- 助手席にすわる場合も、シートはできるだけ後ろに下げる

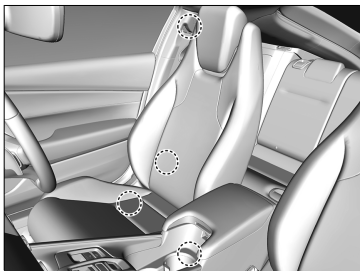
シートベルトの点検方法

シートベルトを安全にお使いいただくために、以下の点検を定期的に行ってください。異常がある場合は Honda 販売店で点検を受けてください。

- すべてのベルトをいっぱいまで引き出し、ほつれ、破れ、焼けこげ、すり切れがないか
- バックルが確実に固定されているか
- ベルトがスムーズに巻き取られるか

シートベルトのアンカーポイント

▼ フロントシート



▼ リヤシート



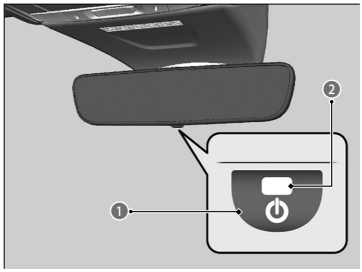
シートベルトを交換する場合、図の中で示されるアンカーポイントを使用してください。
フロントシートおよびリヤシートには三点式シートベルトが使われています。

ミラー

ルームミラー

ルームミラーの角度は、正しい運転姿勢ですわった位置で走行前に調節してください。

自動式防眩ミラー



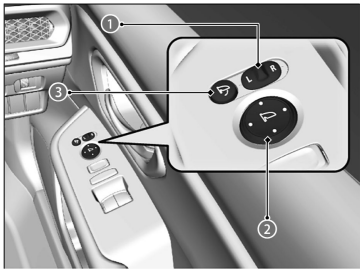
夜間走行時、後続車のヘッドライトの反射を自動的に弱くできます。
パワーモードが ON モードで、オートミラースイッチが ON のときに作動します。スイッチを押すごとに ON、OFF が切り換わります。
ON にすると表示灯が点灯します。

≫シフトポジションを R にしているときは、自動式防眩ミラーは解除されます。

❶ オートミラースイッチ
❷ 表示灯

ドアミラー

ドアミラーの操作は、パワーモードが ON モードのときに作動します。



❶ 左右切り換えスイッチ：

右か左を選択するスイッチです。角度調節後、中央の位置に戻します。

❷ 角度調整スイッチ：

上下左右に鏡面を動かすスイッチです。

❸ 格納スイッチ：

ドアミラーの格納ができます。もう一度押すと、元の位置に戻ります。

オートリトラミラー

キーレスエントリーシステムや Honda スマートキーシステムでのドアの施錠や解錠に連動して、パワーモードが OFF モードの状態でも、ドアミラーの格納や元の状態への復帰が行えます。

格納するときの操作方法

- Honda スマートキーの施錠ボタンを押す
- Honda スマートキーを携帯し、運転席ドア、助手席ドアのドアロックセンサーに触れるか、テールゲートのロックボタンを押す

元の位置に戻すときの操作方法

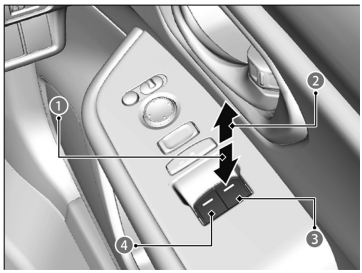
- Honda スマートキーの解錠ボタンを押す
- Honda スマートキーを携帯し、運転席または助手席ドアハンドルを握るか、テールゲートハンドルを押す
- パワーモードを ON モードにする
- 格納スイッチを押してドアミラーを格納した場合、オートリトラミラー機能ではドアミラーを元の位置に戻せません。

オートリトラミラーの設定を変更することができます。
設定 ►P.194

パワーウィンドー

パワーウィンドーの開閉方法

パワーモードが ON モードのときに、パワーウィンドーの開閉操作を行うことができます。開閉はそれぞれのドアにあるスイッチで行います。
運転席のスイッチでは、すべてのウィンドーの開閉操作を行うことができます。運転席以外のウィンドーの開閉は、運転席のパワーウィンドーロックボタンを OFF にしてから行います。パワーウィンドーロックボタンを OFF にすると、ボタンにある表示灯が消灯します。
パワーウィンドーロックボタンを ON にしておくと、運転席以外のウィンドーは作動しません。



❶ 開
❷ 閉
❸ 運転席用スイッチ
❹ 助手席スイッチ

手動開閉

希望の位置で手を放すことで、窓の開閉を調節します。
開けるとき
スイッチを軽く押す
閉めるとき
スイッチを軽く引き上げる

自動開閉

自動的に全開/全閉します。途中で止めるには、スイッチを反対側に軽く上げ/下げします。
開けるとき
スイッチを強く押す
閉めるとき
スイッチを強く引き上げる

- パワーモードを OFF モードにしても、約 10 分間は自動開閉機能付きのパワーウィンドーを開閉できます。ただし、運転席のドアを開閉すると、ウィンドーの開閉はできなくなります。
- はさみ込み防止のため、障害物を検知するとウィンドーが少し開いて止まります。

- 故障や路面、走行条件による衝撃などではさみ込み防止機構が作動し、自動でウィンドーを閉めることができなくなったときは、スイッチを軽く引き上げ続けると閉めることができます。

お子さまだけを車内に残さない。必ずHondaスマートキーを携帯しドアをロックしてお子さまと一緒に車外に出てください。

⚠警告

パワーウィンドーを閉めるときは、同乗者が窓から手や顔などを出していないことを確認する。

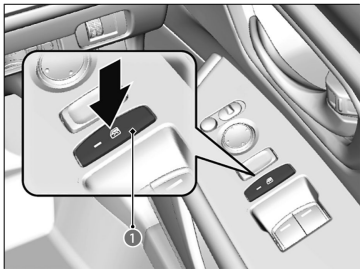
手や顔などをパワーウィンドーにはさむと、重大な傷害を負うおそれがあります。特にお子さまには気をつけてください。

⚠注意

指などをはさみ込まないように注意する。

確実に閉めるため、閉め切る直前の部分に、はさみ込みを検知しないエリアがあります。

パワーウィンドーロックボタン



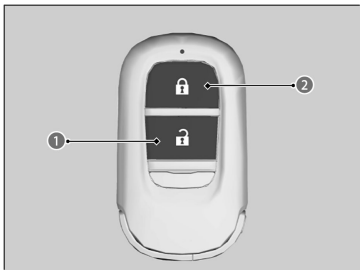
パワーウィンドーロックボタンをON（表示灯点灯）にしておくと、運転席以外のウィンドーは作動しません。

❶ パワーウィンドーロックボタン

お子さまを乗せているときなどは、パワーウィンドーロックボタンをONにしておいてください。

キーレスエントリーシステムを使った開閉方法

キーレスエントリーシステムを使用してパワーウィンドーの開閉が行えます。



開けるとき
キーレスエントリーシステムで解錠後、10 秒以内に再度、解錠ボタン（❶）を押し続ける。

閉めるとき
キーレスエントリーシステムで施錠後、10 秒以内に再度、施錠ボタン（❷）を押し続ける。

❶ 解錠ボタン
❷ 施錠ボタン

テールゲート

テールゲートの開閉時の注意

テールゲートを開閉する前に、必ず人や物がテールゲートから離れていることを確認してください。

- テールゲートは上までしっかりと開ける。
  ≫途中までしか開けていないと、自重で閉まることがあり、手などをはさむおそれがあります。
- 風にあおられてテールゲートが閉まらないようにする。
  ≫テールゲートにはさまれて、けがをするおそれがあります。

お子さまだけを車内に残さない。必ず Honda スマートキーを携帯してドアをロックしてお子さまと一緒に車外に出てください。

- テールゲートを開けたまま走行しない。
  ≫テールゲートが破損するおそれがあります。
  ≫車内に排気ガスが侵入し、有毒な一酸化炭素などを吸い込むおそれがあります。
  一酸化炭素について ▶P.19
- Honda スマートキーは運転者が携帯してください。
- 作動範囲内に Honda スマートキーがある場合、携帯していない人がテールゲートを解錠できます。

⚠注意

テールゲートを閉めるときは、頭をぶつけたり手をはさまないようにする。

重大な傷害を負うおそれがあります。特にお子さまには気をつけてください。

⚠注意

エンジンをかけた状態で手荷物を出し入れするときは、排気管の後方に立たないようにする。

やけどなどの思わぬけがをすることがあります。

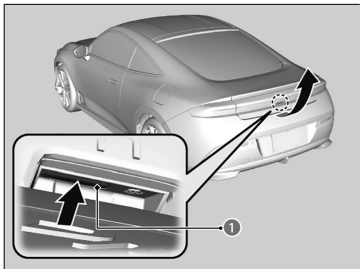
カーゴスペース内に、人を乗せない。

ブレーキや加速、衝突のときにけがをするおそれがあります。

テールゲートの開閉方法

テールゲートハンドルを使った開閉方法

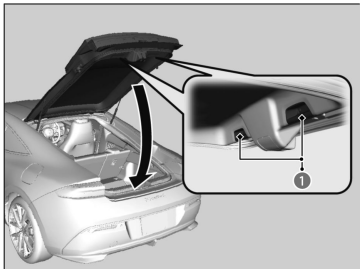
開ける場合の操作方法



ドアを解錠し、テールゲートハンドルを押して引き上げる。

❶ テールゲートハンドル

閉める場合の操作方法



テールゲートのインナーハンドルを持って引き下げ、外側より押して閉めます。

❶ インナーハンドル

運転するときの操作

パワーシステムの起動・停止

パワーモードについて…… 86
パワーシステムの起動…… 87
パワーシステムの停止…… 88
こんなときは…… 88

シフト操作

シフトポジションについて…… 89

ブレーキ

フットブレーキ…… 92
電子制御パーキングブレーキ…… 92
オートマチックブレーキホールド…… 95
ABS（アンチロックブレーキシステム）…… 98
エマージェンシーストップシグナル…… 98
こんなときは…… 99

発進・走行中

発進時の操作……100

駐停車

駐停車の操作……102

リアワイドカメラシステム

リアワイドカメラシステムについて…… 104

給油

指定燃料とタンク容量…… 106
給油のしかた……106

ウィンカー・ライト

ウィンカー（方向指示器）の操作方法……110
ヘッドライト・車幅灯…… 110

ワイパー・ウォッシャー

フロントワイパー・ウォッシャーの操作方法‥116
こんなときは……118

デフロスター（くもり止め）

デフロスターの使用方法……119
こんなときは……120

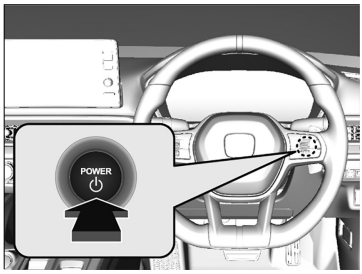
走行に関する機能

ドライブモード…… 121
減速セレクター…… 123
Honda S+ Shift…… 125
車両接近通報装置……126
VSA（ビークルスタビリティアシスト）…… 126
アジャイルハンドリングアシスト…… 128

パワーシステムの起動・停止

パワーモードについて

パワーモードの切り換え一覧



Honda スマートキーを携帯し、パワーボタンを押すごとにモードが切り換わります。

OFF モード（消灯）
すべての電源が OFF になる

アクセサリーモード
オーディオシステムなどのアクセサリーが使用できる

ON モード
すべてのアクセサリーが使用できる

- Honda スマートキーが車内にある場合にパワーモードを切り換えることができます。
- Honda スマートキーが車外にあっても、ドアやドアガラスに近づきすぎていると、パワーモードが ON モードになることがあります。
- 小物入れなど車両との通信に影響がある場所に Honda スマートキーが置かれている場合、パワーモードが切り換わらないことがあります。

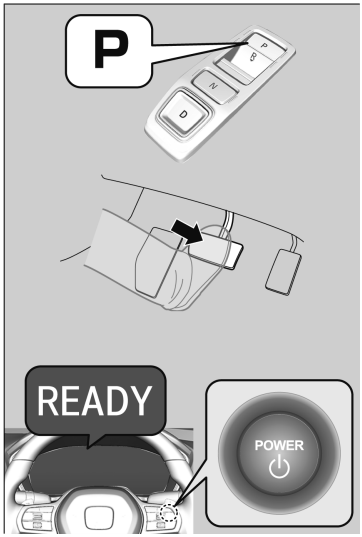
パワーモードオートオフ機能

シフトポジションが P でパワーモードがアクセサリーモードのときに 30 分～60 分経過すると、12V バッテリー保護のため自動的にパワーモードが OFF モードになります。

パワーモード警告ブザー

パワーモードがアクセサリーモードの状態で、運転席ドアを開けた場合、警告ブザーが鳴ります。

パワーシステムの起動



[1] パーキングブレーキスイッチをゆっくりと確実に引き上げる。

電子制御パーキングブレーキ ►P.92

[2] シフトポジションが P の状態でブレーキペダルを踏み、 POWER を押す。

≫READY 表示灯が点灯すると、運転することができます。

≫READY 表示灯が点灯するまでブレーキペダルを踏み続けてください。

≫外気温が極端に低いときは、READY 表示灯が点灯せず条件が整うまで走行できません。

⚠警告

12V バッテリー液が不足しているときは、パワーシステムを起動しない。

12V バッテリーが破裂するおそれがあります。

⚠注意

パワーシステム起動時は、ブレーキペダルをしっかりと踏む。

❗ 思わぬ事故を防ぐため、起動時にアクセルペダルを踏まないでください。

- 寒いときのパワーシステムの起動は、12V バッテリーの消耗を防ぐためにライト、空調などの電気アクセサリーを OFF にしてください。
- 起動しない場合は、30 秒以上待ってから再度操作してください。
- Honda スマートキーが強い電波を受けていると、パワーシステムが起動しないことがあります。

- パワーシステムが低温のとき、「パワーシステム低温 急発進・急加速・高速走行を避けてください」が表示されることがあります。パワーシステムが適正な温度に戻ると、メッセージが消えます。消えないときは、Honda 販売店で点検を受けてください。

パワーシステムの停止

車が完全に停車した状態でシフトポジションを P にし、 POWER を押す。

こんなときは

Honda スマートキーの電池が切れているとき

起動するには、キーを POWER にかざして直接認識させる必要があります。

スマートキーの電池が切れたときの起動方法 ►P.341

Honda スマートキーの電池は早めの交換をお勧めします。

スマートキーの電池交換方法 ►P.326

パワーシステムが起動しないとき

あらかじめ登録されたキーが必要です。

イモビライザーシステム ►P.49

Honda スマートキーをインストルメントパネル上、カーゴスペースやグローブボックス、ドアポケットなどの各種小物入れに置いた場合、電波状態によってはパワーモードの ON 機能が作動しないことがあります。

パワーシステムの起動時にブレーキペダルが押し込まれる感じがあるとき

ブレーキ装置の作動によるものです。

排気音が変わったり、車内でガソリンや排気ガスのにおいが消えないとき

排気系や燃料系の異常が考えられます。Honda 販売店で点検を受けてください。

ボンネット内からモーター音が聞こえたとき

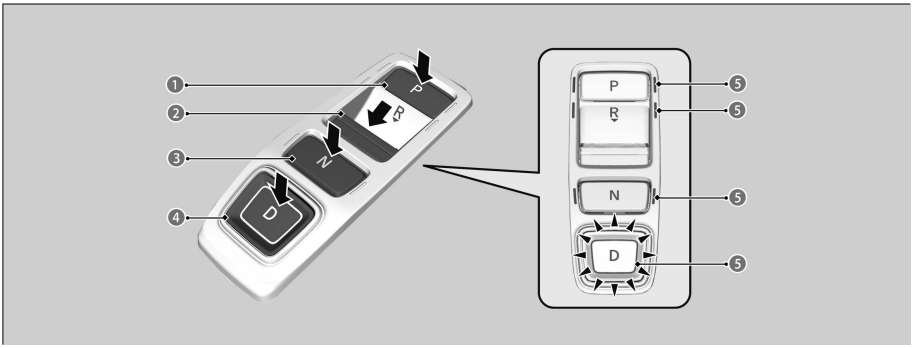
パワーシステムの起動直後や走行中にシステムチェックのため、ボンネット下からモーター音が聞こえることがあります。

POWER を押しても電源が OFF にならないとき

シフトポジションを P にしてください。

シフト操作

シフトポジションについて



❶ **P パーキング：** P スイッチを押す

≫駐車またはパワーシステム起動時に使用

❷ **R リバース：** R スイッチを押す

≫車を後退させるときに使用

❸ **N ニュートラル：** N スイッチを押す

≫駆動力を伝達させないときに使用

❹ **D ドライブ：** D スイッチを押す

≫通常走行時に使用

≫一時的に減速セレクターを使用するとき

≫メーターに **M** が表示されているときは、減速セレクターの状態に固定

❺ シフトポジション表示

駐車時の注意：

パワーモードが ON モードの状態で車両を安全な場所に駐車し、ブレーキペダルを踏みながら P スイッチを押してください。

≫P スイッチのシフトポジション表示が点灯します。

メーターの表示



❶ シフトポジション表示灯/トランスミッション警告灯

- シフト操作の前後に、シフトポジション表示灯とシフトポジション表示を確認してください。
- 外気温がマイナス 30 度以下とき、シフトポジションの表示が少し遅れることがあります。

トランスミッションの破損を防ぐため、車が完全に停車した状態でブレーキペダルを踏んだまま前進と後退を切り替えてください。
シフトポジションを P に切り換えるときは、 メーターのシフトポジション P が表示されるまでブレーキペダルを離さないでください。

トランスミッション警告灯が点滅しているときは、トランスミッションに異常があります。急加速を避け、Honda 販売店で点検を受けてください。

故障と予期しない作動を防止するため：
- シフトポジションスイッチに液体などをこぼさないでください。
- シフトポジションスイッチやまわりに、衝撃を与えたりものを落とさないでください。
- お子さまや運転者以外の方がシフトポジションスイッチを操作しないようご注意ください。

シフトポジション P 自動選択機能

ドア Open 自動パーキング選択制御

以下の条件を満たすとき、運転席ドアを開けるとシフトポジションが自動で P になります。
- パワーモードが ON モードで車が停止、または車速が 2 k m/h 以下のとき
- シフトポジションが P 以外のとき

- 運転席のシートベルトをはずしたとき

> ! システムは条件が揃うと自動でPに変更されますが、安全のために駐車をするときは運転席ドアを開ける前にシフトポジションをPにしてください。
> 駐停車の操作 ►P.102

> ! 自動でシフトポジションがPに切り替わった後に発進する場合は、ドアを閉めてシートベルトを装着し、シフト操作をしてください。

パワーモード Off 自動パーキング選択制御

停止中にシフトポジションがP以外のまま、パワーモードを OFF モードにすると、シフトポジションが自動でPになります。

シフトポジションの選択制限

不正な操作をすると安全のため、シフトポジションの選択が制限されます。
≫安全な状態でブレーキペダルを踏んで停車し、適切なシフトポジションを選択してください。
≫READY 表示灯の点灯していることを確認してください。

選択前のシフトポジション	1. 操作・走行状態	2. 選択したシフトポジション	3. 選択後のシフトポジション
P	ブレーキペダルを踏んでいない	他のシフトポジションを選択する	P
	アクセルペダルを踏んでいる		
N	低速走行中で、ブレーキペダルを踏んでいない	他のシフトポジションを選択する	N
	低速走行中で、アクセルペダルを踏んでいる		
N D	前進している	R	N
R N	後退している	D	N
R N D	走行中	P	N
P N	READY 表示灯が点灯していない	P、N以外を選択する	P N

ブレーキ

フットブレーキ

車の減速や停止をするためのブレーキで、ブレーキペダルで操作します。

≫ブレーキペダルを踏んだとき、ブレーキ装置の作動のためエンジンルームからモーター音などが聞こえることがあります。

> ❗ 水たまりを走行したときは、ブレーキの効き具合を確認してください。
> 効きが悪いときは、効き具合が戻るまでブレーキペダルを何回か軽く踏んでください。

> ❗ ブレーキを踏んでいる間、絶えず金属的な摩擦音が聞こえる場合はブレーキパッドを交換が必要です。
> Honda 販売店で点検を受けてください。

> ❗ 長い下り坂では、ブレーキペダルを踏み続けないでください。
> ブレーキが過熱し、ブレーキの効きが悪くなり危険です。長い下り坂などでは回生ブレーキも使用してください。

電子制御ブレーキアシスト

緊急制動時に、より大きな力を発生させ運転者のブレーキ操作を補助する装置です。ブレーキペダルを強く踏み込んだときに、ブレーキがより強く効くようになります。

≫ブレーキアシストが作動すると、ペダルが小刻みに動いたり、作動音が聞こえたりすることがあります。

電子制御パーキングブレーキ

停車中や駐車時に使用するブレーキです。自動での解除および手動での操作ができます。

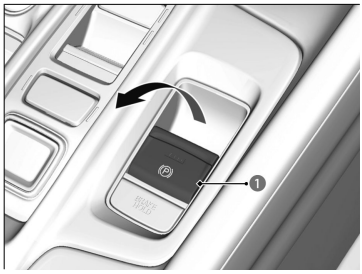
- パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。
- パーキングブレーキを操作するとブレーキペダルが動くことがあります。

- 12V バッテリーがあがっているときは、パーキングブレーキをかけたり解除することはできません。

ジャンプスタートの方法 ►P.343

- 走行中にパーキングブレーキスイッチを引き続けると、その間はパーキングブレーキがかかります。

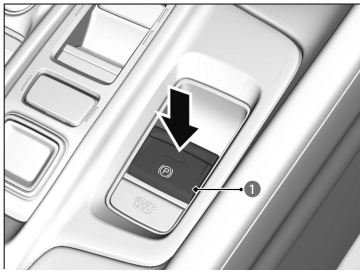
手動でパーキングブレーキをかける



パーキングブレーキスイッチ（❶）を引き上げる。

≫パーキングブレーキが作動すると、スイッチのインジケーターとブレーキ警告灯（レッド）が点灯します。

手動でパーキングブレーキを解除する

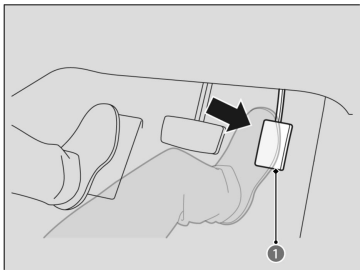


右足でブレーキペダルをしっかりと踏んだ状態で、パーキングブレーキスイッチ（❶）を押す。

≫スイッチのインジケーターとメーター内のブレーキ警告灯（レッド）が消灯します。

- パワーモードが ON モードのときに操作してください。
- 急な下り坂の発進時などに利用するとスムーズな発進を行うことができます。

自動でパーキングブレーキを解除する



アクセルペダル（❶）をゆっくりと踏み、車両を発進させる。

≫ブレーキ警告灯(レッド)が消灯します。

次の警告灯が点灯しているときは、自動解除できないことがあります。

- PGM-FI 警告灯
- トランスミッション警告灯
- ブレーキシステム警告灯（オレンジ）
- VSA 警告灯
- ABS 警告灯
- エアバッグシステム警告灯

> ❗ 運転席シートベルトを装着していない場合はパーキングブレーキは自動で解除されません。

自動パーキングブレーキ作動機能

パワーモードを OFF モードにすると自動でパーキングブレーキがかかります。
≫この機能は工場出荷時 OFF になっています。

自動作動機能の ON/OFF

パワーモードが ON モードのときに、以下の操作で ON と OFF が切り替わります。

[1] シフトポジションを P にする
[2] ブレーキペダルを踏まずにパーキングブレーキスイッチを引き上げる。
≫ブレーキ警告灯（レッド）が点灯していることを確認してください。
[3] パーキングブレーキスイッチを引き上げたままにする。音が鳴り始めたら手を離し、3 秒以内に再びパーキングブレーキスイッチを引き上げたままにする。
[4] 操作完了音が聞こえたらスイッチから手を離す。
≫ON:「ピーッ ピーッ」と鳴ります。
≫OFF:「ピー」と鳴ります。
≫パーキングブレーキの作動状態は、ブレーキ警告灯（レッド）で確認してください。

以下の状態のときは、パーキングブレーキが自動で作動します。

- 渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール（ACC）またはブレーキホールドシステムにより 10 分以上停車したとき
- 渋滞追従機能付 ACC またはブレーキホールドシステムによる停車中に運転席のシートベルトを外したとき
- 渋滞追従機能付 ACC またはブレーキホールドシステムによる停車中にパワーモードを OFF にしたとき
- ブレーキホールドシステム作動中にシステムに問題が発生したとき

寒冷時は、自動パーキングブレーキ作動機能を OFF にし、石などで輪留めをしてください。パーキングブレーキをかけると、凍結するおそれがあります。また、自車をけん引するなど、必要に応じて機能を OFF にしてください。

自動作動機能の一時 OFF

下記操作を行うと自動作動が一時的に OFF になります。

[1] ブレーキペダルを踏んで停車する。

[2] パワーモードを OFF モードにした後、2 秒以内にパーキングブレーキスイッチを押す。

≫自動作動機能の ON/OFF 設定は変わりません。

≫渋滞追従機能付 ACC、オートマチックブレーキホールドシステムが OFF の状態で行ってください。

≫パーキングブレーキの作動状態は、ブレーキ警告灯（レッド）で確認してください。

オートマチックブレーキホールド

停車中に、ブレーキペダルを踏み続けなくてもブレーキを保持する機能です。保持中に発進操作をすると、自動でブレーキが解除されます。信号待ちや渋滞などの一時的な停車に適しています。

⚠警告

急な坂道やすべりやすい路面の場所では、ブレーキペダルから足を離さない。

急な坂道やすべりやすい路面の場所では、オートマチックブレーキホールドが作動していても、ブレーキペダルから足を離したときに車が動くことがあります。

不意に車が動くことにより衝突の原因となり、重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

駐車をする目的でオートマチックブレーキホールドを作動させない。

不意に車が動くことにより衝突の原因となり、重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

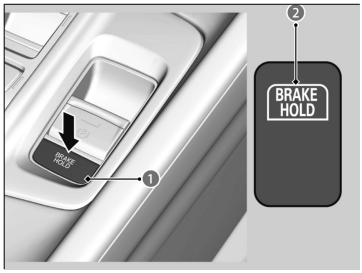
オートマチックブレーキホールドシステム作動中は絶対に車から離れないでください。駐車する際はシフトポジションを P にしてパーキングブレーキをかけてください。

オートマチックブレーキホールドを使用する際は、オートマチックブレーキホールド表示灯が点灯するまでブレーキペダルから足を離さない。

不意に車が動くことにより衝突の原因となり、重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

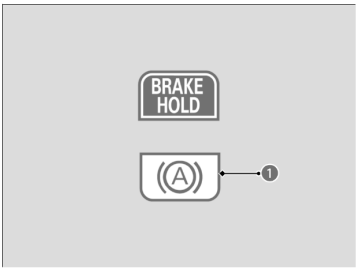
オートマチックブレーキホールド表示灯が点灯した後にブレーキペダルから足を離してください。

作動方法



［1］シートベルトを着用し、パワーシステムを起動してからオートマチックブレーキホールドスイッチ（❶）を押す。

≫オートマチックブレーキホールドシステム表示灯（❷）が点灯し、システムが待機状態になります。



[2] シフトポジションが D の状態で、ブレーキペダルを踏んで停車する。

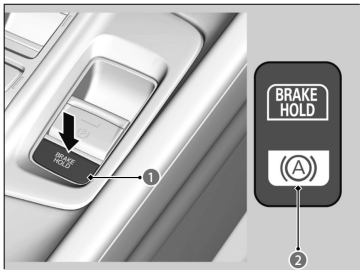
≫オートマチックブレーキホールド表示灯（❶）が点灯し、ブレーキホールド機能が作動します。ブレーキペダルから足を離してください。

≫ブレーキホールド機能は、10 分間作動します。

次回以降のパワーシステム起動時に運転席シートベルトを着用すると、待機状態で復帰します。

> ❗ 自動洗車機を使用するときは、システムが OFF になっていることを確認してください。

システムの OFF



❶ を押すと、システムが OFF になります。❷ が点灯しているときは、ブレーキペダルを踏みながら OFF にしてください。

システムを OFF にした場合は、次回以降のパワーシステム起動時も OFF のままです。

ブレーキホールド機能が自動的に解除されるとき

- パーキングブレーキスイッチを引いたとき
- シフトポジションが P もしくは R で、ブレーキペダルを踏んでいるとき

ブレーキホールド機能が自動的に解除されてパーキングブレーキが作動するとき

- 10 分以上ブレーキを保持したとき
- 運転席のシートベルトを外したとき
- パワーシステムを停止したとき

- オートマチックブレーキホールドシステムに問題が発生したとき

ABS（アンチロックブレーキシステム）

10km/h 以上で走行時に急制動や滑りやすい路面で制動するとき、車輪のロックを防止することで車両の姿勢を安定させ、ハンドルの効きを確保しようとするための装置です。

- ブレーキペダルを踏んだとき、ブレーキペダルが小刻みに動くことがありますが、これは ABS の正常な動作です。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- ABS は、制動距離を短くするためのものではありません。路面が滑りやすいほど長い制動距離が必要になります。

> ABS を正常に機能させるために、タイヤは必ず指定サイズ、同一種類のタイヤを指定空気圧で使用してください。

> 運転中に ABS 警告灯が点灯するときは、システムの異常が考えられます。通常のブレーキ操作には支障はありませんが、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

エマージェンシーストップシグナル

60km/h 以上で走行時に急ブレーキをかけると、非常点滅表示灯が高速で点滅し、後続車に急ブレーキを知らせるシステムです。
以下の状態になると、エマージェンシーストップシグナルが停止します。

- ブレーキペダルを離したとき
- ABS が停止したとき
- 急減速でなくなったとき
- ハザードスイッチを ON にしたとき

> エマージェンシーストップシグナルは、追突されるおそれを低減するシステムであり、追突を完全に防ぐものではありません。
> 運転するときは不必要な急ブレーキを避け、安全運転を心がけてください。

こんなときは

ブレーキをかけた時、ブレーキの鳴きが発生するとき

様々な運転条件下での性能を満たすために、高性能ブレーキシステムが装備されています。車速、減速度、湿度など、特定の条件下でブレーキ鳴きが聞こえる場合があります。

発進・走行中

発進時の操作

[1] ブレーキペダルを踏んだ状態で、シフトポジションを選択する。
[2] ブレーキペダルを徐々に離し、アクセルペダルをゆっくりと踏む。
≫パーキングブレーキは自動で解除されます。パーキングブレーキスイッチの操作でも解除することができます。
電子制御パーキングブレーキ ►P.92

⚠注意

アクセルペダルを踏んだまま、シフトポジションを操作しない。
急発進して思わぬ事故の原因となります。

走行中はシフトポジションを N にしないでください。
回生ブレーキが全く効かず、思わぬ事故の原因となります。

ハイブリッド車は走行可能な状態でも、エンジン音や振動がでないことがあり、走行可能な状態であることに気がつかない場合があります。
READY 表示灯で車両の状態を確認してください。

走行中はパワーシステムを停止しないでください。下記の状態になり危険です。
- ブレーキの倍力装置が作動しないため、ブレーキの効きが悪くなる
- パワーステアリングのパワー装置が作動しないためハンドル操作が重くなる

1,000km 走行するまでは、エンジンや駆動系の保護のため急発進、急加速を避け、控えめな運転をしてください。

滑りやすい路面やカーブでは、アクセルペダルは特に慎重に操作してください。

ヒルスタートアシストシステム

坂道での発進時にブレーキペダルから足を離したとき、車両の動き出しを緩和するためにブレーキ力を短時間保持します。

≫非常に急な坂道では車両の動き出しを緩和できない場合があり、緩やかな坂道ではシステムが作動しないことがあります。

クリープ現象

シフトポジションがDまたはRのとき、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくり動き出します。

≫停止時はブレーキペダルをしっかりと踏むか、オートマチックブレーキホールドが作動していることを確認してください。

オートマチックブレーキホールド ►P.95

キックダウン

▼Honda S+ Shift ON時

シフトポジションがDで走行中にアクセルペダルをいっぱいに踏み込むと、オートマチック車のキックダウンのように力強く加速します。

≫滑りやすい路面やカーブに注意し、アクセルペダルは慎重に操作してください。

駐停車

駐停車の操作

[1] ブレーキペダルをしっかり踏んで車両が停止したことを確認する。
[2] ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキスイッチをゆっくりと確実に引き上げる。
[3] シフトポジションを P にし、パワーシステムを停止する。
≫メーターのシフトポジション P が表示されるまでブレーキを離さないでください。
≫車から離れるときは必ず施錠してください。

⚠注意

駐車時はパワーシステムを停止する。
万一、シフトポジションが P ・ N 以外に入っていた場合、クリープ現象により車が動き出したり、乗り込む際に誤ってアクセルペダルを踏み、急発進するおそれがあります。

⚠注意

停車中は不必要にアクセルペダルを踏み込まない。
万一、シフトポジションが P ・ N 以外の場合、思わぬ急発進のもとになります。

❗ 坂道に駐車をするときは、かならずパーキングブレーキをかけてください。

❗ 以下を行うと、駆動系が損傷したり、パワーシステムのオーバーヒートの原因となります。
- アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏む
- 車が完全に止まらないうちに P に入れる
- 上り坂で、アクセルを調節しながら車を停車させる

燃えやすいものがあるところには駐停車しないでください。排気管や排気ガスの熱により、着火するおそれがあります。

寒冷時は、パーキングブレーキをかけずに、輪留めをしてください。路面の凍結によって車が動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

シフトポジションを N にすると同時に POWER スイッチを押さないでください。N ポジションの状態になることがあります。シフトポジションは P にしてください。

リアワイドカメラシステム

リアワイドカメラシステムについて

シフトポジションを R にすると、画面に車両後方の映像が自動的に表示されます。

- 強い光のカメラへの差し込みや、カメラが高温になったり、暗い場所や雨などでカメラ映像が見にくくなった場合は、目視やミラーで直接確認してください。
- 汚れや水滴で映像が見えにくい時は、ぬれた柔らかい布などで汚れを拭き取ってください。
- カメラには特殊なレンズを使用しているため、画面に表示される映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。画面に表示される映像の範囲には限度があり、バンパーの両コーナー付近やバンパー下にあるものは表示されません。

⚠警告

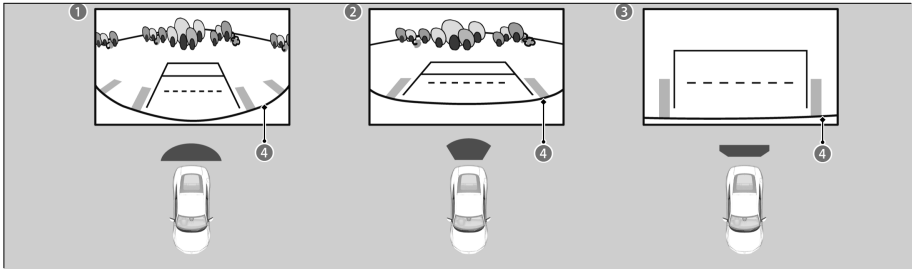
後退時は、必ず目視やミラーなどで後方および周囲の安全を直接確認して運転する。画面を見るときは必要最小限にする。

画面に表示される映像の範囲には限度があるため、画面だけを見て後退すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

! シフトポジションを R に入れたときに画面に後方の映像が表示されない場合は、システムの故障が考えられます。
ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

カメラモードの切り替え

3つのカメラモードを確認できます。アイコンを選択してモードを切り替えます。

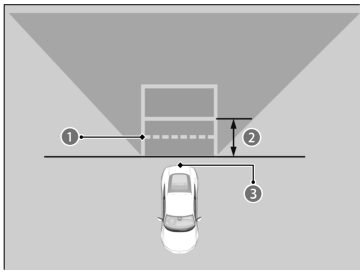


❶ ワイドビューモード
❷ ノーマルビューモード
❸ トップダウンビューモード

❹ バンパー

- 最後にノーマル、またはワイドビューを表示していた場合は、次回リアカメラを表示したときも同じビューで表示します。
- 最後にトップダウンビューを表示していた場合で、再度パワーモードを ON にしてからリアカメラを表示したときはワイドビューを表示します。
- トップダウンビューでリアカメラ表示を解除して約 10 秒以上経過し、再度リアカメラを表示するとワイドビューが表示されます。

ガイド線の距離



❶ 約 50 cm
❷ 約 1 m
❸ カメラ

車両からの距離を示す目安ガイド線表示と、ハンドル操作に合わせてガイド線が動く予測ガイド線表示の ON/OFF を設定できます。
設定 ►P.194

ガイド線はあくまでも参考としてお使いください。
ガイド線とカメラ映像が示す距離は、車高の変化や路面の状態の影響などにより、実際の距離と異なることがあります。

画面の調整

カメラ映像表示中に アイコンを選択すると画面の明るさを調整することができます。
この画面調整は、カメラの画面にのみに適用されます。

給油

指定燃料とタンク容量

指定燃料

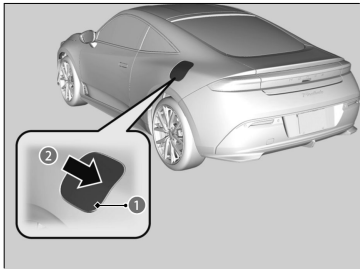
- **無鉛レギュラーガソリン**
- **レギュラーバイオ混合ガソリン（E10/ETBE22）**

> **!** 指定燃料以外の燃料（粗悪ガソリン、軽油、灯油等）を補給したり、不適切な燃料添加剤を使用しないでください。触媒装置、エンジンや燃料系などの損傷や悪影響を与えるおそれがあります。
> プレミアムガソリンも使用できますが、本来のエンジン性能が大きく変わることはありません。

タンク容量

- 40 リットル

給油のしかた



［1］パワーシステムを停止し、運転席ドアを解錠する。
≫車の外側のフューエルリッド（❶）が解錠されます。
［2］フューエルリッドの右端（❷）を音がするまで押し、手を離すとリッドが少し浮き上がります。



［3］ツマミをゆっくり回し、フューエルキャップ（❶）を開ける。
［4］キャップをホルダー（❷）にかける。

[5] 給油ノズルを奥まで差し込み、給油する。
[6] 給油後、「カチッ」という音が 1 回以上するまでキャップを締め、フューエルリッドを閉める。

- 降車時オートドアロック機能を使用すると、フューエルリッドも施錠されます。 フューエルリッドを開ける前に、必ず運転席ドアとフューエルリッドの両方が解錠されていることを確認してください。

降車時オートドアロック機能を用いた施錠方法 ▶P.56

⚠警告

燃料補給時は火気厳禁。

燃料や燃料蒸気は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。燃料を扱っているときは下記の項目を厳守してください。

- エンジンは常に停止させる
- 炎、火花を近づけない
- たばこを吸わない
- 燃料の取り扱いは屋外で行う
- こぼれた燃料はすみやかに拭き取る

燃料補給作業は、フューエルキャップを開ける前に車体などの金属に触れて身体の静電気を除去してから行う。

静電気の放電による火花により気化したガソリンに引火し、やけどを負うおそれがあります。

⚠注意

キャップはゆっくり開ける。
急激に開けると燃料補給口より吹き返しが発生し、火災になるおそれがあります。

給油ノズルの自動停止後は、追加補給しない。
気温などの変化により燃料があふれ、火災になるおそれがあります。

キャップが確実に閉まっていることを確認する。
閉まっていないと燃料がもれ、火災になるおそれがあります。

気温などの変化により燃料があふれないように、タンク容量に達すると燃料タンクに空間を残して給油ノズルの自動停止がはたらくようになっています。
自動停止後に追加補給をすると、燃料が満タン容量以上に入ることがあります。

ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。

「シュー」という音がする場合は、その音が止まってからゆっくり開けてください。

燃料補給は、静電気を放電した人のみで行ってください。
燃料補給中に車内に戻ると、再び帯電することがあります。再度、静電気を放電してください。

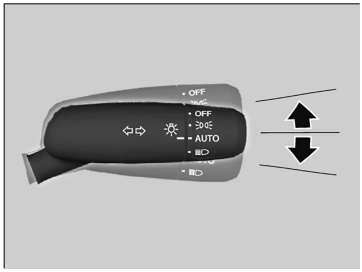
燃料蒸気を吸わないでください。有害物質を含んでいる場合があります。

Honda 純正以外のキャップを使わないでください。
純正品を使用しないと、火災などを起こすおそれがあります。

ウィンカー・ライト

ウィンカー（方向指示器）の操作方法

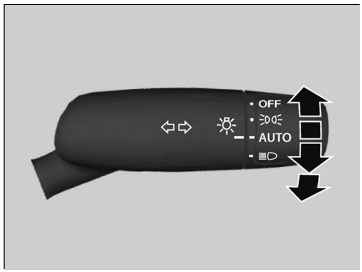
パワーモードが ON モードのときに、ウィンカースイッチを上下に操作すると、ウィンカー（方向指示器）が点滅します。
≫メーター内の ⇦⇨ 方向指示器表示灯が同時に点滅します。



ワンタッチターンシグナル
レバーを軽く押し下げ/押し上げて放すと、方向指示器が 3 回点滅します。
≫点滅中にレバーを反対方向に軽く押して放すと点滅が停止します。

ワンタッチターンシグナルの ON/OFF 設定を変更することができます。
設定 ►P.194

ヘッドライト・車幅灯



車外の明るさに応じて自動で点灯します。手動で点灯/消灯させることもできます。
≫メーター内の ≡D◇ ライト点灯表示灯が点灯します。

パワーモードが ON モードのとき、ライトスイッチを **AUTO** にすると自動点灯が作動します。

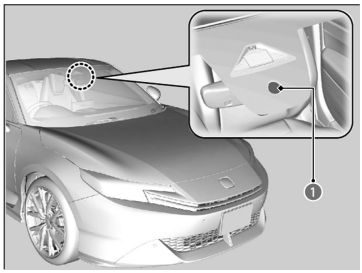
手動点灯/消灯

ヘッドライト・車幅灯の点灯：
ライトスイッチを ≡D にします。
車幅灯の点灯：
車幅灯が点灯するまでライトスイッチを ≡D◇ にして手を放します。

≫ヘッドライトは車外の明るさに応じて自動点灯します。
≫停車中に行うとヘッドライトは消灯します。低速でしばらく走行するか一定以上の車速で走行するとヘッドライトの自動点灯が再開します。
≫車幅灯の自動点灯を再開するにはスイッチを [≡O] にしたあと、 [AUTO] にします。

ヘッドライト・車幅灯の消灯：
シフトポジションが [P] もしくはパーキングブレーキをかけて停車しているとき、消灯するまでライトスイッチを [OFF] にして手を放します。
≫発進すると車幅灯の自動点灯が再開します。低速でしばらく走行するか一定以上の車速で走行するとヘッドライトの自動点灯が再開します。

車幅灯が点灯しているときは尾灯や後面側方灯、番号灯も点灯します。



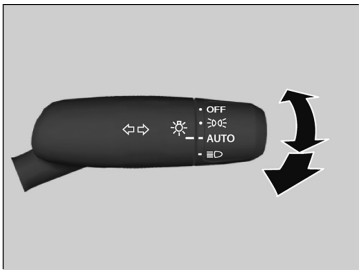
照度感知センサーは、図の位置にあります。

❶ 照度感知センサー

> ❗ パワーシステムが停止しているときにライト類を点灯したままにしないでください。
> 運転席のドアを開けたときにライト消し忘れ警告ブザーが鳴ります。
> 12V バッテリーあがりの原因となります。

重い荷物の積載時など、車両の姿勢の変化に応じてヘッドライト光軸の上下方向を自動的に調節するオートレベリング機能が付いています。ヘッドライト光軸の異常を感じたときは、Honda 販売店で点検を受けてください。

ハイビーム



ヘッドライトが点灯しているとき、レバーを前方に押すとハイビームに切り換わります。手前に引くとロービームに戻ります。
ハイビームが点灯しているときは、メーター内の ハイビーム表示灯が点灯します。

パッシング
レバーを手前に引き、放します。

ヘッドライトオートオフ機能

パワーモードを OFF モードにして、Honda スマートキーシステム、およびキーレスエントリーシステムですべてのドア、テールゲートを施錠すると、ヘッドライト、車幅灯、尾灯、後面側方灯、番号灯やインストルメントパネルの照明が消灯します。

≫運転席ドアを開けると再び点灯し、ライト消し忘れ警告ブザーが鳴ります。ライトスイッチを **AUTO** にしているときはパワーモードを OFF モードにすると消灯します。

デイタイムランニングライト

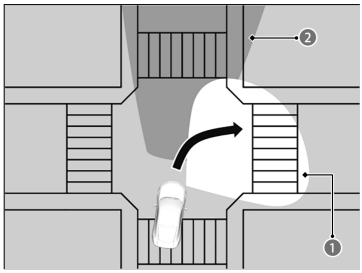
デイタイムランニングライトは以下の条件をすべて満たしたときに点灯します。

- パワーモードが ON モード
- 車両の周囲が明るい
- ヘッドライトが消灯している

消灯するには、停車しているときに消灯するまでライトスイッチを **OFF** にして手を放します。車両を発進させると再び点灯します。
デイタイムランニングライトが点灯しているときは尾灯や後面側方灯も点灯します。

デイタイムランニングライトの ON/OFF 設定を変更することができます。
設定 ►P.194

アクティブコーナリングライト

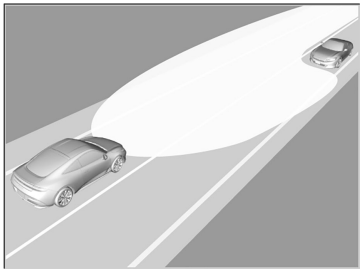


車速が 40km/h 以下の状態でヘッドライトが点灯している場合に、方向指示器やハンドル操作（約 65 度以上）、シフトポジション R の操作をすると、アクティブコーナリングライトが点灯します。
≫夜間走行時にコーナーでの視認性が向上します。

❶ コーナリングライト照射範囲
❷ ヘッドライト照射範囲

- シフトポジションを R にすると、左右のアクティブコーナリングライトが同時に点灯します。
- アクティブコーナリングライトを 5 分以上連続点灯させると、自動的に消灯します。消灯後に再度、方向指示器、ハンドル操作を行うか、シフトポジションを R に入れると点灯します。

アダプティブドライビングビーム



夜間走行時にフロントワイドビューカメラで前方車両のライトや街灯などを検知し、状況に応じてハイビームとロービームが自動で切り換わります。また、先行車や対向車への眩惑を軽減するため、ハイビームの配光が自動で調整されます。
さらに、ロービーム点灯中、かつ車速 40km/h 以下ではロービームの照射範囲を広げ、左右の視認性を向上させます。

アダプティブドライビングビームはあらゆる状況で作動する機能ではありません。あくまでも、運転者をアシストするための機能です。常に周囲の状況を確認し、必要に応じて手動でハイビームとロービームを切り換えてください。
カメラが認識できる範囲や距離は周囲の状況により変化します。
フロントガラス上部に装備されているカメラの取り扱いについては下記を参照してください。
フロントワイドビューカメラ ►P.217

アダプティブドライビングビームを正しく動作させるために次のことをお守りください。

- インストルメントパネルの上に光を反射するものを置かない
- カメラ付近のガラスはきれいにしておく

- フロントガラスのお手入れのときは、ガラスクリーナーがレンズに付着しないようにする
- カメラ付近のガラスにアクセサリー、ステッカーやフィルムを取り付けない
- カメラのレンズに触れない

カメラに強い衝撃が加わったときやカメラ周辺の修理を行うときは Honda 販売店にご相談ください。

次のような場合、ヘッドライトの切り換えタイミングが変化したり適切に切り換えが行われない場合があります。運転者の感覚に合わない場合は手動で切り換えを行ってください。

- 対向車や先行車のランプが明るい場合や暗い場合、片側点灯や無灯火の場合
- 天候の状況(雨、雪、霧、フロントガラスの霜など)
- 周囲にある街灯、電光掲示、信号機などの光源が明るいとき
- 周囲の明るさが連続的に変わるとき
- カーブが多い道、起伏の激しい道路を走行しているとき
- 前方の車両が突然現れたり、適切な方向を向いていないとき
- カーゴスペースに重い荷物を積んで車が傾いているとき
- 車両前方に標識やミラーなどの光を強く反射するものがあるとき
- 中央分離帯、街路樹などで対向車が見え隠れするとき
- 対向車や先行車が二輪車、自転車などのとき

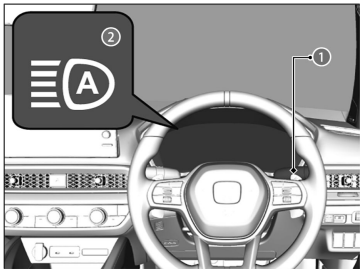
フロントワイパーが高速(HI)作動しているとき、または、フロントワイドビューカメラが濃霧と判断しているときは、ロービームが継続します。

アダプティブドライビングビームの ON/OFF 設定を変更することができます。
設定 ►P.194

アダプティブドライビングビームの使いかた

システムの作動

以下の条件をすべて満たすとアダプティブドライビングビーム表示灯が点灯し、状況に応じて自動的にハイビームの配光が調整されます。



- パワーモードが ON モード
- ライトスイッチが AUTO の位置
- レバーがロービームの位置
- ヘッドライトが自動で点灯している
- 車両の周囲が暗い

❶ ライトスイッチ
❷ アダプティブドライビングビーム表示灯

上記の条件を満たしていてもアダプティブドライビングビーム表示灯が点灯しないときは、続けて以下のいずれかの操作を行うことで、アダプティブドライビングビーム表示灯が点灯します。

- レバーを手前（パッシングの位置）に引いた後すぐに手を放す
- ライトスイッチを [≡D] に回したあと、[AUTO] に戻す

ハイビームの配光の自動調整

車速が 10km/h 以上になるとハイビームの配光の自動調整が開始され、以下の条件または車速に応じてハイビームの配光が変化します。

- 前方にライトを点灯した車両がいる
- 前方に街灯などの光が多い

また、車速が 6km/h 以下になるとハイビームの配光の自動調整は停止しロービームに切り換わります。

ハイビーム/ロービームの手動切り換え

ハイビームとロービームを手動で切り換えたい場合は、以下のいずれかの操作を行ってください。このとき、アダプティブドライビングビーム表示灯が消灯し、アダプティブドライビングビームが停止します。

レバーによる操作：

レバーを手前（パッシングの位置）に引いた後すぐに手を放す。

≫アダプティブドライビングビームを復帰させる場合は、以下のいずれかの操作を行ってください。

- レバーを手前（パッシングの位置）に引いた後すぐに手を放す
- レバーがロービームの位置のときにライトスイッチを [≡D] に回した後、[AUTO] に戻す

このとき、アダプティブドライビングビーム表示灯が点灯します。

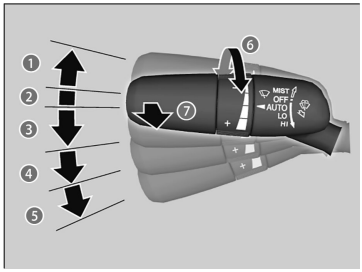
ライトスイッチによる操作：

ライトスイッチを [≡D] に回す。

≫アダプティブドライビングビームを復帰させる場合は、レバーがロービームの位置のときにライトスイッチを [AUTO] に戻してください。このとき、アダプティブドライビングビーム表示灯が点灯します。

ワイパー・ウォッシャー

フロントワイパー・ウォッシャーの操作方法



❶MIST
レバーを押し上げている間、高速で作動します。
霧や小雨のときに使用します。
❷ ワイパースイッチ OFF（停止）
❸AUTO
自動作動
❹ ワイパースイッチ LO（低速）
普通の雨量のときに使用します。
❺ ワイパースイッチ HI（高速）
雨量が多いときに使用します。
❻ センサー感度の調節
[−]：雨滴に対して、より鈍感に反応してワイパーを作動します。
[+]：雨滴に対して、より敏感に反応してワイパーを作動します。
❼ ウォッシャー
レバーを手前に引くと、ウォッシャー液が噴射します。
レバーを 1 秒以上引くとワイパーが作動します。
レバーを放すと数回ワイパーが作動して止まります。

⚠注意

寒冷時はフロントガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射させない。
ウォッシャー液が凍りついて視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

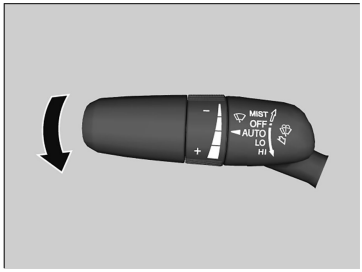
フロントガラスのお手入れをするときは、レバーを必ず OFF にしてください。
パワーモードが ON モードでレバーが [AUTO] のとき、雨滴検知センサー上部のガラス面に手で触れたり、布で拭き取ったりすると、ワイパーが作動することがあり、手をけがしたりワイパーが損傷するおそれがあります。

フロントワイパーアームを起こす際は、ワイパーメンテナンスポジションへ動かしてから、ワイパーアームを起こしてください。
ワイパーアームの起こしかた ▶P.311

ワイパーを乾拭きさせないでください。
ガラスが傷付いたりブレードラバーを傷めたりします。

ウォッシャー液が出ないときは、スイッチを切ってください。
ポンプ故障の原因となります。

オートワイパー

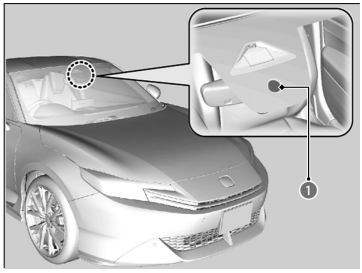


レバーを **AUTO** の位置にするとワイパーが 1 回作動し、その後は自動作動に切り換わります。

フロントガラス上部にある雨滴検知センサーが検出した雨滴量に応じて、停止、間欠作動、低速作動、高速作動のいずれかの作動をします。

≫ワイパー作動中に雪などがたまると雨滴検知をしていなくてもワイパーが作動し続けることがあります。

レバーを **OFF** の位置にすると、ワイパーを停止することができます。



雨滴感知センサーの位置

❶ 雨滴感知センサー

こんなときは

ワイパーが動かないとき

ワイパーには、内蔵モーターの保護機能を搭載しています。ワイパーモーターの負荷が大きい状態が続いたときなどは、モーターの保護のため一時的にワイパーが停止することがあります。数分経過すると、通常通り使用できるようになります。

寒冷時、凍結によりワイパーブレードがガラスに張りつくとき

デフロスターでフロントガラスを暖めてから、ワイパーを作動させてください。

デフロスターの使用方法 ►P.119

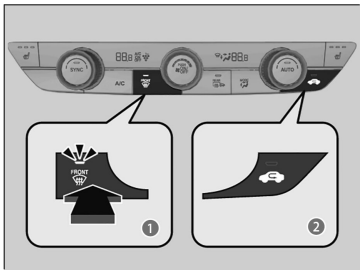
ワイパーに雪がたまっているとき

雪などがたまりワイパーが停止したときは、安全な場所に停車してください。ワイパースイッチを **OFF**、パワーモードをアクセサリーモードまたは OFF モードにしてから、ワイパーが作動できるように障害物を取り除いてください。

デフロスター（くもり止め）

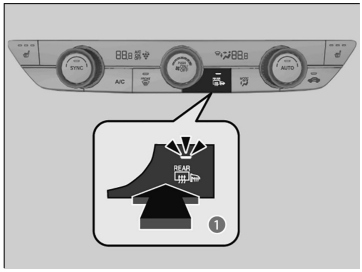
デフロスターの使用方法

フロント・サイドガラスのくもりを取りたい場合



フロント・サイドガラスのくもりを取りたい場合スイッチ（❶）を押すとエアコンが作動し、自動的に外気導入（❷の表示灯が消灯）に切り換わります。
スイッチ（❶）をもう一度押すと曇り止めが停止し、前の状態に戻ります。

リヤデフロスター/ヒーテッドドアミラースイッチ



スイッチ（❶）を押すと、リヤガラスとドアミラーを暖め、曇りをとることができます。

- 外気温に応じて約 10～30 分経過すると、システムは自動的に停止します。ただし、外気温が 0℃以下のときは自動的に停止しません。
- パワーモードを ON モードにしたとき、外気温が 5℃以下の場合、ドアミラーのみ約 10 分間作動することがあります。

> ❗ 安全のため、運転する前に視界が確保されていることを確認してください。

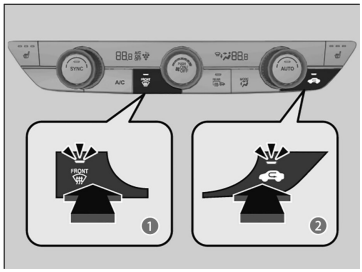
> ❗ 霜が取れたら、ただちに外気導入に切り換えてください。
> 内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界の妨げになります。

設定温度を最大冷房付近にしないでください。
冷風が前面ガラスに当たると、ガラスの外側が曇ることがあります。

消費電力が大きいため、曇りが取れたら OFF にしてください。12V バッテリー容量が低下し、パワーシステムの起動に影響することがあります。

こんなときは

急速に霜を取りたいとき



スイッチ（❶）を押し、スイッチ（❷）を押す。

側面ガラスが曇ったとき

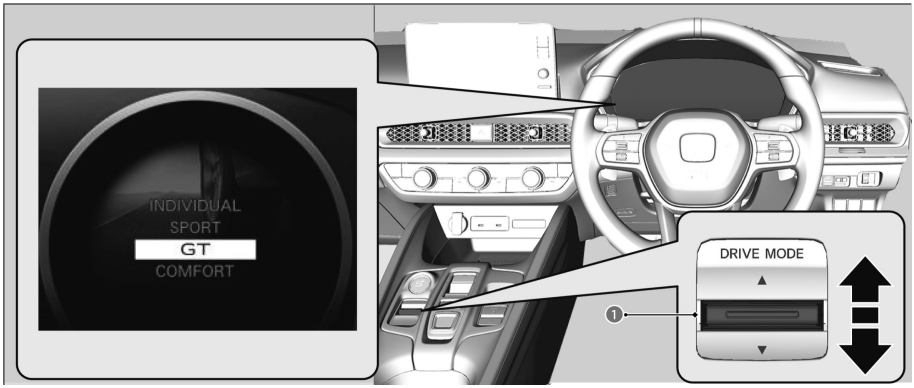
吹き出し風が側面ガラスに当たるよう、側面吹き出し口を調節してください。

走行に関する機能

ドライブモード

ドライブモードの選択

ドライブモードスイッチ（❶）を押してモードを選択します。 選択しているモードはメーターに表示されます。



運転状況などによってはモードの変更ができない場合があります。また、車両に異常があるときなどもメッセージが表示されてモードの変更ができません。

INDIVIDUAL モード

各カテゴリーをご希望の設定に個別でカスタマイズできます。

INDIVIDUAL 設定のカスタマイズ ►P.122

SPORT モード

運転操作に対しての応答性を高めたモードです。

GT モード

操作性と快適性のバランスを最適化したモードです。

COMFORT モード

快適性を高めたモードです。

再度パワーモードを ON にしたときのモード

再度パワーモードを ON にしたときのモードは、以下のとおりです。最後に使用したモードは、Honda スマートキーの DRIVER1 と DRIVER2 に応じて記憶されます。

前回モード	次回モード
INDIVIDUAL	GT
SPORT	GT
GT	GT
COMFORT	COMFORT

INDIVIDUAL 設定のカスタマイズ

[1] INDIVIDUAL モードにする

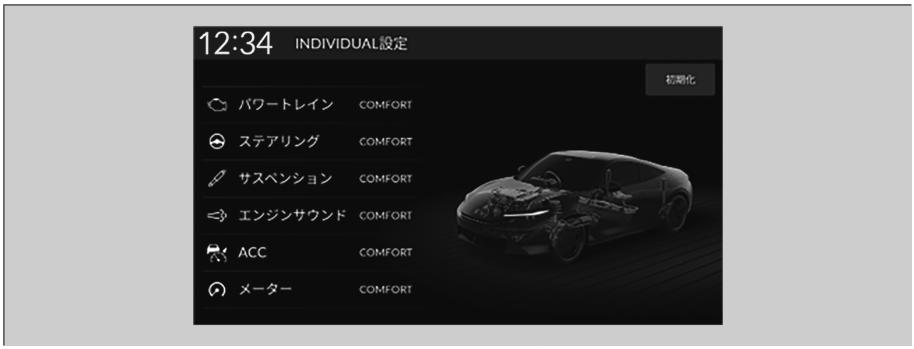
[2] ドライブモードスイッチを上に押して保持する、または「カスタマイズ」を選択して INDIVIDUAL 設定を開く。

≫ディスプレイオーディオ画面のカスタマイズ機能から選択することもできます。

設定 ►P.194

[3] カテゴリーを選択します。

[4] ご希望の設定を選択します。



INDIVIDUAL 設定画面で「初期化」を選択すると、すべての INDIVIDUAL 設定が工場出荷時の状態に戻されます。

減速セレクター

ハンドルにあるパドルで、アクセルペダルを離したときの減速の強さを 0 から 6 の 7 段階で変更できます。車間調整や坂道などで減速の強さを変更したいときに使用してください。

⚠警告

減速する際の車速には、十分注意する。

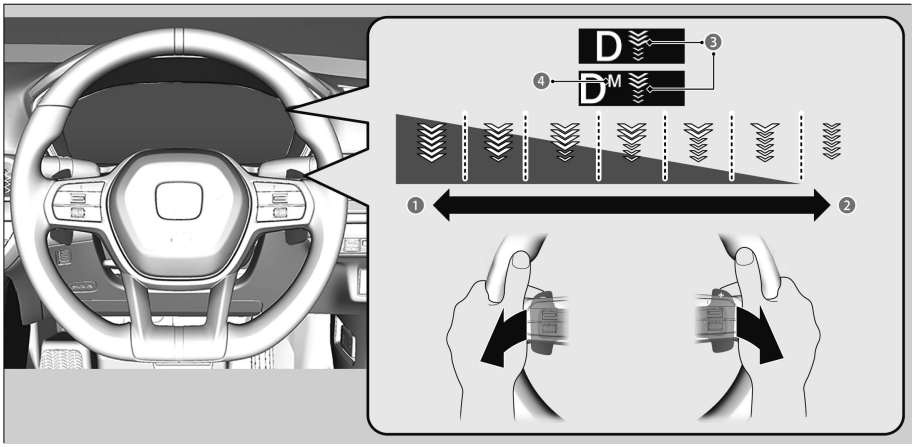
滑りやすい路面では、減速がタイヤのスリップを招くことがあります。

減速セレクターの操作方法

1 回のパドル操作で、減速の強さを 1 段変更できます。

≫パドルを引き続けても連続では変更できません。

≫左右のパドルを同時に操作すると、変更しないことがあります。



❶ [−]パドルを引く（左側）

≫減速の強さが強くなります。

❷ [+]パドルを引く（右側）

≫減速の強さが弱くなります。

❸ 減速セレクター表示灯：減速の強さが表示されます。

❹ M 表示：減速の強さを固定したときに表示されます。

減速セレクターを使うとき

D の状態からパドルを引くと減速セレクター表示灯が点灯します。
− パドルを引くと減速の強さが 3 段になります。
+ パドルを引くと減速の強さが 0 段になります。
停止間際まで減速したりアクセルペダルを踏み込むと、減速セレクターは自動的に解除され、減速セレクター表示灯が消灯します。

0 段から − パドルを引くと 2 段になります。

減速セレクターを固定して使うとき

D の状態からパドルを引き続けると減速セレクター表示灯と **M** が点灯し、減速セレクターを固定して使用できます。
− パドルを引き続けると減速の強さが 3 段に固定されます。
+ パドルを引き続けると減速の強さが 0 段に固定されます。

1 段以下のときに + パドルを引き続けると減速の強さが 0 段に固定されます。
減速セレクターの固定を解除するには + パドルを引き続けてください。

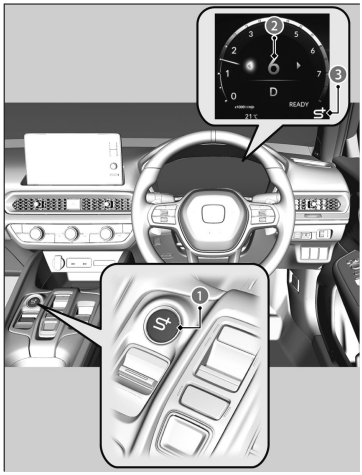
Honda S+ Shift を ON にしたときは、パドルを操作したときの制御が切り替わります。
Honda S+ Shift ►P.125

減速セレクターの制限

以下の状態のときはパドルを引いても減速の強さが変更されずに表示が点滅します。また、自動的に減速の強さが弱くなったり解除することがあります。

- ハイブリッドシステムの保護が必要なとき
- ブレーキパッドが高温のとき
- ブレーキ警告灯（オレンジ）が点灯しているとき

Honda S+ Shift



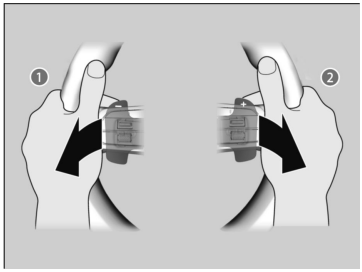
Honda S+ Shift スイッチ（❶）を押すことで制御が切り替わり、有段変速の感覚や走行音を演出します。このときメーター表示がタコメーターに切り替わります。
加減速時にはメーターに仮想ギア段数（❷）とS＋(❸)が表示されます。

Honda S + Shift の作動

Honda S+ Shift スイッチを押すことでシステムの ON と OFF を切り替えることができます。
システムが ON のときもドライブモードの変更が可能です。
OFF のときにスイッチを長押しすると INDIVIDUAL モードに変更されます。
ドライブモード ▶P.121
パワーモードを OFF モードにする度にシステムは OFF になります。
システムが ON のときに渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール（ACC）を作動させるとシステムは OFF になります。
運転状況などによってはシステムを ON にできない場合があります。そのときメッセージが表示されます。

- 減速時や登坂路など高電圧バッテリーの充電状態によりシフトダウンする場合があります。
- 車速とエンジン回転数は走行状態や車両システムの温度状態により連動しない場合があります。

パドルシフター



❶ [−]を引く
≫ギア段数が 1 段下がります。
❷ [+]を引く
≫ギア段数が 1 段上がります。

システムが ON のときに[+]パドルを引くとギア段数を 1 段上げ、[−]パドルを引くとギア段数を 1 段下げます。
パドルを操作するとギア段数の横に矢印が表示されます。
[+]パドルを引き続けることでパドルを使用せずに変速します。
パドルを操作している状態でも状況に応じて適切なギア段数に切り替わります。
[−]パドルを引き続けることで、速度に応じたギア段数に下げることができます。

車両接近通報装置

約 25km/h 以下で走行しているときに、歩行者に車両の接近を知らせるために走行音を発生させるシステムです。

VSA（ビークルスタビリティアシスト）

VSA とは、ABS 機能、TCS 機能および横滑り抑制機能を総合的に制御し、急激な車両の挙動変化を抑制しようとする装置です。

ABS（アンチロックブレーキシステム）
急制動や滑りやすい路面で制動するとき、車輪のロックを防止することで車両の姿勢を安定させ、ハンドルの効きを確保しようとします。

TCS（トラクションコントロールシステム）機能
滑りやすい路面などでの駆動輪の空転を防止し、駆動力、操舵能力を確保しようとします。

横滑り抑制機能
急激なハンドル操作や滑りやすい路面などでの旋回時に、車輪の横滑りなどを抑制して車両の安定性を確保しようとします。
また、緊急制動時に運転者のブレーキ操作を補助する電子制御ブレーキアシストも装備しています。

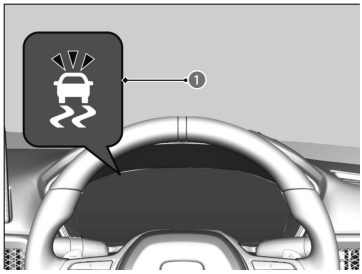
VSA が作動した状態でも車両の安定性の確保には限界があるため、無理な運転はしないでください。

≫カーブ手前では十分に速度を落とす

≫雪道、凍結路を走行するときは、スノータイヤを装着して安全な速度で運転する

VSA を正常に機能させるために、タイヤは必ず同一指定サイズ、同一種類のタイヤを指定空気圧で使用してください。

VSA の作動

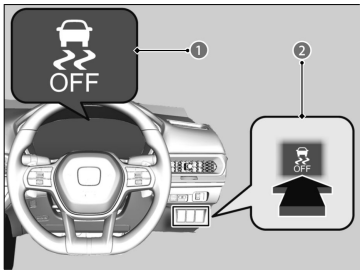


TCS 機能または横滑り抑制機能作動中は、VSA 警告灯（❶）が点滅します。

VSA 警告灯が運転中に点灯するときや、パワーモードを ON モードにしたときに点灯しない場合は、システムの異常が考えられます。

通常の運転には支障はありませんが、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

VSA の停止



VSA 機能を部分的に停止（OFF）状態にするには、VSA OFF スイッチをブザーが鳴るまで押してください。
TCS 機能が制限され、低速で駆動輪が回転しやすくなります。

1 VSA OFF 警告灯
2 VSA OFF （VSA OFF）スイッチ

- 再度使用するには、VSA OFF (VSA OFF)スイッチを音が鳴るまで押してください。
- 前回の走行時に OFF にした場合でも、再度パワーシステムを起動させると自動的に ON になります。

> **!** VSA を OFF にすると TCS 機能が制限され、新雪やぬかるみからの脱出に効果的な場合があります。ただし、脱出後はすみやかに VSA を ON にしてください。
> VSA を OFF にしたままでの走行はお勧めしません。

アジャイルハンドリングアシスト

ハンドル操作したとき必要に応じて前輪に軽いブレーキがかかり、滑らかで安定感のあるコーナリングになるよう補助します。

- VSA 警告灯が点灯しているときは、アジャイルハンドリングアシストは作動しません。
- アジャイルハンドリングアシストが作動すると作動音が聞こえることがあります。

> **!** カーブ走行時は、状況に応じた適正な速度で、十分に車間距離をとって走行してください。
> アジャイルハンドリングアシストは、すべての走行条件で安定性を向上させる機能ではありません。

各部の操作

室内灯
室内灯スイッチ…… 130
マップランプ……130

室内装備品
グローブボックス……132
センターコンソールボックス…… 132
サンバイザー……133
アクセサリーソケット…… 133
ワイヤレス充電器……134
コートフック……137
コンビニフック…… 137
カーゴフック……138
サングラスボックス……138
ドリンクホルダー……139

シートヒーター
シートヒーターの操作方法……140

エアコン
エアコンについて……142
オートエアコンの使用方法……144

インフォテインメントシステム
車載インフォテインメントシステムについて……
…… 147
オーディオシステムの基本操作……147
USB ジャック……150
オーディオリモートコントロールスイッチ… 151
デバイスの接続…… 152
システムアップデートについて……155

ディスプレイオーディオ 1
起動時の設定……156
再起動について…… 157
ホーム画面……157
システムアップデート…… 158
燃費情報…… 160
時計設定…… 160
音質を調整する…… 162
画面の設定を変更する…… 163

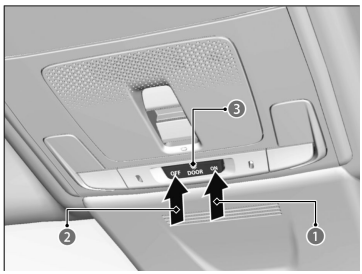
ディスプレイオーディオ 2
ラジオを聴く……164
テレビを観る……166
オーディオ・ビジュアル再生について……169
Apple CarPlay…… 174
Android Auto™……177
ハンズフリーテレホンについて……181

ディスプレイオーディオ 3
Honda Total Care……186
Wi-Fi 接続…… 186
Google 搭載車……188
ユーザー情報……190
パワーフロー……192
設定…… 194

情報
使用できる iPod、iPhone、USB デバイス… 204
ナビゲーションシステムの現在地について… 207
オープンソースライセンスについて…… 209
商標…… 209

室内灯

室内灯スイッチ



❶ ON
ドアの開閉に関係なく室内灯が点灯。

❷ OFF
ドアの開閉に関係なく室内灯が消灯。

❸ ドア連動
以下のときに点灯
- いずれかのドアを開けたとき
- 運転席ドアを解錠したとき
- パワーモードを OFF モードにしたとき

- ドア連動で室内灯が点灯している場合は、ドアを閉めると約 30 秒後に消灯します。
- 運転席ドアの解錠や車両のパワーモードを OFF にすると室内灯が点灯します。このときドアを開けなければ室内灯は３０秒後に消灯します。
- パワーモードが OFF モードのときに、いずれかのドアを開けたままにすると、約 15 分後に室内灯は消灯します。

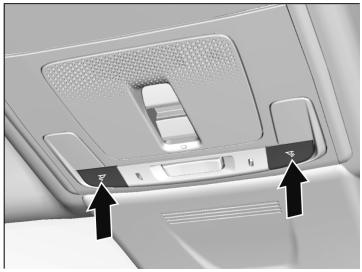
室内灯の消灯する時間を変更することができます。
設定 ►P.194

12V バッテリーが上がる恐れがあるため、パワーシステムを停止しているときは、室内灯を長時間点灯させないでください。

マップランプ

夜間、車を停めて地図を見るときなどに使用するライトです。

フロントシート用



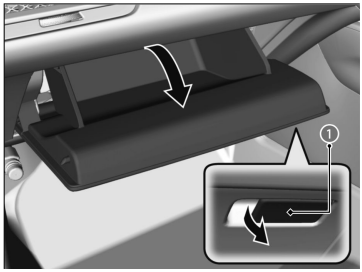
スイッチを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。

次の場合はマップランプを消灯できません。

- 室内灯スイッチが ON のとき
- 室内灯スイッチがドア連動のときで、ドアが開いているとき

室内装備品

グローブボックス



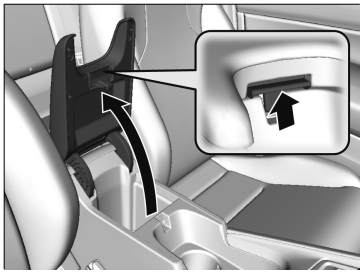
ノブを引くと開きます。

❶ ノブ

⚠警告

走行中は必ずグローブボックスを閉める。
グローブボックスが開いていると、衝突したときに同乗者が重大な傷害を負うおそれがあります。

センターコンソールボックス

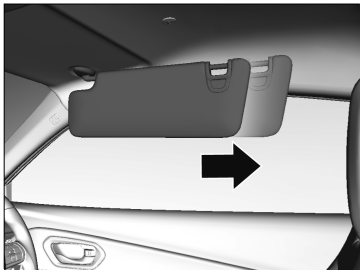


ノブを引くと開きます。

⚠警告

走行中は必ずセンターコンソールボックスを閉める。
センターコンソールボックスが開いていると、衝突したときに同乗者が重大な傷害を負うおそれがあります。

サンバイザー

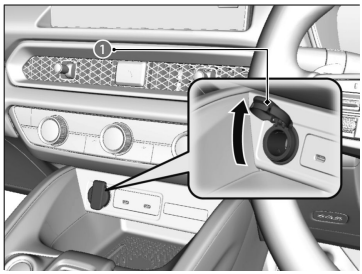


サンバイザーは横に伸ばして使えます。

アクセサリーソケット

パワーモードがアクセサリーモードまたは ON モードのときに使用できます。カバーを開けて使います。
消費電力 180W（15A）以下のアクセサリーに、直流 12V の電源を供給します。

フロントコンソール



❶ カバー

> ❗ シガレットライターは差し込まないでください。
> 発熱するおそれがあります。

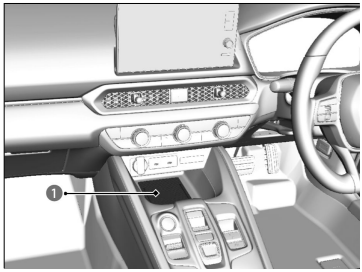
> ❗ パワーシステムが OFF のときに使用しないでください。
> 12V バッテリーがあがるおそれがあります。

使用しないときは異物の侵入を防ぐためカバーを閉めてください。

アクセサリーソケットや USB ジャックなどの電装品に液体がかかったり、異物が入ったりしないように注意する。
電装品に水がかかったり、ゴミやほこりなどの異物が入ったりすると故障の原因となったり車両火災につながったりする恐れがあります。

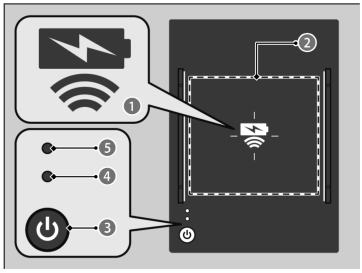
ワイヤレス充電器

ワイヤレス充電器について



ワイヤレス充電規格 Qi に適合した機器をワイヤレス充電器の充電エリアの上に置くことで充電できます。

❶ ワイヤレス充電器



❶ マーク
❷ 充電エリア
❸ 電源スイッチ
❹ インジケータ（グリーン）
❺ インジケータ（オレンジ）

電源スイッチを長押しすることで、電源の ON/OFF が切り換わります。

- 電源が ON のときはインジケーター（グリーン）が点灯します。
- 充電しているときはインジケーター（オレンジ）が点灯します。
  ≫対応機器の充電面を下にして、充電エリアの中央に置いてください。
- 充電が完了すると、インジケーター（グリーン）が点灯します。
  ≫対応機器によっては、充電完了後もインジケーター（オレンジ）が点灯し続ける場合があります。

“Qi” 及び、マークはワイヤレスパワーコンソーシアム（WPC）の登録商標です。

- ワイヤレス充電器は最大 15W 充電に対応していますが、機器や条件によって充電の電力は変化します。
- ワイヤレス充電器上の対応機器が充電状態のときに、ディスプレイオーディオの画面上に マークが表示されます。
- 充電中や充電直後は、充電エリアと対応機器が温かくなります。

次のような場合、充電を一時的に停止することがあります。その後、自動的に充電は再開します。

- Honda スマートキーシステムへの影響を避けるため、すべてのドアを閉めたとき

次のような場合は充電できないことがあります。

- 対応機器が満充電
- 対応機器が高温になっているとき
- テレビ塔や発電所、ガソリンスタンドなど、強い電波やノイズの発生する場所にいるとき
- ワイヤレス充電に対応していないカバーやアクセサリーが対応機器に取り付けられている
- 充電エリアに対応機器の充電面を接地できない形状、サイズの機器には本機能を使用できません。また、機器によっては、正常に作動しない場合があります。

> この装置は消費電力が大きいので、エンジンをかけた状態で使用してください。
> 12V バッテリーの容量が低下し、エンジンの始動に影響することがあります。

> ワイヤレス充電を行う際は、対応機器に付属の取扱説明書もお読みください。

> 充電中に充電エリア内に磁気記録メディアや精密機器などを置かない。
> 磁気の影響により、クレジットカードや ETC カードなどのデータが消えることがあります。また、腕時計などの精密機器は故障するおそれがあります。

> 充電するときは、同時に複数の機器を充電しないでください。

⚠注意

以下のことを守らない場合、感電や火災の原因になり、重大な傷害や死亡に至る恐れがあります。

- ワイヤレス充電器と対応機器の間に金属類を挟んだ状態で充電しない。
- タオルなどをかぶせた状態やほこりが被った状態で充電しない。
- 水や飲料物等で機器を濡らさない。
- 油類、アルコール、ベンジン、シンナーなどで拭いたり、ヘアスプレー、殺虫剤などをかけたりしない。

⚠注意

ペースメーカ（植え込み型心臓ペースメーカおよび除細動機能なし植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータ）および ICD 装着のお客様は、充電時にはワイヤレス充電器から 22cm 以内に植込み部位を近づけない。

充電によりペースメーカおよび ICD の動作に影響を与える恐れがあります。ご使用になる前に医師や医療用機器製造者に影響を確認してからご使用ください。

インジケーターが点滅したときは

インジケーターが点滅したときは下記に基づき、対処してください。

インジケーター（グリーン＆オレンジ）が同時点滅したとき

≫充電エリアの異物がないか確認してください。

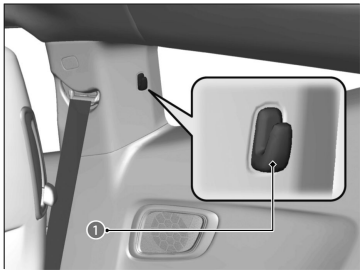
≫充電エリア中央に置いてください。

≫高温の場合、一度充電を停止してください。

インジケーター(オレンジ）が点滅したとき

≫Honda 販売店へご相談ください。

コートフック

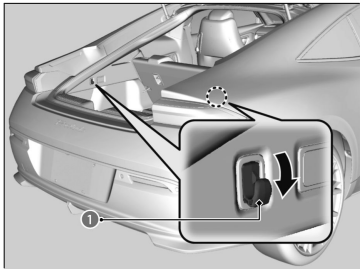


❶ フック

⚠注意

コートフックに重いものやとがったものをかけたりしない。
サイドカーテンエアバッグが正常に作動しなかったり、作動時にものが飛んだりしてけがをするおそれがあります。

コンビニフック

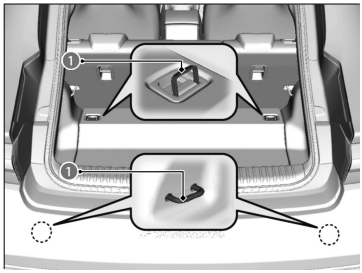


カーゴスペースにあります。
軽い荷物をかけておくことができます。

❶ フック

❗ 重いもの（約 3kg 以上）や大きいものをかけないでください。
コンビニフックが破損するおそれがあります。

カーゴフック



カーゴフックは市販のカーゴネットを使用して、収納したものを固定することができます。

❶ フック

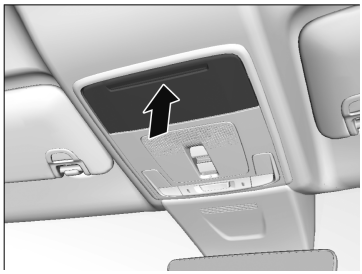
⚠注意

走行中は荷物の出し入れをしない。

急ブレーキなどのときに思わぬ事故につながるおそれがあります。

重い荷物はできるだけ前に積んでください。荷物を積むとき、荷重が 1 か所に集中しないように配置してください。

サングラスボックス



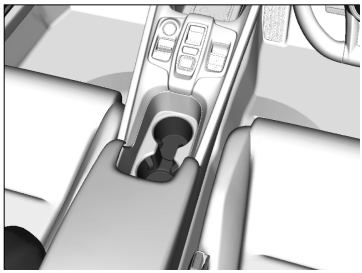
矢印部を押すと開きます。もう一度押すと格納されます。

! 炎天下での駐車は高温になりますので、メガネなどを入れたままにしないでください。

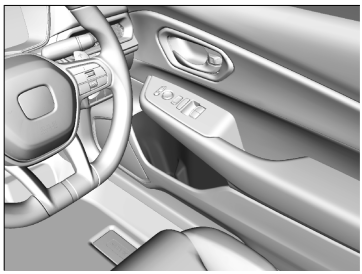
レンズやフレームが、変形やひび割れを起すことがあります。

ドリンクホルダー

フロントシート用



運転席と助手席の間にあります。

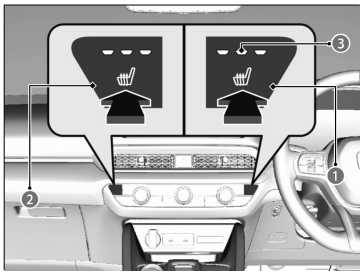


ドアのドリンクホルダーは、運転席側と助手席側にあります。

シートヒーター

シートヒーターの操作方法

シートヒーターは、パワーモードが ON モードのときに使用できます。



❶ 運転席シートヒータースイッチ
運転席のシートを暖めます。

❷ 助手席シートヒータースイッチ
助手席のシートを暖めます。

❸ インジケーター
各シートのヒータースイッチを押すたびに、温度設定が切り換わりインジケーターの点灯数で温度を表示します。 点灯数が多いほど高温であることを示します。

リヤシートにはヒーターが付いていません。

- パワーモードを一度 OFF してから再度 ON にしても、シートヒーターは前回と同じ設定で復帰します。
- **AUTO** を押したときエアコンに連動して作動し、環境に応じて適切な温度に自動で切り換わります。
  ≫スイッチ操作をした場合は手動の設定に切り換わります。
- ある程度時間が経過するとシートヒーターの設定が自動で一段階低くなり、最終的に OFF になります。経過時間は使用環境により異なります。

自動で作動させたくない場合は、シート温度調節を OFF にすることができます。
設定 ►P.194

⚠警告

低温やけどに注意する。
毛布などの保温性の高いものをかけて使用すると低温やけどをすることがあります。
次のようなかたは、低温やけどに十分注意してください。

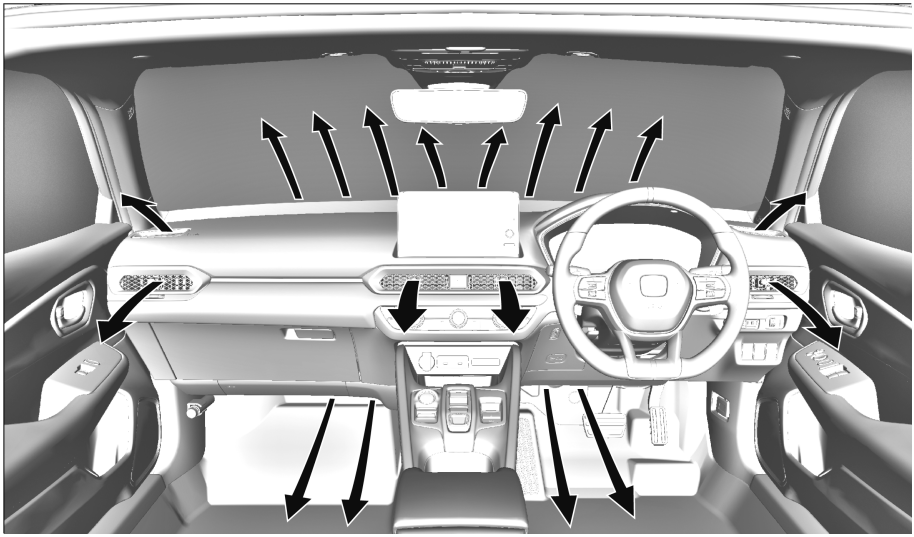
- 乳幼児、お年寄り、体の不自由なかた
- 皮膚の弱いかた
- 疲労の激しいかた

この装置は消費電力が大きいため、パワーシステムを起動させていないときは長時間使わないでください。
12V バッテリー容量が低下し、パワーシステムの起動に影響することがあります。

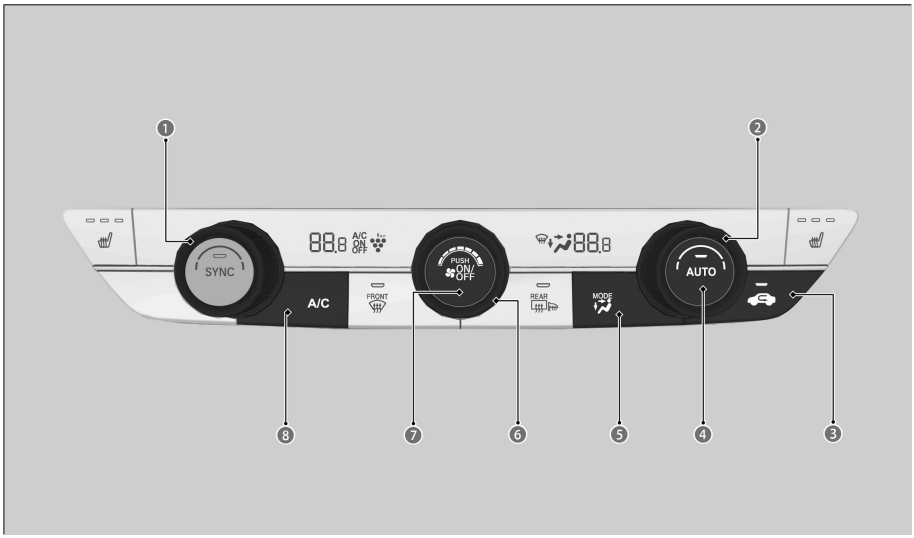
エアコン

エアコンについて

エアコンの吹き出し口



スイッチの説明



❶ 助手席側温度調節ダイヤル
❷ 運転席側温度調節ダイヤル
設定温度表示で Lo は最大冷房を、Hi は最大暖房を示します。
運転席側と助手席側の設定温度を別々に設定することができます（独立モード）。
連動作動（シンクロ）モード ►P.144

❸ スイッチ
状況に合わせてスイッチを押して、内気/外気を切り換えます。
内気（表示灯点灯）：トンネルや渋滞などで、汚れた空気を車内に入れたくない場合
外気（表示灯消灯）：換気を行う場合

❹ AUTO スイッチ
自動制御に切り換えます。冷房・暖房の切り換え、吹き出し口、風量、内気・外気切り換えを自動調節して設定した温度に保ちます。

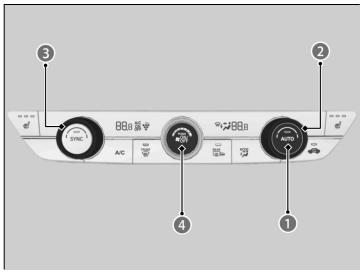
❺ MODE スイッチ
吹き出し口を切り換えます。
上半身送風
足元送風、上半身送風
足元送風
足元送風、窓ガラスの曇り取り

❻ ファンスピード切り換えダイヤル
風量を切り換えます。

❼ ON/OFF スイッチ
エアコンの ON/OFF を切り換えます。
ON すると OFF する前の状態に戻ります。

❽ A/C スイッチ
冷房・除湿機能の ON/OFF を切り換えます。

オートエアコンの使用方法



[1] AUTO スイッチ（❶）を押す。
[2] 運転席側温度調節ダイヤル（❷）/ 助手席側温度調節ダイヤル（❸）で温度を調節する。
[3] 停止するときは、ON/OFF スイッチ（❹）を押す。

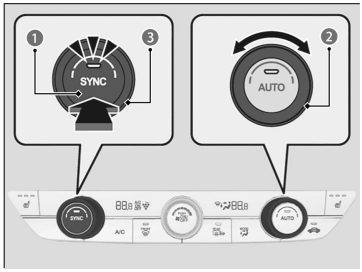
- オート（AUTO）で使用中いずれかのスイッチを押すと、押したスイッチの機能が優先されます。このとき AUTO の表示灯は消灯しますが、押したスイッチ以外の機能は自動制御されます。
- 高電圧バッテリーの残量が少ないときエアコンの効きが弱くなることがあります。
- 外気温が低いときは、冷風の吹き出しを防ぐため、AUTO を押してもすぐにファンが回転しないことがあります。

> ❗ 炎天下に駐車していたときは、窓を開けて熱気を追い出しながら、冷房を開始してください。

連動作動（シンクロ）モード

エアコンの設定操作を独立モードから連動作動モードに切りかえます。運転席側と助手席側の設定温度を連動させて設定することができます。

連動作動（シンクロ）モードの操作方法



[1] SYNC スイッチを押す。

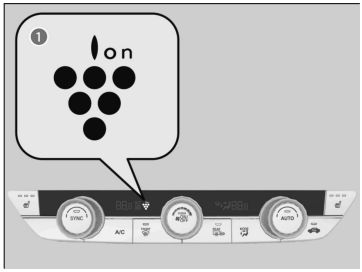
≫連動作動モードに切り換わります。運転席側の設定温度になります。

[2] 運転席の温度調節ダイヤルで室内の温度を設定する。

❶ SYNC スイッチ
❷ 運転席側温度調節ダイヤル
❸ 助手席側温度調節ダイヤル

- 独立モードに戻すときは、SYNC スイッチを押すか、助手席側の温度調節ダイヤルを操作します。

プラズマクラスター

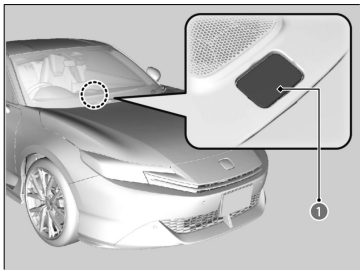


エアコンもしくは送風に連動してプラズマクラスターも作動します。

❶ プラズマクラスターマーク

- プラズマクラスターマークおよびプラズマクラスター、Plasmacluster はシャープ株式会社の登録商標です。

オートエアコンセンサー



オートエアコンには、センサーが付いています。センサーの上にものを置いたり、水をかけたりしないでください。

❶ センサー



❶ センサー

インフォテインメントシステム

車載インフォテインメントシステムについて

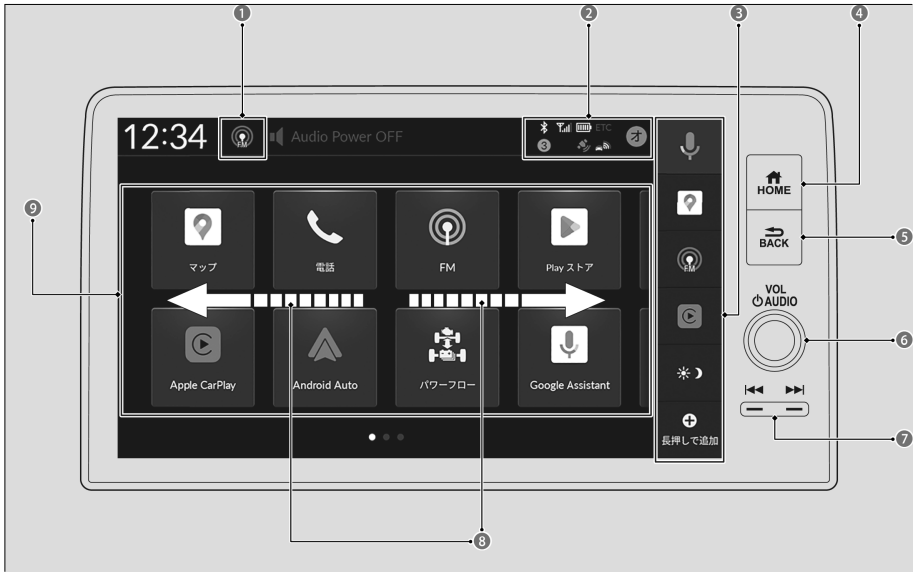
本システムはラジオやテレビの視聴、USB デバイス、iPod、iPhone、スマートフォン、および Bluetooth®対応機器の再生ができます。
操作には、タッチパネルまたはオーディオリモートコントロールスイッチを使います。

≫ディスプレイオーディオを使用する際は、パワーモードをアクセサリーまたは ON モードにする必要があります。

オーディオシステムの基本操作

ディスプレイオーディオの基本操作

左右にスライドすると、前後のページに移動します。
HOME（HOME）ボタンを押すと、現在閲覧中のページに関わらず最初のページに戻ります。



❶ アプリアイコン
❷ ステータスバー
❸ モードチェンジスイッチバー

❹ HOME（HOME）ボタン
❺ BACK（BACK）ボタン
❻ VOL/ ⏻ AUDIO（音量／オーディオ）ノブ
❼ ⏮ / ⏭ ボタン
❽ スワイプ
❾ アプリケーションアイコン

タッチ画面の操作

- 一部のオーディオ機能は、タッチ・スワイプ・スクロール等で操作できます。
- 運転中は、注意力が散漫になるのを防ぐため、一部の項目がグレーアウトされることがあります。音声操作または停車すれば上記のアイテムを選択することができます。
- 手袋をしている場合、タッチ操作が正常に動かない場合があります。

タッチ画面の感度設定を変更することができます。
本体設定 ►P.195

再生ソースの切り替え

画面左上にある再生ソースアイコンを選択し、ソースリストから再生ソースを切り替えることができます。



❶ ソースリスト

システムステータス

車両の情報や接続済みの機器に関する情報などを表示します。ステータスバーを選択すると、ステータスエリアで詳細が確認できます。



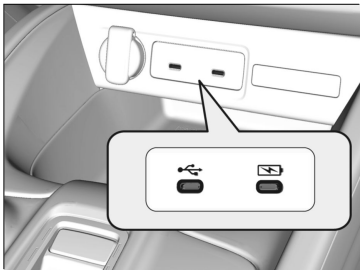
❶ ステータスエリア

モードチェンジスイッチバー

すべてのアプリはモードチェンジスイッチバーからも選択することができます。モードチェンジスイッチバーを編集することができますが、一部のアイコンは編集することができません。

USB ジャック

センターコンソール前部座席側



通信／充電用 USB ジャック（ ）

USB ジャックを使用して機器を充電する、オーディオファイルを再生する、および接続可能な携帯電話の Apple CarPlay か Android Auto に接続することができます。

≫問題を避けるため、Apple CarPlay を使用する場合は、Apple MFi 認定 Lightning コネクターを使用してください。Android Auto を使用する場合は、USB ケーブルは USB2.0 に準ずるため、USB-IF 認定のものを使用してください。

充電用 USB ジャック（ ）

USB ジャックは充電専用です。

≫ミュージックプレーヤー等を接続しても、音楽やビデオの再生はできません。

- 自分のデバイスを車両機能と使用する前に、バックアップを作成することをお勧めします。
- 表示されるメッセージは、機器の機種やソフトウェアのバージョンによって異なる場合があります。
- 一部の機器では USB ジャックに接続しても動作しないことがあります。

USB 充電に関する補足事項：

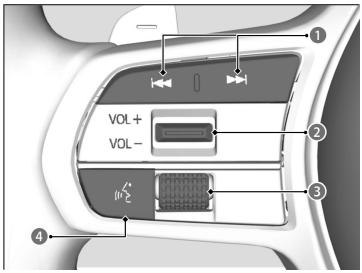
- Power Delivery 規格に対応しています。
- USB の定格出力
  1port 使用時：5V/3A (15W)、9V/3A (27W)、15V/3A (45W)、20V/3A (60W)
  2port 使用時：5V/3A (15W)、9V/3A (27W)、15V/3A (45W)、最大 60W
  デバイス側の電力の詳細については、充電が必要なデバイスの取扱説明書をお読みください。
- PPS（Programmable Power Supply）も対応できます。PPS（Programmable Power Supply）5.0V～21V（最大 60W）
- 接続する充電機器やケーブルによっては、充電が遅いまたは充電ができない場合があります。特に 2port 使用時に上記事象が発生した場合、下記により解決することがあります。
  -1port のみの接続にする（ケーブルも 1port のみの接続とする）

> ❗ 接続した機器を車内に放置しないでください。直射日光や高温等により、機器に破損を及ぼすおそれがあります。

> ❗ オーディオデバイス や USB デバイスを接続するには、ハブを使用しないでください。

カードリーダーやハードディスクドライブ等のデバイスを使用しないでください。デバイスまたはファイルに破損を及ぼすおそれがあります。

オーディオリモートコントロールスイッチ



ステアリングホイールに付いているスイッチで、オーディオ／ビジュアルの基本的な操作を行うことができます。

1. ⏮ / ⏭（曲戻し／曲送り）スイッチ
2. VOL＋/VOL－（音量）スイッチ
3. レフトセレクターホイール
4. （発話）スイッチ

接続する機器によっては、表示されないモードがあります。

曲戻し／曲送りスイッチ

- FM ラジオ、テレビ視聴時
  - ⏭ スイッチを押す：プリセットされている次の放送局を選局します。
  - ⏮ スイッチを押す：プリセットされている前の放送局を選局します。
- FM ラジオ視聴時
  - ⏭ スイッチを長押しする：次の放送局へ自動選局を開始します。
  - ⏮ スイッチを長押しする：前の放送局へ自動選局を開始します。
- 有線接続、USB デバイス、Bluetooth®オーディオによる音楽再生時
  ≫接続する機器によって、操作方法が異なる場合があります。
  - ⏭ スイッチを押す：次の曲へスキップします。
  - ⏮ スイッチを押す：現在、または前の曲の先頭に戻ります。
- USB デバイス再生時
  - ⏭ スイッチを長押しする：次のフォルダーへスキップします。
  - ⏮ スイッチを長押しする：前のフォルダーに戻ります。

- 有線接続、Bluetooth®オーディオによる音楽再生時
  ▶▶| スイッチを長押しする：再生中の曲を早送りします。
  |◀◀ スイッチを長押しする：再生中の曲を早戻しします。

VOL＋/VOL－（音量）スイッチ

上側に押す：音量を上げます。
下側に押す：音量を下げます。

レフトセレクターホイール

各再生ソースを切り替えるには、レフトセレクターホイールを上下に回し、押して決定します。

デバイスの接続

デバイスと車両を接続することで、各種ファイルの再生や、Apple CarPlay または Android Auto を画面上で使用できます。

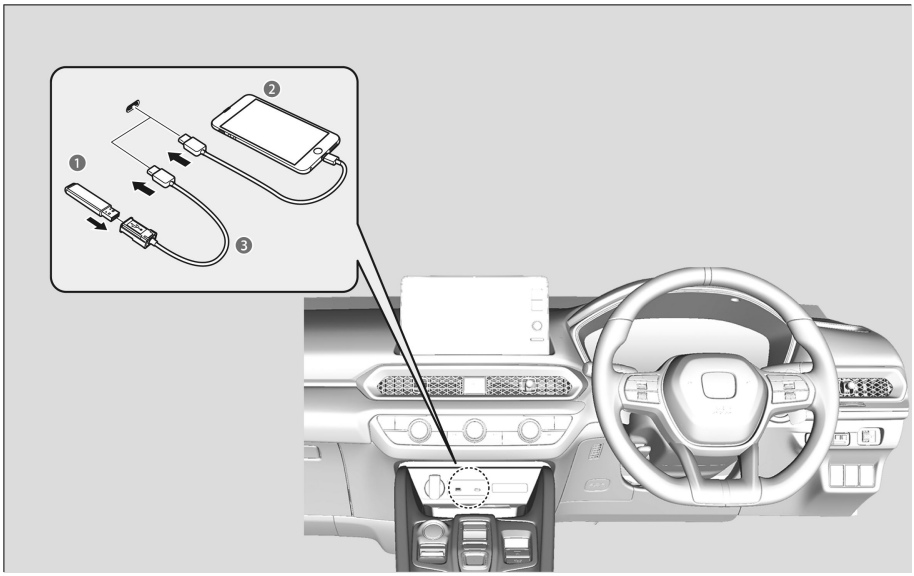
≫使用するアプリケーションによっては、有線接続であってもデバイスの充電量が減少することがあります。

> ❗ デバイスの接続を行う際は、必ず安全な場所に停車してから行ってください。

有線接続について

携帯電話または USB デバイスを車両の通信／充電用 USB ジャック（ ）に接続します。

≫携帯電話またはデバイス側の操作が必要な場合があります。



❶ USB デバイス
❷ iPhone／スマートフォン
❸ USB ケーブル

無線接続について

Bluetooth®の機能設定が行えます。
デバイスとのペアリングが完了すると、画面上にデバイスの状態を表す以下のアイコンが表示されます。
：Bluetooth®オーディオとハンズフリーテレホンに対応しています。
：Apple CarPlay に対応しています。
：Android Auto に対応しています。
ペアリングのポイント：

- Bluetooth®接続で使用する携帯電話は、6 台まで登録できます。
- 接続中は、携帯電話の電池の消耗が早まることがあります。

Bluetooth®設定

Bluetooth®機能のオン／オフを切り替えます。
［1］HOME（HOME）ボタンを押す。
［2］「本体設定」を選択する。
［3］「接続」を選択する。
［4］「接続機器一覧」を選択する。
［5］「オプション」を選択する。

[6]「Bluetooth」を選択する。
[7]「オン」を選択する。

携帯電話をペアリングする

[1] HOME（HOME）ボタンを押す。
[2]「本体設定」を選択する。
[3]「接続」を選択する。
[4]「接続機器一覧」を選択する。
≫すでに携帯電話をペアリング済みの場合は、デバイス名がリストに表示されます。
携帯電話を切り替える ►P.154
[5]「+ 新しい機器を接続する」を選択する。
[6] 携帯電話側を検索または検出可能モードに設定してから、「機器の検索」を選択する。
≫ハンズフリーテレホンが自動的に Bluetooth®デバイスを探します。
[7] リストに表示された携帯電話のデバイス名を選択する。
≫携帯電話のデバイス名が表示されない場合、携帯電話側から Bluetooth®デバイス（車両名）を探してください。
≫ディスプレイオーディオ画面上と、携帯電話上で表示されるペアリングコードが同じであることを確認してください。
[8] 携帯電話側でペアリングの許可をする。

携帯電話を切り替える

[1] HOME（HOME）ボタンを押す。
[2]「本体設定」を選択する。
[3]「接続」を選択する。
[4]「接続機器一覧」を選択する。
[5] 接続する携帯電話の、 または を選択する。
≫ を選択すると Bluetooth®オーディオとハンズフリーテレホンが接続されます。
または を選択すると、 は選択できません。
≫携帯電話の優先接続を設定できます。優先する携帯電話の優先接続のチェックボックスにチェックを入れてください。

登録した携帯電話の削除

[1] HOME（HOME）ボタンを押す。
[2]「本体設定」を選択する。
[3]「接続」を選択する。
[4]「接続機器一覧」を選択する。
[5] 削除する携帯電話を選択する。
[6]「機器削除」を選択する。
≫確認画面が表示されます。
[7]「削除」を選択する。

システムアップデートについて

本システムのソフトウェア更新が利用可能になると、ディスプレイオーディオ画面に通知が表示されます。
ディスプレイオーディオ画面での更新を実行する手順は、当取扱説明書に記載されています。
その他のアップデート方法については、Honda 販売店にお問い合わせください。
システムアップデートにより仕様が変更された場合、当取扱説明書に記載されている内容と一部異なる場合があります。

実行手順

システムアップデート ▶P.158

ディスプレイオーディオ 1

起動時の設定

本システムはパワーモードをアクセサリーモードまたは ON モードにしたときに、自動的に起動します。起動すると、警告および注意に関する画面が表示されます。よくお読み頂き操作してください。



「OK」を選択する。

≫「OK」を選択しないと、一定期間経過後システムは自動的にホーム画面、または最後に実行したアプリケーションのトップ画面に切り替わります。

≫Bluetooth®ペアリングされたデバイスが無い場合、「OK」を選択後もしくは一定期間経過後にBluetooth®のペアリング画面が表示されます。

無線接続について ►P.153

新規ユーザー登録

[1] 警告および注意に関する画面を確認し、「OK」を選択する。
[2]「プロファイルを設定」を選択する。
[3] プロフィール名を入力してから「次へ」を選択する。
[4] Google サービスの同意事項を確認する。
[5] システム全体の許可設定画面でシステムがアクセスすることを許可する項目を選択し、「同意する」を選択する。
[6]「設定完了」を選択する。

≫「プロファイルのロック」を選択した場合、プロファイルにセキュリティを付けることができます。

≫「アシスタントとアプリの設定」を選択した場合、Google 関連の設定をカスタマイズすることができます。設定を変更するにはインターネット接続が必要です。

Wi-Fi 接続 ►P.186

プロフィールの設定に関する詳細は、Google ホームページをご確認ください。

また Honda のホームページで、Honda 車をご利用のお客様向けの動画や FAQ 等についてご確認いただけます。

ホームページ URL：
https://www.honda.co.jp/Googlebuilt-in/Japanese/

システムアップデートなどにより仕様が変わる場合がございます。

再起動について

本システムを再起動することができます。

[1] HOME（HOME）ボタンをダイアログ画面が表示されるまで長押しする。
[2]「再起動」を選択する。
≫「セーフモード」を選択した場合、本システムはお客様がご自身でダウンロードしたアプリをオフにしたままで再起動します。パワーモードをもう一度オフにした場合、お客様がご自身でダウンロードしたアプリを使用することが可能になります。

ホーム画面

ホーム画面でアプリケーションアイコンの位置の並び替え、または追加や削除することができます。

- 「アプリ一覧」アイコンは削除できません。
- ホーム画面のアプリケーションアイコン削除では、アプリ自体は削除されません。
- 「ヒント」を選択すると詳細が表示されます。再度押すと、表示が消えます。

ホーム画面のアプリケーションアイコン追加／削除

ホーム画面のアプリケーションアイコンを追加する、または削除することができます。



[1] HOME（HOME）ボタンを押す。
[2]「アプリ一覧」を選択する。
[3] 追加／削除したいアプリにチェックを入れる、もしくは外す。

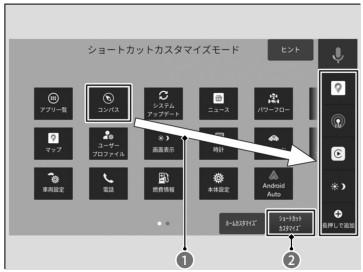
アプリケーションアイコンの並び替え／削除

ホーム画面でアプリケーションアイコンの位置の並び替え、または削除することができます。

[1] HOME（HOME）ボタンを押す。
[2] アプリケーションアイコンを長押しする。
[3] アプリケーションアイコンを選択したまま、移動したい場所へドラッグ・アンド・ドロップする。
≫「非表示」へドラッグ・アンド・ドロップすると、ホーム画面から削除することができます。
[4] HOME（HOME）または BACK（BACK）ボタンを押す。
≫ホーム画面に戻ります。

モードチェンジスイッチバーの編集

最大 5 つまでのアイコンをモードチェンジスイッチバーに登録することができます。



❶ ドラッグ・アンド・ドロップ
❷「ショートカットカスタマイズ」

[1] HOME（HOME）ボタンを押す。
[2] アプリケーションアイコンを長押しする。
[3]「ショートカットカスタマイズ」を選択する。
[4] 登録したいアイコンを選択したまま、モードチェンジスイッチバーにドラッグ・アンド・ドロップする。
≫既にモードチェンジスイッチバーに登録されているアプリケーションアイコンを選択し、変更したいアプリケーションアイコンを選択すると、モードチェンジスイッチバーのアイコンを変更することができます。
[5] HOME（HOME）または BACK（BACK）ボタンを押す。
≫ホーム画面に戻ります。

システムアップデート

システムアップデートはテレマティクスコントロールユニット（TCU）または Wi-Fi 通信機能を通じて更新ができます。
アップデートが可能になると、システムのアップデートを促す画面が表示されます。

- 新しいソフトウェアがリリースされた場合、できる限り早くアップデートを実行してください。
- システムアップデートが失敗した場合は、Honda 販売店にご連絡ください。
- システムアップデートにより、車両情報と本書が異なる場合があります。最新の情報については、Honda ホームページをご覧ください。

• アップデート中は、車両の機能が制限される場合があります。

システムアップデートの実行

[1] HOME（HOME）ボタンを押す。
[2]「システムアップデート」を選択する。
[3]「アップデートに同意する」を選択し、アップデートを許可する。
≫インストールの進行状況画面が表示されます。
≫パワーモードを OFF モードにすると、アップデート開始通知が数秒間表示されます。
[4] パワーモードを ON にし、システムアップデート結果画面を表示する。
≫システムアップデート結果は、「システムアップデート」→「設定」→「アップデート履歴」からも確認できます。

> ! システムアップデートを開始する場合は、必ず安全な場所に停車してから行ってください。

> ! 「アップデートに同意する」を選択した、もしくは「自動アップデート」が「ON」にもかかわらず許諾画面が表示されない場合は、以下の車両状態のいずれか、または複数が原因である可能性があります。詳細は Honda 販売店にご相談ください。
> • シフトポジションが P 以外になっている
> • 車両側で警告灯などの緊急通知を出している
> • 12V バッテリーの容量が低下している

> ! Wi-Fi 経由でもシステムを更新できますが、以下のような Wi-Fi の認証方式によっては使用できないものがあります。
> • 接続のためにログインが必要なもの
> • 使用条件への同意が必要なもの

> ! ネットワークが切断された場合、ダウンロードが中断されます。次にネットワーク接続が確立されたときに、ダウンロードが再開されます。

アップデート設定

システムアップデートの設定について変更、または確認することができます。
[1] HOME（HOME）ボタンを押す。

[2]「システムアップデート」を選択する。
[3]「設定」を選択する。
[4] 変更または確認したい項目を選択する。

以下の設定が可能です。
- 「ネットワーク設定」
  Wi-Fi 接続 ►P.186
- 「自動アップデート」
- 「自動ダウンロード (Wi-Fi 接続)」
- 「アップデート履歴」
- 「バージョン情報」

> もし Wi-Fi を使用してシステムアップデートを行う場合は、「本体設定」➔「接続」➔「Wi-Fi」➔「オプション」➔「他のネットワークを選択する」または「保存済みネットワーク」のチェックボックスにチェックを入れてください。

燃費情報

燃費情報を表示します。
[1] HOME（HOME）ボタンを押す。
[2]「燃費情報」を選択する。

- 「今回」タブ：現在の走行距離と平均燃費を表示します。
- 「Trip A」「Trip B」タブ：現在と 3 つ前までの走行情報を表示します。
  トリップ A/B をリセットするたびに、情報は保存されます。
  トリップ A/B をリセットするには、「メニュー」を選択し、「履歴消去」を選択します。
  トリップ A/B のリセット方法を変更するには、「メニュー」を選択し、「TRIP A 自動リセットタイミング」もしくは、「TRIP B 自動リセットタイミング」を選択します。

時計設定

時計の時刻を合わせる

パワーモードが ON のときに、ディスプレイオーディオ画面の時刻表示を調節できます。
≫ゲストユーザーは時計設定ができません。

[1] HOME（HOME）ボタンを押す。

[2]「本体設定」を選択する。
[3]「システム」を選択する。
[4]「日付と時刻」を選択する。

日付・時刻調整：

[5]「日付・時刻設定」を選択する。
[6]「自動日付時刻設定」を選択し、設定を「手動」にする。
[7]「日付設定」を選択する。
[8] 年、月、日を設定する。
≫▲ ▼ を押して調整します。
[9] BACK（BACK）ボタンを押す。
[10]「時刻設定」を選択する。
[11] 時、分、AM/PM を設定する。
≫▲ ▼ を押して調整します。
[12] BACK（BACK）ボタンを押す。

日付表示：

[5]「日付表示」を選択し、「曜日,月,日,年」、「年.月.日 曜日」、「年. 月. 日 (曜日)」、「曜日 日.月.年」または「日.月.年」を選択する。
[6] BACK（BACK）ボタンを押す。

時計表示：

[5]「時刻表示」を選択し、「12H」または「24H」を選択する。
≫「12H」または「24H」を選択すると時計表示が 12 時間または 24 時間に切り替わります。
[6] BACK（BACK）ボタンを押す。

時計は人工衛星からの情報を利用していますので、時刻合わせは不要です。

時計画面の壁紙を設定する

時計画面の壁紙を追加、変更、削除します。
≫本システムに保存できる画像の最大画素数は 4096x2304 ピクセル、データサイズは 10MB 未満です。

設定する画像を追加する

[1] HOME（HOME）ボタンを押す。
[2] USB メモリーを通信／充電用 USB ジャック（ ）に接続する。
[3]「時計」を選択する。
[4]「メニュー」を選択する。

[5]「壁紙設定」を選択する。
[6]「壁紙追加」を選択する。
[7] 追加したい画像を選択する。
≫複数の画像を一度に選択できます。
[8]「選択」を選択する。
[9]「追加」を選択する。

壁紙を変更する

[1] HOME（HOME）ボタンを押す。
[2]「時計」を選択する。
[3]「メニュー」を選択する。
[4]「壁紙設定」を選択する。
[5] 変更したい画像を選択する。
[6]「決定」を選択する。

取り込んだ画像を削除する

[1] HOME（HOME）ボタンを押す。
[2]「時計」を選択する。
[3]「メニュー」を選択する。
[4]「壁紙設定」を選択する。
[5]「削除」を選択する。
[6]「選択削除」もしくは「全件削除」を選択する。
≫「選択削除」の場合は、削除したい壁紙にチェックを入れてから「選択」を選択してください。
[7]「削除」を選択する。

> ! 壁紙の変更や取り込みをした直後は、車両のパワーモードを OFF モードにしたり、USB メモリーを抜かないでください。登録にエラーが発生したり、USB メモリーのデータが壊れることがあります。

音質を調整する

[1] HOME（HOME）ボタンを押す。
[2] 再生ソースアイコンを選択する。

▼ TV、USB オーディオ（ビデオ）モード

[3]「メニュー」を選択する。
[4]「音質調整」を選択する。

[5] お好みの設定を選択する。

▼FM ラジオ、USB オーディオ（音楽）、iPod や iPhone などのデバイス、Bluetooth®オーディオモード

[3]「音質調整」を選択する。
[4] お好みの設定を選択する。

以下の項目が設定できます。

- 「Bass / Mid / Treble」：Bass、Midrange、Treble を調整します。
- 「Balance / Fader」：Balance/Fader を調整します。
- 「Bose Dynamic Speed Compensation」：走行速度に応じて、音量を自動調整します。音量の増加量を設定します。「オフ」を選択すると、機能を解除します。

下記の手順でも音量を調節することができます。
[1] HOME（HOME）ボタンを押す。
[2]「本体設定」を選択する。
[3]「音質調整」を選択する。

「Bass / Mid / Treble」、「Balance / Fader」の各設定をリセットしたいときは、各設定項目で「初期化」を選択してください。

画面の設定を変更する

画面の明るさ、コントラスト、黒の濃さを調整することができます。
[1] HOME（HOME）ボタンを押す。
[2]「本体設定」を選択する。
[3]「画面」を選択する。
[4] 画面の「明るさ」、「コントラスト」、「黒の濃さ」を調整する。
≫画面表示設定を初期化する場合は、「初期化」を選択してください。

ディスプレイオーディオ 2

ラジオを聴く



❶「音質調整」アイコン
❷「放送局リスト」アイコン
❸「エリア選局」アイコン
❹「SCAN」アイコン
❺「長押しで追加」
❻プリセットアイコン
❼「TUNE」アイコン
❽「SEEK」アイコン

放送局リスト

現在いる地域で電波が強い局を表示します。
[1]「放送局リスト」を選択し、リストを表示する。
[2] 放送局を選択する。

手動で更新する

受信可能な放送局リストを手動で更新します。
[1]「放送局リスト」を選択し、リストを表示する。
[2]「リスト更新」を選択する。

SCAN

数秒間、電波が強い局を抽出します。スキャンを中止したいときは、「停止」または BACK（BACK）ボタンを押してください。

プリセットに登録する

お好みの局をプリセットに登録できます。
≫プリセットアイコンの範囲を横にスワイプして、お気に入り局のリストを見ることができます。

局を追加する場合：
[1] お好みの局にチューニングする。
[2]「長押しで追加」を長押しする。
≫12 局まで登録することができます。

プリセットの編集

プリセットした局を長押しする。
下記の項目を選択できます：

- 「お気に入りを削除」：選択されたお気に入り局のアイコンをお気に入り局リストから削除する。
- 「XX.X（視聴中の周波数）を登録」：選択されたプリセットを入れ替える。
- 「ホームに追加」：保存されたプリセットのショートカットアイコンをホーム画面に追加する。

エリア選局

移動にともない地域が変わったときに、自動でその地域で受信できる放送局をプリセットスイッチに表示します。もう一度エリア選局を選択すると表示が解除されます。

TUNE

画面上のキーボードで周波数を直接入力することができます。
また、◀ / ▶ アイコンで周波数を合わせることもできます。

SEEK

|◀◀ / ▶▶| を選択する。
選択している間は、周波数が変化し続けます。

テレビを観る

安全上の配慮から、テレビは停車してパーキングブレーキをかけているときだけご覧になることができます。走行中や、パーキングブレーキをかけずに停車しているときなどは、映像は映らずに音声だけがきこえます。

何か問題が起きた場合は、エラーメッセージが表示されます。

はじめて観る場合

データ放送の地域設定をする

テレビを観る前にデータ放送の地域を設定します。

[1] HOME（HOME）ボタンを押す。
[2]「TV」を選択する。
[3] 郵便番号（7 桁）を入力する。
[4]「OK」を選択する。
[5] お住まいの地域を選択する。
[6] お住まいの県域を選択する。
[7]「実行」を選択してホームスキャンを実行する。
≫BACK（BACK）ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

- 郵便番号は、天気予報などのデータ放送の内容に利用されます。
- データ放送の地域設定は変更することができます。
テレビメニュー画面 ▶P.168

操作画面

画面に触れると、テレビの操作画面が表示されます。



以下の項目を選択できます。

- 「スキャン」：ユーザープリセットのためのスキャンをします。
- 「番組表」：視聴中チャンネルの番組表を表示します。
  ≫「前日」、「翌日」を選択し、それぞれの同時刻の番組を確認できます。
  ≫「詳細」を選択し、番組内容の詳細を確認できます。
- 「CH モード」：ホームプリセットとユーザープリセットを切り替えます。
  ≫ホームプリセット：地域設定情報からスキャンして登録したチャンネル
  ≫ユーザープリセット：移動先などでスキャンして登録したチャンネル
- 「d 操作」：操作パネルを表示します。
- 「メニュー」：テレビ設定画面が表示されます。
  テレビメニュー画面 ▶P.168
- 選局アイコン：番号に割り当てられているチャンネルに切り替えます。

番組表

- 番組表で放送局を変更するのと連動してテレビの受信する放送局も切り替わります。
- 放送局の表示順は、プリセットスイッチの番号順です。

d 操作

データ操作メニュー画面は十字キーおよび「決定」を選択して操作します。

- 「戻る」を選択すると、視聴画面に戻ります。
- 「移動」を選択すると、データ操作メニューの位置が左右の逆側に移動します。

テレビメニュー画面

テレビの操作画面から「メニュー」を選択することでテレビメニュー画面が表示されます。

操作画面 ►P.166



以下の項目を選択できます。

- 「音質調整」：音質を調整します。
  音質を調整する ►P.162
- 「画質調整」：画質を調整します。
- 「時計表示位置」：映像画面での時計の表示位置を「右上」、「左上」、「右下」、「左下」、「非表示」から選択します。
- 「音声」：放送中の音声を切り替えます。
- 「二重音声」：マルチチャンネル音声放送受信時に、音声を切り替えます。
- 「字幕」：字幕を切り替えます。
- 「文字スーパー」：文字スーパー受信時に、ユーザーにお知らせしたい内容を画面上に文字で表示します。
- 「受信モード」：受信モードを「自動切替」、「地上 D」、「ワンセグ」から切り替えます。
- 「オートサーチ」：受信レベルが低下した際のオートサーチを設定します。
- 「地域設定」：データ放送の地域を設定します。
- 「県域設定」：データ放送の県域を設定します。
- 「郵便番号設定」：データ放送の地域の郵便番号を設定します。
- 「デバイス ID 表示」：デバイス ID を表示します。

- 「ホームスキャン」：ホームプリセットのためのスキャンを実行します。
- 「設定初期化」：テレビメニューの設定を初期値に戻します。

オーディオ・ビジュアル再生について

お手持ちのデバイスをオーディオ機器に接続して、各種メディアファイルの再生ができます。

> ❗ 運転中にオーディオ機器を操作することは違法となる場合があります。

- 接続するデバイスの機種やバージョンによっては、本システムでご利用になれない場合や、操作できる機能に制限がある場合があります。
- 接続するデバイスによっては、アーティスト名、アルバム名、曲名が正常に表示されない場合があります。

再生モードの選択

再生モードを選択することができます。

シャッフル／リピート

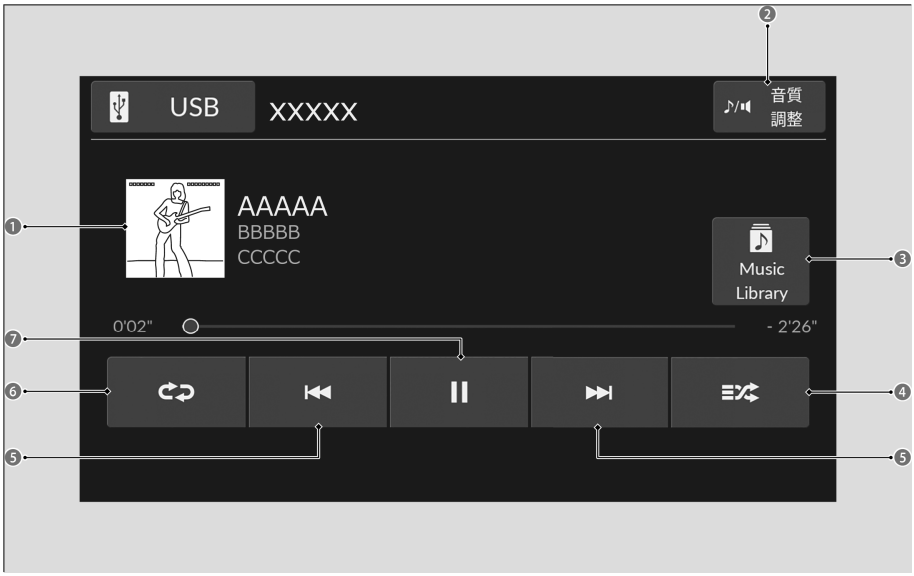
- ：シャッフルモードを解除します。
- ：選択されたリスト内にあるすべての曲／ビデオを順不同で再生します。
- ：全フォルダのすべての曲／ビデオを順不同で再生します。※1
- ：リピートモードを解除します。
- ：再生中の曲／ビデオを繰り返して再生します。
- ：選択されたフォルダ／リスト内にあるすべての曲／ビデオを繰り返して再生します。※1
- ：選択されたリスト内にあるすべての曲を繰り返して再生します。※2

※1：USB デバイス再生時
※2：Bluetooth®オーディオ再生時

有線接続による音楽再生

iPod や iPhone などのデバイスを通信／充電用 USB ジャック（ ）に接続してから、「USB」アイコンを選択する。

有線接続について ▶P.152



❶ カバーアート
❷ 「音質調整」アイコン
❸ 楽曲検索アイコン
❹ シャッフルアイコン
❺ 曲送り／曲戻し、早送り／早戻しアイコン
❻ リピートアイコン
❼ 再生／一時停止アイコン

iPhone を Apple CarPlay で接続した場合、iPhone にある音楽ファイルは Apple CarPlay でのみ再生することができます。

曲の変更方法

⏮ / ⏭ を選択して、曲を変更することができます。
長押しすることで、再生中の曲を早送り／早戻しすることができます。

曲を探す

[1]「Music Library」を選択する。
[2] カテゴリを選択する。
[3] 聴きたい曲を選択する。

USB デバイスによる音楽／ビデオ再生

USB デバイスを通信／充電用 USB ジャック（ ）に接続してから、「USB」アイコンを選択してください。

有線接続について ►P.152

推奨 USB デバイスを使用してください。

使用できる iPod、iPhone、USB デバイス ►P.204



❶「音質調整」※1、「メニュー」※2 アイコン
❷ 楽曲検索アイコン
❸ 曲送り／曲戻し※1、早送り／早戻し※2 アイコン
❹ シャッフルアイコン
❺ 停止アイコン※2
❻ 再生／一時停止アイコン
❼ リピートアイコン
❽ カバーアート※1、ミニプレーヤー画面※2

※1：音楽再生時
※2：ビデオ再生時

DRM で保護された WMA ファイルは再生できません。

曲／ビデオの変更方法

⏮ / ⏭ を選択して、曲／ビデオを変更することができます。
長押しすることで、再生中の曲／ビデオを早送り／早戻しすることができます。

曲／ビデオを探す

[1]「Music Library」を選択する。
[2] カテゴリを選択する。
[3] 聴きたい曲／ビデオを選択する。

メニュー（ビデオ再生時）

ビデオファイル再生時に設定を変更することができます。
[1]「メニュー」を選択する。
[2] 設定したい項目を選択する。

以下の項目を選択できます。

- 「音質調整」：音質を調整します。
  音質を調整する ►P.162
- 「画質調整」：画質を調整します。
- 「アスペクト比」：ビデオ再生の縦横比を変更します。
- 「時計表示位置」：時計表示位置を変更します。

ビデオの拡大／縮小

⛶ ：ビデオ画面を拡大して表示します。
⛶ ：ビデオ画面を縮小して表示します。

Bluetooth®による音楽再生

Bluetooth®に対応しているオーディオ機器を本システムに登録して、「Bluetooth Audio」アイコンを選択してください。
はじめて Bluetooth®オーディオを利用するときは、Bluetooth®対応機器を本システムにペアリングする必要があります。
無線接続について ►P.153



❶「接続機器切り替え」アイコン
❷「音質調整」アイコン
❸楽曲検索アイコン
❹シャッフルアイコン
❺曲送り／曲戻し、早送り／早戻しアイコン
❻リピートアイコン
❼再生、一時停止アイコン
❽カバーアート

- Bluetooth®対応機器の種類によっては、本システムでご利用になれない場合や、操作できる機能に制限がある場合があります。詳しくは、お使いの Bluetooth®対応機器の取扱説明書をご覧ください。
- アーティスト名、アルバム名、曲名が正常に表示されない場合があります。
- デバイスにより、一部の機能が使用できない場合があります。
- Bluetooth®オーディオで一度に利用できる Bluetooth®対応機器は 1 台までです。車内に 2 つ以上のペアリングされた Bluetooth®対応機器がある場合、システムが最初に認識した Bluetooth®対応機器が自動的に接続されます。

無線接続について ▶P.153

- 車内に 2 つ以上のペアリングされた Bluetooth®対応機器がある場合、一部動作が遅れる場合があります。
- Apple CarPlay または Android Auto によって接続されたオーディオ機器は、Bluetooth®オーディオは利用できません。

- Bluetooth®オーディオ再生中に着信があった場合は、レフトセレクターホイールを上下に動かし、マルチインフォメーションディスプレイで「通話」を選択して押すと応答できます。応答中は再生が一時停止し、電話を切ると再び再生が始まります。
電話を受ける ►P.183
- オーディオファイルの再生には、Bluetooth®対応機器の操作が必要な場合があります。Bluetooth®対応機器の操作画面の指示に従って操作してください。
- 「接続機器切り替え」を選択することで、接続するオーディオ機器を変更することができます。
無線接続について ►P.153

曲の変更方法

⏮ / ⏭ を選択して、曲を変更することができます。
長押しすることで、再生中の曲を早送り／早戻しすることができます。

曲を探す

[1]「Music Library」を選択する。
[2] カテゴリを選択する。
[3] 聴きたい曲を選択する。

Apple CarPlay

Apple CarPlay に対応した iPhone を通信／充電用 USB ジャック（ ）、またはワイヤレス接続し、「Apple CarPlay」アイコンを選択すると、本システムの画面で Apple CarPlay が使用できます。
デバイスの接続 ►P.152



❶「Apple CarPlay」アイコン

- Apple CarPlay を使用する場合、iOS を最新のバージョンにしてご利用ください。Apple CarPlay の機能について詳しくは、Apple のホームページをご覧ください。
- 本システムに iPhone を接続するときや Apple CarPlay を起動するときは、必ず安全な場所に停車してから行ってください。
- 機器使用確認画面で選択した項目は、以下の手順で確認、変更ができます。
  HOME（HOME）➔「本体設定」➔「接続」➔「接続機器一覧」
- Apple CarPlay および Android Auto を同時に利用することはできません。
- Apple CarPlay に接続されている場合、Bluetooth®オーディオ、またはハンズフリーテレホンを利用することはできません。通話や音楽再生は Apple CarPlay 経由でのみ可能です。ペアリング済みの他の携帯電話は Bluetooth®オーディオを利用できます。
- Apple CarPlay 起動中は Siri でのみハンズフリー操作ができます。
  Apple CarPlay Siri ►P.177
- オペレーティングシステム、ハードウェア、ソフトウェア、および Apple CarPlay の仕様変更や新たに定められた規制や規制の改定などにより、Apple CarPlay の機能とサービスは予告なく中止になることがあります。 Honda は、Apple から提供される AppleCarPlay の仕様や機能に対していかなる保証もできません。
- Apple CarPlay に対応しているアプリケーションも使用できます。対応しているアプリケーションについては、Apple のホームページをご覧ください。
- Apple CarPlay を利用するには、モバイルデータ通信およびデータプランが付いている対応可能な iPhone が必要となります。キャリアの携帯料金プランが適用されます。
- Apple CarPlay をご利用いただいた場合は、Apple CarPlay および Apple iOS の利用規約に同意されたものとみなされます。

- Apple CarPlay ご利用中は、車両からユーザ情報および位置や速度などの車両情報が接続中の iPhone に送信されます。
- Apple CarPlay によってお使いの iPhone から送受信されたユーザー情報と車両情報の使用および取り扱いは、Apple iOS の使用規約と Apple プライバシーポリシーによって管理されています。
- Apple CarPlay でのユーザ情報および位置や速度などの車両情報の取り扱いに関する詳細は、Apple のプライバシーポリシーをご確認ください。
- Honda は、Apple CarPlay をご利用いただいたことにより生じた損害について、一切の責任を負いません。
- iPhone の接続に問題が発生した場合にエラーコードを表示します。
Q 設定 ►P.194

Apple CarPlay メニュー

以下項目はあくまでも代表例です。画面上に表示するアプリについては、お使いの iPhone で変更することができます。

- 「電話」：コンタクトリストから電話をかけたり、Voicemail を聴くことができます。
- 「ミュージック」：接続した iPhone 内の音楽を再生できます。
- 「マップ」：Apple のマップを表示して、接続した iPhone と同様のナビゲーション機能を使用できます。
  本システムでは、複数のナビゲーション機能（Google アプリおよびサービスまたは Apple CarPlay）を同時に使用することはできません。ひとつのナビゲーション機能でルート案内中に別のナビゲーション機能で目的地を設定した場合、先に設定された目的地への案内は中止され、後から目的地を設定したナビゲーション機能での案内が開始されます。
- 「メッセージ」：接続した iPhone に届いたテキストメッセージを音声読み上げで確認したり、返信したりすることができます。
- 「Honda」：ホーム画面に戻ります。

Apple CarPlay を USB で接続する

[1] USB ケーブルを使って iPhone を通信／充電用 USB ジャック（ ）に接続する。
≫Apple CarPlay での機器使用確認画面が表示されます。

[2] 「接続する」を選択する。
≫接続しない場合は、「キャンセル」を選択する。
Q 有線接続について ►P.152

他のデバイスが接続済みの場合、画面に表示されるポップアップを選択すると、確認画面が表示されます。「接続を続行する」を選択してください。
接続の設定メニューで許可設定を変更することができます。

Apple CarPlay をワイヤレスで接続する

ホーム画面から接続する

[1] HOME（HOME）ボタンを押す。
[2]「Apple CarPlay」を選択する。
[3]「デバイスリストを確認」または「新しいスマートフォンを接続」を選択する。
[4] 本システムに iPhone を Bluetooth®接続する。
無線接続について ►P.153
[5]「はい」を選択する。

Bluetooth®デバイスリストから接続する

[1] HOME（HOME）ボタンを押す。
[2]「本体設定」を選択する。
[3]「接続」を選択する。
[4]「接続機器一覧」を選択する。
[5] Apple Carplay に接続したい機器の ▶ アイコンを選択する。
[6]「接続」を選択する。
[7]「はい」を選択する。

オーディオリモートコントロールスイッチから接続する

[1] オーディオリモートコントロールスイッチの 🎤 スイッチを長押しする。
[2] 本システムに iPhone を Bluetooth®接続する。
無線接続について ►P.153
[3]「はい」を選択する。

Apple CarPlay Siri

Apple CarPlay 接続中に、iPhone の音声アシスタント「Siri」をオーディオリモートコントロールスイッチの 🎤 スイッチ長押しで利用することができます。また、「Siri」起動後に 🎤 スイッチを押すと「Siri」が解除されます。
オーディオリモートコントロールスイッチ ►P.151
Apple CarPlay Siri でできる機能について詳しくは Apple のホームページをご覧ください。

Android Auto™

Android Auto に対応した Android™ スマートフォンを通信／充電用 USB ジャック（ ）またはワイヤレス接続し、「Android Auto」アイコンを選択すると、本システムの画面で Android Auto が使用できます。

デバイスの接続 ►P.152



❶「Android Auto」アイコン

- Android Auto を使用する場合、Android スマートフォンの OS を最新のバージョンにしてご利用ください。Android Auto の機能について詳しくは、Android Auto のホームページをご覧ください。
- Google、Android、Android Auto、Google マップ、およびその他のマークは Google LLC の商標です。互換性のある Android スマートフォンと、有効なデータ通信プランが必要です。
- 本システムに Android スマートフォンを接続するときや Android Auto を起動するときは、必ず安全な場所に停車してから行ってください。なお、はじめて Android Auto を起動したときは、OS のバージョンにより画面にチュートリアルが表示されます。チュートリアルは安全な場所に停車して Android Auto を使用する前に完了することをおすすめします。
- 車両が安全な場所に停車しているときのみ、Android Auto の初回接続設定を実行します。初回接続時に、接続する Android スマートフォンが本システムと Bluetooth®接続のペアリング設定をしていない場合、自動的に Bluetooth®接続のペアリング設定が実行されます。
- 機器使用確認画面で選択した項目は、以下の手順で確認、変更ができます。
  HOME（HOME）➔「本体設定」➔「接続」➔「接続機器一覧」
- Apple CarPlay および Android Auto を同時に利用することはできません。
- Android Auto 画面表示中にウェイクアップワードを使用する、または スイッチの長押しで Google アシスタントを起動すると、Android Auto の各機能が操作できます。
  Android Auto の音声操作について ►P.180
- Google 社によって Android Auto のサービスが開始されている国／地域にて使用可能です。詳細については Google 社のサポートサイトをご確認ください。

- Android Auto を利用するには、モバイルデータ通信およびデータプランが付いている対応可能な Android が必要となります。キャリアの携帯料金プランが適用されます。
- Android Auto ご利用中は、車両からユーザ情報および位置や速度などの車両情報が Google およびサービスプロバイダーと共有されます。
  Android Auto をご利用いただいた場合は、Android Auto アプリケーションをダウンロードする際に表示される利用規約に同意されたものとみなされます。Android Auto によりアップロードされたユーザ情報および位置や速度などの車両情報の取り扱いについての詳細は、Google のプライバシーポリシーをご確認ください。
  Honda は、Android Auto をご利用いただいたことにより生じた損害について、一切の責任を負いません。
- オペレーティングシステム、ハードウェア、ソフトウェア、および Android Auto の仕様変更や新たに定められた規制や規制の改定などにより、Android Auto の機能とサービスは予告なく中止になることがあります。Honda は、Android Auto の仕様や機能に対していかなる保証もできません。
- スマートフォンの接続に問題が発生した場合にエラーコードを表示します。
  設定 ►P.194

Android Auto メニュー

以下項目はあくまでも代表例です。画面上に表示するアプリについては、お使いのスマートフォンで変更することができます。

- 「電話」：電話をかけたり、Voicemail を聴くことができます。
- 「マップ」：Google マップを表示して、接続したスマートフォンと同様のナビゲーション機能を使用できます。走行中はキーボード入力による検索はできません。
  安全な場所に停車して入力してください。
  本システムでは、複数のナビゲーション機能 (Google アプリおよびサービスまたは Android Auto) を同時に使用することはできません。ひとつのナビゲーション機能でルート案内中に別のナビゲーション機能で目的地を設定した場合、先に設定された目的地への案内は中止され、後から目的地を設定したナビゲーション機能での案内が開始されます。
- 「Honda」：ホーム画面に戻ります。

Android Auto を USB で接続する

[1] USB ケーブルを使って Android スマートフォンを通信／充電用 USB ジャック（ ）に接続する。
≫Android Auto での機器使用確認画面が表示されます。

[2] 「はい」を選択する。
≫接続しない場合は、「いいえ」を選択する。
有線接続について ►P.152

他のデバイスが接続済みの場合、確認画面が表示されます。「接続を続行する」を選択してください。
接続の設定メニューで許可設定を変更することができます。

Android Auto をワイヤレスで接続する

ホーム画面から接続する

[1] HOME（HOME）ボタンを押す。
[2]「Android Auto」を選択する。
[3]「スマートフォンを接続」または「機器の検索」を選択する。
[4] 本システムに Android スマートフォンを Bluetooth®接続する。
無線接続について ►P.153
[5]「はい」を選択する。

Bluetooth®デバイスリストから接続する

[1] HOME（HOME）ボタンを押す。
[2]「本体設定」を選択する。
[3]「接続」を選択する。
[4]「接続機器一覧」を選択する。
[5] Android Auto に接続したい機器の アイコンを選択する。
[6]「接続」を選択する。
[7]「はい」を選択する。

オーディオリモートコントロールスイッチから接続する

[1] オーディオリモートコントロールスイッチの スイッチを長押しする。
[2] 本システムに Android スマートフォンを Bluetooth®接続する。
無線接続について ►P.153
[3]「はい」を選択する。

Android Auto の音声操作について

Android Auto 接続中に、Android の音声アシスタントをオーディオリモートコントロールスイッチの スイッチ長押しで利用することができます。
また、音声アシスタント起動後に スイッチを押すと音声アシスタントが解除されます。
オーディオリモートコントロールスイッチ ►P.151
Android Auto の音声操作でできる機能について詳しくは Android のホームページをご確認ください。

ハンズフリーテレホンについて

ハンズフリーテレホンは、携帯電話を操作することなく本システムで電話の発着信ができます。携帯電話を接続して「電話」を選択すると、ハンズフリーテレホン画面が表示されます。

無線接続について ▶P.153



❶ Bluetooth®接続中
Bluetooth®接続が完了すると表示されます。

❷ 電話回線の接続状況
❸ 携帯電話の電池残量
❹ 接続先の変更
❺ 「メニュー」
❻ 「電話帳」
❼ よく使う項目
❽ 「履歴」

- システムを利用するには、Bluetooth®設定をオンにする必要があります。
本体設定 ▶P.195
- ハンズフリーテレホン同士の通話、騒音の大きい環境下での通話など、使用条件によっては通話しづらい場合があります。また、話しかたによっては相手先に声が伝わりにくい場合や、相手の声がきこえにくい場合があります。

- ハンズフリーテレホンに着信があれば、再生中の再生ソースが中断されます。通話が終わった場合、再生が再開されます。
- 電話帳から名前を選択すると、相手のカテゴリーを示すラベルが表示されます。
- 一部の携帯電話は、カテゴリーを示すラベルを読み込むことができません。
- 接続された携帯電話によっては、一部の機能が使用できないことがあります。
- 携帯電話の機種によってはディスプレイオーディオ画面の表示が異なります。

よく使う項目

よく使う項目を登録する

[1] HOME（HOME）ボタンを押す。
[2]「電話」を選択する。
[3]「長押しで追加」を長押しする。
[4]「履歴」、「電話帳」、または「番号を入力」を選択する。

▼履歴、電話帳

[5] 連絡先を選択する。

▼番号を入力

[5] 番号を入力してから、「完了」を選択する。

よく使う項目を編集する

[1] 登録したよく使う項目を長押しする。
[2]「お気に入りを編集」を選択する。
[3] お好みの項目を選択する。
[4]「完了」、✔ またはラベルの種類を選択します。
≫よく使う項目を削除する場合は、「お気に入りを削除」を選択してください。
[5] HOME（HOME）または BACK（BACK）ボタンを押す。

電話をかける

電話番号を直接入力するほか、取り込まれた電話帳、通話履歴、またはよく使う項目から電話をかけることができます。

電話帳から電話をかける

[1] ハンズフリーテレホン画面を表示する。
[2]「電話帳」を選択する。
[3] 電話をかけたい相手を選択する。

≫画面の右上にあるアイコンを選択することで、姓または名で並び替えることができます。

電話番号を入れて電話をかける

[1] ハンズフリーテレホン画面を表示する。
[2]「メニュー」を選択する。
[3]「番号入力」を選択する。
[4] 番号を選択する。
≫タッチ画面上のキーボードを使って番号を入力します。
[5]「発信」を選択する。

履歴から電話をかける

[1] ハンズフリーテレホン画面を表示する。
[2]「履歴」を選択する。
≫画面の右上にあるアイコンを選択することで、「すべて表示」、「発信履歴」、「不在着信」、または「着信履歴」に並び替えることができます。
[3] 電話をかけたい相手を選択する。

よく使う項目から電話をかける

[1] ハンズフリーテレホン画面を表示する。
[2] 電話をかけたい相手を選択する。

電話を受ける

携帯電話に着信があると、ディスプレイオーディオに着信画面が表示されます。



❶ 電話帳に登録されている名前／電話番号（未登録の場合）

電話に出る場合：
（通話）を選択する。
レフトセレクターホイールを上下に回し、マルチインフォメーションディスプレイに表示される （通話）を選択しても、電話を受けることができます。
着信拒否する場合：
（着信拒否）を選択する。
レフトセレクターホイールを上下に回し、マルチインフォメーションディスプレイで （着信拒否）を選択しても、電話を切ることができます。

割込通話：
- （通話）を選択し、通話を保留にして着信に応答します。
- レフトセレクターホイールを使用して （通話切替）を選択し、もとの通話に切り替えます。
- 着信に応答したくない場合は （着信拒否）を選択し、着信拒否します。
- （終了）を選択し、通話を切ります。

電話中の設定



通話中画面では、以下の項目を選択できます。

- 「通話終了」：通話を終了します。レフトセレクターホイールを上下に動かし、マルチインフォメーションディスプレイからも通話を終了することができます。
- 「番号入力」：自動音声案内などで 1 桁ずつ番号を送信するときに使用します。
- 「マイクミュート」：こちらからの音声を消して、相手に聞こえない状態にします。
- 「電話機で通話」：ハンズフリー通話から携帯電話での通話に切り替えます。

ハンズフリーテレホンメニュー

以下の項目を選択できます。

- 「番号入力」：電話番号を入力して発信できます。
  電話をかける ▶P.182
- 「履歴」：ハンズフリーテレホン画面に履歴の連絡先を表示するかを設定します。
- 「電話帳/履歴同期」：本システムに携帯電話をペアリングすると、携帯電話の電話帳や発信着信履歴を自動で読み込むことができます。
- 「ハンズフリー通話」：車両のスピーカーに通話を自動的に転送します。
- 「着信音」：本システム内蔵の着信音または、接続された携帯電話で設定している着信音の変更ができます。

ディスプレイオーディオ 3

Honda Total Care

Honda Total Care はドライブに役立つ便利な情報を提供しております。

Honda Total Care を使う

[1] HOME（HOME）ボタンを押す。
[2]「Honda Total Care」を選択する。
[3] 確認したい項目を選択する。

- Honda Total Care のサービスについて：
  2023 年 12 月時点の情報を基に作成しております。サービス内容ならびに仕様について予告なく変更・終了することがありますので、あらかじめご了承ください。
- Honda Total Care 会員サイト／アプリ：
  Honda Total Care が提供するパソコン向け、スマートフォン向けのサービスです。パソコンや、スマートフォンからルート計算したり車のメンテナンス状況を管理することができます。
  Honda Total Care の詳細はホームページをご覧ください。
  ホームページ URL：
  https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/
- 通信できない状況では使用できません。
- 走行中は安全のため操作できません。

Wi-Fi 接続

この車両は Wi-Fi の接続機能があります。外部の Wi-Fi スポットや通信機器とテザリングすることで様々なアプリケーションが使用できます。また、テレマティクスコントロールユニット（TCU）経由で車両自体が Wi-Fi スポットとなり、お使いの通信機器をインターネットに接続できます。

- Wi-Fi スポットに車両を接続する
- 車内 Wi-Fi を使用する

Wi-Fi®および Wi-Fi Direct®は Wi-Fi Alliance®の登録商標となります。

Wi-Fi スポットに車両を接続する

[1] HOME（HOME）ボタンを押す。
[2]「本体設定」を選択する。
[3]「接続」を選択する。
[4]「Wi-Fi」を選択する。
≫Wi-Fi の設定を変更するには、「オプション」を選択してください。
[5] 接続したい Wi-Fi スポットを選択する。
[6]「接続」を選択する。
≫接続が成功すると、リスト内のネットワーク名に「接続中」と表示されます。
[7] HOME（HOME）ボタンを押して、ホーム画面に戻る。

- 走行中は安全のため操作できません。Wi-Fi モードを設定する場合は、必ず安全な場所に停車してから行ってください。
- 一部の携帯電話会社では、テザリングやデータ使用による通信費がかかる場合があります。接続の前にデータプランなどの契約状況をご確認ください。
- ご使用の携帯電話がテザリング可能かについては、携帯電話の取扱説明書をご確認ください。
- Wi-Fi 接続のオン／オフは、ステータスバーの で確認できます。通信速度などは、表示されません。
- 携帯電話との Wi-Fi 接続の場合は、携帯電話の Wi-Fi 設定がオンになっていることをご確認ください。
- 「Access Point」を選択すると、携帯電話からワイヤレス接続の設定ができます。

本体設定 ►P.195

車内 Wi-Fi を使用する

車両自体が Wi-Fi スポットとなり、お使いの通信機器をインターネットに接続できます。
[1] HOME（HOME）ボタンを押す。
[2]「車内 Wi-Fi」を選択する。
≫画面右上にあるスライドボタンをタップし、「OFF」から「ON」にすることで使用できます。

以下の項目の設定ができます。

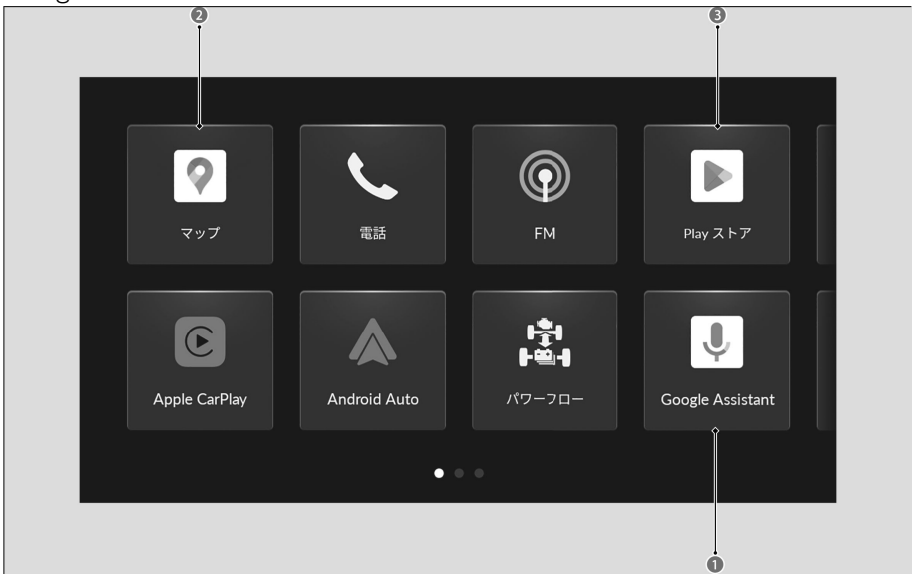
- 「ご購入画面へ」：Wi-Fi パックの購入ができます。
- 「Wi-Fi 設定」：SSID、パスワードの変更ができます。
  - 「Wi-Fi SSID」：使用しているネットワークの名称を設定します。
  - 「Password」：接続可能なデバイスをこのネットワークに接続する場合に、要求されるパスワードを設定します。
  ≫パスワードは、半角英数字が使用できます。

ご利用には、Honda Total Care プレミアムのお申込みが必要です。詳しくは Honda TotalCare プレミアムのホームページをご確認ください。

https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/premium/

Google 搭載車

Google アプリおよびサービスを利用できます。



❶ Google アシスタント
❷ Google マップ
❸ Google Play

- Google、Google Play、および Google マップは Google LLC の商標です。
- Google のアプリとサービスの詳細については、Google ホームページをご覧ください。

また Honda のホームページで、Honda 車をご利用のお客様向けの動画や FAQ 等についてご確認いただけます。
ホームページ URL：

https://www.honda.co.jp/Googlebuilt-in/Japanese/

Google アシスタント

Google アシスタントを使用することで、電話や音楽再生などをハンズフリーで行うことができます。
下記の操作で、Google アシスタントを起動できます。

- 音声で起動する。
  ≫詳細については、Google のホームページをご覧ください。
- オーディオリモートコントロールスイッチの スイッチを押す。
- 画面で Google アシスタントのアイコンを選択する。

下記は Google アシスタントで使用できる音声コマンドの例です：

- 音楽をかけて
- ラジオを再生して

Google アシスタントに関する言語設定等の設定をカスタマイズできます。
本体設定 ►P.195

詳細については、Google のホームページをご覧ください。

Google マップ

Google マップ搭載で、最適なルートを検索できます。

- 車両を安全な場所に停車させてから操作してください。
- Google アカウントが有効なユーザーと連携している場合、他の端末に保存されている目的地（自宅、職場、お気に入り、過去の検索結果など）を表示することが可能です。端末と車両が同じ Google アカウントにログインしている場合は、端末の情報を変更すると Google マップの情報も変更されます。

Google Play

Google Play でお気に入りのアプリをダウンロードできます。

- 車両を安全な場所に停車させてから操作してください。
- アプリをダウンロードする前に、車両を停車する必要があります。

ユーザー情報

ユーザーの追加や変更、ユーザー設定のカスタマイズが可能です。ユーザーを登録することで、本体の設定をお好みに合わせてカスタマイズすることができます。
ドアの開閉時やドアロック解除時のディスプレイオーディオ画面読み込み時にも、ユーザーを選択することができます。



❶ ユーザー情報

ユーザーと Google アカウントを連携させることで、Google アカウントで設定した項目で車両の Google アプリおよびサービスを利用することができます。アカウント連携の詳細については、Google のホームページをご覧ください。

各ユーザーの設定を個別でカスタマイズすることができます。
プロファイル設定のカスタマイズについて ►P.202

- 各ユーザー毎にセキュリティ設定ができます。セキュリティ設定を忘れた場合、ユーザーを削除してから、新しいユーザーを作成する必要があります。オーナーのセキュリティ設定を忘れた場合は、Honda 販売店へご連絡ください。

ユーザー情報 ►P.190

- 新規に作成したユーザーまたはゲストユーザーを利用する場合は、一部の機能が使用できません。

新規ユーザー登録

[1] ユーザー情報を選択する。

≫「ユーザープロファイル」➔「ユーザー切り替え」を選択した場合にも、新規ユーザーを作成できます。

プロファイル設定のカスタマイズについて ►P.202

≫ドアの開閉時やドアロック解除時のディスプレイオーディオ画面読み込み時にも、ユーザーを追加することができます。

[2]「プロファイルの変更」を選択する。

[3]「プロファイルを追加」を選択する。

[4]「OK」を選択する。

起動時の設定 ►P.156

- オーナーとゲストユーザーを除いて、最大 4 つのユーザーを作成できます。
- ユーザーを追加した場合、追加したユーザーで本システムが起動します。

ユーザー切り替えについて

[1] ユーザー情報を選択する。

≫「ユーザープロファイル」➔「ユーザー切り替え」を選択した場合にも、ユーザーを切り替えることができます。

プロファイル設定のカスタマイズについて ►P.202

≫ドアの開閉時やドアロック解除時のディスプレイオーディオ画面読み込み時にも、ユーザーを切り替えることができます。

[2]「プロファイルの変更」を選択する。

[3] お好みのユーザーを選択する。

- 「画面ロック」を選択すると、セキュリティ設定済みのユーザーが画面動作を制限できます。

ユーザー削除について

[1] HOME（HOME）ボタンを押す。

[2]「ユーザープロファイル」を選択する。

[3]「ユーザー編集」を選択する。

[4]「プロファイルとアカウント」を選択する。

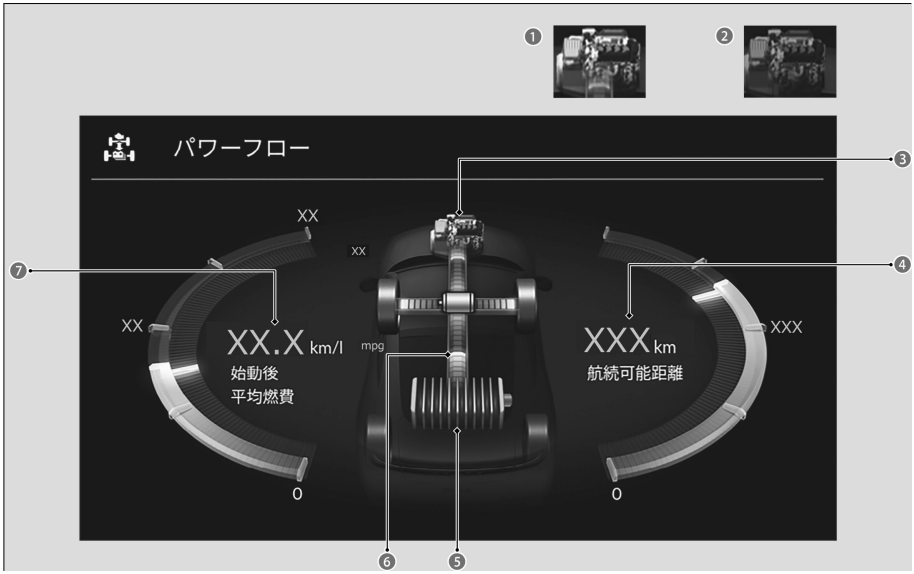
[5]「このプロファイルを削除」を選択する。

[6]「削除」を選択する。

- 現在使用中のユーザーを削除した場合、本システムはゲストユーザーで起動します。
- オーナーを使用中は、「本体設定」➔「Advanced 設定」➔「プロファイルとアカウント」➔「他のプロファイルを管理」で他のユーザーを削除することができます。
本体設定 ▶P.195
- OS のバージョンによっては、ユーザーを削除する手順がこのページの手順と異なる場合があります。 画面上の指示に従ってください。

パワーフロー

バッテリーへの充電、平均燃費、航続可能距離、および車両へのアシスト状態を確認できます。



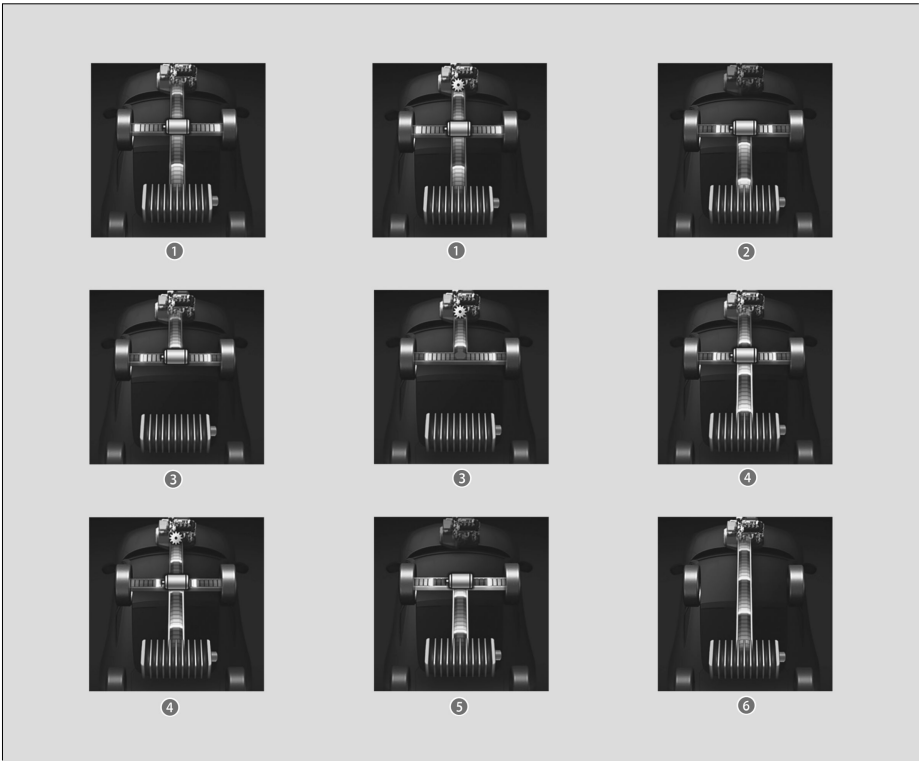
❶ エンジン作動中
❷ エンジン停止中
❸ エンジン作動表示
❹ 航続可能距離
❺ 高電圧バッテリー残量表示
❻ パワーフロー表示
❼ 平均燃費（現在の運転状況）

- エンジンが直接的に車輪を駆動する際には、パワーフロー表示の画面内に  が表示されます。
- マルチインフォメーションディスプレイにも表示されます。

マルチインフォメーションディスプレイ 右側 ►P.294

パワーフロー表示

パワーフローは状態により動力伝達を青、充電を緑で表示します。



❶ ハイブリット走行中：エンジン作動とモーターアシスト（青）
❷ EV 走行中：モーターのみ作動（青）
❸ エンジンのみ作動（青）
❹ エンジン走行中：エンジン作動し、高電圧バッテリーへ充電中（青と緑）
❺ 回生中：高電圧バッテリーへ充電中（緑）
❻ アイドル充電中：エンジン作動し、高電圧バッテリーへ充電中（緑）

設定

本システムを使って一部の機能をカスタマイズすることができます。

設定をカスタマイズする場合：
- 車両が停車していることを確認する
- シフトポジションを P にする

本体設定

「本体設定」を選択し、お好みの設定項目を選択してください。

本体設定一覧

システム

日付と時刻 ➔ 日付・時刻設定

自動日付時刻設定

手動/自動※

日付設定

表示日付（年、月、日）を手動で調整します。

時計の時刻を合わせる ►P.160

時刻設定

表示時刻（時、分）を手動で調整します。

時計の時刻を合わせる ►P.160

日付と時刻 ➔ 日付表示

曜日,月,日,年/年.月.日 曜日/年.月.日(曜日)※/曜日 日.月.年/日. 月. 年

日付と時刻 ➔ 時刻表示

12H※/24H

タッチパネル感度

低※/高

アップリンク設定

オフ/オン※

情報 ➔ IP アドレス

Android 設定項目を表示します。

情報 ➔ Wi-Fi MAC アドレス

Android 設定項目を表示します。

情報 ➔ Bluetooth MAC アドレス

Android 設定項目を表示します。

情報 ➔ シリアル番号

Android 設定項目を表示します。

情報 ➔ 稼働時間

Android 設定項目を表示します。

情報 ➔ Model Number

Android 設定項目を表示します。

情報 ➔ Android Version

Android 設定項目を表示します。

情報 ➔ Kernel Version

Android 設定項目を表示します。

情報 ➔ Build Number

Android 設定項目を表示します。

情報 ➔ ソフトウェアバージョン

Android 設定項目を表示します。

接続

接続機器一覧 ➔ オプション

Bluetooth

オフ/オン※

優先接続機器

Bluetooth®接続を優先する機器の確認ができます。

名称を変更

本システムの名称を変更します。

スマートフォン接続機能の表示サイズ

ノーマル/ワイド※

スマートフォン接続機能のエラーコード

スマートフォン接続機能のエラーコードを表示します。

接続機器一覧 ➔ + 新しい機器を接続する

Bluetooth®を使用する新しい機器を接続します。

Q 無線接続について ►P.153

接続機器一覧 ➔ (登録機器)

登録された機器を接続、解除、削除します。

Q 無線接続について ►P.153

初期化

キャンセル/続ける

Q 初期化 ►P.203

※：初期値

Wi-Fi ➔ オプション

Wi-Fi

オフ/オン※

他のネットワークを選択する

Wi-Fi 接続する新しいネットワークを保存します。

保存済みネットワーク

保存済みのネットワークを表示します。

Access Point ➔ オプション

Access Point

オフ※/オン

Access Point 設定編集

アクセスポイントの設定を確認、編集をします。

データ通信設定 ➔ Wi-Fi 設定

Wi-Fi 設定画面を表示します。

Q Wi-Fi 接続 ►P.186

データ通信設定 ➔ 通信プラン設定

データ通信プラン設定画面を表示します。

Q 車内 Wi-Fi を使用する ►P.187

※：初期値

プライバシー

フローティングカー情報提供

しない/する※

マイク

マイクの On／Off を切り替えます。緊急通報はこの設定に依らず利用できます。

位置情報

各機能のデータ共有権限を設定します。

アプリの権限

各機能のデータ共有権限を設定します。

権限一括設定

各機能のデータ共有権限を設定します。

インフォテインメント データ

各機能のデータ共有権限を設定します。

Google とのデータの共有※1

各機能のデータ共有権限を設定します。

広告

各機能のデータ共有権限を設定します。

Google 利用規約※1 ➔ Google 利用規約※1

Google の URL を表示します。

Google 利用規約※1 ➔ Google プライバシー ポリシー※1

Google の URL を表示します。

※：初期値

※1：詳細は、ディスプレイオーディオ画面でご確認ください。また、システムアップデート等により仕様が変更になる場合があります。

画面

明るさ

明るさを調整します。

コントラスト

コントラストを調整します。

黒の濃さ

黒の濃さを調整します。

初期化

画質調整の設定を初期値に戻します。

画面オフ

画面表示を消します。

音質調整

Bass / Mid / Treble ➔ Treble

音質を調整します。また、車速に応じて音量を自動的に調整する設定を行います。

音質を調整する ►P.162

Bass / Mid / Treble ➔ Midrange

音質を調整します。また、車速に応じて音量を自動的に調整する設定を行います。

音質を調整する ►P.162

Bass / Mid / Treble ➔ Bass

音質を調整します。また、車速に応じて音量を自動的に調整する設定を行います。

音質を調整する ►P.162

Balance / Fader

音質を調整します。また、車速に応じて音量を自動的に調整する設定を行います。

音質を調整する ►P.162

Bose Dynamic Speed Compensation

音質を調整します。また、車速に応じて音量を自動的に調整する設定を行います。

音質を調整する ►P.162

音量設定

操作・通知

0/1/2※/3

読み上げ

1～2※～11

ナビ音声案内

0～6※～11

通話

0～20※～40

初期化

音量設定を初期値に戻します。

※：初期値

カメラ

リアワイドカメラ ➔ ガイド線

目安ガイド線表示

しない/する※

予測ガイド線表示

しない/する※

後退出庫サポート

しない/する※

※：初期値

音声認識

アシスタントアプリ設定

なし/Google Assistant※

“Hey Siri”で起動※1

オフ/オン※

Google Assistant

Google アシスタントの機能を設定します。

※：初期値

※1：iPhone 接続時に選択できます。

セキュリティ

セキュリティに関する設定をします。詳細は、ディスプレイオーディオ画面をご覧ください。

システムアップデートなどにより仕様が変更になる場合があります。

Google

Google に関する設定をします。詳細は、ディスプレイオーディオ画面をご覧ください。

システムアップデートなどにより仕様が変更になる場合があります。

Advanced 設定

各種項目を設定します。詳細は、ディスプレイオーディオ画面をご覧ください。

システムアップデートなどにより仕様が変更になる場合があります。

車両設定

「車両設定」を選択し、お好みの設定項目を選択してください。



車両設定一覧

運転支援システム設定

衝突軽減ブレーキ(CMBS)警報距離

遠め/標準※/近め

ACC 先行車検知音

ON/OFF※

先行車発進お知らせ設定

標準※/早め/OFF

路外逸脱抑制機能設定

アシストタイミング 早め/アシストタイミング 標準※/アシストタイミング 遅め/操舵アシストなし 警報のみ

LKAS(車線維持支援システム)制御解除警報音

ON/OFF※

ブラインドスポットインフォメーション設定

警報音/警報表示※、警報表示

標識認識機能表示

ON※/OFF

標識認識機能速度超過お知らせ

ON※/OFF

標識認識機能速度超過量

+0km/h※、 +5km/h、 +10km/h、 +15km/h

ドライバー注意力モニター

ステアリング振動と警報音※/ステアリング振動/OFF

リアパーキングセンサー警報設定

ON※/OFF

※：初期値

メーター設定

外気温表示補正

–3℃～±0℃※～+3℃

TRIP A 自動リセットタイミング

満タン給油時/IGN OFF 時/手動のみ※

TRIP B 自動リセットタイミング

満タン給油時/IGN OFF 時/手動のみ※

アラーム音量

大/中※/小

交差点案内表示

ON※/OFF

リアシートリマインダー

ON※/OFF

※：初期値

Honda スマートキーシステム設定

アンサーバックブザー音量

大※/小

ドアハンドル操作アンサーバックブザー

ON※/OFF

※：初期値

ライティング設定

アダプティブドライビングビーム

ON※/OFF

インテリアライト点灯時間

60 秒/30 秒※/15 秒

デイタイムランニングライト

ON※/OFF

ワンタッチターンシグナル

ON※/OFF

※：初期値

ドア設定

アウターハンドルポップアップ設定

ON※/OFF

降車時オートドアロック

ON/OFF※

キーレス アンサーバック

ON※/OFF

オートリトラミラー格納

ON※/OFF

パワーウィンドウキーレス連動

ON※/OFF

予約ロック

ON※/OFF

※：初期値

エアコン設定

運転席シート空調連動

ON※/OFF

助手席シート空調連動

ON※/OFF

※：初期値

INDIVIDUAL 設定

パワートレイン

COMFORT/GT※/SPORT

ステアリング

COMFORT/GT※/SPORT

サスペンション

COMFORT/GT※/SPORT

エンジンサウンド

COMFORT/GT※/SPORT

ACC

COMFORT/GT※

メーター

COMFORT/GT※/SPORT

※：初期値

プロファイル設定のカスタマイズについて

各ユーザーの設定をカスタマイズすることができます。
HOME（HOME）ボタンを押し、「ユーザープロファイル」を選択してから、お好みの項目を選択します。

ユーザー切り替え

ユーザーの切り替え、または追加をします。

ユーザー情報 ►P.190

ユーザー編集

プロファイル設定を確認、変更します。詳細はディスプレイオーディオ画面でご確認ください。
システムアップデート等により仕様が変更になる場合があります。

初期化

すべてのメニュー・設定を、工場出荷時の状態に戻します。
オーナーのみ初期化を実行することができます。
オーナーでない場合は、オーナーへユーザーを切り替えてください。

- 初期化を実行すると、プリインストールアプリが工場出荷時の状態に戻されます。

ユーザー切り替えについて ▶P.191

> お車を譲渡される際などは、すべての設定を工場出荷状態に戻して、個人情報を削除してください。

本体設定の初期化について

オーナーのみ初期化を実行できます。
初期化する場合はユーザーをオーナーに切り替えてください。

ユーザー切り替えについて ▶P.191

[1] HOME（HOME）ボタンを押す。
[2]「本体設定」を選択する。
[3]「システム」を選択する。
[4]「初期化」を選択する。
≫確認メッセージが表示されます。
[5]「続ける」を選択する。
[6]「する」を選択すると、設定がリセットされます。

車両設定の初期化について

[1] HOME（HOME）ボタンを押す。
[2]「車両設定」を選択する。
[3]「初期化設定」を選択する。
[4]「はい」を選択する。

情報

使用できる iPod、iPhone、USB デバイス

iPod と iPhone の対応モデル

モデル名
iPod touch（第 6、7 世代）
iPhone（5s、6、6 Plus、6s、6s Plus、SE、7、7 Plus、8、8 Plus、X、XR、XS、XS Max、11、11 Pro、11 Pro Max、SE（第 2 世代）、12 mini、12、12 Pro、12 Pro Max、13 mini、13、13 Pro、13 Pro Max、SE（第 3 世代）、14、14 Plus、14 Pro、14 Pro Max）

本システムは対応モデルであってもソフトウェアバージョンによっては対応しない場合があります。

使用できる USB デバイス

FAT16 または FAT32 でフォーマットされた 256MB 以上の推奨される USB デバイスを使用してください。

- 一部のデジタルオーディオプレイヤーや USB デバイス（例えば、セキュリティロック機能を持つもの）は、本システムでご利用になれない場合があります。
- 一部のソフトウェアのファイルは、オーディオの再生やテキストデータの表示ができない場合があります。
- MP3、WMA、AAC、FLAC、PCM/WAVE、Opus、MP4、AVI、MKV、3GPP、WebM、MPEG2-TS のバージョンによっては、再生できない場合があります。
- 再生される順番は、パソコンや USB デバイスで表示される順番と異なる場合があります。
- AAC 形式は iTunes でエンコードしたファイルのみ再生ができます。

再生できる動画データについて

フォーマット：MP4

メディア	USB Flash Drive				
拡張子（MP4 version）	.mp4/.m4v				
オーディオ	AAC, MP3				
動画※1	MPEG4-AVC (H.264)	H.263	H.265 HEVC	MPEG-4 SP	MPEG-2
プロファイル（MP4 version）※1	BaselineProfile/Level 3, MainProfile/Level 3.1 (MPEG4-AVC)	—	—	—	—
最大ビットレート※1	10 Mbps, 14 Mbps (MPEG4-AVC)	—	—	—	—
最大解像度※1	1,280 × 720 pixels (MPEG4-AVC)	—	—	—	—

フォーマット：AVI

メディア	USB Flash Drive
拡張子（AVI version）	.avi
オーディオ	AAC, MP3, WMA
動画※1	MPEG4-AVC（H.264）
プロファイル（AVI version）※1	BaselineProfile/Level 3, MainProfile/Level 3.1（MPEG4-AVC）
最大ビットレート※1	10 Mbps, 14 Mbps（MPEG4-AVC）
最大解像度※1	1,280 × 720 pixels（MPEG4-AVC）

※1: ビデオファイルの形式によっては、本システムでは再生できません。

フォーマット：MKV

メディア	USB Flash Drive					
拡張子（MKV version）	.mkv					
オーディオ	AAC, MP3					
動画※1	MPEG4-AVC (H.264)	H.263	H.265 HEVC	MPEG-2	VP8	VP9
プロファイル（MKV version）※1	BaselineProfile/Level 3, MainProfile/Level 3.1 (MPEG4-AVC)	—	—	—	—	—
最大ビットレート※1	10 Mbps, 14 Mbps (MPEG4-AVC)	—	—	—	—	—
最大解像度※1	1,280 × 720 pixels (MPEG4-AVC)	—	—	—	—	—

フォーマット：3GPP

メディア	USB Flash Drive		
拡張子（3GPP version）	.3gp		
オーディオ	MPEG-4, AAC LC（Low Complexity）		
動画※1	H.263	H.264	MPEG-4 SP
プロファイル（3GPP version）※1	—	BaselineProfile/Level 3, MainProfile/Level 3.1（MPEG4-AVC）	—
最大ビットレート※1	—	10 Mbps, 14 Mbps (MPEG4-AVC)	—
最大解像度※1	—	1,280 × 720 pixels (MPEG4-AVC)	—

※1: ビデオファイルの形式によっては、本システムでは再生できません。

フォーマット：WebM

メディア	USB Flash Drive	
拡張子 (WebM version)	.webm	
オーディオ	Opus	
動画※1	VP8	VP9
プロファイル (WebM version) ※1	—	—
最大ビットレート※1	—	—
最大解像度※1	—	—

フォーマット：MPEG2-TS

メディア	USB Flash Drive	
拡張子 (MPEG2-TS version)	.ts	
オーディオ	AAC, MP3	
動画※1	MPEG-2	H.264 AVC
プロファイル (MPEG2-TS version) ※1	—	BaselineProfile/Level 3, MainProfile/Level 3.1（MPEG4-AVC)
最大ビットレート※1	—	10 Mbps, 14 Mbps（MPEG4-AVC)
最大解像度※1	—	1,280 × 720 pixels（MPEG4-AVC)

※1: ビデオファイルの形式によっては、本システムでは再生できません。

ナビゲーションシステムの現在地について

GPS/自立航法について

GPS による測位

GPS（Global Positioning System：グローバル・ポジショニング・システム）とは、GPS 衛星から位置測定用の電波を受信して現在地を測位するシステムです。

- 次のような場所では、GPS 衛星の電波がさえぎられて受信できないため、測位できないことがあります。
  - トンネルの中やビルの駐車場
  - 高層ビルの群集地帯
  - 2 層構造の高速道路の下
  - 密集した樹木の間
  - 地下駐車場
- その他
  - 本システムが作動したあとすぐに走行すると、測位までの時間が長くなります。
  - 一度電源が切れた場合（バッテリーを外したとき、ヒューズが切れたとき）は、測位までの時間が長くなります。

自立航法による測位

走行距離を車速パルスから、また曲がった方向を 6 軸ジャイロセンサーから検出して現在地を割り出す方法です。

GPS と自立航法を組み合わせた測位の特徴

- GPS 衛星の電波が受信できなくても、自立航法で測位できます。
- 自立航法による測位だけでは、現在地の表示が徐々にずれてくることがあります。
  GPS と自立航法を組み合わせると、GPS 測位で自立航法のずれが修正されるため、測位精度が高くなります。

現在地や軌跡の誤差について

以下のような場合は、現在地がずれやすくなります。

- 分岐角度が小さな Y 字路を走行
- 高低差のある道を走行
- 高速道路と側道が近接している
- 緩やかなカーブを走行した後
- チェーンを装着／タイヤを交換した
- 旋回や切り返しが続いた
- タイヤがスリップしやすい状況
- ターンテーブルでの旋回
- GPS が測位できない状況が続いた
- 蛇行運転をした
- ヘアピンカーブが続いた
- ループ橋などを通った
- 地図にない道を通った
- 渋滞などで、低速で発進、停止を繰り返した
- 車輌運搬車などで移動した
- 碁盤の目状の道路を走った

- 駐車場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた
- パワーモードを ON モードにしてすぐに走行し始めた
- 地下駐車場から地上に出た
- 車両低温状態から走行開始した
- 初回起動時およびディスプレイオーディオの初期化を実行した

オープンソースライセンスについて

下記の手順で、オープンソースライセンスをご確認いただけます。
[1] HOME（HOME）ボタンを押す。
[2]「本体設定」を選択する。
[3]「Advanced 設定」を選択する。
[4]「システム」を選択する。
[5]「法的情報」を選択する。
[6]「サードパーティライセンス」を選択する。

商標

Bluetooth

The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by ALPS ALPINE CO.,LTD is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.

Windows Media

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.

Apple

“Made for iPod,” and “Made for iPhone,” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, or iPhone, may affect wireless performance.
Apple, the Apple Logo, iPhone, iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. Apple CarPlay, iPod, iPhone, iTunes, Siri and Lightning are trademarks of Apple Inc. App Store is a service mark of Apple Inc.

Made for
iPhone | iPod

MPEG

Mpeg4 Visual
THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUALA STANDARD (“MPEG-4 VIDEO”) AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NONCOMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC.
SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM.

AVC/H.264
THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NONCOMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD (“AVC VIDEO”) AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE.

ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C.
SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM.

安全運転支援システム

Honda SENSING

Honda SENSING とは…… 214
各機能を作動させるための装備と表示……215
フロントワイドビューカメラ…… 217
ソナーセンサー…… 218

衝突軽減ブレーキ（CMBS）

衝突軽減ブレーキ（CMBS）について……220
システムの作動…… 220
作動条件…… 221
CMBS の ON/OFF…… 222
CMBS の制限…… 222

踏み間違い衝突軽減システム

踏み間違い衝突軽減システムについて……226
システムの作動…… 226
踏み間違い衝突軽減システムの ON/OFF…. 228
踏み間違い衝突軽減システムの制限…… 229

急アクセル抑制機能✤

急アクセル抑制機能について…… 231
システムを作動させるには……231
システムの作動…… 232
急アクセル抑制機能の制限……233

路外逸脱抑制機能

路外逸脱抑制機能について……234
システムの作動…… 234
作動条件…… 235
路外逸脱抑制機能の ON/OFF……236
路外逸脱抑制機能の制限……236

歩行者事故低減ステアリング

歩行者事故低減ステアリングについて……238
作動条件…… 239
歩行者事故低減ステアリングの ON/OFF…. 239
歩行者事故低減ステアリングシステムの制限….
…… 240

渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール（ACC）

渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール（ACC）について……242
渋滞追従機能付 ACC の作動方法…… 243
クルーズモードへの切換え……248
渋滞追従機能付 ACC の制限……250

車線維持支援システム（LKAS）

車線維持支援システム（LKAS）について…. 253
作動条件…… 254
LKAS の作動方法……254
LKAS の制限…… 255

トラフィックジャムアシスト（渋滞運転支援機能）

トラフィックジャムアシスト（渋滞運転支援機能）について……258
作動条件…… 259
トラフィックジャムアシストの作動方法…. 260
トラフィックジャムアシストの制限…… 261

先行車発進お知らせ機能

先行車発進お知らせ機能について…… 263
作動条件…… 263
先行車発進お知らせ機能の制限……264

標識認識機能

標識認識機能について…… 266
システムの作動…… 266
標識認識機能の制限……267

ブラインドスポットインフォメーション

ブラインドスポットインフォメーションについて
…… 270
作動条件…… 271
システムの ON と OFF……271

✤: タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

安全運転支援システム

ブラインドスポットインフォメーションの制限…
…… 271

後退出庫サポート

後退出庫サポートについて……273
作動条件…… 273
画面表示について……274
後退出庫サポートの ON と OFF…… 274
後退出庫サポートの制限……274

パーキングセンサーシステム

パーキングセンサーシステムについて……276
パーキングセンサーの取付位置と検知範囲… 276
パーキングセンサーの ON と OFF…… 276
画面操作…… 277
障害物を検知したときの作動状態…… 277
パーキングセンサーの制限……279

Honda SENSING

Honda SENSING とは

衝突被害の軽減、衝突事故の回避、運転者の負担を軽減するために、運転者のアクセル・ブレーキ・ハンドル操作などを支援します。
Honda SENSING には、次の機能があります。

- 衝突軽減ブレーキ（CMBS）について ►P.220
- 踏み間違い衝突軽減システムについて ►P.226
- 急アクセル抑制機能について ►P.231
- 路外逸脱抑制機能について ►P.234
- 歩行者事故低減ステアリングについて ►P.238
- 渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール（ACC）について ►P.242
- 車線維持支援システム（LKAS）について ►P.253
- トラフィックジャムアシスト（渋滞運転支援機能）について ►P.258
- 先行車発進お知らせ機能について ►P.263
- 標識認識機能について ►P.266
- ブラインドスポットインフォメーションについて ►P.270
- 後退出庫サポートについて ►P.273
- パーキングセンサーシステムについて ►P.276
- アダプティブドライビングビーム ►P.113
- ドライバー注意力モニター ►P.297

- フロントワイドビューカメラにより作動する機能は、パワーモードを ON にしてから約 15 秒経過すると作動します。

⚠警告

Honda SENSING は、補助システムとして使用してください。
自動運転システムではありません。 あくまでも運転者をアシストするためのシステムです。

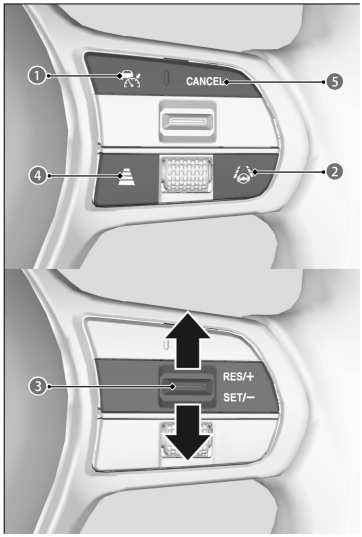
各機能の能力（認識能力・制御能力）には限界があります。
機能に頼った運転をすると衝突などの事故につながり、死亡または重大な傷害にいたるおそれがあります。 常に周囲の状況を確認し、十分な車間距離を保ち安全運転を心がけ走行してください。

駐車場のターンテーブル上など、車両が動いているときにパワーモードを ON モードにしないでください、各機能が作動しない場合があります。

システムを正常に作動させるために、以下をお守りください。
- タイヤは、四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤを使う
- サスペンションの改造はしない

各機能を作動させるための装備と表示

作動させるための装備



❶ スイッチ
渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール（ACC）の待機状態の設定を行います。

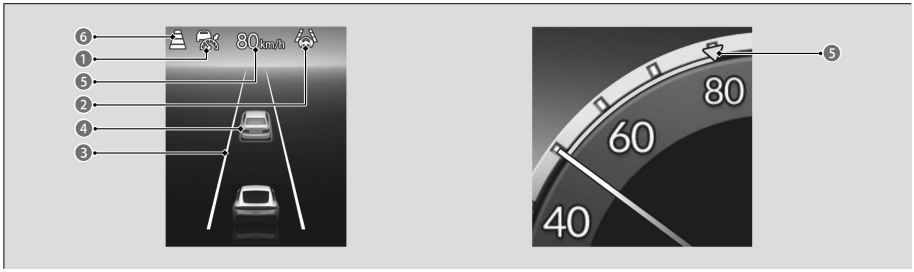
❷ スイッチ
車線維持支援システム（LKAS）、トラフィックジャムアシスト（渋滞運転支援機能）の待機状態の設定を行います。

❸ RES/+/SET/− スイッチ
渋滞追従機能付 ACC の車速のセットと復帰、設定車速の調整を行います。

❹ ディスタンススイッチ
渋滞追従機能付 ACC の車間距離設定を行います。

❺ CANCEL スイッチ
渋滞追従機能付 ACC の解除を行います。

メーターの表示



各機能の現在の状態を表示します。

❶ 渋滞追従機能付 ACC の作動状態
グリーン、ホワイト/グリーン：作動中
≫先行車を検知していないとき、ホワイト/グリーンで表示
ホワイト：待機中
オレンジ：システムが異常のとき

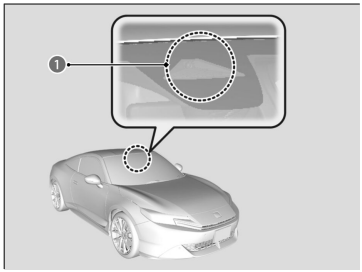
❷ LKAS、トラフィックジャムアシストの作動状態
グリーン：作動中
ホワイト：待機中
オレンジ：システムが異常のとき

❸ LKAS、トラフィックジャムアシストの検知状態
グリーンの線：作動中
ホワイトの線：車線を検知した状態
オレンジの線：点灯した側の車線逸脱を検知

❹ 渋滞追従機能付 ACC の先行車検知状態
制御対象車両アイコン：ホワイト、車両輪郭グリーン
制御対象外車両アイコン：グレー

❺ 渋滞追従機能付 ACC の設定車速
❻ 渋滞追従機能付 ACC の設定車間

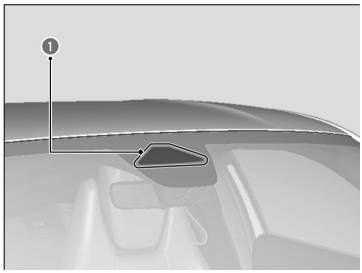
フロントワイドビューカメラ



カメラ（❶）は、フロントガラス上部に設置されています。

カメラの取り扱い

- カメラ機能の一時停止を防ぐため、室内温度が高温になることを避ける
  ≫駐車時は、太陽光を避けて日陰に駐車することをおすすめします。
- カメラへの熱の集中を避けるため、反射サンシェード使用時はカメラを覆わない
- フロントガラスにフィルムを貼ったり、カメラの視野を遮るものを取り付けない



❶ ステッカー貼り付け不可範囲

- カメラのレンズ、フロントガラスを汚したり傷つけたりしない
  ≫カメラの視野内に傷、打痕、損傷があると、システムが正常に作動しなくなることがあるため、フロントガラスの交換をお勧めします。Honda 純正品以外のフロントガラスを使用するとシステムが正常に作動しなくなる場合がありますので、修理や交換の際は Honda 販売店にご相談ください。
- インストルメントパネル上部に物を置かない
  ≫物がフロントガラスに反射して車線等を的確に検知できない場合があります。
- カメラを取り外さない
  ≫システムが正常に作動しなくなる場合があります。
- 必要に応じてデフロスターを使用し、フロントガラスを曇らせない
- ボンネットやフロントグリルの上にカメラの視野を妨げるものを装着しない

メーターに「運転支援システムの一部が使用できません　カメラの温度が下がるまでお待ちください」が表示されたとき：

- エアコンを使用して車内の温度を下げてください。必要に応じてデフロスターを使用し、カメラに向けて送風してください。
- 車両を走行させ、フロントガラスとカメラ周辺の温度を下げてください。

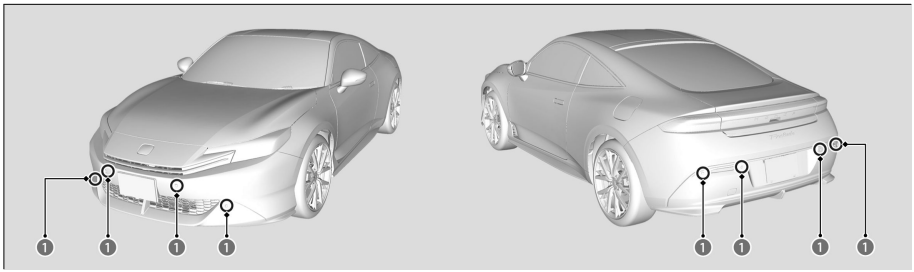
メーターに「運転支援システムの一部が使用できません　カメラ視界不良のため認識できません」が表示されたとき：

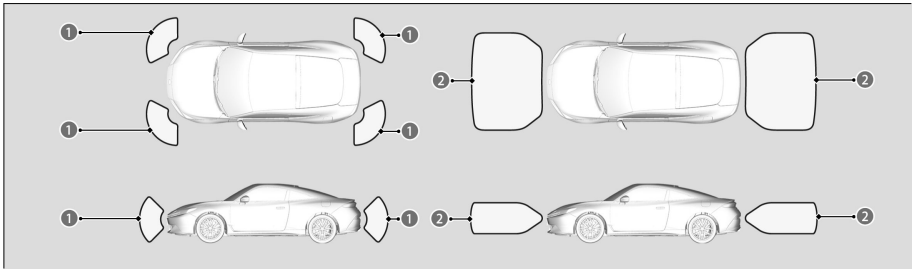
- 安全な場所に駐車してフロントガラスが汚れていないか確認してください。汚れている場合は、清掃してください。
- 雨、霧、雪などの悪天候や、夜間やトンネル内、夜明け、夕暮れなど周囲が暗いときなどのカメラ視界不良のときも表示されます。

> ❗ 対処した後、しばらくしてもメッセージが消えない場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。

ソナーセンサー

ソナーセンサー（❶）はフロントバンパー、およびリヤバンパーに設置されています。





❶ コーナーセンサーの検知範囲
❷ センターセンサーの検知範囲

ソナーセンサーの取り扱い

- センサーの周囲に強い衝撃を与えない
- センサーにステッカーを貼らない
- 分解は行わない
- センサーの近くにアクセサリーを取り付けない

以下の場合は、Honda 販売店にご相談ください。

- ソナーセンサーに衝撃が加わったとき
- ソナーセンサー周辺の修理を行うとき
- フロントバンパーおよびリヤバンパーが段差、縁石、輪留め、盛り土などに接触したとき
- 深い水たまりに進入したとき
- 車両前方または後方が衝突、接触したとき

メーターに「踏み間違い衝突軽減システムが作動しません　ソナーの汚れを取り除いてください」が表示されたとき：

- 安全な場所に駐車してソナーセンサーやその周囲の汚れなどの遮蔽物を取り除いてください。

> ❗ 対処した後、しばらくしてもメッセージが消えない場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。

衝突軽減ブレーキ（CMBS）

衝突軽減ブレーキ（CMBS）について

自車が、前方の車両（二輪車含む）のほぼ真後ろから追突するおそれがあるときや、対向車両に正面から衝突するおそれがあるとき、前方の交差車両に衝突するおそれがあるとき、歩行者および人が乗車し移動している自転車（移動する自転車）に衝突するおそれがあるときに、運転者のブレーキ操作を支援し、衝突回避を支援したり衝突被害の軽減を支援したりするシステムです。

⚠警告

衝突軽減ブレーキ（CMBS）は、運転者の運転を支援するためのシステムであり、あらゆる状況で衝突を回避したり、衝突による被害を軽減できるものではありません。 システムに頼った運転をすると、衝突など思わぬ事故につながり、死亡または重大な傷害にいたるおそれがあります。 常に周囲の状況を確認し、十分な車間距離を保ち安全運転を心がけて走行してください。

❗ 車両の整備や検査の際に、シャシーダイナモやフリーローラーを使用するときは CMBS を OFF にしてください。

❗ 頻繁に警報が作動するなど、異常を感じたときは Honda 販売店で点検を受けてください。

システムの作動

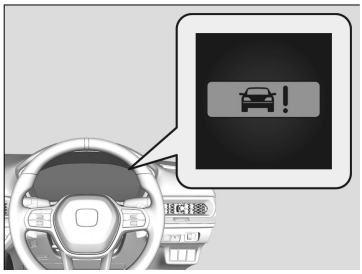
自車の車速が約 5km/h 以上になるとカメラが前方の車両（二輪車含む）、歩行者および移動する自転車の検知を開始します。システムが衝突のおそれがあると判断したときに CMBS が作動します。

🔍 フロントワイドビューカメラ ▶P.217

CMBS の作動には衝突の可能性に応じ 3 つの段階があります。

≫状況によっては途中段階から作動することがあります。

＜第 1 段階＞衝突のおそれがでてきた状況
警告表示が点滅します。さらに接近すると、警告表示およびブザーによる警報を行います。
＜第 2 段階＞衝突の危険が増し、衝突するまでの余裕が少なくなった状況
警告表示およびブザーによる警報を行い、軽いブレーキがかかります。
＜第 3 段階＞回避が困難な状況
警告表示およびブザーによる警報を行い、強いブレーキがかかります。



システムは警告表示と警告音で衝突のおそれがあることを運転者に知らせます。
≫ブレーキやハンドルを操作するなどの適切な行動で衝突を回避してください。

- CMBS によるブレーキが作動しているときは制動灯が点灯します。
- CMBS の作動により停車、または減速した後は、システムの判断により CMBS は解除されます。
- 衝突を回避しようとして、運転者がハンドル、ブレーキペダル、アクセルペダルを操作したときは、システムが解除されることがあります。
- アクセルペダルの踏み込み量が大きいときに、システムが作動しない場合があります。

CMBS の警報距離を遠め・標準・近めの 3 段階から選択することができます。
設定 ►P.194

作動条件

CMBS が作動する条件と作動対象は、以下の通りです。

直進時

自車の速度が約 5km/h 以上かつ、作動対象との速度差が約 5km/h 以上のとき
- 前走する車両（二輪車含む）

自車の速度が約 5-100km/h かつ、作動対象との速度差が約 5km/h 以上のとき
- 停止している車両（二輪車含む）
- 対向する車両
- 交差する車両
- 歩行者
- 移動する自転車

右左折時（正面で衝突する恐れがあるときのみ）

自車の速度が約 5-30km/h かつ、作動対象との速度差が約 5km/h 以上のとき

- 対向する車両（二輪車含む）※1
- 歩行者
- 移動する自転車

※1: 対向車線側に曲がる場合のみ作動

CMBS の自動停止

以下の場合、CMBS が自動的に停止して警告灯が点灯することがあります。

- 悪路の走行や山岳路を長時間走行したとき
- 雨、霧、雪などの悪天候のとき
- パーキングブレーキをかけて走行したとき
- カメラの温度が高温のとき
- フロントガラスの汚れ、曇り、雨粒、泥、湿った雪、シール、アクセサリー、ステッカーやフィルムなどによりカメラ前方が覆われているとき
- タイヤの異常を検出したとき

作動できる状態になると、CMBS は自動復帰します。

CMBS の ON/OFF

メーターでシステムの ON/OFF を切り換えることができます。

表示の切り換えかた ►P.294

安全支援情報 ►P.299

- システムを OFF にしても、パワーモードを ON にするたびにシステムは自動的に ON になります。
- 運転中は CMBS を OFF にすることはできません。

CMBS の制限

次のような場合、システムが作動対象や路面状況を正しく検知できず、CMBS が正常に作動しない場合があります。

環境によりシステムが正しく検知できない事例

- 雨、霧、雪などの悪天候のとき
- トンネルの出入り口や、木、建物の影などで周囲の明るさが変化したとき
- 作動対象と背景のコントラストが低いとき

- 夜明けや夕暮れ時に太陽に向かって走行するとき
- 強い光が作動対象、または路面に反射しているとき
- 前方の車両（二輪車含む）による水しぶきや雪の巻上げがあるとき
- 夜間やトンネル内などで周囲が暗く、作動対象の全体が照らされていないとき

道路の状態によりシステムが正しく検知できない事例

- 不鮮明な車線、タイヤのあと、ライトの反射、水しぶき、高いコントラストなどがある雪道、または湿った路面のとき
- カーブ、うねった道路、坂道などのとき
- 坂道や、丘の頂上に近づいているとき
- 段差などにより車両が大きく揺れたとき

自車の状態によりシステムが正しく検知できない事例

- ヘッドライトのレンズが汚れて照射が弱いときや光軸がずれて、暗いところで前方が見にくいとき
- 夜間やトンネル内などの暗いところで、ヘッドライトが点灯していない状態で走行しているとき
- フロントガラスの汚れ、曇り、雨粒、泥、湿った雪、シール、アクセサリー、ステッカーやフィルムなどによりカメラ前方が覆われているとき
- ウィンドウォッシャーからの水滴またはワイパーブレードによってカメラの視野が遮られているとき
- ワイパーの拭き残しがあるとき
- フロントガラスの内側が曇っているとき
- サイズや種類、構造の違うタイヤやホイールを装着していたり、タイヤ空気圧が適切でないとき
- カーゴスペースや後席に重い荷物を積んで、車が傾いているとき
- サスペンションを変更したとき
- パーキングブレーキがかかった状態で走行中のとき
- 滑りやすい路面などで車の動きが不安定なとき

作動対象の状態によりシステムが正しく検知できない事例

- 作動対象との距離が極端に短いとき
- 作動対象が急に割り込んできたり、飛び出してきたとき
- 自転車が停止しているとき
- 前方の車両（二輪車含む）、対向車両が横、または斜めを向いているとき
- 作動対象が背景に紛れて検知できないとき
- 歩行者が集団で前方にいるとき
- 移動する自転車が集団で前方にいるとき
- 歩行者や移動する自転車の横断速度が速いとき

- 歩行者や移動する自転車が対向して接近してきたとき
- 暗がりで前方の車両、対向車両が片側点灯または無灯火のとき
- 歩行者の一部（頭や手足など）が荷物などによりかくれているとき
- 歩行者が前かがみやしゃがんだ姿勢をとっているとき、手を挙げたり、走っているとき
- 歩行者の身長が約 1m 以下、または約 2m 以上のとき
- 歩行者がベビーカーや自転車などを押しているとき
- 車両（二輪車含む）が斜め横から接近してきたとき
- 特殊な形状の車両（タンクローリーなど）が側方から接近してきたとき
- カーブや坂を走行中の車両（二輪車含む）が側方から接近してきたとき

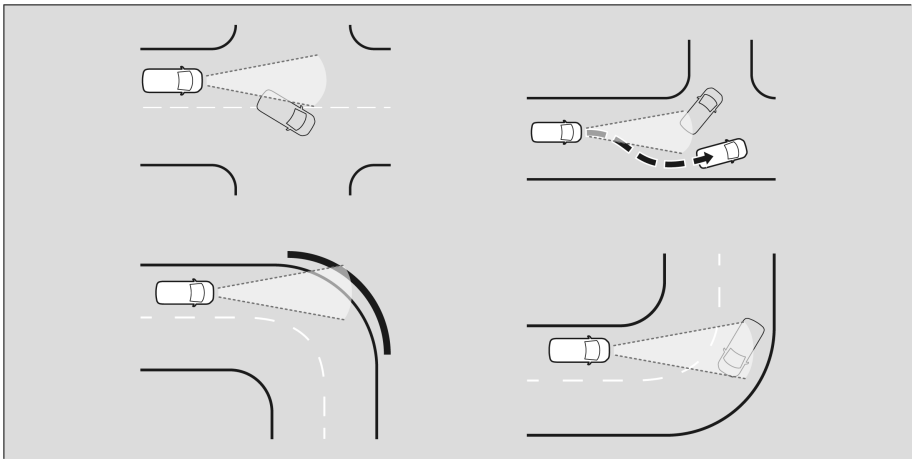
その他検知、作動できない事例

- 小さい二輪車やサイドカー付き二輪車、特殊な形状の車両および車いす
- 荷物を積んでいないトラックなど前側に対して後側の高さが低い、もしくは幅が狭い車両
- 作動対象が自車の正面にいないとき
- 作動対象と自車との速度差が大きいとき
- 作動対象と自車との速度差が小さく、距離が短いとき
- 側方から接近する作動対象と自車との速度差が大きいとき
- 側方から接近する作動対象と自車との速度差が小さく、距離が短いとき
- 前方の車両（二輪車含む）や移動する自転車が急減速したとき
- 運転者が衝突を回避しようとして、ブレーキやハンドルを操作したとき
- 運転者が急加速やハンドル操作（交差点などでの右折時を除く）※1 をしながら、作動対象に接近したとき
- 子供用自転車、折り畳み自転車、または三輪車などのタイヤ径が小さい自転車やタンデム自転車などの全長が長い自転車
- 作動対象の形状をカメラが正しく検知できないとき
- 前方または側方から接近する車両の最低地上高が極端に高いとき
- 右左折時に自車の進行方向と同方向に方向指示器（ウィンカー）を操作していないとき

※1: 右折時に対向車両に対して正面で衝突のおそれがあるときに CMBS が作動しますが、急なハンドル操作などによっては作動できない場合があります。

衝突の可能性が高くない場合の作動について

衝突の可能性が高くなくても、システムが衝突の可能性があると判断した場合には CMBS が作動することがあります。



- 右左折する前方の車両（二輪車含む）に接近したとき
- 追い越しのために先行車（二輪車含む）に接近して走行するとき
- カーブ周辺の道路付近に作動対象や構造物などがあるとき
- カーブ走行などで自車の正面に対向車両がいるとき
- 作動対象と自車が接近したとき
- 作動対象が自車の前方を通過したとき
- 低い構造物の下や狭いゲートの間などを規制速度を超えるような速度で通過しようとするとき
- 駐車時など、停止している車両（二輪車含む）や壁に接近するとき
- カーブを走行中に側方から車両（二輪車含む）が接近するとき
- 前方の側方から近づいてくる作動対象の前を通過するとき
- 左折または右折中に前方の車両（二輪車含む）、または自転車の前を通過しようとしたとき
- 左折または右折中に車両（二輪車含む）、または自転車が自車の前方を通過しようとしているとき
- 作動対象が自車の進路に入る手前で止まったとき、または進路変更したとき
- 左折または右折中に横断中の歩行者が自車の進路に入る手前で止まったとき、または進路変更したとき
- 作動対象の付近を通過するとき
- 路上の設置物（ガードレール、電柱、木、駐車車両、建物、壁など）や、路面標示と車線表示を作動対象と誤って認識したとき

踏み間違い衝突軽減システム

踏み間違い衝突軽減システムについて

踏み間違い衝突軽減システムは近距離衝突軽減ブレーキ、誤発進抑制機能、後方誤発進抑制機能の 3 つの機能を持ったシステムです。
ソナーセンサーによって、自車が、壁などの障害物に衝突するおそれがある場合のブレーキ制御や壁などの障害物があるにもかかわらずアクセルペダルを必要以上に強く踏み込んだ場合のパワーシステムの出力抑制により、衝突回避を支援したり衝突被害の軽減を支援したりするシステムです。

ソナーセンサー ►P.218

- 踏切内に閉じ込められた場合など、意図しないタイミングでシステムが作動したときは、ブレーキペダルを踏み、システムが解除されてから運転を続けてください。
- 縁石・輪留め、道路上の段差によりシステムが作動し、駐車や段差を乗り越えることができない場合には機能を OFF にしてください。
- 不要な作動を防ぐために、車両の整備や船舶、トラックなどへの積載時、検査時にシャシーダイナモやフリーローラーを使用するときはシステムを OFF にしてください。
- システムが一度作動した後は、同じ障害物に近づいた場合は作動しません。作動後一定距離走行した場合に再作動が可能となります。
- 近距離衝突軽減ブレーキが作動した場合、誤発進抑制機能および後方誤発進抑制機能の再作動には一定距離の走行が必要となります。

⚠警告

踏み間違い衝突軽減システムは、あらゆる状況でアクセルペダルの踏み間違いや踏みすぎ、または見落としによる衝突を回避したり、衝突による被害を軽減できるものではありません。

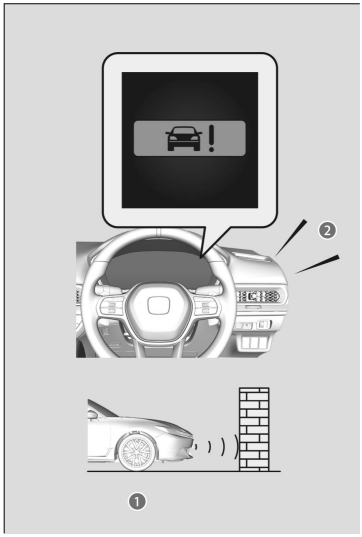
機能に頼った運転をすると衝突などの事故につながり、死亡または重大な傷害にいたるおそれがあります。

運転者がシフトポジションやペダルの位置および周囲の状況を確認し、安全運転を心がけ走行してください。

システムの作動

近距離衝突軽減ブレーキ

約 2km/h～約 10km/h で走行しているとき、壁などの障害物に衝突するおそれがあるとき運転者のブレーキ操作を支援し、音と表示でお知らせします。



❶ 緊急ブレーキ作動開始

≫作動したらすぐにブレーキペダルを踏んでください。

❷ 警告音

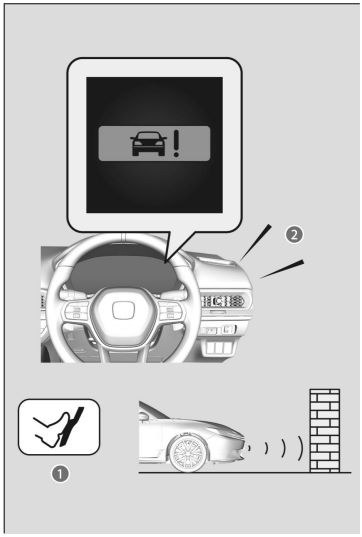
システムが作動してから一定時間経過するとブレーキ操作の支援が解除されます。停車状態を保持するには、ブレーキペダルを踏み続けるか、シフトポジションを P にしてください。

リヤパーキングセンサーを OFF にして、後退時の近距離衝突軽減ブレーキの作動を OFF にすることができます。

設定 ►P.194

誤発進抑制機能、後方誤発進抑制機能

停車時や約 10km/h 以下で走行しているとき、自車のほぼ正面もしくは真後ろの近距離に壁などの障害物があるにもかかわらず、アクセルペダルを必要以上に強く踏み込んだ場合には、音と表示で知らせるとともに出力抑制をすることで急な前進・後退を防止します。



❶ アクセル誤踏み込み/パワーシステムの出力を抑制
❷ 警告音

システムが作動しないとき：
- 前進時：急な坂道やシフトポジションが、P、R、Nのとき
- 後退時：急な坂道やシフトポジションがR以外のとき

システムは以下のいずれかの条件で解除されます。
- アクセルペダルを離したとき
- アクセルペダルを踏み続けたとき
- ブレーキペダルを踏んだとき

リヤパーキングセンサーを OFF にして、後方誤発進抑制機能の作動を OFF にすることができます。
設定 ►P.194

踏み間違い衝突軽減システムの ON/OFF

メーターでシステムの ON/OFF を切り換えることができます。
表示の切り換えかた ►P.294
安全支援情報 ►P.299

- システムを OFF にしても、パワーモードを ON にするたびにシステムは自動的に ON になります。

踏み間違い衝突軽減システムの制限

次のような状態のときは、システムが正常に作動しない場合があります。

ソナーセンサーが検知しない障害物の事例

- 人・雪・布・スポンジなど音波を反射しにくい障害物のとき
- フェンス・自転車・標識の支柱など細い障害物のとき
- 背が低い・小さい障害物のとき
- バンパーのすぐ近くにある障害物のとき
- 地面に対して垂直でない壁などの障害物のとき
- 移動する物体など進路上に飛び出してきた障害物のとき

ソナーセンサーが障害物を正しく検知できない事例

- ソナーセンサーが汚れているとき（雪、氷、泥などで覆われているとき）
- 車両が高温または低温の状況にあるとき
- 障害物に対して斜めに接近する場合やハンドルを大きく切っているとき

その他システムが正しく作動しない事例

- カーゴスペースや後席に重い荷物を積んで、車が傾いているとき
- 雨・霧・雪など悪天候のとき
- 気温・湿度が高いまたは低いとき
- 急勾配の坂道を走行するとき
- 他の車両のソナーセンサーなど、超音波を発するものが付近にあるとき
- 未舗装路などの走行時に草や岩があるとき
- サイズや種類、構造の違うタイヤやホイールを装着していたり、タイヤ空気圧が適切でないとき
- サスペンションを変更したとき

衝突の可能性がなくてもシステムが作動する場合

- 低いゲートや狭いゲートなどの間を通過しようとするとき
- 凸凹な路面や、草地、段差がある場所を走行するとき
- 高い位置に斜めの柱や壁などが突き出しているとき
- 道路脇に障害物があるとき
- 旗や幕、木の枝、踏切や ETC ゲートのバーなどに向かって走行するとき
- 冠水した道を走行するとき

リヤセンサーや、その周囲にアクセサリー（自転車ラックなど）を取り付けた場合、アクセサリーを障害物として検知して踏み間違い衝突軽減システムが作動する恐れがありますので、リヤパーキングセンサーを OFF にしてください。

設定 ►P.194

急アクセル抑制機能✤

急アクセル抑制機能について

アクセルペダルの踏み間違いや踏みすぎによる急加速を抑制するとともに、音と表示で知らせる運転支援機能です。

- 急アクセル抑制機能は Honda 販売店で機能が作動するように設定された Honda スマートキーが必要となります。設定については Honda 販売店にご相談ください。
- 急アクセル抑制機能が作動するように設定されていないキーと同時持ち込みをしないでください。
  同時持ち込みをすると急アクセル抑制機能が起動しないことがあります。起動のためには必ず設定されているキーで、内蔵キーを使わずに解錠するようにしてください。

⚠警告

急アクセル抑制機能は、運転者の運転を支援するためのシステムであり、あらゆる状況でアクセルペダルの踏み間違いや踏みすぎによる衝突を回避したり、衝突による被害を軽減できるものではありません。
システムに頼った運転をすると衝突など思わぬ事故につながり、死亡または重大な傷害にいたるおそれがあります。運転者はシフトポジションやペダルの位置や常に周囲の状況を確認し、安全運転を心がけ走行してください。

システムを作動させるには



急アクセル抑制機能が作動するように設定された Honda スマートキーを携帯していることを確認し、内蔵キーを使わずに解錠する。

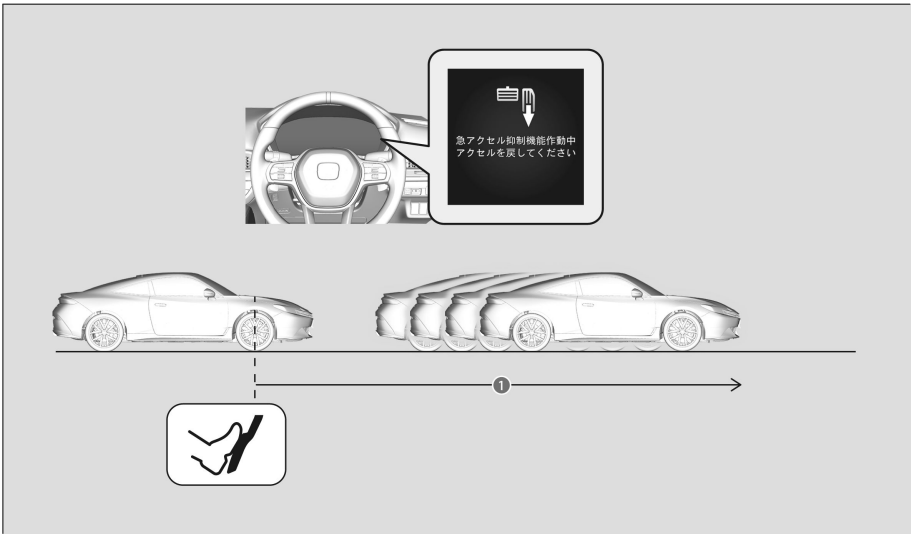
≫パワーシステムを起動したとき、急アクセル抑制機能の起動メッセージ、急アクセル抑制機能表示灯の点灯を確認してください。

❗ Honda スマートキーが電池切れの場合、急アクセル抑制機能が起動しない場合があります。

✤: タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

システムの作動

車速が約 30km/h 以下のとき、踏み間違いや踏みすぎでアクセルペダルを素早く強く踏み込んだ場合には、音と表示で知らせるとともに急加速を抑制します。



❶ 急加速を抑制

加速抑制状態中に、アクセルペダルを数秒間踏み続けたときや、加速抑制状態になった後、すぐにアクセルペダルを早く強く踏み直したときは、一定の速度まで徐々に加速します。

次の場合、急アクセル抑制機能は作動しません。

- 方向指示器が点滅中、または、消灯後、約 2 秒間
- ブレーキペダルを踏んでいるとき、またはブレーキペダルを離したあと、約 2 秒間
  ≫オートマチックブレーキホールド作動時に急発進しようとすると、急アクセル抑制機能が作動する場合があります。
- 上り坂を走行しているとき

作動解除の条件

アクセルペダルを離したとき

急アクセル抑制機能の制限

次のような状態のときは、急アクセル抑制機能が正常に作動しない場合があります。また、加速したい場合に作動することがあります。

道路状況

- 坂道、凸凹道、砂利道など非舗装路の走行
- 雪道などスリップが発生するような道路の走行
- 坂道の出口など、車両姿勢が急激に変化したとき
- スピードブレーカー、縁石など、大きな段差を乗り越えたとき

自車の状態

カーゴスペースや後席に重い荷物を積んで、車が傾いているとき

その他

惰性走行から急いで加速したとき（たとえば、ETC レーン通過後の加速）

路外逸脱抑制機能

路外逸脱抑制機能について

システムにより車両の車線逸脱、草、砂利などの道路境界や対向車両への接近の可能性を検知すると、路外逸脱を回避するように運転を支援し警告で知らせる機能です。

フロントワイドビューカメラ ▶P.217

⚠警告

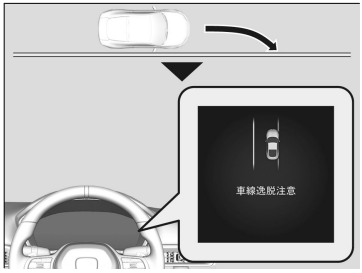
路外逸脱抑制機能は、補助システムとして使用してください。

路外逸脱抑制機能は、自動運転システムではなく、運転者のハンドル操作に代わるものではありません。あくまでも運転者をアシストするためのシステムです。

機能に頼った運転をすると衝突などの事故につながり、死亡または重大な傷害にいたるおそれがあります。

常に周囲の状況を確認し、安全運転を心がけ、走行してください。

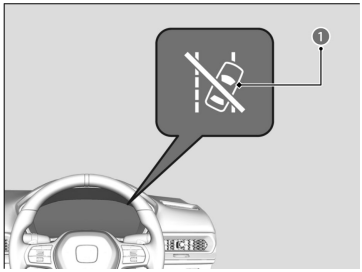
システムの作動



フロントワイドビューカメラによって左右の白線（黄線）、草、砂利などの道路境界や対向車両を検知し、方向指示器（ウィンカー）を使用せずに白線（黄線）を逸脱した、または草、砂利などの道路境界や対向車両へ接近したことを判断したとき作動します。

≫車線区画線（白線や黄線）を検出できない場合、対向車両への接近を回避する支援は行いません。

メーターの警告表示とハンドルを短時間振動させることで運転者の操作を促し、車線逸脱を防ぐ方向にハンドル操作を支援します。



繰り返し路外逸脱抑制機能が作動しても、運転者の操作がない場合は警報音が鳴ります。その後、路外逸脱抑制機能操舵アシスト一時停止警告灯（❶）が点灯し、操舵アシストが一時停止して警報音のみで警告します。

≫数分経過すると、警告灯が消灯し機能が復帰します。

- 路外逸脱抑制機能は OFF になると、安全支援情報警告灯（オレンジ）、路外逸脱抑制機能警告灯（オレンジ）が点灯します。

警告灯と表示灯一覧 ►P.281

- 運転者による操作が行われているときや、路面の状況によっては支援が感じられないことがあります。
- カーブ内側にはみ出して走行している、または車線幅が狭いときは、路外逸脱抑制機能の作動が抑制されます。



車線維持支援システム（LKAS）、またはトラフィックジャムアシスト（渋滞運転支援機能）を作動させていない場合、車線逸脱、草、砂利などの道路境界や対向車両への接近の可能性を検知した場合にメッセージが表示される場合があります。

作動条件

以下の条件を満たすとき作動します。

- 直線またはゆるやかなカーブの道路を走行しているとき
- 方向指示器（ウィンカー）を使用していないとき
- システムがアクセル、ブレーキ、ハンドルの操作の量と頻度から運転意志がないと判断したとき
- 白線（黄線）の場合：車速が約 60～120km/h のとき
  ≫対向車両が走行している場合：車速が約 30～120km/h のとき
- 草、砂利などの道路境界の場合：車速が約 30～120km/h のとき

路外逸脱抑制機能のアシストタイミングの設定を変更することができます。

設定 ►P.194

路外逸脱抑制機能の ON/OFF

メーターでシステムの ON/OFF を切り換えることができます。

Q 表示の切り換えかた ►P.294

Q 安全支援情報 ►P.299

- システムを OFF にすると、システムを ON にするまで OFF の状態を保持します。

路外逸脱抑制機能の制限

以下の条件下では、システムは白線（黄線）、草、砂利などの道路境界や対向車 両を検知できず、システムが正しく機能しない場合があります。

環境の状態によりシステムが正しく検知できない事例

- 白線（黄線）と道路表面の区別ができないとき
- 雨、霧、雪などの悪天候のとき
- 路面に雪が残っていたり湿っているとき
- 夜明けや夕暮れ時の太陽に向かって走行するとき
- 白線（黄線）の付近に影が映っているとき（木々、建物、ガードレール、車両など）
- トンネルの出入り口や、木、建物の影などで明るさが変化したとき
- 強い光が道路に反射しているとき
- 夜間やトンネル内などで周囲が暗く、車線や路面、対向車両の全体が照らされていないとき
- 前方の車両との距離が極端に短く、車線や路面がかくれているとき
- 道路境界が草や砂利以外などのとき

道路の状態によりシステムが正しく検知できない事例

- 車線規制や仮設車線がある区間を走行するとき
- 道路の修復や劣化などにより重複やかすれている白線（黄線）、タイヤ痕、さまざまな線が道路にあるとき
- 交差点や横断歩道など車線の数が増減している区間や車線が複雑に交差している区間を走行するとき
- 車線の幅が極端に狭いときや広いとき、または変化しているとき
- 車両などが白線（黄線）の一部を隠しているとき
- 坂道や、丘の頂上に近づいているとき
- 段差などにより車両が大きく揺れたとき
- 路上のもの（縁石、ガードレール、パイロンなど）を白線（黄線）と認識したとき
- 舗装されていない道路や荒れた道路を走行するとき
- 車線が二重に描かれている道路を走行するとき

- 凍結路や積雪路など滑りやすい路面を走行するとき
- 分岐・合流路などを走行するとき
- 雪上路や路上の雪・水溜まりなどで舗装路が部分的に見えているとき
- 未舗装路やわだちのある道路を走行しているとき
- カーブ、うねった道路、起伏のある道など、道路状況により白線（黄線）を正しく認識できないとき

自車の状態によりシステムが正しく検知できない事例

- 運転者がアクセル、ブレーキまたはステアリングを操作したとき
- ヘッドライトのレンズが汚れて照射が弱いときや光軸がずれて、暗いところで前方が見にくいとき
- フロントガラスの汚れ、曇り、雨粒、泥、湿った雪、シール、アクセサリー、ステッカーやフィルムなどによりカメラ前方が覆われているとき
- 夜間やトンネル内などの暗いところで、ヘッドライトが点灯していない状態で走行しているとき
- ワイパーの拭き残しがあるとき
- フロントガラスの内側が曇っているとき
- サイズや種類、構造の違うタイヤやホイールを装着していたり、タイヤ空気圧が適切でないとき
- カーゴスペースや後席に重い荷物を積んで、車両が傾いているとき
- サスペンションを変更したとき

対向車両の状態により正しく検知できない事例

- 対向車両が横、または斜めを向いているとき
- 前方に対向車両が飛び出したとき
- 対向車両が背景に紛れて検知できないとき
- 暗がりで対向車両が片側点灯または無灯火のとき
- 対向車両との距離が極端に短いとき
- 対向車両の一部が前方の車両によりかくれているとき
- 対向車線が複数あるとき、または右左折専用車線があるとき
- 隣接車線に駐停車もしくは極端に遅い速度で移動している車両があるとき
- 対向車両が特殊な形状の車両
- 対向車両の形状をカメラが正しく検知できないとき

衝突の可能性のない場合の作動について

以下のとき、路外逸脱抑制機能が作動することがあります。

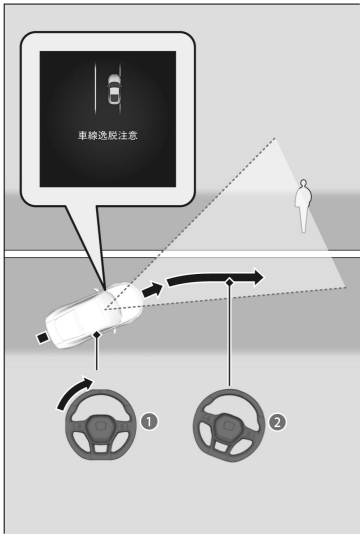
- カーブ走行などで自車の正面に対向車両がいるとき

歩行者事故低減ステアリング

歩行者事故低減ステアリングについて

歩行者と白線（黄線）を検出し、路肩の歩行者と衝突のおそれがある場合、警告表示と警報音でお知らせします。 さらに、ステアリング操作を支援して運転者の衝突回避操作を促します。

フロントワイドビューカメラ ►P.217



❶ 警報と支援
❷ 運転者の回避操作

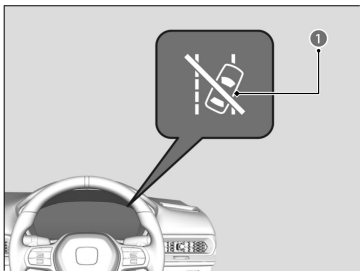
⚠警告

歩行者事故低減ステアリング機能は、運転者の運転操作を支援するシステムです。

あらゆる状況での歩行者事故を、軽減したり回避できるものではありません。

機能に頼った運転をすると衝突などの事故につながり、死亡または重大な傷害にいたるおそれがあります。

運転者は周囲の状況を確認し、歩行者と適切な距離を保ち安全運転を行ってください。



繰り返し機能が作動しても運転者の操作がない場合は警報音が鳴ります。 その後、路外逸脱抑制機能操舵アシスト一時停止警告灯（❶）が点灯し操舵アシストが一時停止して、警報音のみで警告します。

≫数分経過すると、警告灯が消灯し機能が復帰します。

路外逸脱抑制機能の設定で「操舵アシストなし 警報のみ」を選択すると、歩行者事故低減ステアリングのステアリング支援が OFF になります。

Q 設定 ►P.194

- 車両と歩行者の位置によっては衝突軽減ブレーキ（CMBS）の作動を優先する場合があります。
- 運転者が操作していたり、路面の状況により支援が感じられないことがあります。

作動条件

以下の条件を満たすとき作動します。

- 白線（黄線）が連続しているとき
- 車速が約 10～40km/h で走行しているとき
- 直線の道路を走行しているとき
- 方向指示器（ウィンカー）を使用していないとき
- システムがアクセル、ブレーキ、ハンドルの操作の量と頻度から運転意志がないと判断したとき

歩行者事故低減ステアリングの ON/OFF

歩行者事故低減ステアリングは、路外逸脱抑制機能を ON にすると作動します。メーターで路外逸脱抑制機能の ON/OFF を切り替えてください。

Q 表示の切り換えかた ►P.294

Q 安全支援情報 ►P.299

- システムを OFF にすると、システムを ON にするまで OFF の状態を保持します。

歩行者事故低減ステアリングシステムの制限

以下の条件下では、機能の支援が遅れたり支援できない場合があります。

環境によりシステムが正しく検知できない事例

- 白線（黄線）と道路表面の区別ができないとき
- 雨、霧、雪などの悪天候のとき
- 路面に雪が残っていたり湿っているとき
- 夜明けや夕暮れ時に太陽に向かって走行するとき
- 強い光が歩行者や路面に反射しているとき
- 白線（黄線）の付近に影が映っているとき（木々、建物、ガードレール、車両など）
- 前方の車両による水しぶきや雪の巻上げがあるとき
- トンネルの出入り口や、木、建物の影などで周囲の明るさが変化したとき
- 夜間やトンネル内などで周囲が暗く、車線や路面、歩行者の全体が照らされていないとき
- 前方の車両との距離が極端に短く、車線や路面がかくれているとき

道路の状態によりシステムが正しく検知できない事例

- 車線規制や仮設車線がある区間を走行するとき
- 道路の修復や劣化などにより重複やかすれている白線（黄線）、タイヤ痕、さまざまな線が道路にあるとき
- 交差点や横断歩道など車線の数が増減している区間や車線が複雑に交差している区間を走行するとき
- 車線の幅が極端に狭いときや広いとき、または変化しているとき
- 車両などが白線（黄線）の一部を隠しているとき
- 坂道や、丘の頂上に近づいているとき
- 段差などにより車両が大きく揺れたとき
- 路上のもの（縁石、ガードレール、パイロンなど）を白線（黄線）と認識したとき
- カーブ、うねった道路、起伏のある道など、道路状況により白線（黄線）や歩行者を正しく認識できないとき
- 未舗装路やわだちのある道路を走行しているとき
- 車線が二重に描かれている道路を走行するとき
- 分岐・合流路などを走行するとき
- 凍結路や積雪路など滑りやすい路面を走行するとき
- 舗装されていない道路や荒れた道路を走行するとき
- 雪上路や路上の雪・水溜まりなどで舗装路が部分的に見えているとき

自車の状態によりシステムが正しく検知できない事例

- 運転者がアクセル、ブレーキまたはステアリングを操作したとき

- 夜間やトンネル内などの暗いところで、ヘッドライトが点灯していない状態で走行しているとき
- ヘッドライトのレンズが汚れて照射が弱いときや光軸がずれて、暗いところで前方が見にくいとき
- サイズや種類、構造の違うタイヤやホイールを装着していたり、タイヤ空気圧が適切でないとき
- フロントガラスの汚れ、曇り、雨粒、泥、湿った雪、シール、アクセサリー、ステッカーやフィルムなどによりカメラ前方が覆われているとき
- ワイパーの拭き残しがあるとき
- フロントガラスの内側が曇っているとき
- カーゴスペースや後席に重い荷物を積んで、車が傾いているとき
- サスペンションを変更したとき

歩行者の状態によりシステムが正しく検知できない事例

- 歩行者との距離が極端に短いとき
- 前方に歩行者が飛び出したとき
- 歩行者がベビーカーや自転車などを押しているとき
- 歩行者の一部（頭や手足など）が荷物などによりかくれているとき
- 歩行者が背景に紛れて検知できないとき
- 歩行者が前かがみやしゃがんだ姿勢をとっていたり、手を挙げたり、走っているとき
- 歩行者の身長が約 1m 以下、または約 2m 以上のとき
- 歩行者が集団で前方にいるとき

その他、作動できない事例

- 運転者が急加速やステアリング操作をしながら、前方の歩行者に接近したとき
- 歩行者の形状をシステムが正しく検知できないとき
- 自転車や二輪車、車いす、特殊な形状の車両などのとき

渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)

渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール（ACC）について

フロントワイドビューカメラが先行車との車間距離を測定して、高速道路の渋滞時に適切な加減速を行い、設定車間距離を保持しながら、運転者がアクセルやブレーキを操作せずに走行、停車出来るよう支援するシステムです。

フロントワイドビューカメラ ▶P.217

⚠警告

渋滞追従機能付 ACC は、補助システムとして高速道路や自動車専用道路でのみ使用してください。

渋滞追従機能付 ACC は、自動運転システムではありません。あくまでも運転者をアシストするためのシステムです。

機能に頼った運転をすると衝突などの事故につながり、死亡または重大な傷害にいたるおそれがあります。常に周囲の状況を確認し、安全運転を心がけ、走行してください。

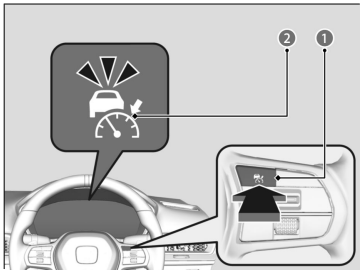
渋滞追従機能付 ACC で停車した車両から絶対に外に出ないでください。

渋滞追従機能付 ACC の作動中に停車した車両から、適切な駐車操作無しで外に出ると車両が操作無しで動き出す可能性があり、思わぬ事故につながり、死亡または重大な傷害にいたるおそれがあります。

以下の状況では、渋滞追従機能付 ACC を使用しないでください。

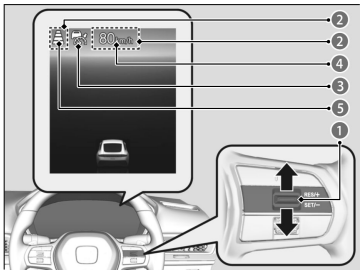
- 車線変更や急な加減速を繰り返すような交通状況
- 急カーブのある道
- 起伏のある坂道を走行しているとき
- 急な上り坂や急な下り坂を走行しているとき
- 高速道路などで、料金所、インターチェンジ、サービスエリア、パーキングエリアに進入するとき
- 凍結路や積雪路などの滑りやすい路面

渋滞追従機能付 ACC の作動方法



［1］シフトポジションが D のときに スイッチ（❶）を押す

≫メーター内に、 表示灯（ホワイト）（❷）が点灯します。



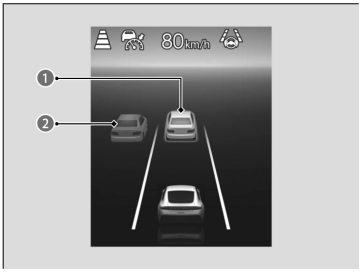
［2］RES/+/SET/- スイッチ（❶）を上か下に押す。

≫設定された車速で作動を開始します。

≫メーターにアイコンや設定車速が表示されます。

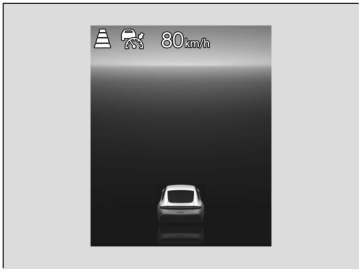
❷ 渋滞追従機能付 ACC 開始時に点灯
❸ 表示灯（グリーン、ホワイト/グリーン）
❹ 設定車速（ホワイト）
❺ 設定車間

- ブレーキペダルを踏んでいるときは、渋滞追従機能付 ACC は作動しません。
- 30km/h 以下で走行しているときは、設定車速が 30km/h にセットされます。車両が動いていない場合は、ブレーキペダルを踏んでいても作動することができます。
- 渋滞追従機能付 ACC 作動中は、電動パワーステアリングによる直進保舵支援機能（Straight Driving Assist）が作動し、直進走行しやすいようにハンドル保舵力を低減します。

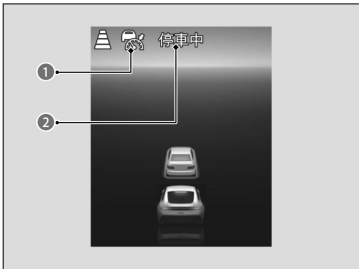


先行車が検知範囲に入ると、アイコン（❶）が表示され、先行車の車速変化に合わせ、設定車速の範囲内で車間距離を保ちながら追従走行します。

❶ 制御対象車両アイコン
❷ 制御対象外車両アイコン



先行車がいない場合、設定した車速で定速走行します。 先行車が車線変更などでいなくなると、設定車速までゆるやかに加速してから定速走行します。



先行車が停車すると、自車も自動で停車して、メッセージ（❷）が表示されます。 先行車の動きに合わせて、**RES/+/SET/-**スイッチを上か下に押すか、アクセルペダルを踏むことで発進し、以前の設定車速の範囲内で追従走行します。

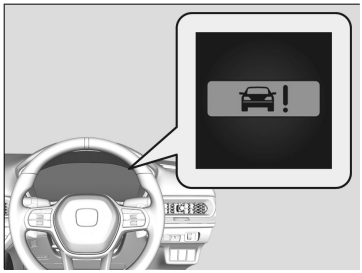
≫先行車に追従して停車したときの車間距離は設定により変わります。

車間距離の設定方法 ►P.246

❶ 表示灯（グリーン）

- 設定車速より遅い速度で走行する先行車や割り込み車が前方にあらわれた場合、システムは減速制御を行います。
- 先行車または割り込み車の車速が自車よりも速く、次第に離れていく場合、先行車との距離が短くても警報が出ず、そのまま追従することがあります。
- 先行車がインターチェンジやサービスエリアなどに入る際、自車の前から先行車がいなくなるときは、車間距離制御が少しの間継続する場合があります。
- 渋滞追従機能付 ACC によるブレーキが作動しているときは、制動灯が点灯します。
- 急な下り坂では、過度な加速を防ぐと共に設定した車速を保持するために減速制御を行いますが、設定した車速を超えてしまう場合があります。
- 渋滞追従機能付 ACC を使用中であっても、安全な車間距離を保つためにブレーキペダルの操作が必要な場合があります。

- カーブなどの走行時やハンドル操作、車線内の自車位置によっては、隣の車線の車や周囲の物に対して一時的に車間距離制御を行う場合があります。
- 渋滞追従機能付 ACC の作動により走行しているときに減速セレクターを使用したり、Honda S+ Shift を ON にすると渋滞追従機能付 ACC は解除されます。



先行車が急減速したり、遅い車両が割り込んできたときは、警告表示と警告音で衝突のおそれがあることを運転者に知らせます。

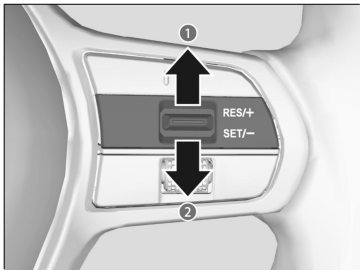
≫ブレーキを踏み、適切な車間距離を保ってください。

- アクセルペダルを踏み込むと、渋滞追従機能付 ACC が一時的に解除され車速が上がります。このとき、先行車がいても警告音や警告表示は出ません。 アクセルペダルを離すと復帰します。

先行車検知音の有り/無しを設定することができます。

設定 ►P.194

車速の調整方法



❶ **RES/+** 側

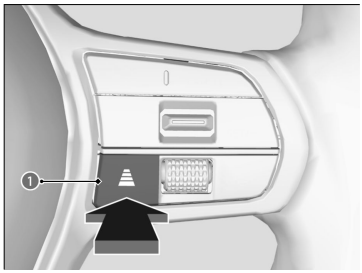
- 1 回押すごとに 1km/h ずつ設定車速が上がる
- 押し続けると 10km/h ずつ設定車速が上がり、手を離したときの設定車速に固定

❷ **SET/-** 側

- 1 回押すごとに 1km/h ずつ設定車速が下がる
- 押し続けると 10km/h ずつ設定車速が下がり、手を離したときの設定車速に固定

- 検知した先行車の車速が自車が上げた設定車速よりも遅い場合は、自車の車速を加速させない場合があります。
- アクセルペダルを踏み、 **RES/+/SET/-** スイッチを下に押すと、現在の車速が設定車速になります。

車間距離の設定方法

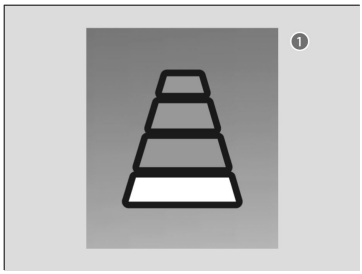


スイッチ（❶）を押し、車間距離を設定する。

≫先行車との車間距離設定は、4 段階に切り換えることができます。

≫常に周囲の状況を確認し、交通状況に応じた車間距離の設定を選択してください。

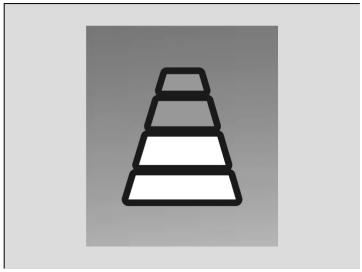
≫車速が低くなるほど、車間距離は短くなります。



車間距離

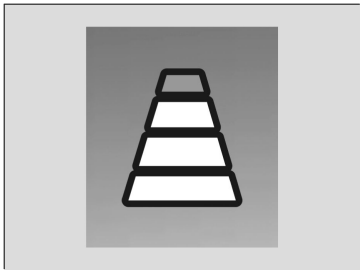
- 約 27 m（車速 80km/h）
- 約 33 m（車速 100km/h）

❶ 車間距離設定表示灯



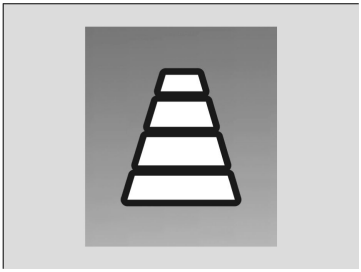
車間距離

- 約 35 m（車速 80km/h）
- 約 43 m（車速 100km/h）



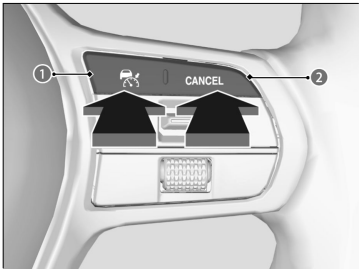
車間距離

- 約 44 m（車速 80km/h）
- 約 55 m（車速 100km/h）



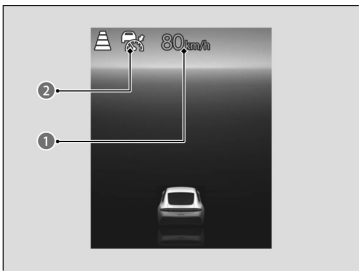
車間距離
- 約 54 m（車速 80km/h）
- 約 67 m（車速 100km/h）

渋滞追従機能付 ACC の解除方法



以下のいずれかの操作をすると、渋滞追従機能付 ACC が解除されます。
- スイッチ（❶）を押す
  ≫メーター内の 表示灯が消灯します。
- CANCEL スイッチ（❷）を押すか、ブレーキペダルを踏む
  ≫メーター内の 表示灯がグリーン、ホワイト/グリーンからホワイトになります。

解除前の設定車速での復帰



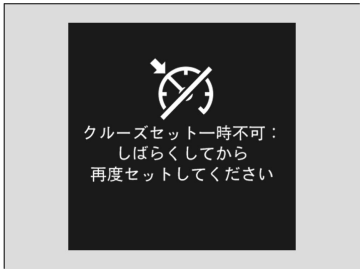
❷ 表示灯（ホワイト）

CANCEL スイッチまたは、ブレーキペダルで渋滞追従機能付 ACC を解除すると、直前の設定車速がグレー（❶）で表示されます。

グレーの設定車速が表示されている場合は、RES/+/SET/- スイッチを上に押すとグレーの設定車速で作動を再開することができます。

停車中の解除

自車が自動的に停車しているときに渋滞追従機能付 ACC が解除された場合は、警告音が鳴りメーターに警告が表示されることがあります。すみやかにブレーキを踏み、適切な車間距離を保ってください。



加減速を多く繰り返す走行や長い下り坂の走行、重い荷物を積んで走行しているときなどに渋滞追従機能付 ACC が自動解除された後、条件が継続する場合は、その後一時的に渋滞追従機能付 ACC をセットできない場合があります。

クルーズモードへの切換え



スイッチ（❸）を約 1 秒間押し続ける。

≫メーター内の 表示灯（ホワイト）（❹）が、 表示灯（ホワイト）（❺）に変わり、クルーズモードに切り換わります。

再度スイッチを約 1 秒間押し続けると、 表示灯（ホワイト）に切り換わり、渋滞追従機能付 ACC に戻ります。

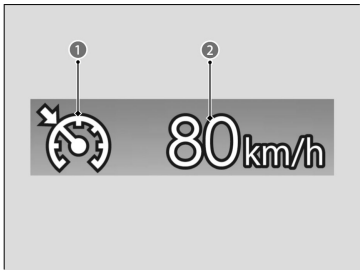
❶ 渋滞追従機能付 ACC 表示
❷ クルーズモード表示

車速をセットしているとき、または スイッチが OFF のときはモードを切り換えられません。

クルーズモードへ切り換えた状態でも スイッチを押して ON にし直すたびに、渋滞追従機能付 ACC に戻ります。

> ❗ 現在のモードがどちらなのかを常に意識して使用してください。
> クルーズモード中は先行車との車間距離を保持しません。

クルーズモードの作動方法



約 30km/h 以上で走行しているとき、**RES/+/SET/-**スイッチを上か下に押す。
≫設定された車速で自動定速走行を開始します。
≫メーターに設定車速やアイコンが表示されます。

❶ 表示灯（グリーン）
❷ 設定車速（ホワイト）

- クルーズモードを使用すると Straight Driving Assist（直進保舵支援機能）が作動します。これは EPS（電動パワーステアリング）の機能であり、直進におけるハンドル保舵力を低減し、直進走行しやすくします。
- クルーズモードの作動により走行しているときに減速セレクターを使用したり、Honda S+ Shift を ON にすると自動定速走行は解除されます。

車速の調整方法

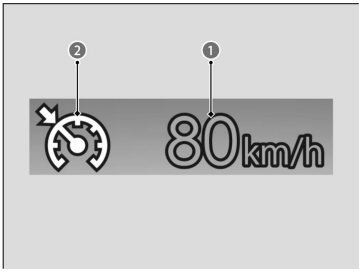
車速の調整方法は、渋滞追従機能付 ACC の操作と同じです。

解除方法

以下のいずれかの操作をすると、自動定速走行が解除されます。また、車速が 25km/h 未満になると自動的に自動定速走行が解除になります。

- スイッチを押す
  ≫メーター内の 表示灯が消灯します。
- **CANCEL** スイッチを押すか、ブレーキペダルを踏む
  ≫メーター内の 表示灯がグリーンからホワイトになります。

解除前の設定車速での復帰



CANCEL スイッチまたは、ブレーキペダルで自動定速走行を解除すると、直前の設定車速がグレー（❶）で表示されます。

グレーの設定車速が表示されていて車速が30km/h 以上の場合は、RES/+/SET/- スイッチを上に押すとグレーの設定車速で作動を再開することができます。

❷ 表示灯（ホワイト）

渋滞追従機能付 ACC の制限

一定の条件でシステムは自動解除する場合があります。
以下の条件では渋滞追従機能付 ACC の機能の一部を発揮できない場合があります。

環境によりシステムが正しく検知できない事例

- 雨、霧、雪などの悪天候のとき
- トンネルの出入り口や、木、建物の影などで周囲の明るさが変化したとき
- 強い光が車両や路面に反射しているとき
- 前方の車両による水しぶきや雪の巻上げがあるとき
- 夜間やトンネル内などで周囲が暗く、車両の全体が照らされていないとき
- 夜明けや夕暮れ時に太陽に向かって走行するとき

道路の状態によりシステムが正しく検知できない事例

- カーブ、うねった道路、坂道などのとき
- 雪道や未舗装路などわだちのある道路
- 路面に水溜まりや水膜があるとき
- 段差などにより車両が大きく揺れたとき

自車の状態によりシステムが正しく検知できない事例

- カーゴスペースや後席に重い荷物を積んで、車が傾いているとき
- フロントガラスの汚れ、曇り、雨粒、泥、湿った雪、シール、アクセサリー、ステッカーやフィルムなどによりカメラ前方が覆われているとき
- 夜間やトンネル内などの暗いところで、ヘッドライトが点灯していない状態で走行しているとき
- ワイパーの拭き残しがあるとき

- フロントガラスの内側が曇っているとき
- ヘッドライトのレンズが汚れて照射が弱いときや光軸がずれて、暗いところで前方が見にくいとき
- サイズや種類、構造の違うタイヤやホイールを装着していたり、タイヤ空気圧が適切でないとき
- サスペンションを変更したとき

前方の車両の状態によりシステムが正しく検知できない事例

- 前方に車両が急に割り込んだとき
- 前方の車両との距離が極端に短いとき
- 前方の車両が背景に紛れて検知できないとき
- 暗がりで前方の車両が片側点灯または無灯火のとき
- 前方の車両の車高が低いとき

その他、システムが正しく作動しない事例

- 前方の車両が駐停車していたり、自車との速度差が大きいとき
- 前方の車両が急減速したとき
- 前方の車両が特殊な形状の車両
- 荷物を積んでいないトラックなど前側に対して後側の高さが低い、もしくは幅が狭い車両
- 自車または前方の車両が、車線の片側にかたよって走行しているとき
- 前方の車両が二輪車など幅の狭い車両のとき
- 前方の車両の最低地上高が極端に高いとき
- 前方の車両の形状をシステムが正しく検知できないとき

渋滞追従機能付 ACC の自動解除

次の場合は、メッセージが表示されてブザーが鳴り、渋滞追従機能付 ACC が自動解除されます。

- 雨、霧、雪などの悪天候のとき
- 先行車を安定して検知できないとき
- タイヤの異常を検知したとき
- 悪路の走行や山岳路を長時間走行したとき
- 急なハンドル操作をしたとき
- ABS、VSA、衝突軽減ブレーキ（CMBS）、踏み間違い衝突軽減システム、衝突後ブレーキシステム、または急アクセル抑制機能✤が作動したとき
- VSA 警告灯が点灯したとき
- 急斜面で停車しているとき
- パーキングブレーキをかけたとき
- 前方の車両による水しぶきや雪の巻上げがあるとき

✤: タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

- 夜明けや夕暮れ時に太陽に向かって走行するとき
- 検知した先行車との車間距離が短すぎるとき
- 急加速したとき
- フロントガラスの汚れ、曇り、雨粒、泥、湿った雪、シール、アクセサリー、ステッカーやフィルムなどによりカメラ前方が覆われているとき
- カーゴスペースや後席に重い荷物を積んでいるとき
- 夜間やトンネル内などの暗いところを走行したとき
- ブレーキシステム警告灯（オレンジ）が点灯したとき
- 長い下り坂などで減速を繰り返したとき
- LKAS、トラフィックジャムアシストが作動しているときに、システムが一定時間運転者の操作がないと判断したとき
- 停車状態で先行車がいなくなったとき
- パワーモードを OFF モードにしたとき
- 停車中に運転席のシートベルトを外したとき
- 車両が 10 分以上停車しているとき

車線維持支援システム（LKAS）

車線維持支援システム（LKAS）について

車線の中央付近を走行しているときに、フロントワイドビューカメラによって、左右の白線（黄線）をとらえ、ステアリングの操作をアシストし、車線維持走行を補助するためのシステムです。

フロントワイドビューカメラ ►P.217

⚠警告

LKAS は補助システムとして使用してください。

LKAS は、自動運転システムではありません。あくまでも運転者をアシストするためのシステムです。機能に頼った運転をすると衝突などの事故につながり、死亡または重大な傷害にいたるおそれがあります。常に周囲の状況を確認し、安全運転を心がけて走行してください。また、高速道路や自動車専用道路を走行するときに使用してください。

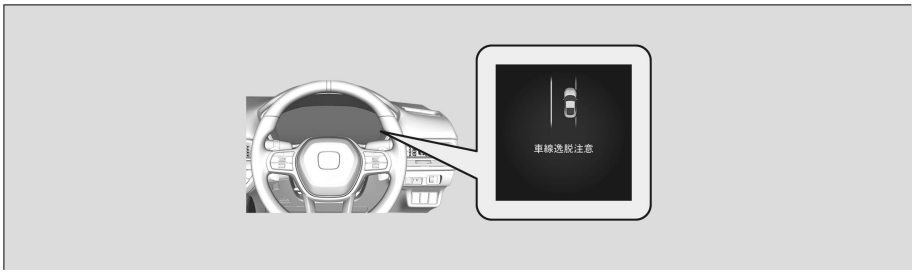
❗ システムが作動しているときに、左右の白線（黄線）に偏る場合は、システムを停止し Honda 販売店で点検を受けてください。

車線維持支援機能

車が車線中央を走行するようにアシストします。白線（黄線）に近づくと電動パワーステアリングのアシストが強くなります。

車線逸脱警告機能

運転状況により、車が車線逸脱を検知すると車線逸脱の警報をハンドルの振動、音およびメーター表示で行います。

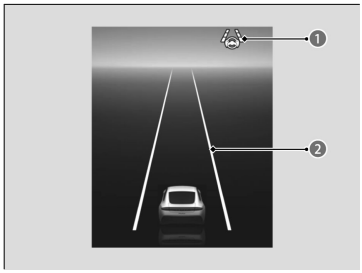


作動条件

以下の条件を満たすとき作動します。

- 左右に白線（黄線）が引かれている車線の中央付近を走行しているとき
- 直線またはゆるやかなカーブの道路を走行しているとき
- 方向指示器（ウィンカー）を出していないとき
- 約 65～120km/h で走行しているとき

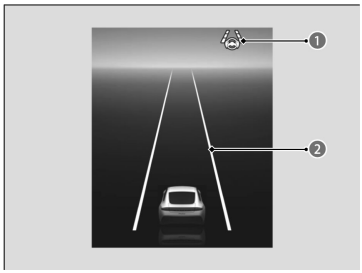
LKAS の作動方法



［1］ スイッチを押す。

≫LKAS 表示灯（ホワイト）（❶）が点灯します。システムが待機状態になります。

≫カメラが両側の白線（黄線）を検知すると、メーターに車線表示（ホワイト）（❷）が点灯します。



［2］車線の中央付近を走行する。

≫車線の中央付近を走行中にカメラが両側の白線（黄線）を検知すると、LKAS 表示灯（❶）とメーターの車線表示（❷）がグリーンに切り替わり、LKAS が作動します。



システムが作動中にハンドルから手を離したり、ハンドル操作量が少ない場合は警告を表示します。繰り返し表示されても操作がされない場合は警報音がなりシステムが解除されます。

LKAS の解除方法

スイッチを押すと、LKAS が解除されます。
≫LKAS を作動させるには、再度スイッチを押してください。

自動的に一時解除される場合

次の場合、LKAS 表示灯がホワイトに切り替わり、LKAS が自動解除されます。

- 白線（黄線）を検知できないとき
- 急なハンドル操作をしたとき
- ハンドル操作をしていないとき
- 急なカーブを走行したとき
- 作動車速を超えたとき
- ABS、VSA、CMBS が作動したとき
- 急ブレーキをかけたとき

これらの条件が続かなければ、システムは自動的に再開されます。

LKAS の自動解除ブザーの ON/OFF を設定できます。
設定 ►P.194

LKAS の制限

以下の条件では、システムは白線（黄線）を検知できず、LKAS が正しく機能しない場合があります。

環境によりシステムが正しく検知できない事例

- 白線（黄線）と道路表面の区別ができないとき
- 雨、霧、雪などの悪天候のとき
- 路面に雪が残っていたり湿っているとき

- 夜明けや夕暮れ時の太陽に向かって走行するとき
- 白線（黄線）の付近に影が映っているとき（木々、建物、ガードレール、車両など）
- トンネルの出入り口や、木、建物の影などで周囲の明るさが変化したとき
- 夜間やトンネル内などで周囲が暗く、車線や路面が照らされていないとき
- 前方の車両との距離が極端に短く、車線や路面がかくれているとき
- 強い光が路面に反射しているとき

道路の状態によりシステムが正しく検知できない事例

- 車線規制や仮設車線がある区間を走行するとき
- 道路の修復や劣化などにより重複やかすれている白線（黄線）、タイヤ痕、さまざまな線が道路にあるとき
- 交差点や横断歩道など車線の数が増減している区間や車線が複雑に交差している区間を走行するとき
- 車線の幅が極端に狭いときや広いとき、または変化しているとき
- 車両などが白線（黄線）の一部を隠しているとき
- 坂道や、丘の頂上に近づいているとき
- 段差などにより車両が大きく揺れたとき
- 路上のもの（縁石、ガードレール、パイロンなど）を白線（黄線）と認識したとき
- 舗装されていない道路や荒れた道路を走行するとき
- 車線が二重に描かれている道路を走行するとき
- 凍結路や積雪路など滑りやすい路面を走行するとき
- 雪上路や路上の雪・水たまりなどで舗装路が部分的に見えているとき
- 路面に水溜まりや水膜があるとき
- カーブ、うねった道路、起伏のある道など、道路状況により白線（黄線）を正しく認識できないとき
- 未舗装路やわだちのある道路を走行しているとき
- 分岐・合流路などを走行するとき

自車の状態によりシステムが正しく検知できない事例

- ヘッドライトのレンズが汚れて照射が弱いときや光軸がずれて、暗いところで前方が見にくいとき
- フロントガラスの汚れ、曇り、雨粒、泥、湿った雪、シール、アクセサリー、ステッカーやフィルムなどによりカメラ前方が覆われているとき
- 夜間やトンネル内などの暗いところで、ヘッドライトが点灯していない状態で走行しているとき
- ワイパーの拭き残しがあるとき
- フロントガラスの内側が曇っているとき
- カーゴスペースや後席に重い荷物を積んで、車が傾いているとき
- サイズや種類、構造の違うタイヤやホイールを装着していたり、タイヤ空気圧が適切でないとき

- サスペンションを変更したとき

トラフィックジャムアシスト(渋滞運転支援機能)

トラフィックジャムアシスト（渋滞運転支援機能）について

フロントワイドビューカメラによって、左右の白線（黄線）をとらえ、車線の中央を走行するようにステアリング操作をアシストし、車線維持走行を補助するためのシステムです。

フロントワイドビューカメラ ▶P.217

⚠警告

トラフィックジャムアシストは補助機能として使用してください。

トラフィックジャムアシストは、自動運転システムではありません。あくまでも運転者をアシストするための機能です。

機能に頼った運転をすると、思わぬ事故につながり、死亡または重大な傷害にいたるおそれがあります。

常に周囲の状況を確認し、安全運転を心がけて走行してください。 高速道路や自動車専用道路でのみ使用してください。

❗ 下記の状況のときは、トラフィックジャムアシストを使用しないでください。

- 急カーブのある道のとき
  ≫道路状況に応じた走行ができなくなることがあります。
- 高速道路などで、料金所、インターチェンジ、サービスエリア、パーキングエリアに進入するとき
- 悪天候（雨、霧、雪など）のとき
- 凍結路や積雪路などの滑りやすい路面のとき
  ≫タイヤが空転して車のコントロールを失うおそれがあります。

❗ システムが作動しているときに車線に寄って走行する場合は、システムを停止し Honda 販売店で点検を受けてください。

車線維持支援機能

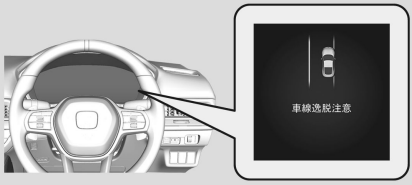
車線維持支援システム（LKAS）作動中の渋滞時に白線（黄線）を検知すると、車線の中央を走行するようにハンドル操作をアシストします。

≫機能の作動中に運転者が操作した場合は運転者の操作を優先します。

≫運転者による操作が行われているときや、路面の状況によってはアシストが感じられないことがあります。

車線逸脱警報機能

運転状況により、車が車線逸脱を検知すると車線逸脱の警報をハンドルの振動、音およびメーター表示で行う場合があります。



作動条件

以下の条件を満たすとき作動します。

- LKAS が ON のとき
- 左右に白線（黄線）が引かれている車線の中央付近を走行しているとき
- 直線またはゆるやかなカーブの道路を走行しているとき
- ハンドル操作をしているとき
- シフトポジションが D のとき
- 車速が約 0～64km/h で走行しているとき

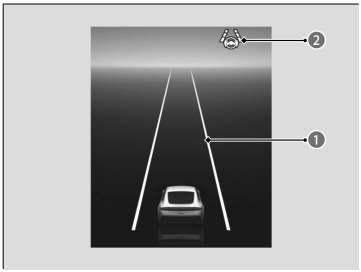
LKAS の取り扱いについては下記を参照してください。

車線維持支援システム（LKAS）について ►P.253

各機能のステアリングスイッチと表示については下記を参照してください。

各機能を作動させるための装備と表示 ►P.215

トラフィックジャムアシストの作動方法



車線の中央付近を走行する。

≫両側の白線（黄線）を検知するとシステムが作動を開始し、車線表示（❶）と LKAS 表示灯（❷）がホワイトからグリーンに切り替わります。



システムが作動中にハンドルから手を離したり、ハンドル操作量が少ない場合は警告を表示します。繰り返し表示されても操作がされない場合は警報音がなりシステムが解除されます。

トラフィックジャムアシストの解除方法

スイッチを押すと、トラフィックジャムアシストが解除されます。

≫トラフィックジャムアシストを作動させるには、再度スイッチを押してください。

一時的に待機状態となる場合

- 白線（黄線）を検知できないとき
- 急なハンドル操作をしたとき
- 作動中に運転者がハンドルから手を放したり、ステアリングの操作量が少ないとき
- 急なカーブを走行したとき
- 急ブレーキをかけたとき
- ABS、VSA、CMBS、踏み間違い衝突軽減システムが作動したとき

これらの条件が長く続かなければ、機能は自動的に再開されます。

「LKAS(車線維持支援システム)制御解除警報音」設定で自動解除ブザーの ON/OFF を設定できます。

設定 ►P.194

トラフィックジャムアシストの制限

以下の場合、システムは白線（黄線）を検知できず、トラフィックジャムアシストが正しく機能しない場合があります。

環境によりシステムが正しく検知できない事例

- 白線（黄線）と道路表面の区別ができないとき
- 雨、霧、雪などの悪天候のとき
- 路面に雪が残っていたり湿っているとき
- 夜明けや夕暮れ時に太陽に向かって走行するとき
- 白線（黄線）の付近に影が映っているとき（木々、建物、ガードレール、車両など）
- トンネルの出入り口や、木、建物の影などで周囲の明るさが変化したとき
- 夜間やトンネル内などで周囲が暗く、車線や路面が照らされていないとき
- 前方の車両との距離が極端に短く、車線や路面がかくれているとき
- 強い光が路面に反射しているとき

道路の状態によりシステムが正しく検知できない事例

- 車線規制や仮設車線がある区間を走行するとき
- 道路の修復や劣化などにより重複やかすれている白線（黄線）、タイヤ痕、さまざまな線が道路にあるとき
- 交差点や横断歩道など車線の数が増減している区間や車線が複雑に交差している区間を走行するとき
- 車線の幅が極端に狭いときや広いとき、または変化しているとき
- 車両などが白線（黄線）の一部を隠しているとき
- 坂道や、丘の頂上に近づいているとき
- 段差などにより車両が大きく揺れたとき
- 路上のもの（縁石、ガードレール、パイロンなど）を白線（黄線）と認識したとき
- 舗装されていない道路や荒れた道路を走行するとき
- 車線が二重に描かれている道路を走行するとき
- 凍結路や積雪路など滑りやすい路面を走行するとき
- 雪上路や路上の雪、水溜まりなどで舗装路が部分的に見えているとき
- 路面に水溜まりや水膜があるとき
- カーブ、うねった道路、起伏のある道など、道路状況により白線（黄線）を正しく認識できないとき
- 未舗装路やわだちのある道路を走行しているとき
- 分岐・合流路などを走行するとき

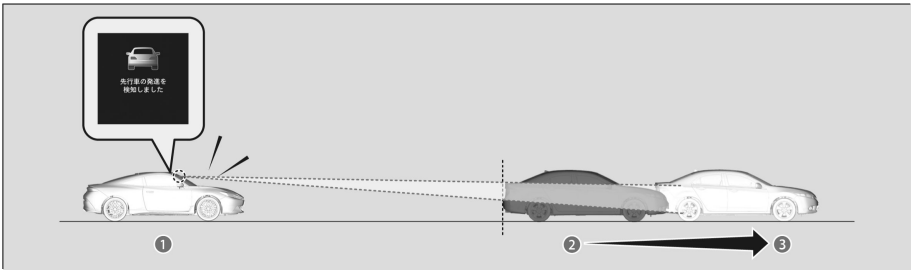
自車の状態によりシステムが正しく検知できない事例

- ヘッドライトのレンズが汚れて照射が弱いときや光軸がずれて、暗いところで前方が見にくいとき
- フロントガラスの汚れ、曇り、雨粒、泥、湿った雪、シール、アクセサリー、ステッカーやフィルムなどによりカメラ前方が覆われているとき
- 夜間やトンネル内などの暗いところで、ヘッドライトが点灯していない状態で走行しているとき
- ワイパーの拭き残しがあるとき
- フロントガラスの内側が曇っているとき
- サイズや種類、構造の違うタイヤやホイールを装着していたり、タイヤ空気圧が適切でないとき
- カーゴスペースや後席に重い荷物を積んで、車が傾いているとき
- サスペンションを変更したとき

先行車発進お知らせ機能

先行車発進お知らせ機能について

信号待ちなど、先行車の発進に気づかず停止を続けると、音と表示で運転者にお知らせします。



❶ 停止
❷ 先行車停止
❸ 先行車発進

先行車発進お知らせ機能を OFF にしたり、作動のタイミングを変更することができます。

設定 ►P.194

⚠警告

先行車発進お知らせ機能は、運転者をアシストするための補助システムです。

安全に発進できる状況を知らせるシステムではありません。 機能に頼った運転をすると衝突などの事故につながり、死亡または重大な傷害にいたるおそれがあります。発進するときは、運転者が目視で周囲と前方の安全を十分に確認し、適切な車間距離を保ち運転してください。

作動条件

- ブレーキペダルを踏んでいるとき
- オートマチックブレーキホールドのブレーキ保持機能が作動しているとき
- 渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール（ACC）が作動中で停車しているとき

- N でパーキングブレーキをかけているとき

先行車との車間距離が約 10m 以上離れているとき、また渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール（ACC）警告灯が点灯しているときは作動しません。

先行車発進お知らせ機能の制限

次のような場合、先行車が発進していなくてもシステムが作動したり、先行車が発進していてもシステムが作動しないことがあります。

環境によりシステムが正しく検知できない事例

- 雨、霧、雪などの悪天候のとき
- 前方の車両による水しぶきや雪の巻上げがあるとき
- トンネルの出入り口や、木、建物の影などで周囲の明るさが変化したとき
- 強い光が車両や路面に反射しているとき
- 夜間やトンネル内などで周囲が暗く、車両の全体が照らされていないとき
- 夜明けや夕暮れ時に太陽に向かっているとき

道路の状態によりシステムが正しく検知できない事例

- カーブ、うねった道路、右左折直後、坂道などのとき

自車の状態によりシステムが正しく検知できない事例

- 自車の停車している時間が短いとき
- ヘッドライトのレンズが汚れて照射が弱いときや光軸がずれて、暗いところで前方が見にくいとき
- 夜間やトンネル内などの暗いところで、ヘッドライトが点灯していない状態で走行しているとき
- フロントガラスの汚れ、曇り、雨粒、泥、湿った雪、シール、アクセサリー、ステッカーやフィルムなどによりカメラ前方が覆われているとき
- ワイパーの拭き残しがあるとき
- フロントガラスの内側が曇っているとき
- サイズや種類、構造の違うタイヤやホイールを装着していたり、タイヤ空気圧が適切でないとき
- カーゴスペースや後席に重い荷物を積んで、車が傾いているとき
- サスペンションを変更したとき

先行車の状態によりシステムが正しく検知できない事例

- 先行車の停車している時間が短いとき
- 先行車との距離が極端に短いとき

- 先行車が極端に遅い速度で移動しているとき
- 先行車が右左折や急旋回したとき
- 先行車が背景に紛れて検知できないとき
- 暗がりで先行車が片側点灯または無灯火のとき

その他、システムが正しく検知できない事例

- 歩行者や自転車、二輪車、特殊な形状の車両など
- 自車と先行車の間に別の車両や歩行者、自転車などが割り込んできたとき
- 先行車が自車の正面にいないとき

その他、作動できない事例

- 先行車の形状をシステムが正しく検知できないとき
- 先行車の最低地上高が極端に高いとき
- 先行車が荷物を積んでいないトラックなど前側に対して後側の面積が小さい車両

標識認識機能

標識認識機能について

走行中に、フロントワイドビューカメラで認識した道路標識のアイコンをメーターに表示して、運転者にお知らせします。

フロントワイドビューカメラ ▶P.217

- すべての標識が表示されるわけではありません。また、表示される道路標識であっても新しいデザインの道路標識は表示されません。

⚠警告

標識認識機能は補助機能として使用する。

標識認識機能は、あらゆる状況で作動する機能ではありません。あくまでも、運転者をアシストするための機能です。常に周囲の状況を確認し、安全運転を心がけ、走行してください。

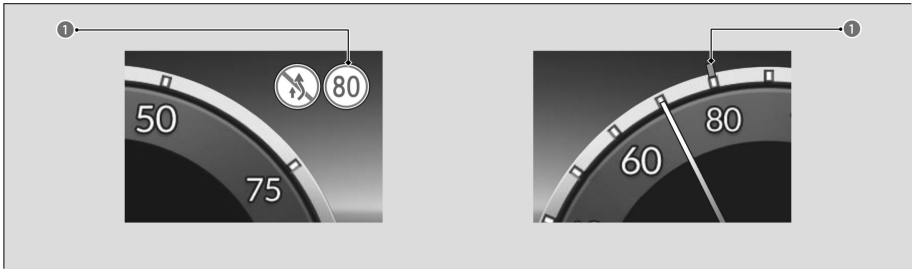
システムの作動

最高速度（❶）、はみ出し通行禁止、一時停止、車両進入禁止の道路標識アイコンを同時に二つまで表示します。

≫認識された最高速度標識の速度を超過したときは最高速度アイコンが点滅します。

≫車両進入禁止アイコンは、車両進入禁止区域に進入すると 5 秒間点滅して消灯します。

≫一時停止、車両進入禁止は自車の速度が約 60km/h 以下のときに表示します。



道路標識の表示が別のものに切り替わるとき：

- 表示中の最高速度と異なる最高速度標識を認識したとき
- 一時停止標識または、車両進入禁止標識を認識したとき

道路標識の表示が消えるとき：

- 最高速度、はみ出し通行禁止：標識ごとに設定された距離を走行した、または制限終了の補助標識を認識したとき
- 一時停止：標識を通過したとき
- 車両進入禁止：進入せず標識を通過したとき
- 交差点で方向指示器（ウィンカー）を出しながら右左折したとき

標識認識機能表示の ON/OFF を設定できます。
設定 ►P.194

最高速度アイコンの点滅による速度超過お知らせ機能の ON/OFF を設定できます。
設定 ►P.194

速度超過お知らせを開始するタイミングを変更できます。工場出荷時は、認識した最高速度標識の速度を超えるとお知らせします。
設定 ►P.194

標識認識機能が故障した場合はメーターに ⊖ アイコンが表示されます。⊖ が消えないときは、Honda 販売店で点検を受けてください。

標識認識機能の制限

以下の場合などにおいては、標識を正しく認識できない場合や、標識の認識が遅れたり、認識できない場合があります。

環境によりシステムが正しく検知できない事例

- 夜明けや夕暮れ時の太陽に向かって走行するとき
- 強い光が路面に反射しているとき
- 夜間やトンネル内などの暗いところ
- 雨、霧、雪などの悪天候のとき
- トンネルの出入り口や、木、建物の影などで明るさが変化したとき
- 先行車による水しぶきや雪の巻上げがあるとき

道路の状態によりシステムが正しく検知できない事例

- 段差などにより車両が大きく揺れたとき

自車の状態によりシステムが正しく検知できない事例

- ヘッドライトのレンズが汚れて照射が弱いときや光軸がずれて、暗いところで前方が見にくいとき
- フロントガラスの汚れ、曇り、雨粒、泥、湿った雪、シール、アクセサリー、ステッカーやフィルムなどによりカメラ前方が覆われているとき
- ワイパーの拭き残しがあるとき
- フロントガラスの内側が曇っているとき
- サイズや種類、構造の違うタイヤやホイールを装着していたり、タイヤ空気圧が適切でないとき
- カーゴスペースや後席に重い荷物を積んで、車が傾いているとき
- サスペンションを変更したとき
- 夜間やトンネル内などの暗いところで、ヘッドライトが点灯していない状態で走行しているとき

標識の位置や状態により正しく検知できない事例

- 標識の周囲が煩雑で標識を見つけにくい場合
- 自車から遠く離れた位置にある標識
- 自車のヘッドライトの光が届きにくい位置にある標識
- 曲がり角やカーブの先に設置された標識
- 色あせた標識や折れ曲がった標識
- 向きが変えられた標識や破損した標識
- 泥、雪、又は、霜で覆われた標識
- 一部が樹木などで隠れていたり、車両などの陰になった標識
- 標識の表面上に光（街灯など）や影が映り込んでいる場合
- 明るすぎたり、暗い標識（電光式標識）
- 小さいサイズの標識（終了を示す補助標識など）

その他、カメラが正しく検知できない事例

- 高い速度で走行しているとき

以下の場合などにおいては、標識認識が正しく作動せず、自車の走路に対する規制内容とは異なる表示をしたり、実際には対象となる標識が無いのに表示したりすることがあります。（最高速度標識においては、実際の規制速度よりも高い数値を表示したり、低い数値を表示したりすることがあります。）

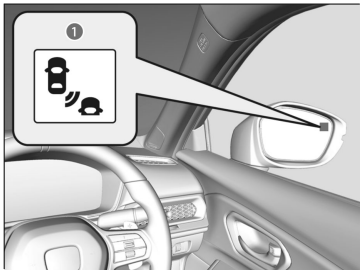
- 標識の上や下に、規制の地点（始まり、終わりなど）や条件（曜日、時間帯など）を示す補助標識がある場合
- 数字の判別がつきにくい標識（電光式標識、数字がかすれた標識など）
- 自車の走路に対しての標識ではないが、自車の走路付近にあり、標識が自車の走路に向いている場合（側道が本線に合流する地点の一時停止標識など）

- 認識対象の標識の色、形、図形に似たものがある場合（類似の標識、電光掲示板、看板、のぼり旗、構造物など）

ブラインドスポットインフォメーション

ブラインドスポットインフォメーションについて

隣接する車線後方に他の車両が走行していることを知らせ、運転者の車線変更などの操作の際の負担を軽減するシステムです。



車両を検知したとき、両側のドアミラー内にあるブラインドスポットインフォメーション警告灯（❶）が点灯します。

≫約 50km/h 以下の速度差で他の車両が検知範囲に入ったとき

≫約 20km/h 以下の速度差で他の車両を追い越したとき

車両を検知した状態で検知された車両の方向にウィンカー操作を行ったとき、ブラインドスポットインフォメーション警告灯は点滅し、警告音が鳴ります。
他の車両が検知範囲内を走行している場合でも、以下のように作動することがあります。

- ブラインドスポットインフォメーション警告灯が点灯せず、メーターに「ブラインドスポットインフォメーションがセンサーの汚れ/高温のため作動しません」と表示される
- メーターに「ブラインドスポットインフォメーションがセンサーの汚れ/高温のため作動しません」と表示されていても、ブラインドスポットインフォメーション警告灯が点灯する

警報音、警報表示の設定をカスタマイズすることができます。
設定 ►P.194

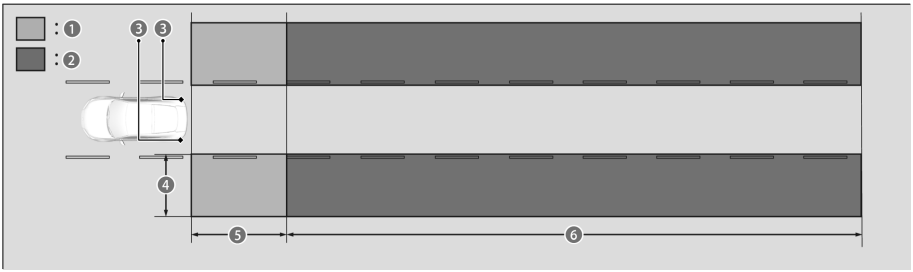
⚠警告

車線変更の際は、目視やミラーなどで確認する。

状況により、車両を検知できない場合があります。直接確認をせずに車線変更を行うと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

作動条件

自車の車速が 20km/h 以上で前進しているとき、レーダーセンサーが検知範囲内に走行している車両を検知します。



❶ 検知範囲 1
❷ 検知範囲 2
❸ レーダーセンサー：リヤバンパーコーナーの内側にあります
❹ 側面から約 0.5～3m
❺ リヤバンパーから約 3m 後方
❻ リヤバンパーから後方約 3～25m（接近する車両が自車に対して速いほど、より遠くから検知します。）

- 工場出荷直後の検知範囲は検知範囲 1 です。交通量のある直線道路を一定時間走行することで、検知範囲が広くなります（検知範囲 1 と 2）。
- リヤバンパーや関連するシステムの修理を行うと検知範囲は工場出荷直後の状態（検知範囲 1）になります。

システムの ON と OFF

メーターでシステムの ON/OFF を切り換えることができます。

表示の切り換えかた ►P.294

安全支援情報 ►P.299

- システムを OFF にすると、システムを ON にするまで OFF の状態を保持します。

ブラインドスポットインフォメーションの制限

システムを正しく作動させるために、必ず次のことをお守りください。

- リヤバンパーやレーダーセンサー周辺は常にきれいにしておく
- リヤバンパーの周辺にシールなどを貼り付けない

以下のような場合、ブラインドスポットインフォメーション警告灯が点灯しないことがあります。

- 自車と隣接する車線を走行する車両との速度差が大きいとき
- 隣接する車線に駐車車両があるとき
- レーダーセンサーによって検知されていないものに接近したり、通過したりしたとき
- 自車と隣接する車線を走行する車両が二輪自動車などの小型な車両のとき

以下の場合、システムが影響を受け正確に表示しないなどの可能性があります。

- 交差点を右左折しているとき
- 路側の設置物（ガードレール、電柱、木、駐車車両、建物、壁など）を検知したとき
- 二輪車が検知範囲に入ったときや、電波を反射しないものが検知範囲にあるとき
- カーブした道路を走行しているとき
- 他の車両が隣接する車線よりさらに外側から接近してきたとき
- 他の車両のレーダーや強い電波を発する設備などによりシステムが干渉を受けたとき
- リヤバンパーやレーダーセンサー周辺が土・泥・雪・氷で覆われているとき
- リヤバンパーやレーダーセンサー周辺が破損、変形しているとき
- 悪天候（雨、雪、霧など）のとき
- 旋回や路面の凸凹により車体が傾いているとき
- 車両後部に自転車キャリアなどのアクセサリーを取り付けているとき

> ! リヤバンパーやレーダーセンサー周辺に衝撃が加わったときや、リヤバンパーや関連システムの修理を行うときは、Honda 販売店にご相談ください。

後退出庫サポート

後退出庫サポートについて

駐車場などから後退するときに、リヤバンパーのレーダーにより車両後方の左右から接近する他の車両を検知し、運転者に知らせる機能です。

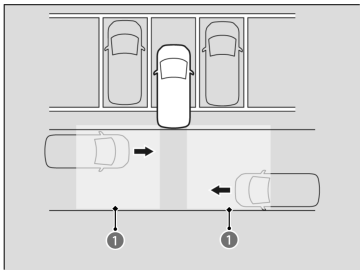
⚠注意

このシステムは出庫時の後方確認などをサポートするためのものであり、衝突を防止するためのシステムではありません。

後退時は、必ず目視やミラーなどで後方および周囲の安全を直接確認して運転してください。

状況によっては、検知のできない可能性があるため、ブザーや画面の表示のみを頼って後退すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

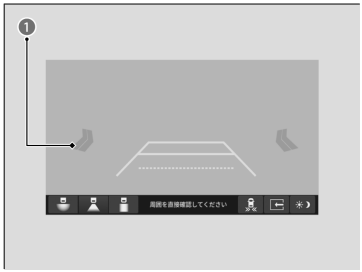
作動条件



❶ 検知範囲

シフトポジションが R でシステムが ON のとき、自車の車速が約 5km/h 以下の場合に車両後方の左右から接近する他の車両を検知し、ブザーと画面の表示でお知らせします。
自車の真後ろから接近する他の車両は検知しません。また、検知している他の車両が自車の真後ろまで到達した時点でお知らせを停止します。
また接近する歩行者、自転車、二輪車を検知する場合があります。

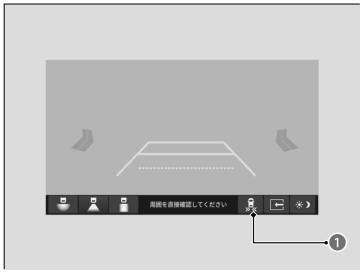
画面表示について



接近してくる車両を検知している間は、接近方向矢印（❶）が表示されます。

- 画面右下のアイコンが から （オレンジ）に変わったときは、リヤバンパー側面に雪や泥などが付着していることにより一時的にシステムが動作しません。リヤバンパー側面の付着物を取り除いてください。
- アイコンに変わったときは、システムに異常がありますので、システムを使用せずHonda 販売店で点検を受けてください。
- シフトポジションを R にしても画面が切り換わらないときは、Honda 販売店で点検を受けてください。

後退出庫サポートの ON と OFF



後退出庫サポートアイコン（❶）を押して、システムの ON/OFF を切り換えます。

カスタマイズ機能でシステムの ON/OFF を切り替えることができます。
設定 ►P.194

後退出庫サポートの制限

以下のような状況では、接近する車両を検知できないことや、検知が遅くなることがあります。また、接近する車両がいないときでも検知する場合があります。

- リヤバンパーの周囲に他の車両や壁などがあり、レーダーの検知範囲が影響を受けたとき
- 自車の車速が約 5km/h を越えているとき

- 接近する他の車両の車速が約 10～25km/h 以外のとき
- レーダーなどを装備した他の車両が近くにいるとき
- 近くに強い電波を発する設備があるとき
- リヤバンパー側面に雪や泥などが付着しているとき
- 悪天候で、接近する他の車両をシステムが認識できないとき
- 坂道またはカーゴスペースや座席に重い荷物を積んで、車が傾いているとき
- 壁、ポール、他の車両などに近付くように後退したとき

> リヤバンパーやレーダーセンサー周辺に衝撃が加わったときや、リヤバンパーや関連システムの修理を行うときは、Honda 販売店にご相談ください。

> システムを正しく作動させるために、リヤバンパー側面は常にきれいにしてください。また、リヤバンパー側面にシールなどを貼らないでください。

パーキングセンサーシステム

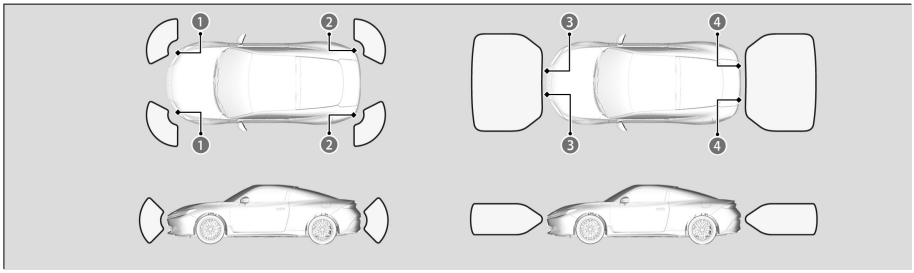
パーキングセンサーシステムについて

パーキングセンサーが障害物を検知し、障害物と車両の距離を警告音と表示で知らせます。

Q ソナーセンサー ▶P.218

> ❗ 駐車する前に車両の周りに障害物がないことを確認してください。

パーキングセンサーの取付位置と検知範囲



❶ フロントコーナーセンサー
❷ リヤコーナーセンサー
❸ フロントセンターセンサー
❹ リヤセンターセンサー

パーキングセンサーの ON と OFF

メーターでシステムの ON/OFF を切り換えることができます。

Q 表示の切り換えかた ▶P.294

Q 安全支援情報 ▶P.299

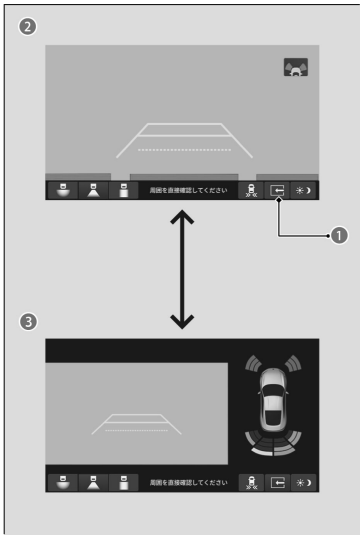
- システムを OFF にすると、システムを ON にするまで OFF の状態を保持します。

リヤパーキングセンサーだけを OFF にすることもできます。リヤパーキングセンサーを OFF にすると、後退中の踏み間違い衝突軽減システムは作動しません。

設定 ►P.194

踏み間違い衝突軽減システムについて ►P.226

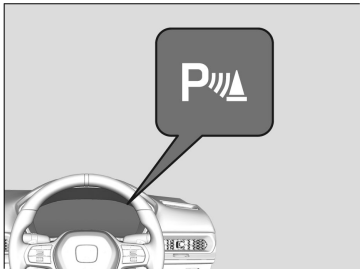
画面操作



アイコン（❶）をタッチして、ディスプレイを通常表示（❷）または分割表示（❸）に切り替えることができます。

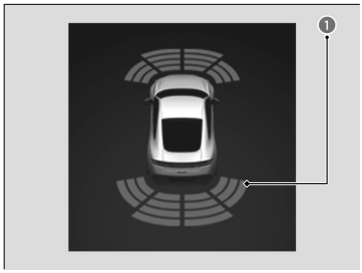
障害物を検知したときの作動状態

フロントコーナーセンサーおよびリヤセンサーは、シフトポジションが R で、車速が 8km/h 以下のとき障害物を検知します。
フロントセンサーは、シフトポジションが P、R 以外で、車速が 8km/h 以下のとき障害物を検知します。



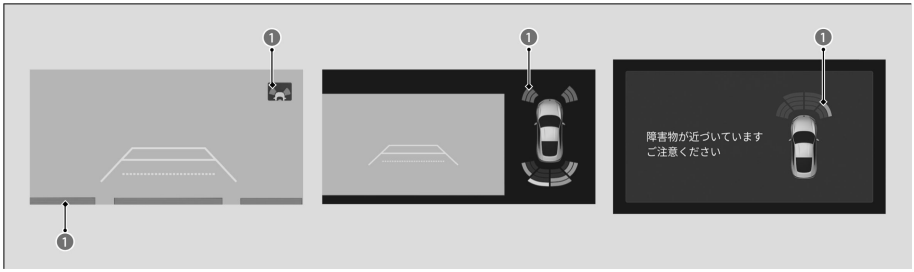
パーキングセンサー警告灯が点滅します。

≫システムを OFF にしても障害物を検知するとパーキングセンサー警告灯のみが点滅します。



検知した場所をメーターのインジケーター（❶）でお知らせします。

ディスプレイオーディオ画面でも検知した場所をインジケーター（❶）でお知らせします。



インジケーター色	警報音の間隔	障害物との距離	
		コーナーセンサー	センターセンサー
イエロー※	長い	—	フロント：約 80-60cm リヤ：約 113-79cm
オレンジ	短い	約 60-45cm	フロント：約 60-50cm リヤ：約 79-64cm
	非常に短い	約 45-35cm	フロント：約 50-40cm リヤ：約 64-54cm
レッド	連続	約 35cm 以下	フロント：約 40cm 以下 リヤ：約 54cm 以下

※: このときは、センターセンサーのみが障害物を検知します。

警報音を一時的に OFF にするには、警報音がなっているときにライトセレクターホイールを押してください。シフトポジションを P / R から D / N、またはその反対で切り替えるか 14km/h 以上で走行すると一時 OFF が解除されます。

パーキングセンサーの制限

次のようなときは、システムが正常に働かないことがあります。

- センサーが雪、氷、泥などで覆われているとき
- 車両が高温または低温の状況にあるとき
- 超音波や周波数の高い音を発するものが近くにあるとき
- 雨・霧・雪など悪天候のとき

次のようなときは、システムが障害物を検知できないことがあります。

- 障害物が細いとき、または低いとき
- 雪、布、スポンジなど吸音しやすい材質があるとき
- バンパーの真下に障害物があるとき

次のようなときは、システムが誤って障害物を検知することがあります。

- 凸凹な路面や、草地、段差があるとき
- 他の車両のソナーセンサーなど、超音波を発するものが付近にあるとき
- 大雨などによりセンサー付近に水しぶきがかかったとき

> **!** センサーの近くにアクセサリーを取り付けないでください。
> リヤセンサーや、その周囲にアクセサリー（自転車ラックなど）を取り付けた場合、アクセサリーを障害物として検知して踏み間違い衝突軽減システムが作動する恐れがありますので、リヤパーキングセンサーを OFF にしてください。
> 設定 ►P.194

メーターについて

警告灯と表示灯

警告灯と表示灯一覧……281

警告灯が点灯/点滅したときは…… 283

メーター

メーターの種類…… 290

マルチインフォメーションディスプレイ

マルチインフォメーションディスプレイについて …… 294

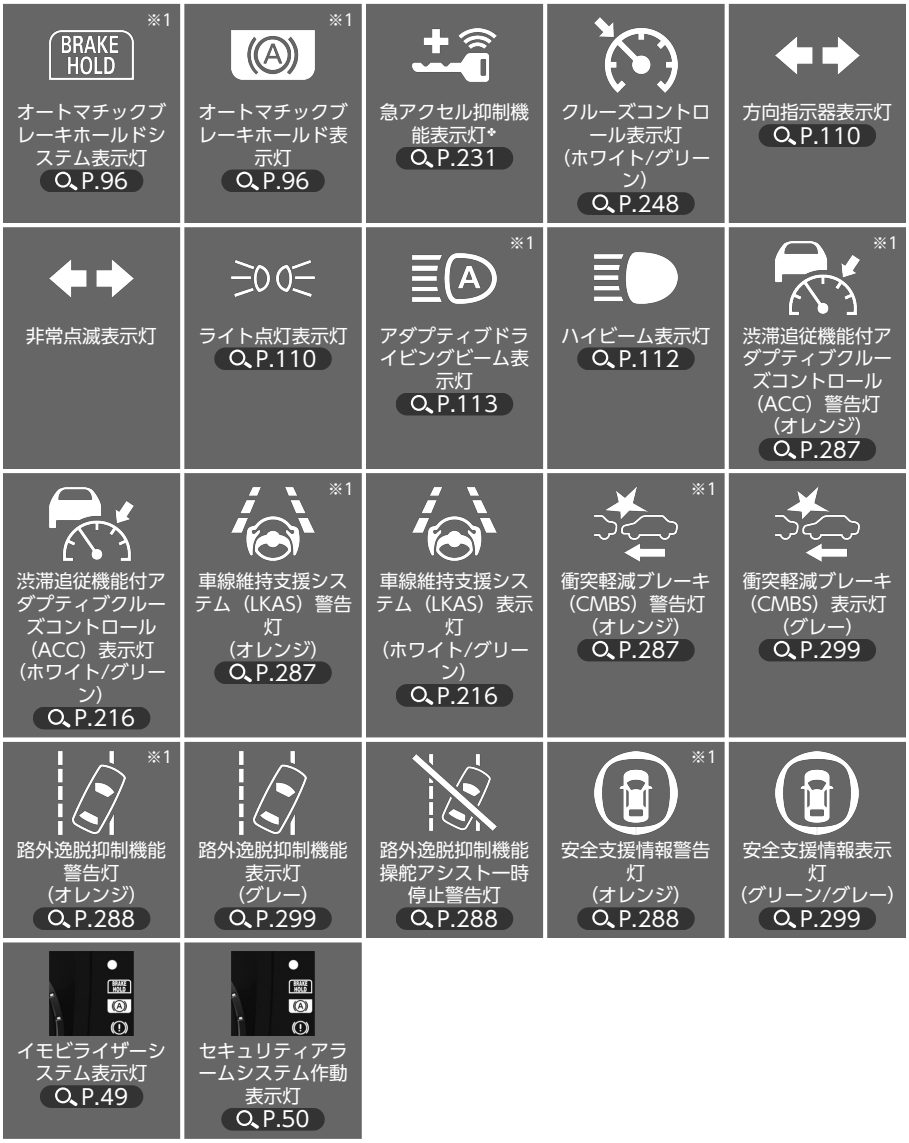
マルチインフォメーションディスプレイ 右側…… 294

マルチインフォメーションディスプレイ 左側…… 302

警告灯と表示灯

警告灯と表示灯一覧

 ※1 ブレーキ警告灯（レッド） Q P.284	 ※1 ブレーキシステム警告灯（オレンジ） Q P.284	 ※1 12V バッテリー充電警告灯 Q P.284	 シートベルト非着用警告灯 Q P.285	 ※1 エアバッグシステム警告灯 Q P.285
 ※1 PGM-FI 警告灯 Q P.285	POWER SYSTEM ※1 パワーシステム警告灯 Q P.285	 燃料残量警告灯 Q P.286	 ※1 ABS（アンチロックブレーキシステム）警告灯 Q P.286	 ※1 VSA（ビークルスタビリティアシスト）警告灯 Q P.286
 VSA OFF 警告灯 Q P.286	 ※1 EPS（電動パワーステアリング）システム警告灯 Q P.286	 パーキングセンサー警告灯 Q P.287	 インフォメーション表示灯 Q P.302	 トランスミッション警告灯 Q P.287
 シフトポジション表示灯 Q P.89	 減速セレクター表示灯 Q P.123	 Honda S+ Shift 表示灯 Q P.125	SPORT SPORT モード表示灯 Q P.121	GT GT モード表示灯 Q P.121
INDIVIDUAL INDIVIDUAL モード表示灯 Q P.121	COMFORT COMFORT モード表示灯 Q P.121	 車間距離設定表示灯 Q P.246	READY READY 表示灯 Q P.87	EV ※1 EV 表示灯 Q P.13



※1：これらの警告灯と表示灯は、パワーモードを ON モードにしたときに点灯し、パワーシステム起動後または、数秒後に消灯します。点灯しない場合や消灯しないときは、システム異常のおそれがありますので、取扱説明書の指示に従い対処してください。

✤: タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

警告灯が点灯/点滅したときは

警告灯は、車両状態に応じて点灯/点滅します。 点灯/点滅と同時にメッセージが表示されることがあります。メッセージの内容に従い Honda 販売店で点検を受けてください。
走行できないメッセージが表示されている場合は、ただちに安全な場所に停車し、Honda 販売店にご連絡ください。
12V バッテリー再接続後、複数の警告灯が点灯し「システム初期化中です」と表示した場合は、車速 20km/h 以上でしばらく走行してください。警告灯が消灯しないときは Honda 販売店で点検を受けてください。



ブレーキ警告灯（レッド）

パーキングブレーキをかけると点灯
ブレーキフルード量が低下したときに点灯
≫ただちに安全な場所に車を停めてください。

ボンネット内のメンテナンス項目 ►P.307

≫ブレーキペダルを軽く踏んで、ペダルの圧力を確認してください。ブレーキペダルに抵抗がない場合は、必要に応じて、回生ブレーキを用いて減速を手助けするために減速セレクターの[－]パドルを引いて、安全な場所に車を停めてください。 また、Honda S+ Shift が ON のときは、パドルシフターの[－]パドルを引き、ギア段数を下げて、安全な場所に車を停めてください。

ブレーキシステムが異常のときに点灯
≫ブレーキの効きが弱くなることがありますので、ブレーキペダルをしっかり踏んでください。

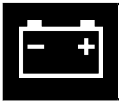
電子制御パーキングブレーキが異常のときに点滅
≫パーキングブレーキを使用しないでください。
≫パーキングブレーキが作動していない可能性があるため、車両が動き出さないように、シフトポジションを[P]にしてください。

- 電子制御パーキングブレーキを短時間にくり返し操作するとシステムの過熱防止のために作動が停止し警告灯が点滅します。約 1 分経過すると元に戻ります。



ブレーキシステム警告灯 （オレンジ）

ブレーキに関係するシステムが異常のときに点灯
電子制御パーキングブレーキシステム、オートマチックブレーキホールドシステムが異常のときに点灯
≫パーキングブレーキを使用しないでください。



12V バッテリー充電警告灯

充電システムに異常があるときに点灯



シートベルト非着用警告灯

シートベルトを着用していないときに点灯もしくは点滅
≫すみやかにシートベルトを正しく着用してください。

- リヤシートはシートベルトを外すと点灯もしくは点滅し、しばらくすると消灯します。
- シートベルトを正しく着用していても警告灯が点灯もしくは点滅する場合は、センサーの誤検知などの要因が考えられるため、Honda 販売店に修理を依頼してください。
- 各シートベルトの着用状況は、マルチインフォメーションディスプレイで確認することができます。

表示の切り換えかた ►P.294



エアバッグシステム警告灯

エアバッグシステム、シートベルトプリテンショナーシステムが異常のときに点灯

エアバッグについて ►P.34



PGM-FI 警告灯

エンジンの排気ガス制御システムまたはパワーシステムに異常があると点灯

- PGM-FI 警告灯が点灯したまま運転すると、排気ガス制御システムとエンジンを損傷する場合があります。
- 燃料がなくなり、エンジンで発電できないときに点灯することがあります。その場合は給油してから、パワーモード ON、走行、パワーモード OFF を数回繰り返すと、警告灯は消灯します。警告灯が消灯しないときは、Honda 販売店で点検を受けてください。

エンジン各気筒の失火状態を検知したときに点滅
≫枯草などの可燃物のない安全な場所に停車し、10 分以上エンジンを停止して冷えるまでお待ちください。



パワーシステム警告灯

パワーシステムが異常のときに点灯
≫常時点灯する場合は、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。



燃料残量警告灯

燃料の残量が少なくなった（およそ 6.0 リットル以下）ときに点灯
航続可能距離 ►P.296
燃料計に異常があるときに点滅



ABS（アンチロックブレーキシステム）警告灯

ABS が異常のときに点灯
- 点灯の場合でも通常のブレーキ機能としての性能は確保されていますが、ABS は作動しません。 急ブレーキ時に車両が不安定になる可能性がありますので、高速走行や急ブレーキを避けてください。



VSA（ビークルスタビリティアシスト）警告灯

VSA が作動しているときは点滅
VSA システム、ヒルスタートアシストシステム、アジャイルハンドリングアシストのいずれかが異常のときに点灯
- 点灯の場合でも通常のブレーキ機能としての性能は確保されています。



VSA OFF 警告灯

VSA を OFF にしたときに点灯
VSA（ビークルスタビリティアシスト） ►P.126



EPS（電動パワーステアリング）システム警告灯

EPS システム、ドライバー注意力モニターが異常のときに点灯
≫安全な場所に停車し、パワーシステムを再起動してください。常時点灯する場合は、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。



パーキングセンサー警告灯

パーキングセンサーが障害物を検知したときに点滅

パーキングセンサーシステムについて ►P.276



トランスミッション警告灯

トランスミッションが異常のときに点滅
トランスミッションの異常が発生し、シフトポジションを P にできないときに点滅
≫停車するときはパーキングブレーキをかけてください。

- 状況によっては、システムを起動できないことがあります。



渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール（ACC）警告灯（オレンジ）

渋滞追従機能付 ACC システムが異常のときに点灯

- カーゴスペースやリヤシートに重い荷物を積んで、車が傾いているときに点灯する場合があります。



車線維持支援システム（LKAS）警告灯（オレンジ）

LKAS が異常のときに点灯
≫LKAS とトラフィックジャムアシスト（渋滞運転支援機能）は作動しません。

- カーゴスペースやリヤシートに重い荷物を積んで、車が傾いているときに点灯する場合があります。



衝突軽減ブレーキ（CMBS）警告灯（オレンジ）

CMBS が異常のときやカメラ付近のフロントガラスの汚れなどで機能停止しているときに点灯

- 安全支援情報警告灯（オレンジ）が同時に点灯します。

安全支援情報警告灯（オレンジ） ►P.288



路外逸脱抑制機能警告灯（オレンジ）

路外逸脱抑制機能が異常のときやカメラ付近のフロントガラスの汚れなどで機能停止しているときに点灯

- 安全支援情報警告灯（オレンジ）が同時に点灯します。

安全支援情報警告灯（オレンジ） ►P.288



路外逸脱抑制機能操舵アシスト一時停止警告灯

路外逸脱抑制機能の操舵アシストが一時停止しているときに点灯

路外逸脱抑制機能について ►P.234



安全支援情報警告灯（オレンジ）

安全支援システムが異常のときに点灯

安全支援情報 ►P.299

- カーゴスペースやリヤシートに重い荷物を積んで、車が傾いているときに点灯する場合があります。

パーキングセンサーが異常のときに点灯

≫パーキングセンサー周辺に泥、氷、雪などの付着物がないか確認してください。

パーキングセンサーシステムについて ►P.276

カメラの温度が高温になり、運転支援システムの一部が使用できなくなると点灯

フロントワイドビューカメラ ►P.217

雨、霧、雪などの悪天候や、夜間やトンネル内、夜明け、夕暮れなど周囲が暗いときなどのカメラ視界不良により、運転支援システムの一部が使用できなくなると点灯

- カメラ付近に遮蔽物があるときにも点灯します。

フロントワイドビューカメラ ►P.217

ブラインドスポットインフォメーションのレーダーセンサーが汚れたときに点灯

≫安全な場所に停車してブラインドスポットインフォメーションのレーダーセンサー周辺の汚れをふき取ってください。

ブラインドスポットインフォメーションについて ►P.270

ブラインドスポットインフォメーションのレーダーセンサーの温度が高温のときに点灯

≫温度が下がるとシステムは復帰します。

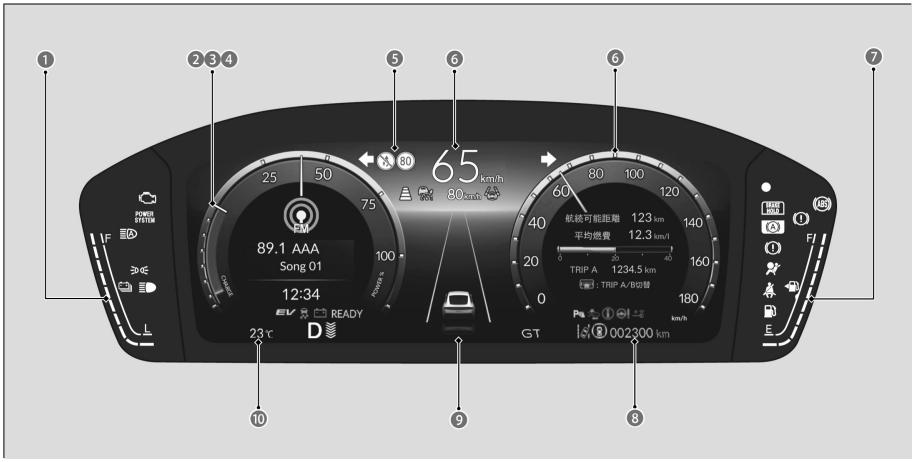
ソナーセンサーに遮蔽物があり、踏み間違い衝突軽減システムが使用できなくなると点灯

ソナーセンサー ►P.218

踏み間違い衝突軽減システムについて ►P.226

メーター

メーターの種類



❶ 高電圧バッテリー残量計
❷ パワー表示（POWER）
❸ チャージメーター表示（CHARGE）/ 減速度表示（DECEL）
❹ タコメーター
❺ 標識認識機能表示
❻ スピードメーター
❼ 燃料計
❽ オドメーター
❾ 渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール（ACC）/車線維持支援システム（LKAS）/トラフィックジャムアシスト（渋滞運転支援機能）表示
❿ 外気温表示

スピードメーター

走行速度を表示します。

パワー表示（POWER）

モーター出力の状態を表示します。

チャージメーター表示（CHARGE）/ 減速度表示（DECEL）

高電圧バッテリーへの充電の状態を表示します。
減速セレクター作動時には減速の強さを表示します。

タコメーター

1 分間あたりのエンジン回転数を表示します。
Honda S+ Shift を ON にすると、パワー表示（POWER）とチャージメーター表示（CHARGE）/ 減速度表示（DECEL）がタコメーターに切り替わります。
Honda S+ Shift ►P.125

燃料計

燃料の残量を表示します。

- 燃料計が E に近づいたら、早めに給油してください。
- 燃料がなくなるとエンジンが点火しなくなり、触媒装置を損傷することがあります。
- 少量給油（約 5 リットル以下）を行ったときや車両の状況によっては、実際の燃料残量と、メータに表示される量は異なる場合があります。

高電圧バッテリー残量計

高電圧バッテリー内の充電量を表示します。

- 次のような場合は、高電圧バッテリー残量表示が下がることがあります。
  ≫12V バッテリーを交換したとき
  ≫12V バッテリーの端子を外したとき
  ≫高電圧バッテリー制御システムが残量の誤差を補正したとき
- 高電圧バッテリーの温度が変化すると、高電圧バッテリー残量計の表示が変化することがあります。

外気温表示

外気温を表示します。

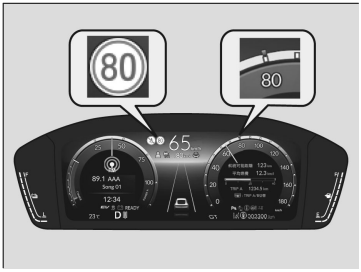


パワーモードを ON モードにしたとき、外気温が 3℃以下の場合は、外気温低下メッセージがホワイトで表示されます。
運転中に外気温が 3℃以下に低下した場合は、外気温低下メッセージがオレンジで表示されます。

- 温度センサーはフロントバンパー付近に付いています。
- 速度がおよそ 30km/h 以下のときは、表示される温度が、自車、周囲の車、路面の熱の影響を受けることがあります。また、温度の読み取り値が安定するまで更新されないため、温度表示の更新に数分かかることがあります。

メーターに表示される温度を補正することができます。
車両設定 ►P.199

標識認識機能表示

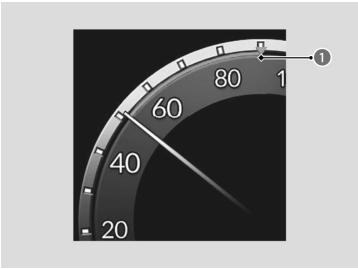


走行中に認識した道路標識情報を表示します。
認識した最高速度の道路標識に対して、速度超過したときは点滅してお知らせします。
標識認識機能について ►P.266

渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール（ACC）/車線維持支援システム（LKAS）/トラフィックジャムアシスト（渋滞運転支援機能）表示

渋滞追従機能付 ACC/LKAS/トラフィックジャムアシストの現在の状態を表示します。

渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール（ACC）について ►P.242
車線維持支援システム（LKAS）について ►P.253
トラフィックジャムアシスト（渋滞運転支援機能）について ►P.258



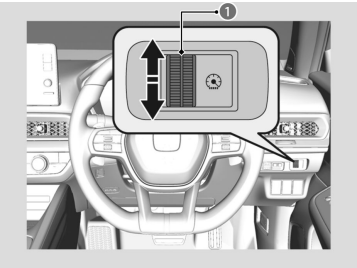
- 渋滞追従機能付 ACC またはクルーズコントロールで速度を設定すると、スピードメーターに設定した速度の位置にマークが表示されます。

❶ 設定速度

オドメーター

走行距離の累計を表示します。

イルミネーションコントロール



パワーモードが ON モードのとき、メーター内の明るさを手動で調節することができます。
明るくする：ダイヤルを上に回す
暗くする：ダイヤルを下に回す

❶ イルミネーションコントロールダイヤル

- 車外の明るさに応じて、メーター内の照明の明るさが自動で変化します。
  ≫周囲が暗いときは照明が暗くなる
  ≫周囲が明るいときは照明が明るくなる
- 周囲が明るいときも設定変更はできますが、画面の明るさが変わらないことがあります。

マルチインフォメーションディスプレイ

マルチインフォメーションディスプレイについて



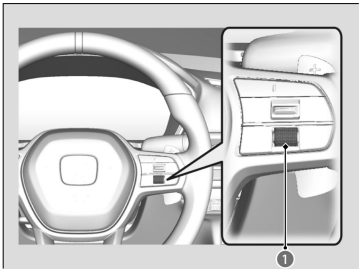
❶ マルチインフォメーションディスプレイ　左側
❷ マルチインフォメーションディスプレイ　右側

マルチインフォメーションディスプレイは、車両状態などの表示や、異常を検知すると警告メッセージが表示されます。
警告メッセージが表示された場合は、メッセージの内容を確認して必要に応じて Honda 販売店にご連絡し、点検を受けてください。
マルチインフォメーションディスプレイに「エンジン油圧異常」、「エンジン冷却水高温」または、「ブレーキ性能低下」が表示した場合は、下記を参照してください。

「エンジン油圧異常」の警告メッセージが表示された　►P.348
オーバーヒートしたときの対処方法　►P.346
「ブレーキ性能低下」の警告メッセージが表示された　►P.349

マルチインフォメーションディスプレイ 右側

表示の切り換えかた



❶ ライトセレクターホイール

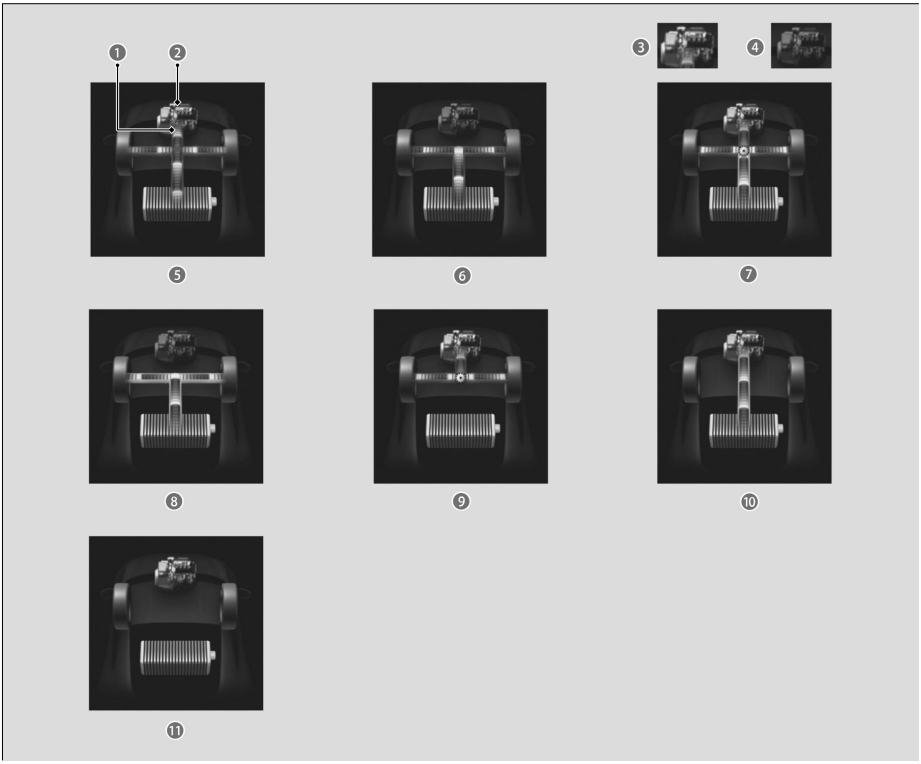
ライトセレクターホイールを回すごとに表示が切り換わります。

- 機能の表示/非表示をお好みに合わせて設定変更することができます。

メーター表示設定　►P.301

パワーフロー/エンジン作動表示

高電圧バッテリーへの充電、アシスト状態を表示します。



❶ パワーフロー表示
❷ エンジン作動表示
❸ エンジン作動中
❹ エンジン停止中
❺ ハイブリッド走行：エンジン作動とモーターアシスト（ブルー）
❻ EV 走行：モーターのみ作動（ブルー）
❼ エンジン走行：エンジン作動し高電圧バッテリーへ充電中（ブルー/グリーン）
❽ 回生：高電圧バッテリーへ充電中（グリーン）
❾ エンジンのみ作動（ブルー）
❿ エンジン作動し高電圧バッテリーへ充電中（グリーン）
⓫ アイドリング中に高電圧バッテリーを充電していないとき

- パワー表示（POWER）とチャージメーター表示（CHARGE）の動きとパワーフロー/エンジン作動表示の動きは、状況により一致しない場合があります。

パワー表示（POWER） ►P.290
チャージメーター表示（CHARGE）/ 減速度表示（DECEL） ►P.291

航続可能距離

高電圧バッテリーと燃料の残量、平均燃費をもとに推定航続可能距離を表示します。

- 表示される航続可能距離は、実際に航続可能な距離とは異なる場合があります。

平均燃費

トリップメーター A、B と連動し、それぞれの平均燃費を一定時間ごとに更新して表示します。

- 表示される平均燃費は、実際に走行した燃費と異なる場合があります。
- 停車時または低速走行中にリセットした場合は、走行を始めてから燃費の計算を開始します。

瞬間燃費



瞬間燃費をバーグラフで表示します。

❶ 瞬間燃費

トリップメーター

リセットしてからの走行距離を表示します。
ライトセレクターホイールを押すと、トリップメーターの A、B が切り換わります。
トリップメーター A と、トリップメーター B があり、それぞれ独立して計測するため 2 つの走行距離を知ることができます。

- トリップメーターをリセットするには、リセットしたいトリップメーターが表示されている状態でライトセレクターホイールを長押しし、「リセット」を選択してください。トリップメーターが 0.0 にリセットされます。また、平均燃費、平均車速、経過時間も同時にリセットされます。
- トリップメーターは走行距離が 9999.9km を超えると、0.0km に戻ります。

トリップメーターを給油と連動させて自動的にリセットさせることができます。
車両設定 ►P.199

平均車速

トリップメーター A、B をリセットしてからの平均車速を表示します。

経過時間

トリップメーター A、B をリセットしてからの経過時間を表示します。

ナビゲーション

Google マップ、Apple CarPlay または Android Auto によるルート案内の状況に応じて、交差点や分岐点などでの進路案内や、コンパスを表示します。

Apple CarPlay ►P.174
Android Auto™ ►P.177
Google 搭載車 ►P.188

- ナビゲーション機能は、一部のデバイスまたはアプリケーションによっては作動しないことがあります。

交差点案内表示の ON/OFF を設定することができます。
車両設定 ►P.199

ドライバー注意力モニター

ドライバー注意力モニターは運転者のハンドル操作に応じて居眠り運転や不注意運転を検知します。システムが検知したハンドル操作に応じて、マルチインフォメーションディスプレイ内に運転者の注意力レベルを表示します。

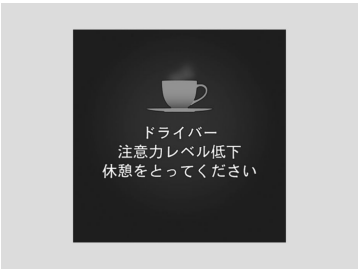


マルチインフォメーションディスプレイで運転者注意力レベルを選択すると、ドライバー注意力レベルを白い目盛りで表示します。
表示の切り換えかた ►P.294

❶ ドライバー注意力レベル



注意力の目盛りが 2 になると「ドライバー注意力レベル低下」が表示されます。



注意力の目盛りが 1 になると「ドライバー注意力レベル低下　休憩をとってください」が表示され、警報音とハンドル振動で運転者に知らせます。
このメッセージが表示されたら、安全な場所に車を停車し、十分に休憩をとってください。
ライトセレクターホイールを回すか、シス テムが運転を正常と判断するとメッセージが消えます。
運転者が休憩をとらず、システムが注意力低下を検知し続けた場合、15 分後にメッセージ表示、警報音、ハンドル振動により再度運転者に知らせます。
30 分未満の運転では、メッセージは表示しません。

- ドライバー注意力モニターは、運転者の疲労や注意力を常時検知するものではありません。
- ドライバー注意力レベルの表示に関わらず、疲労を感じたときは、安全な場所で十分に休憩をとってください。

システムの設定を変更することができます。
車両設定　►P.199

ドライバー注意力モニターのリセット

次の場合に運転者注意力レベルがリセットされます。

- パワーモードを OFF モードにしたとき
- 停車中に運転者がシートベルトを外し、ドアを開けたとき

ドライバー注意力モニターの作動条件

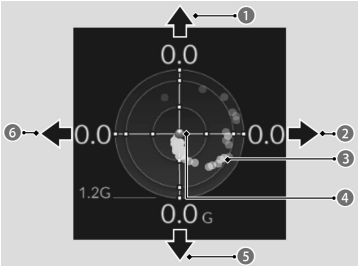
- 車速が 40km/h を超えているとき
- EPS（電動パワーステアリング）システム警告灯が消灯しているとき
- ドライバー注意力モニターが作動していないときは、運転者注意力レベル表示の目盛りがグレーになります。

ドライバー注意力モニターが作動しない事例

- 車線維持支援システム（LKAS）またはトラフィックジャムアシスト（渋滞運転支援機能）のステアリングアシスト作動中
- 道路の状態が悪い（舗装されていない道路や荒れた道路など）
- 風が強いとき
- 車線変更や加減速を多く繰り返す走行をしているとき

G メーター

走行時、車両にかかる荷重の強さ (G) と方向を表示します。



❶ 前進中に減速したとき/後退中に加速したとき
❷ 左に操舵したとき
❸ 軌跡(白色)
❹ 現在の荷重の強さと方向(赤色)
❺ 前進中に加速したとき/後退中に減速したとき
❻ 右に操蛇したとき

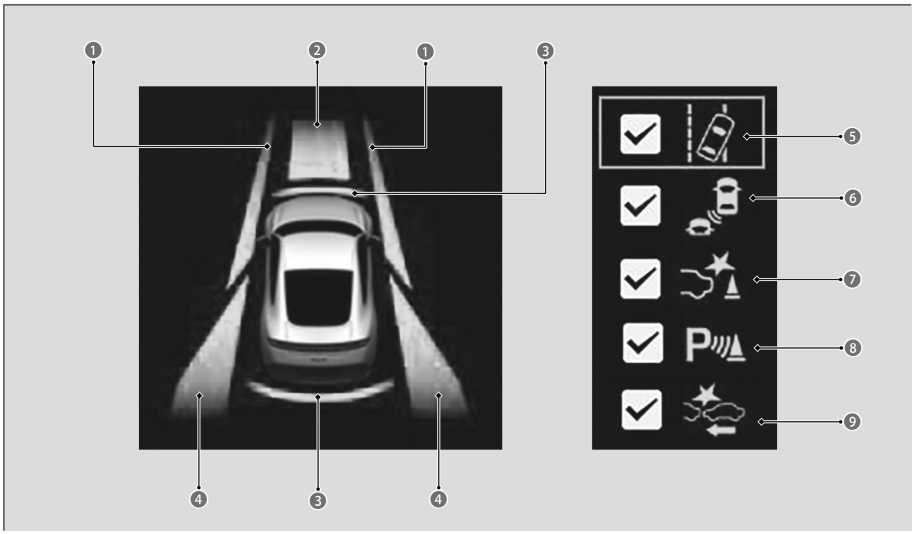
全席シートベルト

全席シートベルトの使用状況を表示します。

シートベルトリマインダー ►P.72

安全支援情報

安全支援情報は、以下のシステムの作動状態を表示します。



❶ 路外逸脱抑制機能作動状態
❷ 衝突軽減ブレーキ(CMBS)作動状態
❸ 踏み間違い衝突軽減システム作動状態/パーキングセンサー警報作動状態
❹ ブラインドスポットインフォメーション作動状態
❺ 路外逸脱抑制機能
❻ ブラインドスポットインフォメーション
❼ 踏み間違い衝突軽減システム
❽ パーキングセンサー警報
❾ 衝突軽減ブレーキ(CMBS)

次の色は、上記システムの作動状態を示します。
- グリーン：作動中
- グレー：停止中
- オレンジ：システムが異常のとき

• 各機能の ON と OFF を切り換えるには、ライトセレクターホイールを回して機能を選択し、次にライトセレクターホイールを押して ON/OFF を切り換えます。

Q 路外逸脱抑制機能について ►P.234
Q 衝突軽減ブレーキ（CMBS）について ►P.220
Q 踏み間違い衝突軽減システムについて ►P.226
Q 歩行者事故低減ステアリングについて ►P.238
Q ブラインドスポットインフォメーションについて ►P.270
Q パーキングセンサーシステムについて ►P.276

• 歩行者事故低減ステアリングは、路外逸脱抑制機能が ON のときに作動します。

- すべての機能が ON のとき、安全支援情報表示灯がグリーンで点灯します。いずれかが ON のときは、グリーン/グレーで点灯し、すべてが OFF のときはグレーで点灯します。
- 衝突軽減ブレーキが OFF のときは、衝突軽減ブレーキ（CMBS）表示灯（グレー）も点灯し、路外逸脱抑制機能が OFF のときは、路外逸脱抑制機能表示灯（グレー）も点灯します。
- オレンジで点灯したときは下記を参照してください。

衝突軽減ブレーキ（CMBS）警告灯（オレンジ） ►P.287
路外逸脱抑制機能警告灯（オレンジ） ►P.288
路外逸脱抑制機能操舵アシスト一時停止警告灯 ►P.288
安全支援情報警告灯（オレンジ） ►P.288

- 踏み間違い衝突軽減システムアイコンがグリーンのときでも、「リアパーキングセンサー警報設定」を OFF にしている場合は、後退時の踏み間違い衝突軽減システムは作動しません。

車両設定 ►P.199

- パーキングセンサー警報アイコンがグリーンのときでも、「リアパーキングセンサー警報設定」を OFF にしている場合は、後方のパーキングセンサー警報は作動しません。

車両設定 ►P.199

メーター表示設定

機能の表示/非表示

機能の表示/非表示をお好みに合わせて設定変更することができます。

[1]「メーター表示設定」の画面が表示されているとき にライトセレクターホイールを押す。
[2] ライトセレクターホイールを回し「表示/非表示」を選択し、押して決定する。
[3] ライトセレクターホイールを回して表示または非表示にしたい機能を選択し、押して決定する。

≫チェックマークが入っている項目は表示され、入っていない項目は非表示になります。

- 文字色がグレーの機能を非表示にすることはできません。
- 設定変更するときはシフトポジションを P にしてください。

メーターデザイン

メーターデザインを変更することができます。

[1]「メーター表示設定」の画面が表示されているとき にライトセレクターホイールを押す。
[2] ライトセレクターホイールを回し「メーターデザイン」を選択し、押して決定する。
[3] ライトセレクターホイールを回してお好みの設定を選択し、押して決定する。

- 「2 眼/シンプル」を選択しているときに、渋滞追従付アダプティブクルーズコントロール（ACC）が作動すると、シンプルなメーター表示になります。

警告メッセージ

警告メッセージがある場合は、警告メッセージが表示されます。

- 複数のメッセージがある場合は、 ライトセレクターホイールを回すとその他のメッセージが表示されます。
- 警告メッセージがある場合は、 インフォメーション表示灯が点灯します。

マルチインフォメーションディスプレイ 左側

各種音楽メディアやハンズフリー電話の情報を表示します。

オーディオリモートコントロールスイッチ ►P.151

ハンズフリーテレホンについて ►P.181

時計

時刻を表示します。

- マルチインフォメーションディスプレイに表示される時計の ON/OFF を切り替えることができます。

表示設定 ►P.303

時計設定

時計は人工衛星からの情報を利用していますので、時刻合わせは不要です。
その他の設定については、装備されているナビゲーションもしくはオーディオの取扱情報をご覧ください。

ギア表示

Honda S+ Shift を ON にすると、ギア段数と現在のシフトポジションが表示されます。

Honda S+ Shift ►P.125

シフトポジションについて ►P.89

- マルチインフォメーションディスプレイに表示されるギア表示の ON/OFF を切り替えることができます。

表示設定 ►P.303

表示設定

- 設定変更するときはシフトポジションを P にしてください。

オーディオソースの表示/非表示

オーディオソースの表示/非表示を変更することができます。

[1] レフトセレクターホイールを回し「表示設定」を選択し、押して決定する。
[2] レフトセレクターホイールを回し「表示/非表示」を選択し、押して決定する。
[3] レフトセレクターホイールを回して表示または非表示にしたい機能を選択し、押して決定する。

≫チェックマークが入っている項目は表示され、入っていない項目は非表示になります。

表示コンテンツの切り替え

表示コンテンツを切り替えることができます。

[1] レフトセレクターホイールを回し「表示設定」を選択し、押して決定する。
[2] レフトセレクターホイールを回し「パワーメーター内表示」または「タコメーター内表示」を選択し、押して決定する。
[3] レフトセレクターホイールを回して表示させたいコンテンツを選択し、押して決定する。

メンテナンス

メンテナンスの前に

メンテナンスについて…… 305
メンテナンス時の備品や場所に関する注意事項…
…… 306
メンテナンス時の車に関する注意事項……306

ボンネット内のメンテナンス

ボンネット内のメンテナンス項目…… 307
ボンネットの開閉方法…… 308
推奨エンジンオイル……309
ウィンドウォッシャー液の補給方法…… 310

ワイパー

ワイパーアームの起こしかた…… 311
ワイパーブレードの交換方法…… 311

タイヤ

タイヤのメンテナンスについて……313
タイヤとホイールの交換について…… 314
冬期のタイヤ……315
タイヤのローテーション……315

エアコンのお手入れ

エアクリーンフィルターの交換方法…… 317

清掃

車内の清掃方法…… 318
車外の清掃方法…… 320

メンテナンスの前に

メンテナンスについて

道路運送車両法により、定期点検（法定点検）と日常点検が義務づけられています。
正しい点検整備で、車を安全・快適にお使いください。
普段と違う点（音、におい、ブレーキフルードの不足、地面に油のあとが残っているなど）に気づいたら、Honda 販売店で点検を受けてください。
メンテナンスを行う際は、メンテナンスノートと下記の安全に関する注意事項をよくお読みのうえ、安全を確保して行ってください。
お客さま自身でメンテナンスを実施したときは、メンテナンス点検整備記録簿のメンテナンスレコードに記録してください。

定期点検（法定点検）

12 か月および 24 か月ごとに実施する点検です。法律で定められているものと、Honda が指定するものがあります。

日常点検

長距離走行前や洗車・給油時などに、お客様自身の判断で行う点検です。

その他

新車時の無料点検や定期交換、厳しい使われかたをしたときの点検整備があります。

- 作業に不慣れな場合や難しい場合は、Honda 販売店にご相談ください。

⚠警告

適切なメンテナンスを行い、走行前に故障がないようにする。
走行時に故障がある状態や、適切なメンテナンスがなされていないと、重大な傷害や死亡に至る事故を引き起こす可能性があります。必ず、取扱説明書に記載されている点検とメンテナンスに関する注意事項や別冊のメンテナンスノートに記載の点検時期を守ってください。

メンテナンスは、指示と注意事項を守って行う。
メンテナンスの指示と注意事項を守らないと重大な傷害や死亡のおそれがあります。

メンテナンス時の備品や場所に関する注意事項

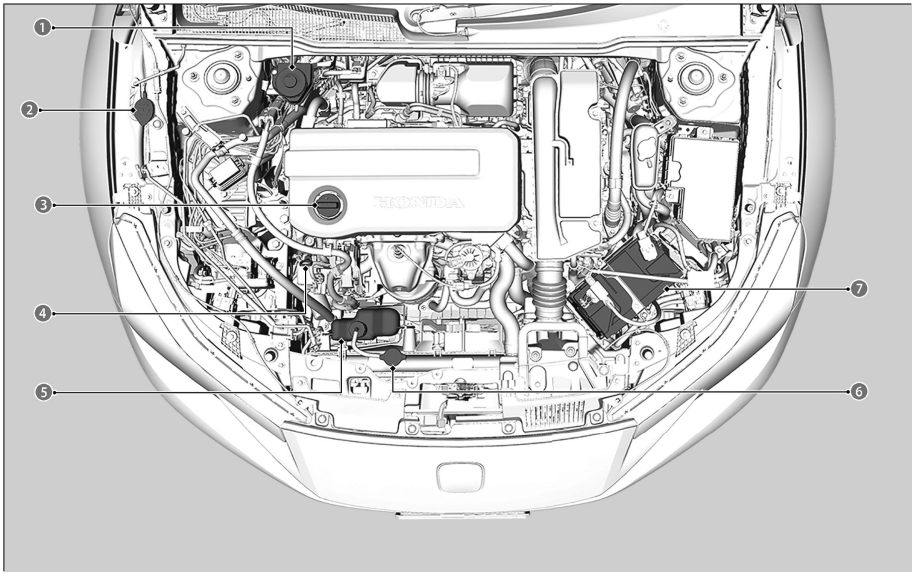
- タバコの火、火花、炎を引火性の液体やガスから遠ざけているか
- タオルや可燃物をボンネット内に置き忘れていないか
  ≫火災や爆発などの思わぬ事故につながるおそれがあります。
- エンジンを始動するときに十分な換気を行っているか
  ≫換気が十分でないと、排気ガスに含まれる一酸化炭素の毒作用で意識不明になったり、死亡するおそれがあります。

メンテナンス時の車に関する注意事項

- 冷却ファンが止まっているか
  ≫車両の状態によっては、パワーモードを OFF モードにしていても冷却ファンが作動することがあります。ボンネット内を点検するときは、冷却ファンに手や衣類が巻き込まれないように注意してください。
- エンジンと排気システムの各部が十分に冷えているか。
  ≫エンジンルーム内の部品には高温になるものがあり、やけどをするおそれがあります。
- パワーモードを OFF モードにしているか
  ≫パワーモードを ON モードにしていると、可動部品によってけがをするおそれがあります。
- メンテナンスサービスを受けるときは、Honda 純正部品やオイル類を使用することをおすすめします。Honda 純正部品は、車で使われている部品と同じ高品質の基準に基づいて製造されているため、性能と耐久性の面で安心です。

ボンネット内のメンテナンス

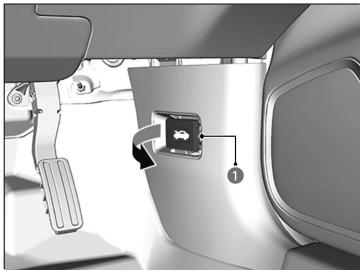
ボンネット内のメンテナンス項目



1. ブレーキフルードリザーブタンク※
2. ウィンドウォッシャー液注入口
3. エンジンオイル注入口※
4. エンジンオイルレベルゲージ※
5. 冷却水リザーブタンク※
6. ラジエーターキャップ※
7. 12 V バッテリー※

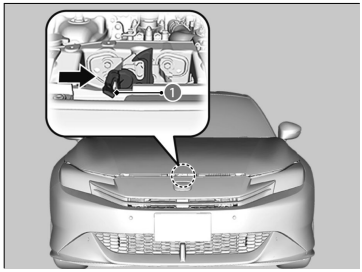
※: 点検整備については、メンテナンスノートをご覧ください。

ボンネットの開閉方法



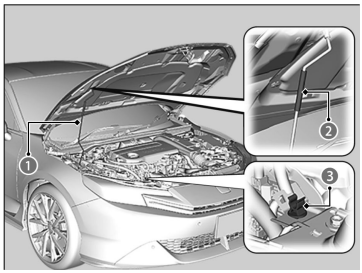
［1］ボンネット解除ノブを引く。
≫ボンネットが少し浮き上がります。

❶ ボンネット解除ノブ



［2］ボンネット中央のレバーを右に押し、ボンネットを開ける。

❶ レバー



［3］ステーのグリップを持って、クランプから取り外し、ボンネットにかける。

❶ ステー
❷ グリップ
❸ クランプ

- 車を停め、パーキングブレーキをかけた状態で作業してください。
- ボンネットを閉める場合は、約 30cm の高さから手を離して閉めてください。
- ボンネットを閉めたときは、ボンネットが確実にロックされていることを確認してください。

⚠警告

ステーの金属部分は、エンジンから発生する熱により非常に熱くなります。

やけどを負うおそれがあるので、必ずグリップを持って使用する。

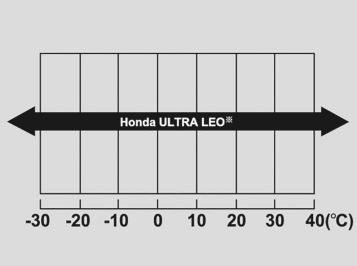
⚠注意

ボンネットを閉めるときは、手などをはさまないように注意する。

! ワイパーアームを起こした状態で、ボンネットを開けないでください。
ボンネットがワイパーに当たり、ボンネットやワイパーが損傷するおそれがあります。

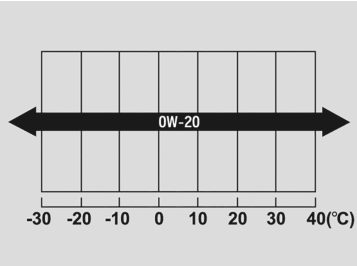
推奨エンジンオイル

純正および市販のエンジンオイルは、種類と、（外気温に応じた）粘度について以下にもとづきお使いください。
エンジンオイルは、量が少なかったり劣化したものを使用していると、エンジンの不調や破損につながることがあります。



純正エンジンオイル
Honda 純正油
- Honda ULTRA LEO※

※: 最も省燃費性に優れた Honda 純正オイルです。



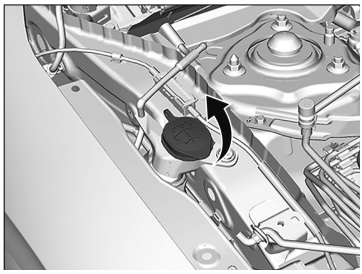
市販エンジンオイル
API SN 級以上か
オイル缶に API CERTIFICATION（エーピーアイ サーティ フィケーション）マークの入ったエンジンオイル



API CERTIFICATION（エーピーアイサーティフィケーション）マークは左記のとおりです。

- 冬期はエンジンオイルの劣化が激しくなります。冬期に主として短距離、市街地を運転する場合は、早めに交換してください。

ウィンドウォッシャー液の補給方法



ウォッシャー液が減っていた場合は、ウォッシャー液を補給してください。

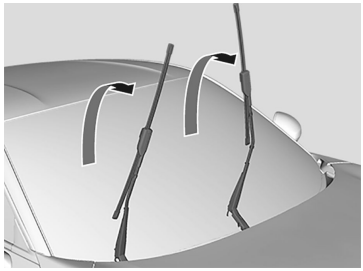
- ウォッシャー液以外の液体を、タンクに入れないでください。
- ウォッシャー液は必要に応じて水（軟水）で薄めてください。
- 冬期はウォッシャー液の凍結を防ぐため、ウォッシャー液の濃度を上げてください。

ワイパー

ワイパーアームの起こしかた



［1］パワーモードを OFF モードにする。
［2］パワーモードを OFF モードにしてから 10 秒以内にワイパースイッチのレバーを **MIST** の位置へ 2 秒以上押し上げる。
≫両方のワイパーアームが、ワイパーメンテナンスポジションにセットされます。

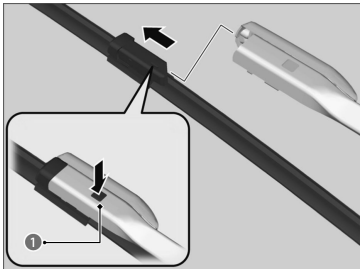


［3］両方のワイパーアームを起こす。

- ワイパーアームを起こす際は、必ず手順にしたがってワイパーメンテナンスポジションへ動かしてください。
  手動でワイパーアームを動かすと、故障の原因となります。
- ワイパーアームを起こした状態でボンネットを開けたりワイパーを作動させたりすると、ボンネットとワイパーアームを損傷します。

ワイパーブレードの交換方法

ウィンドーガラスに拭きムラがでたり、傷ついたりする場合は、ワイパーブレードを交換してください。



❶ タブ

[1] ワイパーアームを起こす。
ワイパーアームの起こしかた ►P.311
[2] タブを押しながら、ワイパーアームからブレードをスライドさせて外す。
[3] 新しいブレードをワイパーアームへスライドさせて取り付ける。
≫「カチッ」と音がするまで差し込み、確実に固定します。
[4] 両方のワイパーアームを戻す。
[5] パワーモードを ON モードにする。
[6] ワイパースイッチのレバーを **MIST** の位置に押し上げて、両方のワイパーアームを通常の位置に戻す。

- ブレードを外した状態でワイパーアームが倒れると、ガラスが損傷するおそれがあります。

タイヤ

タイヤのメンテナンスについて

タイヤが摩耗・損傷していたり、適正な空気圧でないと、安全な走行ができないばかりか乗り心地も損なわれます。以下の条件を満たすために点検を行い、常にタイヤを最適な状態に保ってください。

⚠警告

摩耗が激しいタイヤ、空気圧が適正でないタイヤを使用しない。
不適切なタイヤを使用すると、重大な傷害や死亡に至る事故につながるおそれがあります。

安全な走行のために求められるタイヤの条件

- 種類とサイズが適正であること
- 接地面の状態が良好であること
- 空気圧が適正であること
- 摩耗、傷、亀裂、異物などがないこと

日常点検

乗車前に必ず行う点検です。状況によってはメンテナンスをしてください。

- タイヤがつぶれているように見えないか
  ≫つぶれているように見えたら、すぐに空気圧をチェックしてください。
- 激しい摩耗、傷、亀裂、異物はないか
  ≫状況に応じて、タイヤを交換してください。

空気圧測定器による点検

すべてのタイヤの空気圧を測定してください。空気圧が下がっている場合は、パンクを入念に調べます。
タイヤの指定空気圧は、運転席横の車体に貼ってあるラベル、もしくは下記を参照してください。

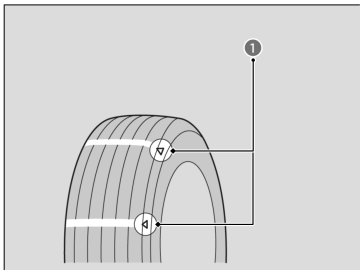
仕様について ►P.363

- タイヤの空気圧は、タイヤ温度が低いときに測定してください。空気圧の調整が必要な場合は、指定空気圧になるまで空気を注入または排出してください。

損傷、異物、摩耗の点検

- タイヤの接地面と側面の突起、膨らみが正常か
  ≫異常が見られた場合は、タイヤを交換する必要があります。
- タイヤ側面に、裂け目、亀裂がないか
  ≫裂け目や亀裂がある場合は、タイヤを交換する必要があります。
- 接地面とウェアインジケーター※が同じ高さになっていないか
  ≫接地面が摩耗して、ウェアインジケーターと同じ高さになったら、タイヤを交換する必要があります。

※: ウェアインジケーター（摩耗限界表示）



ウェアインジケーターはタイヤの接地面にあり、他の部分より溝が 1.6mm 浅くなっています。

❶ ウェアインジケーターの位置を示すマークの代表例

タイヤとホイールの交換について

タイヤは、四輪とも指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。
同時にすべての 4 つのタイヤを交換することをお勧めします。それができない場合は、前輪または後輪タイヤの左右を一緒に交換してください。
ホイールの仕様が純正ホイールと同一のものか確認してください。

⚠警告

必ず、サイズと種類が適切なタイヤを使用する。
不適切なタイヤを使用すると、重大な傷害や死亡に至る事故につながるおそれがあります。

冬期のタイヤ

雪道や凍結した道路を走行する場合は、スノータイヤを装着し、速度を落として十分に車間距離をとって運転してください。また、横滑りの原因となりますのでハンドルやブレーキの操作は、特に慎重に行ってください。
スノータイヤは、走行条件や法令により装着が必要とされた場合に使用します。
装着する場合は、下記のポイントを参照してください。

スノータイヤを装着する場合

四輪とも同じ種類、指定サイズのタイヤを選び、四輪すべてにスノータイヤを装着してください。

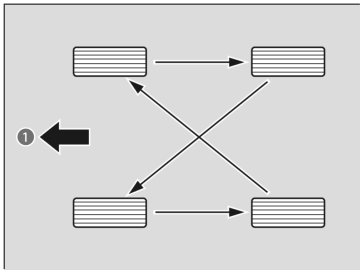
タイヤチェーンの場合

タイヤチェーンは使用できません。
タイヤチェーンを使用すると、ボディやサスペンション、ブレーキ配管などを破損するおそれがあります。

タイヤのローテーション

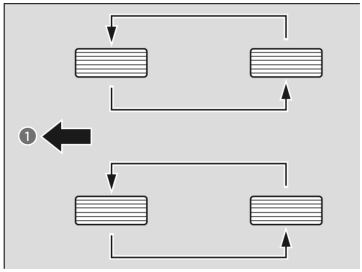
特定のタイヤが摩耗するのを防ぐために、5,000km 走行したときタイヤローテーションをしてください。

回転指示マークがないタイヤの場合



❶ 前

回転指示マークがあるタイヤの場合



❶ 前

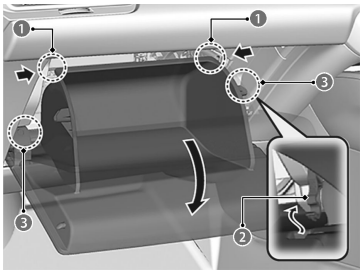
- 回転指示マークが前へ向くようにタイヤをローテーションさせます。

標準で装着されているタイヤのホイールナット締め付けトルクは 127N･m (13kgf･m) です。

エアコンのお手入れ

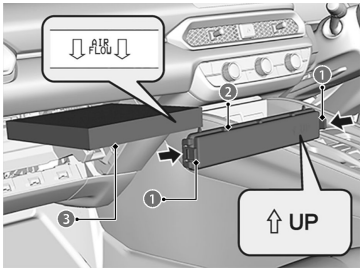
エアクリーンフィルターの交換方法

エアクリーンフィルターは、通常 1 年または 15,000 km ごとに交換してください。また、エアコンの風量が著しく減少したり、ガラスが曇りやすくなったと感じる場合は、フィルターを交換してください。



[1] グローブボックスを開ける。
[2] ダンパーを外す。
[3] グローブボックスの両側に付いているストッパーを内側に押し込み、グローブボックスを下ろす。
[4] グローブボックスのツメを引き抜き、グローブボックスを外す。

❶ ストッパー
❷ ダンパー
❸ ツメ



[5] 左右にあるツメを押しながら、カバーを外す。
[6] エアクリーンフィルターを引き出す。
[7] 新品と交換する。
≫「AIR FLOW」マークの矢印が、下向きになるように取り付けます。

❶ ツメ
❷ カバー
❸ エアクリーンフィルター

清掃

車内の清掃方法

内装の清掃は、掃除機で塵やほこりを取り除いてから汚れを落としてください。ぬるま湯に中性洗剤を溶かしたものを柔らかい布に軽く含ませ、固く絞って汚れを落とします。その後、真水を含ませたきれいな布で、洗剤分をきれいに落としてください。

室内に水をかけないでください。
室内の部品に水がかかると故障や、さびの原因となります。

オーディオ、スイッチなどの電装品にシリコン系のスプレーを塗布しないでください。
故障や車両火災の原因となるおそれがあります。万一、電装品にシリコン系のスプレーを塗布したときは、Honda 販売店にご相談ください。

ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤、酸、アルカリ性の溶剤は使用しないでください。
ケミカル類、液体芳香剤は成分により、樹脂部品、布材の変色、しみ、ひび割れなどを起こすおそれがあります。

ケミカル類を使用したあとは、必ず乾いた布で軽く拭き取り、使用した布をそのまま樹脂部品、布材の上に長時間放置しないでください。

シートベルトの清掃

ぬるま湯に中性洗剤を溶かしたものをブラシにつけて清掃し、その後空気乾燥させます。

ガラスの清掃

ガラスクリーナーなどで拭いてください。
ウィンドー（ドアガラス）の車内側に UV カット膜や IR カット膜がコーティングしてあります。水またはぬるま湯を含ませた布などで汚れを拭き取ってください。

リヤガラスは、ガラスの内側に電熱線が装着されています。傷付けないよう、これに沿って柔らかい布で拭いてください。

UV カット膜や IR カット膜を長持ちさせるために次のことをお守りください。

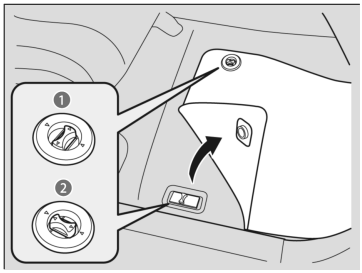
- 汚れがひどいときは、開閉をなるべく行わない
- みがき粉（コンパウンド）入りガラスクリーナーやワックス、洗剤等は使わない

ルームミラー周辺にある電子機器のカバーや周辺に水やガラスクリーナーなどの液体がかからないようにしてください。

フロアマット

運転席のフロアマットが前方にずれるのを防止するため、フロアアンカーで確実に固定してください。フロアマットの上に、他のフロアマットを重ねないでください。

フロアマット固定方法（例）



❶ 解錠
❷ 固定

他のフロアマットをご使用の際は、フロアアンカーでしっかりと固定できるものをご使用ください。
後席のフロアマットを使用する際は、正しく取り付けてください。

車外の清掃方法

走行後は、塗装面に付着したほこりなどを毛はたきなどで払い落としてください。飛び石などによる塗装面の傷は錆の原因になります。見つけたら早めに補修してください。

洗車

月に一度は洗車をするようにしてください。以下の場合は、必ず洗車をしてください。

- 凍結防止剤を散布した道路を走行したとき
- 海岸地帯を走行したとき
- コールタール、ばい煙、鳥のふん、虫、樹液などが付いたとき
- 故障の原因になるため、故意に空気取り入れ口に水をかけないでください。
- 洗車時に水やケミカル類がブレーキに付着した際は、走行してブレーキを数回かけてから駐車してください。ブレーキが濡れたまま駐車しておくと、錆びて張り付くことがあります。
- 洗車するときは、運転席ドア（フューエルリッド）を施錠してください。フューエルリッド付近に水をかけるとフューエルリッドが勢いよく開いて、車体に傷を付けるおそれがあります。
- ワイパーアームを起こす場合は、ワイパーアームをワイパーメンテナンスポジションにセットしてください。

ワイパーアームの起こしかた ►P.311

高圧洗浄機を使用する場合の注意点

- 洗車ノズルと車体の距離を十分に離す
- ドアガラスやドアまわりなど開閉部分を近づけすぎない
  ≫室内に水が入ることがあります。
- ボンネット内には水をかけない
- カメラやカメラ周辺には、直接水をかけない
  ≫レンズ内に水が入り、故障の原因となります。
- 塗装面に細かい傷が残ることがあるため、みがき粉（コンパウンド）入りのワックスは、使わないでください。ワックスは Honda 純正ケミカル用品をお使いください。

バンパーなどの樹脂塗装部品の清掃

樹脂塗装部品に、ガソリン、オイル、ラジエーター液、12V バッテリー液などが付着するとしみや塗膜はがれの原因となります。付着した場合は、すぐに柔らかい布で拭き取ってください。

- 樹脂塗装部品の補修をする場合は、Honda 販売店にご相談ください。不適当な塗料を使うと塗膜を傷めます。

ガラスの清掃

ガラスクリーナーなどで拭いてください。

アルミホイールの清掃

アルミは塩分や汚れを嫌います。道路凍結防止剤や海水が付いたときは、柔らかい布やスポンジに中性洗剤を含ませ汚れを早めに落としてください。洗車後は、水が乾かないうちに拭きとってください。

この車専用のホイールをお使いください。
専用以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。ホイール交換は、Honda 販売店にご相談ください。

万一の場合には

工具、発炎筒

工具の種類……323

発炎筒……323

電球が切れたとき

LED 車外灯について……325

電球の交換方法……325

スマートキーの電池が切れたとき

スマートキーの電池交換方法……326

パンクしたとき

パンクしたときの対処方法……328

タイヤの応急修理方法……330

空気圧の補充方法……336

ジャッキの取り扱い

ジャッキのかけかた……338

パワーシステムが起動しないとき

確認事項……340

スマートキーの電池が切れたときの起動方法……341

緊急時のパワーシステム停止方法……341

緊急時のパワーシステム起動方法……341

12V バッテリーがあがったとき

ジャンプスタートの方法……343

ジャンプスタート後の作業……344

オーバーヒートしたとき

オーバーヒートしたときの対処方法……346

異常がおきたとき

「エンジン油圧異常」の警告メッセージが表示された……348

「ブレーキ性能低下」の警告メッセージが表示された……349

ヒューズが切れたとき

ヒューズの確認方法……350

ヒューズの点検と交換方法……354

けん引したいとき

けん引について……356

フューエルリッドが解錠できないとき

フューエルリッド応急処置……357

テールゲートが開かないとき

テールゲートが開かないときの対処方法……358

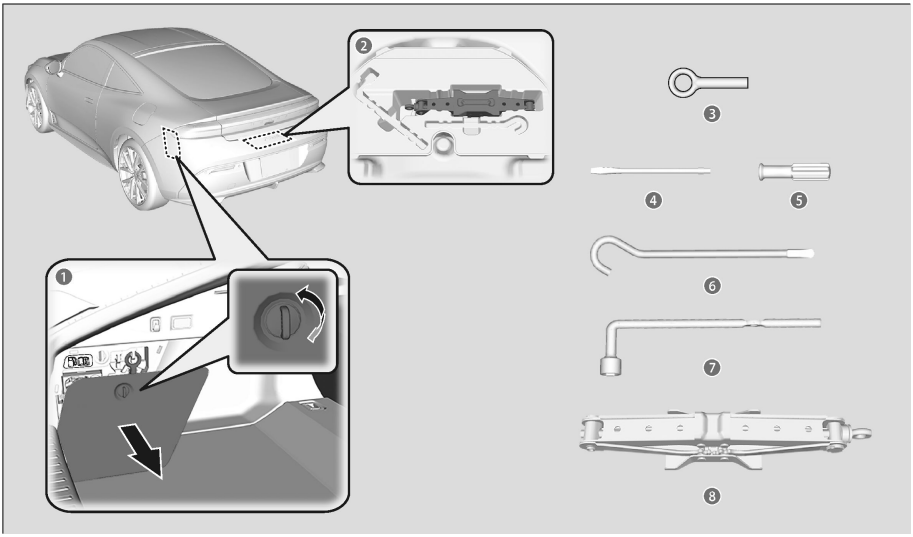
緊急時や車両トラブルのとき

緊急通報……359

トラブルサポート……360

工具、発炎筒

工具の種類



❶ 工具（カーゴスペース左側カバー内）
❷ 工具（カーゴリッド内）
❸ アイボルト
❹ マイナスドライバー
❺ グリップ
❻ ジャッキハンドルバー（別売り）
❼ ホイールナットレンチ（兼ジャッキハンドル）（別売り）
❽ ジャッキ（別売り）

工具はカーゴスペース内に収納できます。
ホイールナットレンチはカーゴリッド内に収納できません。

発炎筒

高速道路や踏切などの危険な場所で故障したときに使います。発炎筒に記載されている次のことをよく読んであらかじめ確認しておいてください。

- 使い方
- 使用上の注意

- 発炎時間
- 有効期限

⚠警告

ガソリンなどの燃えやすいもののそばで使わない。

火災や爆発のおそれがあります。

⚠注意

発炎筒を使うときは、以下のことに注意する。

- お子さまにさわらせないでください。いたずらなどにより発炎筒が発火して思わぬ事故ややけどの原因になります。
- 顔や身体に向けないでください。思わぬ事故ややけどの原因になります。
- トンネル内では視界を悪くするので使用しないでください。トンネル内では非常点滅表示灯を使ってください。

電球が切れたとき

LED 車外灯について

下記のライトは LED を使用しています。点検、交換は Honda 販売店に依頼してください。

- ヘッドライト
- 前面方向指示器/ 前面非常点滅表示灯
- デイタイムランニングライト/ 車幅灯
- アクティブコーナリングライト
- 側面方向指示器/ 側面非常点滅表示灯
- 制動灯
- 尾灯
- 後面側方灯
- 番号灯
- ハイマウントストップランプ
- 後面方向指示器/ 後面非常点滅表示灯
- 後退灯
- 車外ドアハンドルランプ

電球の交換方法

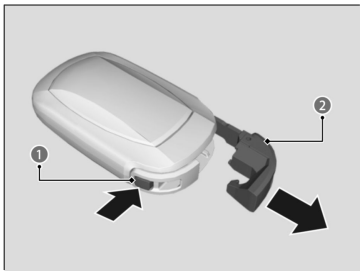
バニティミラー照明灯電球

点検、交換は Honda 販売店に依頼してください。

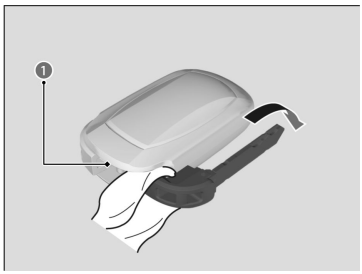
スマートキーの電池が切れたとき

スマートキーの電池交換方法

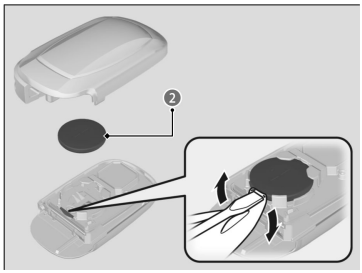
ボタンを押したときにインジケーターが点灯しない場合は、電池を交換してください。



[1] ボタン（❶）を押しながら、内蔵キー（❷）を取り出す。



[2] ボタンを下にしてカバー（❶）を外す。
≫内蔵キーのグリップを差し込んで回します。



[3] + と- を間違えないよう、電池※（❷）を交換する。

※電池は「ボタン電池：CR2032」をご使用ください。

- 電池交換の際は、破損などのおそれがあるため、Honda 販売店での交換をおすすめします。
- カバーに傷が付かないように、内蔵キーのグリップに布などを巻いてカバーを取り外してください。
- ケースに傷が付かないように、マイナスドライバーに布などを巻いて電池を取り外してください。

- 電池交換の際は、カバーを確実に取り付けてください。確実に取り付けられていないと、耐水性能の低下や故障の原因となります。
- 電池は Honda 販売店または時計店、カメラ店などでお求めください。

⚠警告

ボタン電池は、お子さまが飲み込まないように注意する。

重大な傷害を受けたり死亡したりするおそれがあります。飲み込んだ時は、ただちに医師の診察を受けてください。

パンクしたとき

パンクしたときの対処方法

スペアタイヤの装備はありません。タイヤの損傷が激しい場合は、車両をけん引する必要があります。単にタイヤに小さな穴がある場合、永久的な修理をするために最寄りの販売店へ運転することができるよう、損傷を一時的に補修するタイヤパンク応急修理キットで応急修理ができます。

車の停車方法

パンクしたときは、ハンドルをしっかり握り徐々にブレーキをかけてスピードを落とし安全な場所に停車してください。

[1] 地面が固く、滑らない、水平なところに車を停める。
[2] シフトポジションを P に入れ、パーキングブレーキをかける。
[3] 非常点滅表示灯を点滅させ、パワーモードを OFF モードにする。

以下のような場合、タイヤパンク応急修理キットは使用できません。
Honda 販売店またはロードサービスにご連絡ください。

- 応急修理剤の有効期限が切れているとき
- タイヤが 2 本以上パンクしているとき
- 約 4mm 以上の切り傷や刺し傷によるパンクのとき
- 路面接地部以外が損傷を受けパンクしたとき
- ほとんど空気が抜けた状態で走行したとき
- ホイールが破損または外れているとき

タイヤに刺さったクギなどは抜かないでください。
抜いてしまうと、タイヤパンクの応急修理キットでは応急修理が不可能になるおそれがあります。

応急修理したタイヤで走行し続けないでください。
応急修理は、最寄りの販売店で本格的な修理をするために車両を移動する目的以外では使用しないでください。

タイヤの応急修理方法（事前準備）

タイヤパンク応急修理キット



❶ コンプレッサー
❷ タイヤパンク応急修理剤
❸ 有効期限年月 MM／YYYY
(M：月、Y：年)

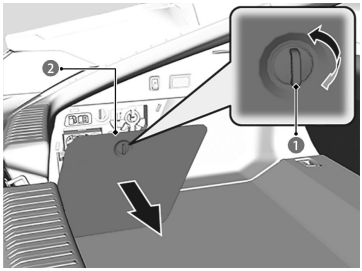
❹ 速度制限シール
❺ 説明書

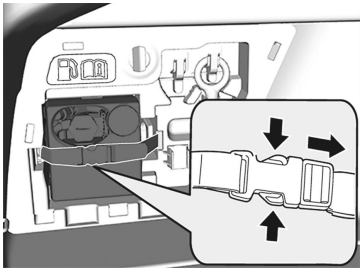
- 応急修理をスムーズに行うため、タイヤパンク応急修理キットに付属の説明書をお読みください。

! コンプレッサーを使用する際は、以下の点に注意してください。

- 降雨時などは水がかからないようにしてください。
- 砂埃などを吸い込むと故障の原因になるため砂地など砂埃の多い場所に直接置いて使用しないでください。
- オイルや潤滑油などを注油しないでください。
- 分解、改造などは絶対にしないでください。
- 衝撃を与えないでください。故障の原因になります。

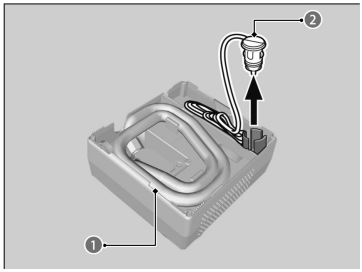
タイヤパンク応急修理キットの取り出し方



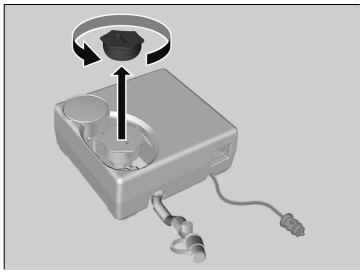


［1］ノブ（❶）を回してカーゴスペース左側のカバー（❷）を取り外す。
［2］バックルを外し、タイヤパンク応急修理キットを取り出す。
［3］交通から遠ざけ、パンクしたタイヤ付近にキットを水平に置く。

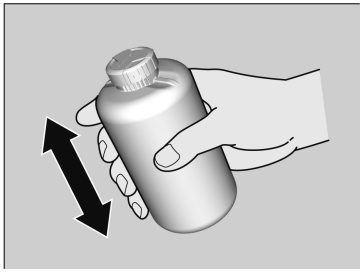
タイヤの応急修理方法



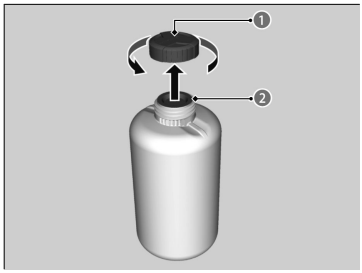
［1］コンプレッサーからコンプレッサーホース（❶）と電源プラグ（❷）を取り出す。



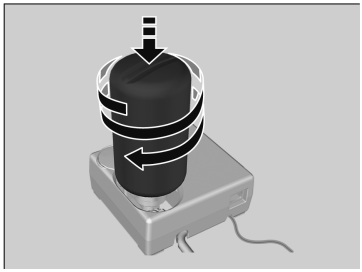
［2］コンプレッサーキャップを外す。



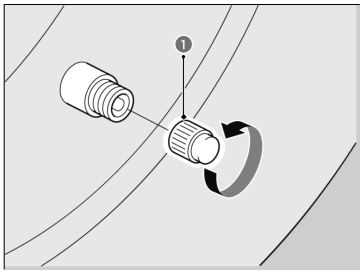
［3］応急修理剤のボトルをよく振る。



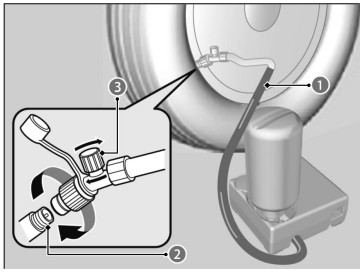
［4］応急修理剤のキャップ（❶）を外す。
≫内ブタ（❷）は取り外さないでください。



［5］応急修理剤の内ブタを付けたままの状態で、ボトルをコンプレッサーにねじ込む。
≫ボトルがゆるまないようしっかりねじ込んでください。

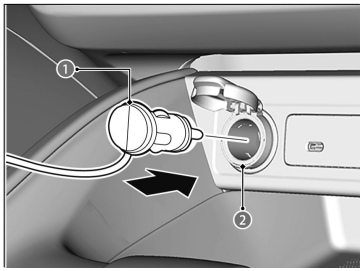


［6］バルブからバルブキャップ（❶）を取り外す。



[7] コンプレッサーホース（❶）をバルブ（❷）にねじ込む。

≫排気バルブ（❸）が閉まっていること、コンプレッサーのスイッチが OFF であることを確認してください。



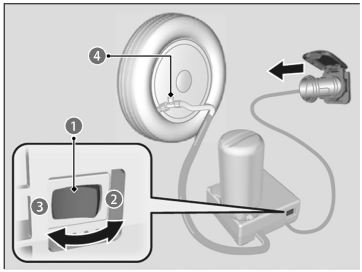
[8] コンプレッサーの電源プラグ（❶）を、アクセサリーソケット（❷）に差し込む。

≫ドアや窓にコードをはさまないように注意してください。

アクセサリーソケット ►P.133

[9] パワーシステムを起動する。

一酸化炭素について ►P.19



[10] コンプレッサーのスイッチ（❶）を ON（❷）にして、空気圧を、運転席横の車体に貼ってあるラベルに記載されている空気圧まで高める。

[11] コンプレッサーのスイッチ（❶）を OFF（❸）にする。

≫コンプレッサーに付属の空気圧計で、空気圧を確認します。

≫空気を入れすぎたときは、排気バルブ（❹）をゆるめて空気を抜きます。応急修理剤のふきこぼれに注意してください。

[12] コンプレッサーの電源プラグを、アクセサリーソケットから外す。

≫使用直後は電源プラグ先端が熱くなるため、素手で触らないように注意してください。

[13] コンプレッサーホースを取り外し、ホースキャップを取り付ける。

≫コンプレッサーホースを外すときは応急修理剤のふきこぼれに注意してください。

≫ふきこぼれた修理剤は、布などで拭き取ってください。

[14] タイヤパンク応急修理キットをカーゴスペースに格納する。

≫ボトルはコンプレッサーから外さないでください。

- 応急修理剤/ エアを注入しているときはパワーシステムを停止しないでください。
- 応急修理剤が注入されている間、圧力は一時的に高くなります。注入が完了すると圧力は落ちますが、再度上昇します。
- 正しい空気圧を測定するためには、応急修理剤が注入された後にコンプレッサーのスイッチを OFF にしてください。
- 10 分以内に指定空気圧にならないときは、応急修理剤による応急修理はできません。Honda 販売店やロードサービスに連絡してください。
- タイヤパンク応急修理剤の購入および空きボトルの適切な処分については販売店にお尋ねください
- コンプレッサーホースを取り付けるときは、コンプレッサーのスイッチを OFF にしてください。
- コンプレッサーのスイッチを ON にすると、振動して音が聞こえます。
- Honda 販売店やロードサービスにタイヤ交換または修理を依頼する際には、タイヤパンク応急修理剤を使用したことを知らせてください。

10 分以上コンプレッサーを使用しないでください。
コンプレッサーは過熱し、破損するおそれがあります。

応急修理剤の保管、取り扱いに注意してください。
お子さまが誤って手を触れないようにしてください。また、衣類などに付着すると、落ちないおそれがあります。

⚠警告

応急用修理剤は、飲用すると有害で、致命的になりうる物質を含んでいます。

誤って飲用した場合、できるだけたくさんの水を飲んで、ただちに医師の診察を受けてください。目に入ったり皮膚に付いた場合、水でよく洗い流してください。異常を感じたときはただちに医師の診察を受けてください。

⚠警告

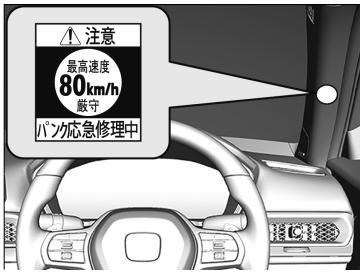
一酸化炭素を吸い込む危険性のある作業を避ける。

一酸化炭素は有毒です。一酸化炭素を吸い込むと意識不明になったり、死亡したりするおそれがあります。密閉された場所での作業や、一酸化炭素を吸い込む危険性のある作業はしないでください。

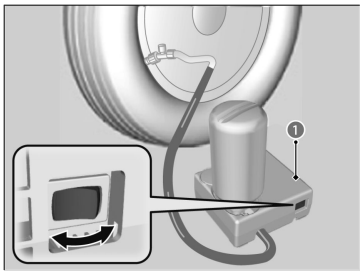
降雪時や積雪のある場所では、パワーシステムを起動したままにしない。

周囲に積もった雪により排気ガスが滞留し車内に入ってくると、重大な傷害や死亡にいたるおそれがあります。エンジンが始動している場合は、車両の周囲の雪を取り除くなどしてください。

点検走行



［1］速度制限シールを、運転者のよく見える位置に貼る。
［2］点検走行を開始する。
［3］10 分または 5 km 走行したあと安全な場所に車を停める。
［4］タイヤのバルブにコンプレッサーホースをきつく締め付ける。



［5］空気圧計で空気圧を測定する。
【空気圧が 130 kPa 未満の場合】
運転を中止して Honda 販売店またはロードサービスに連絡してください。
【空気圧が 130 kPa 以上、指定空気圧以下の場合】
コンプレッサー（❶）を使って指定空気圧まで高めてください。
Honda 販売店または専門修理工場に到着するまでステップ 2 から 5 までを繰り返してください。
≫空気を入れすぎたときは、排気バルブをゆるめて空気を抜きます。応急修理剤のふきこぼれに注意してください。
【空気圧が指定空気圧の場合】
応急修理は完了です。
［6］タイヤバルブからコンプレッサーホースを外しバルブキャップを取り付ける。
［7］キットを車両に戻す。

- 走行点検で高速道路を走行する場合は、80km/h 以下で走行してください。
- 急ブレーキ、急加速、急ハンドルを避け通常より注意深く慎重に運転してください。
- 速やかに Honda 販売店または専門修理工場でタイヤの修理、交換を行ってください。
- 走行前に、コンプレッサーなどの積み忘れがないか、しっかりと確認してください。

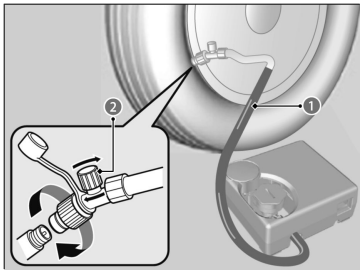
⚠注意

ハンドルのパッドにシールを貼らない。
SRS エアバッグが正常に機能しなくなります。

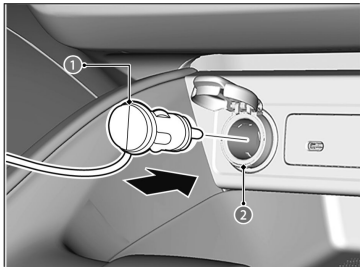
警告灯やスピードメーターが見えない位置に貼らない。
安全運転の妨げとなります。

空気圧の補充方法

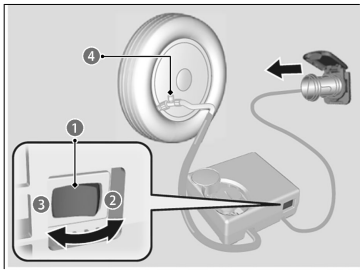
装備されているコンプレッサーを使用して、パンクしていないタイヤの空気圧を補充することができます。



[1] コンプレッサーを準備する。
[2] 空気を補充するタイヤ付近にキットを水平に置く。
[3] バルブからバルブキャップを取り外す。
[4] バルブにコンプレッサーホース（❶）を確実に取り付ける。
≫排気バルブ（❷）が閉まっていることを確認してください。



[5] コンプレッサーの電源プラグ（❶）を、アクセサリーソケット（❷）に差し込む。
≫ドアや窓にコードをはさまないように注意してください。
アクセサリーソケット ▶P.133
[6] パワーシステムを起動する。
一酸化炭素について ▶P.19



[7] コンプレッサーのスイッチ（❶）を ON（❷）にして、指定の空気圧まで高める。
[8] コンプレッサーのスイッチ（❶）を OFF（❸）にする。
≫コンプレッサーに付属の空気圧計で、空気圧を確認します。
≫空気を入れすぎたときは、排気バルブ（❹）をゆるめて空気を抜きます。
[9] パワーシステムを停止し、コンプレッサーの電源プラグを、アクセサリーソケットから外す。
≫使用直後は電源プラグ先端が熱くなるため、素手で触らないように注意してください。
[10] コンプレッサーホースを外す。
[11] コンプレッサーをカーゴスペースに収納する。

- エアを注入しているときはパワーシステムを停止しないでください。

- タイヤの空気圧を空気圧計で確認するときは、コンプレッサーの電源を OFF にしてください。
- コンプレッサーのスイッチを ON にすると、振動して音が聞こえます。

⚠警告

一酸化炭素を吸い込む危険性のある作業を避ける。

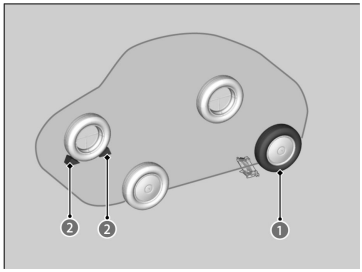
一酸化炭素は有毒です。一酸化炭素を吸い込むと意識不明になったり、死亡したりするおそれがあります。 密閉された場所での作業や、一酸化炭素を吸い込む危険性のある作業はしないでください。

降雪時や積雪のある場所では、パワーシステムを起動したままにしない。

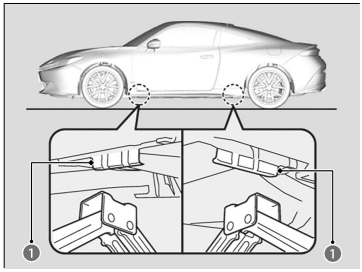
周囲に積もった雪により排気ガスが滞留し車内に入ってくると、重大な傷害や死亡にいたるおそれがあります。エンジンが始動している場合は、車両の周囲の雪を取り除くなどしてください。

ジャッキの取り扱い

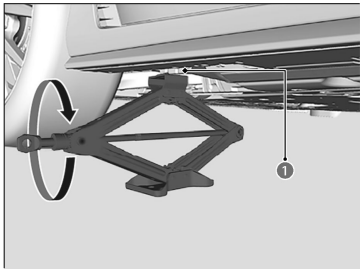
ジャッキのかけかた



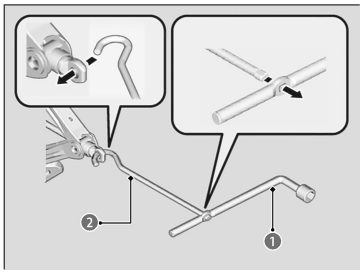
[1] 地面が固く、滑らない、水平なところに車を停める。
[2] シフトポジションを P にする。
[3] パーキングブレーキをかける。
[4] パワーモードを OFF モードにする。
[5] 交換するタイヤ（❶）の対角線上にあるタイヤの前後に、石などで輪留め（❷）をする。



[6] 交換するタイヤ（❶）にもっとも近いジャッキポイントの下にジャッキ（別売り）を置く。



[7] ジャッキの上部がジャッキポイント（❶）に接触するまで図の部分を矢印の方向に回す。
≫ジャッキの溝にジャッキポイントがはまったことを確認してください。



[8] ジャッキハンドル（別売り）（❶）とジャッキハンドルバー（別売り）（❷）を使って、タイヤが地面から離れるまで車体を上げる。
≫ジャッキハンドルバーはジャッキハンドルに奥まで差し込んでください。

この車には、ジャッキが標準で搭載されていません。ジャッキアップをする場合は、この車専用のジャッキをお使いください。詳しくはHonda 販売店にご相談ください。
他のジャッキでは支えられる重量（呼荷重）が不足したり、形状が合わないことがあります。

⚠警告

車がジャッキだけで支えられているときは、車の下に入らない。
車がジャッキから外れて、車の下にいる人が重大な傷害を負うおそれがあります。

⚠注意

ジャッキを使うときは安全のため、次のことを必ず守る。
- パワーシステムを起動したままにしない
- 地面が固い平らなところ以外では使用しない
- ジャッキポイント以外にかけない
- 人や荷物を乗せたままにしない
- ジャッキ使用中に車内に入らない
- ジャッキの上や下にものを入れたりしない

パワーシステムが起動しないとき

確認事項

パワーシステムが起動しない場合、以下のことが考えられます。項目を確認し、適切な処置を行ってください。以下の確認をしてもパワーシステムが起動しない場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。

関連した警告灯か警告メッセージが表示されるかどうかを確認する

- 「外気温が低いために起動できません　パワーモードを OFF にしてお待ちください」と表示されたとき
  ガレージ内で保管するなど、高電圧バッテリーが極低温状態にならないようにしてください。必要に応じて Honda 販売店に相談してください。
- 「キーの Honda エンブレムでスイッチに触れてください」と表示されたとき
  ボタンを押してもキーのインジケーターが点灯しないときは
  スマートキーの電池が切れたときの起動方法 ►P.341

シフトポジションの位置を確認する

- P 以外のシフトポジションが選択されている
  シフトポジションを P にしてください。

パワーシステム起動の手順を実行する

- もう一度、正しいパワーシステム起動操作をしてみてください。
  パワーシステムの起動 ►P.87

イモビライザーシステム表示灯を確認する

- イモビライザーシステム表示灯が点滅しているときは、パワーシステムの起動ができません。
  イモビライザーシステム ►P.49
  警告灯と表示灯一覧 ►P.281

ヒューズを点検する

- 全てのヒューズを確認するか、Honda 販売店で点検を受けてください。
  ヒューズの点検と交換方法 ►P.354

すぐに車を動かす必要がある場合は、ブースターバッテリーを利用してジャンプスタートさせます。

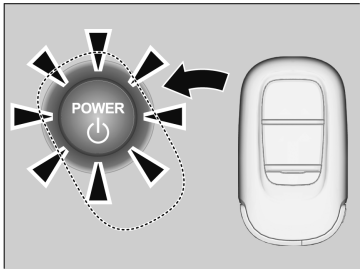
ジャンプスタートの方法 ►P.343

状況によっては、緊急時のパワーシステム起動方法を行うことで、一時的にパワーシステムを起動することができます。

緊急時のパワーシステム起動方法 ▶P.341

スマートキーの電池が切れたときの起動方法

POWER によるパワーモードの操作やパワーシステムの起動ができない場合、以下の手順を行ってください。



[1] **POWER** を押す。
[2] 30 秒以内に、スマートキーをキーレスボタンを手前に向けて **POWER** に接触させる。
[3] 10 秒以内に、ブレーキペダルを踏みながら **POWER** を押す。
≫ペダルを踏んでいないときは、アクセサリーモードになります。

緊急時のパワーシステム停止方法

走行中、緊急事態の場合にパワーシステムを停止することができます。パワーシステムを停止しなければならない場合は、以下のいずれかを行ってください。

- **POWER** を約 2 秒以上押す。
- **POWER** を連続して 3 回押す。
- この操作を行った場合は、ハンドルはロックしません。

緊急時など必要な場合以外は、走行中にパワーシステムを停止しないでください。

緊急時のパワーシステム起動方法

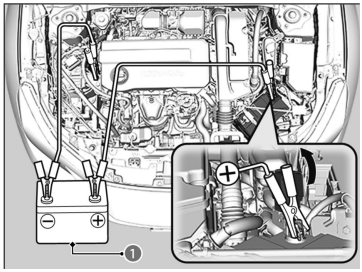
通常のパワーシステムの起動方法で、パワーシステムが起動しない場合は、次の操作でパワーシステムが起動する場合があります。
緊急時など必要な場合以外は、この操作をしないでください。
[1] パーキングブレーキがかかっていることを確認する。

[2] シフトポジションが P であることを確認し、パワーモードをアクセサリーモードにする。
[3] ブレーキペダルをしっかり踏んだまま、 POWER を約１５秒以上押し続ける。

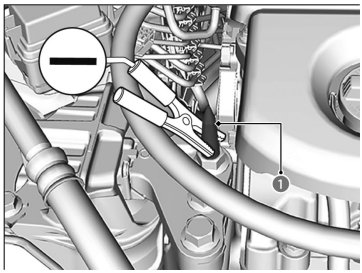
上記の操作でパワーシステムが起動できてもシステムの異常が考えられます。
ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

12V バッテリーがあがったとき

ジャンプスタートの方法



[1] ボンネットを開け、12V バッテリー液の状態を確認する。
≫バッテリー液が凍っている場合はバッテリー液が溶けるまでジャンプスタートはできません。
[2] オーディオやライトなどの電源を OFF にする。
[3] 自車と救援車のパワーモードを OFF モードにする。
[4] ブースターケーブルを、自車の 12V バッテリーの⊕端子に接続する。
[5] ケーブルの反対側を、救援車のバッテリー（❶）の⊕端子に接続する。
[6] もう 1 本のブースターケーブルを、救援車のバッテリーの⊖端子に接続する。



[7] ケーブルの反対側を、自車のエンジンのスタッドボルト（❶）に接続する。
[8] 救援車のエンジンを始動し、回転数を少し高めにする。
[9] 自車のパワーシステムを起動する。

- 救援車には、12V のバッテリーを装着している車を使用してください。
- 自動車用充電器を使用する場合は、電圧を 15V 以下に設定してください。
- 金属どうしがきちんと接続されているか確認してください。
- ケーブルをエンジンのスタッドボルト以外に接続しないでください。

⚠警告

ジャンプスタートは、正しい手順で慎重に行う。

ジャンプスタートの操作を間違えると、12V バッテリーが爆発し、重大な傷害を受けるおそれがあります。タバコの火、火花、炎を 12V バッテリーから遠ざけ、正しい手順で行ってください。

気温が極端に低い場所に 12V バッテリーを長時間にわたって置かないでください。
内部のバッテリー液が凍結するおそれがあります。バッテリー液が凍結した 12V バッテリーでジャンプスタートすると、12V バッテリーが壊れることがあります。

寒冷時は、12V バッテリーの液量、比重の確認をし、必要に応じて液の補給や補充電をしてください。
12V バッテリーの性能が低下し、パワーシステム起動に支障をきたすおそれがあります。

12V バッテリー液が不足しているときは、使用しないでください。
12V バッテリー内部の劣化が進むおそれがあります。

ジャンプスタート後の作業

自車のパワーシステムが起動したら、下記の手順でブースターケーブルを取り外し、Honda 販売店や最寄りのガソリンスタンドなどで点検を受けてください。

[1] 自車のエンジンのスタッドボルトからケーブルを外す。
[2] ケーブルの反対側を、救援車のバッテリーの⊖端子から外す。
[3] 自車の 12V バッテリーの⊕端子からケーブルを外す。
[4] ケーブルの反対側を、救援車のバッテリーの⊕端子から外す。
[5] 12V バッテリーの電圧が回復するまでアイドリングしてください。

≫READY 表示灯が点灯すれば走行可能です。
≫ブレーキ、ブレーキシステム、ABS、VSA の警告灯が点灯し消灯しない場合は、パワーシステムを OFF にして、再度、自車のパワーシステムを起動してください。警告灯が消灯しない場合は、異常が考えられますので、販売店で点検してください。
≫パワーシステムが起動しないときは、ジャンプスタートを繰り返してください。



12V バッテリー再接続後、複数の警告灯が点灯し、マルチインフォメーションディスプレイにこのメッセージが表示された場合は、車速 20km/h 以上でしばらく走行してください。警告灯が消灯しないときは Honda 販売店で点検を受けてください。

⚠警告

12V バッテリーを扱うときは、火気を近づけない。

12V バッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると、12V バッテリーが爆発し、重大な傷害を受けたり死亡したりするおそれがあります。

12V バッテリーを扱うときは、保護衣・保護面を着用するか、Honda 販売店で 12V バッテリーのメンテナンスを受けてください。

バッテリー液の取り扱いに注意する。

バッテリー液は希硫酸です。目や皮ふに付くとその部分が侵されますので十分注意してください。万一、付着したときはすぐに多量の水で少なくとも 5 分間以上洗浄してください。飲み込んだときはすぐに多量の飲料水を飲んでください。応急処置後は、専門医の診察を受けてください。

オーバーヒートしたとき

オーバーヒートしたときの対処方法

次のようなときは、オーバーヒートです。

- マルチインフォメーションディスプレイに「パワーシステム高温 急発進・急加速・高速走行を避けてください」とメッセージが表示される
- マルチインフォメーションディスプレイに「エンジン冷却水高温　安全な場所に停車し　運転を停止してください」とメッセージが表示される
- ボンネット内から蒸気が立ちのぼっている

⚠警告

蒸気が出ている場合は、蒸気が出なくなるまでボンネットを開けない。

ラジエーターから噴き出る蒸気や熱湯に触れると、重大な傷害を受けるおそれがあります。

エンジンが熱いうちにラジエーターキャップを外さない。

冷却水が噴き出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。必ずラジエーターが十分に冷えてからキャップを外してください。

❗ マルチインフォメーションディスプレイに「パワーシステム高温 急発進・急加速・高速走行を避けてください」とメッセージが表示された場合、加速しにくくなります。また、上り坂などでの発進が困難になる場合があります。

❗ マルチインフォメーションディスプレイに「エンジン冷却水高温　安全な場所に停車し　運転を停止してください」とメッセージが表示された状態で運転すると、エンジンを著しく損傷するおそれがあります。

マルチインフォメーションディスプレイに「パワーシステム高温 急発進・急加速・高速走行を避けてください」と表示しているとき

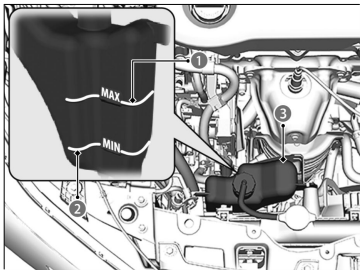
[1] ただちに車を安全な場所に停める。
[2] シフトポジションを P にして、パーキングブレーキをかける。

[3] すべてのアクセサリーの電源を切り、非常点滅表示灯を点滅させる。
[4] パワーシステムを起動したまま、警告メッセージが消えるのを待つ。

- 警告メッセージが消えない場合は、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

マルチインフォメーションディスプレイに「エンジン冷却水高温　安全な場所に停車し　運転を停止してください」と表示しているとき

[1] ただちに車を安全な場所に停める。
[2] シフトポジションを P にして、パーキングブレーキをかける。
[3] すべてのアクセサリーの電源を切り、非常点滅表示灯を点滅させる。
≫蒸気が出ていない場合は、パワーシステムを起動したままボンネットを開ける。
≫蒸気が出ている場合は、パワーシステムを停止し、蒸気が出なくなってからボンネットを開ける。



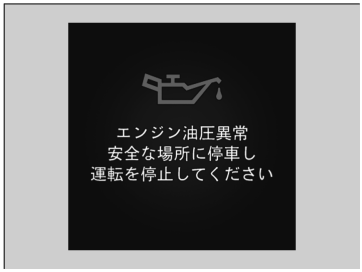
❶ 上限
❷ 下限
❸ リザーブタンク

[1] 冷却ファンの作動を確認し、メッセージが表示されなくなったらパワーシステムを停止する。
≫冷却ファンが作動していない場合は、すぐにパワーシステムを停止してください。
[2] エンジンが冷えてから冷却水量、ホースなどからの水漏れを点検する。
≫冷却水量が不足していたら、ラジエーターとリザーブタンクに冷却水を補給してください。冷却水がない場合は、応急的に水を補給してください。
[3] 十分にエンジンが冷えたら、パワーシステムを起動する。

- 警告メッセージが消えない場合は、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。
- 冷却水がもれている場合は、Honda 販売店に修理を依頼してください。

異常がおきたとき

「エンジン油圧異常」の警告メッセージが表示された



油圧が低い状態でエンジンを回転させると、エンジンが破損するおそれがあります。

表示の理由

エンジン内部を潤滑しているオイルの油圧が低下すると表示されます。

表示されたらすぐにすること

[1] ただちに車を水平で安全な場所に停車する。
[2] 非常点滅表示灯を点滅させる。

車を停車してからすること

[1] パワーシステムを停止し、3 分間ほど放置する。
[2] ボンネットを開け、エンジンオイルの量を確認する。
≫必要に応じて、エンジンオイルを補給してください。
[3] パワーシステムを起動する。
≫「エンジン油圧異常」の警告メッセージが消えた：運転を再開してください。
≫「エンジン油圧異常」の警告メッセージが消えない：パワーシステムを停止させ、ただちに Honda 販売店に修理を依頼してください。

「ブレーキ性能低下」の警告メッセージが表示された



表示の理由

ブレーキ性能が低下すると表示されます。

表示されたらすぐにすること

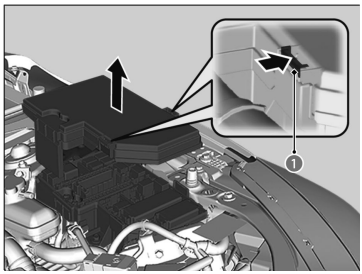
速度を落として注意して運転してください。
ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

ヒューズが切れたとき

ヒューズの確認方法

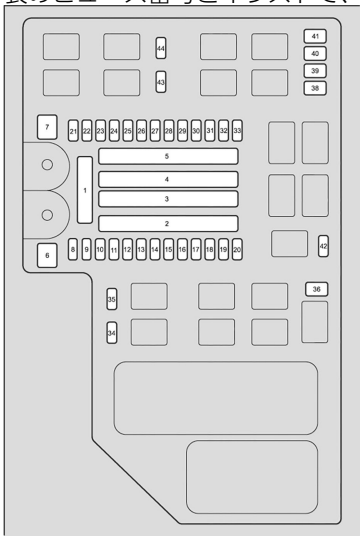
電気装置が作動しない場合、パワーモードを OFF モードにして、ヒューズが切れていないか確認します。ヒューズは、ボンネット内と室内のヒューズボックスに入っています。

ボンネット内のヒューズボックス



エンジンルーム内の助手席側にあります。
≫タブ（❶）を押してフタを開けてください。

ヒューズの場所は次のイラストに示しています。
表のヒューズ番号とイラストで、該当するヒューズの位置を確認してください。



ボンネット内のヒューズボックスの装備と容量

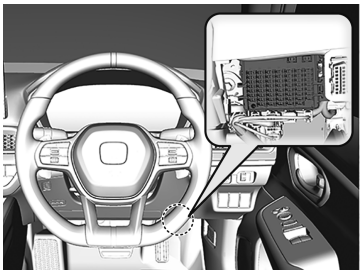
	表示	装備	容量
1	–	メインヒューズ	175A
2	–	–	40A
	–	–	40A
	–	ヒューズボックスオプション	60A
	–	–	40A
	–	–	40A
	–	オーディオアンプ	30A
	–	ヒューズボックスメイン	60A
3	–	–	30A
	–	–	30A
	–	–	70A
	–	リヤデフロスター	30A
	–	A/C PTC 1	40A
	–	ヒーターモーター	40A
	–	A/C PTC 2	40A
4	–	電動サーボブレーキ	40A
	–	ABS/VSA モーター	40A
	–	冷却ファン	40A
	–	P-ACT モーター	30A
	–	イグニッションメイン	30A
	–	–	30A
	–	リレーモジュール 2	30A
5	–	オプション 6	30A
	–	ワイパー	30A
	–	EPS	70A
	–	リレーモジュール 1	30A
	–	ABS/VSA FSR	40A
	–	ウォーターポンプ	40A
	–	ヒューズボックスメイン 2	40A
6	–	–	–

	表示	装備	容量
7	–	イグニッションメイン 2	30A
8	–	–	–
9	–	–	–
10	–	–	–
11	–	–	–
12	–	–	–
13	–	–	–
14	–	バッテリー IR	10A
15	–	バッテリーセンサー	10A
16	–	–	–
17	–	ウォッシャー	15A
18	–	ホーン	15A
19	–	バックアップ	15A
20	–	オーディオ	15A
21	–	IGP	15A
22	–	バックアップ FI-ECU	10A
23	–	DBW	15A
24	–	冷却ファンリレー	7.5A
25	–	PCU EWP	7.5A
26	–	P-ACT ECU	7.5A
27	–	LCM L	15A
28	–	INJ	15A
29	–	制動灯	10A
30	–	LCM R	15A
31	–	イグニッションコイル	15A
32	–	EVTC	20A
33	–	非常点滅表示灯	15A
34	–	–	–
35	–	–	–
36	–	IG1 MON 2	7.5A

	表示	装備	容量
38	–	IGB	10A
39	–	IGA	15A
40	–	–	–
41	–	IGPS[LAF]	10A

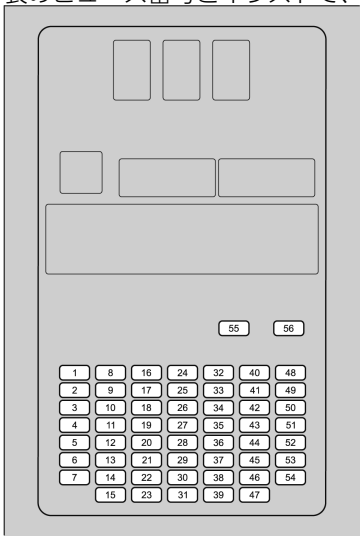
	表示	装備	容量
42	–	–	–
43	–	–	–
44	–	–	–

室内運転席側のヒューズボックス



インストルメントパネルの奥にあります。 下から確認できます。

ヒューズの場所は次のイラストに示しています。
表のヒューズ番号とイラストで、該当するヒューズの位置を確認してください。

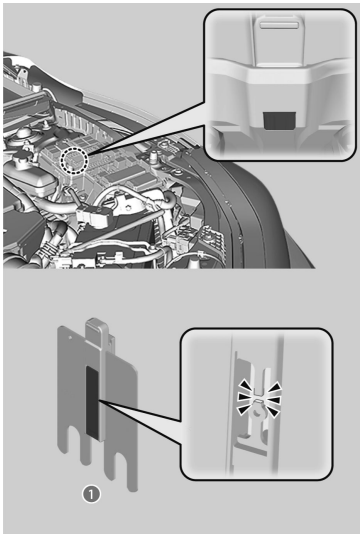


室内運転席側のヒューズボックスの装備と容量

	表示	装備	容量
1	–	運転席パワーウィンドー	20A
2	–	助手席パワーウィンドー	20A
3	–	–	–
4	–	–	–
5	–	オプション	10A
6	–	SRS	10A
7	–	テールゲートモーター	10A
8	–	USB チャージャー	10A
9	–	フロントアクセサリーソケット(フロントコンソール)	20A
10	–	ドアロック	20A
11	–	メーター	10A
12	–	オプション 3（スターターカット)	10A
13	–	オプション 2（SBW / COOLING)	10A
14	–	オプション 6（VB ソレノイド)	10A
15	–	–	–
16	–	シフトバイワイヤー	10A
17	–	–	–
18	–	–	–
19	–	–	–
20	–	オートヘッドライトアジャスター	10A
21	–	–	–
22	–	HONDA スマートキーシステム	10A
23	–	–	–
24	–	ポップアップアウターハンドル	20A
25	–	IMG	10A
26	–	SRS	10A
27	–	ACG / D/V	20A

	表示	装備	容量
28	–	オプション 5	10A
29	–	フューエルポンプ	15A
30	–	左側ドアアンロック	10A
31	–	右側ドアアンロック	10A
32	–	–	–
33	–	–	–
34	–	–	–
35	–	–	–
36	–	–	–
37	–	–	–
38	–	–	–
39	–	右側ドアロック	10A
40	–	–	–
41	–	–	–
42	–	電動サーボブレーキ	10A
43	–	エアコン	10A
44	–	デイタイムランニングライト	10A
45	–	ACC	10A
46	–	ACC キーロック	10A
47	–	左側ドアロック	10A
48	–	シートヒーター	20A
49	–	–	–
50	–	–	–
51	–	–	–
52	–	IGA2	15A
53	–	–	–
54	–	オプション 1	10A
55	–	–	–
56	–	ADS	30A

ヒューズの点検と交換方法



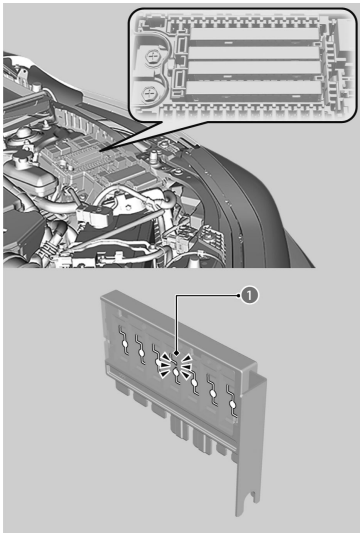
❶ メインヒューズ

[1] パワーモードを OFF モードにし、ヘッドライトとすべてのアクセサリーを OFF にする。

[2] エンジンルーム内のヒューズボックスのフタを取り外す。

[3] 図の位置からメインヒューズを点検する。

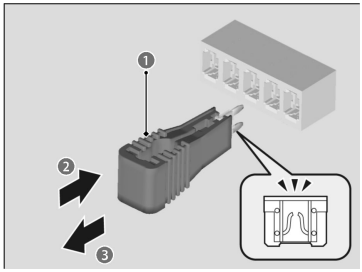
≫ヒューズが切れている場合は、Honda 販売店に修理を依頼してください。



❶ 切れているヒューズ

[4] メインヒューズ以外の大きいヒューズを点検する。

≫ヒューズが切れている場合は、Honda 販売店に修理を依頼してください。



❶ ヒューズプラー
❷ 取り付ける
❸ 外す

[5] エンジンルーム内と、室内の小さいヒューズを点検する。

≫切れているヒューズがあったら、市販のヒューズプラーで引き抜き、新しいものと交換してください。

- 規定容量より大きいヒューズに交換すると、電気系統を損傷する危険性が高くなります。 交換したあと、すぐにヒューズが切れるような場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。
- ヒューズは同じ規定容量のヒューズと交換してください。規定容量はヒューズの設置場所に記載している一覧で確認してください。

けん引したいとき

けん引について

けん引するときは、Honda 販売店またはロードサービスにご連絡ください。
四輪または前輪を持ち上げてけん引してください。

- バンパーで車を持ち上げたり、けん引すると、バンパーがいちじるしく損傷します。バンパーは車の重量を支えるようにはできていません。
- 前輪を持ち上げてけん引するときは、パーキングブレーキが解除されていることを確認してください。パーキングブレーキが解除できないときは、必ず四輪を持ち上げてけん引してください。

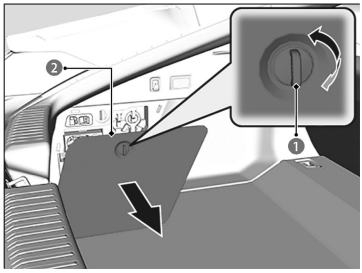
電子制御パーキングブレーキ ►P.92

ロープやチェーンなどを使ってけん引されるときは、車体に当たる部分に布を巻いてください。
そのままけん引されると、車体に傷が付くことがあります。

フューエルリッドが解錠できないとき

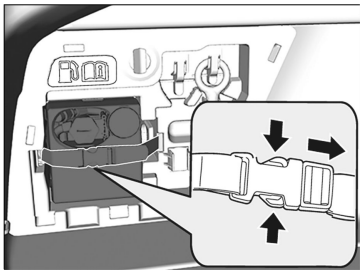
フューエルリッド応急処置

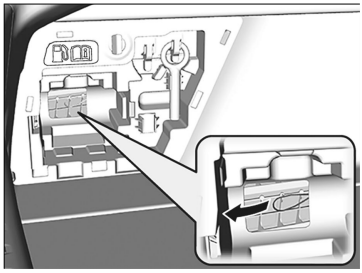
万一、フューエルリッドが解錠できなくなったときは、応急処置として次の方法で解錠してください。



[1] テールゲートを開け、ノブ（❶）を回してカーゴスペース左側のカバー（❷）を取り外す。

[2] バックルを外し、タイヤパンク応急修理キットを取り出す。





[3] 解錠ケーブルを矢印の方向に引く。
≫解錠ケーブルが止まるまで軽く引いてください。

[4] フューエルリッドを開ける。
給油のしかた ▶P.106

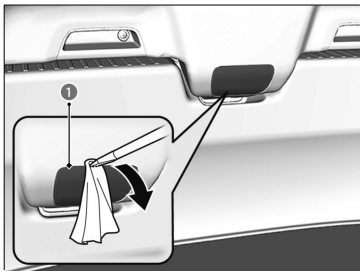
> ❗ 強く引きすぎると解錠ケーブルが破損する恐れがあります。

応急処置後は、Honda 販売店で点検を受けてください。

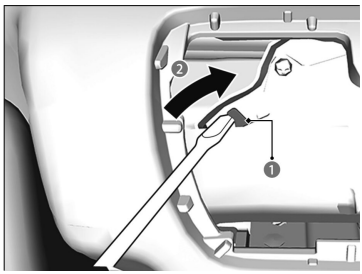
テールゲートが開かないとき

テールゲートが開かないときの対処方法

万一、テールゲートを開けることができなくなったときは、応急処置として次の方法で開けてください。



[1] テールゲートのリッド（❶）に、マイナスドライバーの先端を差し込み、押し開ける。



[2] ドライバーを使ってレバー（❶）を右（❷）に動かしたままの状態で、テールゲートを押し開ける。

- リッドが傷つかないよう、ドライバーに布を巻き付けてください。
- 応急処置後は、Honda 販売店で点検を受けてください。

⚠注意

テールゲートを内側から開けるときは、周囲の安全と車の上方や後方に十分なスペースがあることを確認する。

人やものにぶつかり思わぬけがをするおそれがあります。

緊急時や車両トラブルのとき

緊急通報

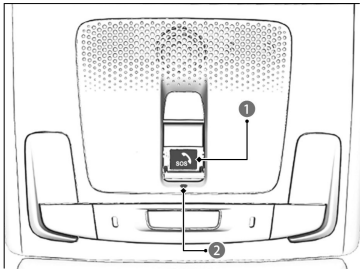
緊急通報とは、事故発生時や急病などの緊急時に、オペレーターがお客様のかわりに警察や消防へ通報するサービスです。

自動通報機能

車両のエアバッグが展開した場合、車両は自動的にオペレーターへの接続を開始します。接続時には車両に関する情報（場所、車両の状態など）がオペレーターに送信されます。

手動通報機能

事故発生時や急病などの緊急時に、緊急通報ボタンを押すことで手動でオペレーターに接続することが可能です。



[1] 緊急通報ボタン（❶）のカバーを開ける。
[2] 緊急通報ボタンを押す。
≫オペレーターに接続されます。
≫オペレーターに接続中はインジケーター（❷）が緑色に点滅します。

- ご利用には、Honda Total Care プレミアムのお申込みが必要です。詳しくは Honda Total Care プレミアムのホームページをご確認ください。

https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/premium/

- 緊急通報はパワーモードが ON モードのときに利用可能です。
- オペレーターとの接続は、車両側から終了させることはできません。オペレーターのみが車両との接続を終了することができます。
- エアバッグが展開しなくても、車両に一定以上の衝撃が加わった場合、車両は自動的にオペレーターへの接続を開始します。

次の場合にはインジケーターが赤色に点滅し、オペレーターに接続できない可能性があります。

- バックアップバッテリーの電圧が低いとき
- トンネル内や地下駐車場など電波環境が悪いとき

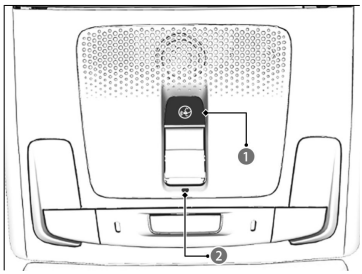
次の場合にはインジケーターが赤色に点灯し、オペレーターに接続できない可能性があります。

- システム、またはマイクやスピーカーなどの機器に問題があるとき
- インジケーターが赤色で点灯を続ける場合は Honda 販売店で点検を受けてください。
- エアバッグが展開しなくても、車両に一定以上の衝撃が加わった場合、車両は自動的にオペレーターへの接続を開始します。

> ! インストルメントパネル上部に物を置かないでください。
> 通信用のアンテナが内蔵されているため、オペレーターとの通話が繋がりにくくなったり、車両の位置情報がずれる場合があります。

トラブルサポート

トラブルサポートとは、警告灯が点灯した場合や車両トラブルなど、乗車中の困ったときに Honda Total Care 緊急サポートセンターへ接続して、車の使い方やロードサービスの手配をサポートするサービスです。



パワーモードが ON モードのときにトラブルサポートボタン (❶) を押すと、Honda Total Care 緊急サポートセンターに接続します。

≫接続中はインジケーター (❷) が緑色に点滅します。

≫再度トラブルサポートボタン (❶) を押すと接続が終了します。

- ご利用には、Honda Total Care プレミアムのお申込みが必要です。詳しくは Honda Total Care プレミアムのホームページをご確認ください。

https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/premium/

- 緊急通報はパワーモードが ON モードのときに利用可能です。

次の場合にはインジケーターが赤色に点滅し、 Honda Total Care 緊急サポートセンターに接続できない可能性があります。

- バックアップバッテリーの電圧が低いとき
- トンネル内や地下駐車場など電波環境が悪いとき

次の場合にはインジケーターが赤色に点灯し、 Honda Total Care 緊急サポートセンターに接続できない可能性があります。

- システム、またはマイクやスピーカーなどの機器に問題があるとき
- インジケーターが赤色で点灯を続ける場合は Honda 販売店で点検を受けてください。

インストルメントパネル上部に物を置かないでください。
通信用のアンテナが内蔵されているため、オペレーターとの通話が繋がりにくくなったり、車両の位置情報がずれる場合があります。

車両情報

仕様
仕様について……363

オープンソースライセンス
一覧……365

仕様

仕様について

基本情報	
名称	PRELUDE
排気量	1,993 cm³
車体形状	2 ドアクーペ
乗車定員	4 名

点火プラグ	
NGK	DILZKAR7G11Y

ブレーキペダル	
遊び	7.3-14.2mm
床板とのすき間	124mm 以上 〔約 196N (20kgf)の力〕

燃料	
燃料種類	無鉛レギュラーガソリン レギュラーバイオ混合ガソリン (E10/ETBE22)
燃料タンク容量	40L

エアクリーナーエレメント	
タイプ	湿式

12V バッテリー	
容量/タイプ	36Ah(5)、45Ah(20)/46B24R

ウォッシャー液	
タンク容量	1.5L

電球	
ヘッドライト（ロービーム）	LED
ヘッドライト（ハイビーム）	LED
前面方向指示器/前面非常点滅表示灯	LED
車幅灯/デイタイムランニングライト	LED
アクティブコーナリングライト	LED
側面方向指示器/側面非常点滅表示灯	LED
制動灯	LED
尾灯	LED
後面方向指示器/後面非常点滅表示灯	LED
後面側方灯	LED
後退灯	LED
ハイマウントストップランプ	LED
番号灯	LED
車外ドアハンドルランプ	LED
マップランプ	LED
カーゴスペース照明灯	LED
バニティミラー照明灯	13.5V-2.3W
フロントコンソール照明灯	LED
グローブボックス照明灯	LED
ドア開閉灯	LED
ドアポケットランプ	LED
フットランプ	LED
アンビエントランプ	LED

ブレーキフルード	
指定液	Honda 純正ブレーキフルード DOT3 または DOT4

トランスミッションフルード	
指定液	Honda 純正ウルトラ HEVF-Type 1
規定量	2.2L（交換時）

エンジンオイル	
推奨	・Honda ULTRA LEO※ ・API SN 級以上 0W-20
規定量	3.7L（オイル交換時）4.0L（オイル、オイルフィルター同時交換時）

※: 最も省燃費性に優れたオイルです。

冷却水	
指定液	Honda 純正ウルトラ e クーラント
規定濃度	50%
規定量	5.54L（交換時：リザーブタンク 0.62L 含む）

タイヤ	
サイズ	235/40R19 96W
空気圧 kPa (kgf/cm²)	前輪 240 (2.4) 後輪 220 (2.2)
リムサイズ	19×8 1/2J

オープンソースライセンス

一覧

メーター オープンソースライセンス

本製品に組み込まれたソフトウェアは、オープンソースソフトウェアを含みます。オープンソースソフトウェアの詳細に関しては、以下のウェブサイトをご覧ください。
https://www.nippon-seiki.co.jp/business_ic_meter/

TCU オープンソースライセンス

この製品に含まれている GPL、LGPL、MPL、Open Source Code 及びライセンス条項、著作権表示、その他の関連文書にアクセスするには、下記 URL をご確認ください。
http://opensource.lge.com
また、Open Source Code のご提供を希望される場合は、LG Electronics（opensource@lge.com）にご連絡ください。
費用（media 費用、輸送、取り扱いなど）をお支払いいただくことで、CD-ROM でご提供差し上げます。
この製品の最後の出荷から 3 年の間、この情報を受け取った方に有効です。

索引

数字

12V バッテリー充電警告灯……284

A

A/C(エアコン)……142
ABS（アンチロックブレーキシステム）……98
　ABS 警告灯……94, 286
ACC（アダプティブクルーズコントロール）
　ACC 警告灯……287
　ACC 表示灯……243
Android Auto™……177
Apple CarPlay……174

B

Bluetooth®による音楽再生……172

C

CMBS（衝突軽減ブレーキ）……220
　CMBS 警告灯……287

E

e
　HEV[e……12
EPS（電動パワーステアリング）システム警告灯……286

G

Google 搭載車……188
G メーター……299

H

Honda S+ Shift……125
Honda SENSING……214
Honda Total Care……186
Honda Total Care プレミアム……2
Honda スマートキー……51

I

iPod と iPhone の対応モデル……204
iPod……204
IR カットドアガラス……318
ISOFIX……28

L

LKAS（車線維持支援システム）……253
　LKAS 警告灯……287

P

PGM-FI 警告灯……285
POWER スイッチ……86

R

READY 表示灯……87

S

SRS エアバッグ……35
　エアバッグシステム警告灯……42, 285

U

USB ジャック……150
USB デバイス……204
USB デバイスによる音楽／ビデオ再生……171

V

VSA OFF 警告灯……286
VSA（ビークルスタビリティアシスト）……126
　VSA OFF 警告灯……128, 286
　VSA 警告灯……286
VSA（ビークルスタビリティアシスト）警告灯……286

W

Wi-Fi 接続……186
W（ワット）数……363

ア

アイボルト……323
アクセサリー……21
アクセサリーソケット……133
アクティブコーナリングライト……113, 325
アジャイルハンドリングアシスト……128
アダプティブドライビングビーム……113
　アダプティブドライビングビーム表示灯……113
安全支援情報……299
　安全支援情報警告灯（オレンジ）……288

衝突軽減ブレーキ（CMBS）警告灯（オレンジ）……287
路外逸脱抑制機能警告灯（オレンジ）…… 288
路外逸脱抑制機能操舵アシスト一時停止警告灯……288
安全に関する表示について……1
アンチロックブレーキシステム(ABS)…… 98
アンチロックブレーキシステム（ABS）
ABS 警告灯…… 94, 286
アームレスト…… 67

イ

一酸化炭素の危険性…… 19
イモビライザーシステム…… 49
イモビライザーシステム表示灯……49
イルミネーションコントロール……293
インフォテインメントシステム……147
USB ジャック…… 150
オーディオシステムの基本操作…… 147
オーディオリモートコントロールスイッチ……151
再生ソースの切り替え……148
システムアップデートについて…… 155
システムステータス……149
車載インフォテインメントシステムについて……147
デバイスの接続……152

ウ

ウィンカー・ライト
アクティブコーナリングライト…… 113
アダプティブドライビングビーム……113
ウィンカー（方向指示器）……110
デイタイムランニングライト……112
ハイビーム…… 112
ヘッドライト・車幅灯……110
ヘッドライトオートオフ機能……112
ウィンカー（方向指示器）……110
ウィンドウォッシャー…… 116
ウィンドウォッシャー液の補給……310
ウィンドー…… 80
くもり止め…… 119
ウェアインジケーター…… 314
運転
シフト操作……89
パワーシステムの起動……86, 87
ブレーキ…… 92
運転時の注意事項…… 18
運転の準備…… 16

エ

エアクリーナーエレメント……363
エアコン…… 142
エアクリーンフィルター…… 317
オートエアコンセンサー…… 146
オートエアコンの使用方法……144
プラズマクラスター……145
連動作動（シンクロ）モード……144
エアバッグ
SRS エアバッグ…… 35
エアバッグシステム警告灯…… 42, 285
エアバッグについて…… 34
エアバッグのお手入れ…… 43
サイドエアバッグ……39
サイドカーテンエアバッグ…… 40
ニーエアバッグ…… 37
エマージェンシーストップシグナル……98
エンジンオイル
推奨エンジンオイル……309, 364
エンジン作動表示…… 295

オ

応急修理剤（タイヤパンク）…… 328
オドメーター……293
音質を調整する…… 162
温度センサー……291
オーディオシステムの基本操作……147
オーディオリモートコントロールスイッチ… 151
オーディオ・ビジュアル再生について……169
オートマチックブレーキホールド…… 95
オートマチックブレーキホールドシステム表示灯…… 96
オートマチックブレーキホールド表示灯…… 97
オートリトラミラー…… 79
オートワイパー…… 117
オーバーヒート…… 346
オープンソースライセンス……365

オープンソースライセンスについて…… 209

カ

外気温表示……291
鍵(かぎ)…… 47
ガソリン…… 106, 363
画面の設定を変更する…… 163
カーゴフック……138

キ

ギア表示…… 302
キックダウン……101
起動時の設定……156
急アクセル抑制機能……231
　急アクセル抑制機能表示灯……231
給油……106
　給油のしかた……106
　指定燃料……106, 363
　燃料計……291
　燃料残量警告灯……286
給油のしかた……106
緊急時や車両トラブルのとき…… 359
緊急通報…… 359
キー……47
　Honda スマートキー…… 47
　キーナンバータグ……51
　キーレスエントリー…… 53
　スマートキーの電池が切れたときの起動方法…
　……341
　電池交換方法……326
　内蔵キー…… 51
キーを差し込んでの解錠…… 58

ク

空気圧……364
空気圧測定器による点検……313
クリープ現象……101
車の改造……20
クルーズコントロール表示灯 (ホワイト/グリーン)
…… 248
グローブボックス……132

ケ

経過時間…… 297
警告灯……281
　12V バッテリー充電警告灯…… 284
　ABS（アンチロック ブレーキシステム）警告灯
　…… 94, 286
　EPS（電動パワーステアリング）システム警告灯
　……286
　PGM-FI 警告灯…… 285
　VSA OFF 警告灯……128, 286
　VSA（ビークルスタビリティアシスト）警告灯
　……286
　安全支援情報警告灯（オレンジ）……288
　エアバッグシステム警告灯…… 42, 285
　シートベルト非着用警告灯…… 72, 285
　車線維持支援システム（LKAS）警告灯（オレン
　ジ）…… 287
　渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロ
　ール（ACC）警告灯（オレンジ）…… 287
　衝突軽減ブレーキ（CMBS）警告灯（オレンジ）
　……287
　トランスミッション警告灯……287
　燃料残量警告灯……286
　パーキングセンサー警告灯……287
　パワーシステム警告灯……285
　ブレーキ警告灯（レッド）……284
　ブレーキシステム警告灯 （オレンジ）…. 284
　路外逸脱抑制機能警告灯（オレンジ）…… 288
　路外逸脱抑制機能操舵アシスト一時停止警告灯
　……288
警告メッセージ…… 302, 348
けん引……356
減速セレクター…… 123

コ

交換
　エアクリーンフィルター…… 317
　ヒューズ……354
　ワイパーブレードラバー…… 311
工具…… 323
航続可能距離……296
後退出庫サポート…… 273
後退灯……325

高電圧バッテリー残量計……291
高電圧バッテリーの特性…… 14
後方誤発進抑制機能……227
後面側方灯……325
後面方向指示器/後面非常点滅表示灯…… 325
誤発進抑制機能…… 227
コンビニフック…… 137
コートフック……137

サ

再起動について…… 157
再生できる動画データについて……205
サイドエアバッグ…… 39
サイドカーテンエアバッグ…… 40
座席……64
サングラスボックス……138
サンバイザー……7, 133

シ

システムアップデート…… 158
室内装備品
アクセサリーソケット……133
カーゴフック……138
グローブボックス…… 132
コートフック……137
コンビニフック……137
サングラスボックス……138
サンバイザー……133
センターコンソールボックス……132
ドリンクホルダー…… 139
ワイヤレス充電器…… 134
室内灯……130
電球の交換…… 325
指定燃料…… 106
シフト操作…… 89
シフトポジション…… 89
車外ドアハンドルランプ……325
車外の清掃……320
車載インフォテインメントシステムについて……
…… 147
車線維持支援システム（LKAS）……253
車線維持支援システム（LKAS）警告灯（オレンジ）…… 287
ジャッキ…… 323, 338
ジャッキハンドルバー…… 323
ジャッキハンドル（ホイールナットレンチ）‥323
車内の清掃……318
車内の施錠/解錠方法……60
車幅灯……110
車両接近通報装置……126
車両データの記録について……3
ジャンプスタート……343
渋滞運転支援機能（トラフィックジャムアシスト）
…… 258
渋滞追従機能付 ACC（アダプティブクルーズコントロール）……242
渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール（ACC）…… 242
渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール（ACC）警告灯（オレンジ）…… 287
渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール（ACC）表示灯（ホワイト/グリーン）‥243
渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール（ACC）/車線維持支援システム（LKAS）/トラフィックジャムアシスト(渋滞運転支援機能) 表示…… 292
瞬間燃費…… 296
衝突軽減ブレーキ（CMBS）…… 220
衝突軽減ブレーキ（CMBS）警告灯（オレンジ）
…… 287
商標…… 209
情報…… 204
初期化……203
車両設定の初期化について…… 203
本体設定の初期化について…… 203
仕様…… 363
使用できる USB デバイス……204
シート…… 64
フロントシート…… 66
フロントシートアームレスト…… 67
フロントシートヘッドレスト…… 66
リアシートリマインダー……69
リヤシート……68
リヤシートへの乗り降り……68
シートヒーター…… 140
シートベルト…… 71
アンカーポイント……77
シートベルトの点検方法……76

シートベルト非着用警告灯…… 72, 285
シートベルトプリテンショナー……72
シートベルトリマインダー…… 72
正しい着用法…… 73
妊娠中のかたの着用法…… 75

ス

スイッチ
POWER スイッチ……86
ウィンカー（方向指示器）……110
エアコン……143
室内灯……130
デフロスター（くもり止め）……119
ドライブモードスイッチ…… 121
パーキングブレーキスイッチ…… 93
パワーウィンドー……80
パワーウィンドーロックボタン……81
フロントデフロスタースイッチ…… 119
ヘッドライト・車幅灯……110
マップランプ……130
リヤデフロスタースイッチ……119
ワイパー・ウォッシャー…… 116
ステアリング…… 63
スノータイヤ……315
スピードメーター……290
スマートキー…… 47, 326
電池交換方法……326

セ

清掃……318
制動灯……325
セキュリティアラームシステム
イモビライザーシステム……49
セキュリティアラームシステム……50
セキュリティアラームシステム作動表示灯‥ 50
施錠と解錠…… 53
設定……194
車両設定……199
初期化…… 203
プロファイル設定のカスタマイズについて‥‥
……202
本体設定……195
先行車発進お知らせ機能……263
全席シートベルト……299
センターコンソールボックス…… 132
前面方向指示器/前面非常点滅表示灯…… 325

ソ

側面方向指示器/側面非常点滅表示灯…… 325
ソナーセンサー…… 218

タ

タイヤ
指定空気圧…… 364
タイヤの点検……313
タイヤのローテーション…… 315
タイヤパンク応急修理キット……329
冬期のタイヤ……315
パンク…… 328
タイヤチェーン…… 315
タコメーター……291
暖房…… 142

チ

チェーン…… 315
チャイルドシート…… 22
ジュニアシート…… 32
取り付けかた…… 28
乳児のチャイルドシート……23
幼児のチャイルドシート……24
チャージメーター表示（CHARGE）/ 減速度表示（DECEL）…… 291
駐停車の操作……102

テ

ディスプレイオーディオ……156, 164, 186
Android Auto™…… 177
Apple CarPlay……174
Bluetooth®による音楽再生…… 172
Google 搭載車…… 188
Honda Total Care…… 186
USB デバイスによる音楽／ビデオ再生……171
Wi-Fi 接続……186
オーディオ・ビジュアル再生について…… 169
音質を調整する……162
画面の設定を変更する……163
起動時の設定……156

再起動について……157
システムアップデート……158
設定…… 194
テレビを観る……166
時計設定……160
燃費情報……160
パワーフロー……192
ハンズフリーテレホンについて…… 181
ホーム画面…… 157
ユーザー情報……190
有線接続による音楽再生…… 169
ラジオを聴く……164
デイタイムランニングライト…… 112
デイタイムランニングライト/車幅灯…… 325
デバイスの接続…… 152
無線接続について…… 153
有線接続について…… 152
デフロスター（くもり止め）…… 119
フロントデフロスタースイッチ…… 119
リヤデフロスタースイッチ……119
テレビを観る……166
点火プラグ……363
電子制御パーキングブレーキ……92
電子制御ブレーキアシスト…… 92
電池交換…… 326
データの取り扱いについて……3
テールゲート…… 83
開閉方法…… 84
テールゲートが開かないとき……358

ト

ドアの施錠と解錠…… 53
Honda スマートキーを使わない施錠方法… 59
Honda スマートキー ……53
Honda スマートキーを携帯した施錠/解錠方法 …… 54
キーナンバータグ……51
キーレスエントリー…… 53
キーを差し込んでの解錠……58
降車時オートドアロック機能を用いた施錠方法 …… 56
車内の施錠/解錠方法…… 60
衝撃感知ドアロック解除システム…… 61
予約ロック機能を用いた施錠方法…… 58
ドアミラー…… 78
冬期のタイヤ
スノータイヤ……315
タイヤチェーン……315
時計…… 302
時計設定……160, 302
ドライバー注意力モニター……297
ドライブモード…… 121
ドライブモードスイッチ……121
トラフィックジャムアシスト（渋滞運転支援機能） …… 258
トラブルサポート……360
トラブルシューティング
警告灯が点灯/点滅した…… 348
けん引してもらいたい……356
ジャンプスタートしたい…… 343
パンクした…… 328
ヒューズが切れた…… 354
トランスミッション警告灯……287
トランスミッションフルード…… 363
トリップメーター……296
ドリンクホルダー……139

ナ

ナビゲーション…… 297
ナビゲーションシステムの現在地について… 207

ニ

ニーエアバッグ……37

ネ

燃費情報…… 160
燃料……106, 363
燃料残量警告灯……286

ハ

排気ガスの危険性…… 19
ハイビーム……112
ハイマウントストップランプ…… 325
バッテリー
12V バッテリー充電警告灯…… 284
ジャンプスタート…… 343
容量/タイプ…… 363

発炎筒……323
バニティミラー…… 7
パワーウィンドー…… 80
ロックボタン…… 81
パワーシステム……86, 340, 343
ジャンプスタート…… 343
パワーシステムが起動しない……340
パワーシステムの起動……86, 87
パワーシステムの停止…… 88
パワーモードオートオフ機能…… 86
パワーモードの切り換え……86
パワーシステム警告灯…… 285
パワーシステムの起動…… 86, 87
パワー表示（POWER）…… 290
パワーフロー……192, 295
パンク……328
番号灯……325
ハンズフリーテレホンについて……181
着信音……185
電話中の設定……185
電話帳/履歴同期…… 185
電話を受ける……183
電話をかける……182
番号入力……185
ハンズフリー通話…… 185
ハンズフリーテレホンメニュー…… 185
よく使う項目……182
履歴…… 185
ハンドル……63
パーキングセンサー警告灯……287
パーキングセンサーシステム…… 276
パーキングブレーキ…… 92

ヒ

尾灯…… 325
ヒューズ…… 350
各ヒューズの装備と容量…… 350, 352
ヒューズの点検と交換……354
標識認識機能……266
標識認識機能表示…… 292
表示設定…… 303
表示灯……281
READY 表示灯…… 87
アダプティブドライビングビーム表示灯… 113
イモビライザーシステム表示灯……49
オートマチックブレーキホールドシステム表示灯…… 96
オートマチックブレーキホールド表示灯…. 97
急アクセル抑制機能表示灯……231
クルーズコントロール表示灯（ホワイト/グリーン）…… 248
渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール（ACC）表示灯（ホワイト/グリーン）..243
セキュリティアラームシステム作動表示灯.. 50
方向指示器表示灯 ……110
ライト点灯表示灯 ……110
表示の切り換えかた……294
ビークルスタビリティアシスト（VSA）….. 126

フ

踏み間違い衝突軽減システム…… 226
フューエルリッド
フューエルリッドの開けかた……106
フューエルリッド
フューエルリッドリッドが解錠できないとき…
……357
ブラインドスポットインフォメーション….. 270
ブレーキ……92
ABS（アンチロックブレーキシステム）…. 98
エマージェンシーストップシグナル…… 98
オートマチックブレーキホールド…… 95
電子制御パーキングブレーキ…… 92
電子制御ブレーキアシスト…… 92
フットブレーキ…… 92
ブレーキ警告灯（レッド）……284
ブレーキシステム
ブレーキ警告灯（レッド）……284
ブレーキシステム警告灯（オレンジ）….. 284
ブレーキシステム警告灯（オレンジ）……284
ブレーキフルード……363
ブレーキ警告灯（レッド）……284
フロントデフロスタースイッチ……119
フロントワイドビューカメラ…… 217
ブースターケーブル……343

ヘ

平均車速…… 297
平均燃費…… 296

ヘッドライト……110, 325
ヘッドライトオートオフ機能…… 112
ヘッドライト・車幅灯…… 110
ライト点灯表示灯…… 110
ヘッドレスト…… 66

ホ

ホイールサイズ…… 364
ホイールナットレンチ（ジャッキハンドル）‥323
方向指示器表示灯……110
歩行者事故低減ステアリング…… 238
ポップアップフードシステム……44
ボンネット内のメンテナンス
ウィンドウォッシャー液の補給…… 310
推奨エンジンオイル……309
ボンネット内のメンテナンス項目……307
ボンネットの開閉方法……308
ホーム画面……157
ホーンスイッチ……10

マ

マップランプ……130
窓……80
くもり止め…… 119
ロックボタン…… 81
マルチインフォメーションディスプレイ…… 294
Gメーター…… 299
安全支援情報……299
ギア表示……302
経過時間……297
警告メッセージ……302
航続可能距離……296
瞬間燃費……296
全席シートベルト…… 299
時計…… 302
ドライバー注意力モニター……297
トリップメーター…… 296
ナビゲーション……297
パワーフロー/エンジン作動表示…… 295
表示設定……303
表示の切り換えかた……294
平均車速……297
平均燃費……296
メーター表示設定…… 301

ミ

ミラー
オートリトラミラー…… 79
ドアミラー……78
バニティミラー……7
ルームミラー…… 78

メ

メンテナンス
エアコンのお手入れ……317
スマートキー……326
清掃…… 318
タイヤ……313
ボンネット内のメンテナンス……307
メンテナンスに関する注意事項…… 306
ライト類の点検と整備……325
ワイパー……311
メーター…… 290
イルミネーションコントロール…… 293
オドメーター……293
外気温表示…… 291
高電圧バッテリー残量計…… 291
渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール（ACC）/車線維持支援システム（LKAS）/トラフィックジャムアシスト（渋滞運転支援機能）表示…… 292
スピードメーター…… 290
タコメーター……291
チャージメーター表示（CHARGE）/ 減速度表示（DECEL）…… 291
燃料計…… 291
パワー表示（POWER）……290
標識認識機能表示…… 292
メーター表示設定……301

ユ

有線接続による音楽再生……169
ユーザー情報……190

ラ

ライト……110, 130
ライト点灯表示灯……110

ライト類の点検と整備
アクティブコーナリングライト電球…… 325
後退灯…… 325
後面側方灯…… 325
後面方向指示器/後面非常点滅表示灯…… 325
室内灯…… 325
車外ドアハンドルランプ…… 325
制動灯…… 325
前面方向指示器/前面非常点滅表示灯…… 325
側面方向指示器/側面非常点滅表示灯…… 325
デイタイムランニングライト/車幅灯…… 325
ハイマウントストップランプ……325
番号灯…… 325
尾灯…… 325
ヘッドライト……325
ラジエーター……346
ラジオを聴く……164
ランプ……130

リ

リアシートリマインダー…… 69
リアワイドカメラシステム……104
リザーブタンク…… 346
リムサイズ……364
リヤデフロスタースイッチ……119

ル

ルームミラー…… 78

レ

冷却水……346, 364
冷房……142
レーダーセンサー……271

ロ

路外逸脱抑制機能……234
路外逸脱抑制機能警告灯（オレンジ）…… 288
路外逸脱抑制機能操舵アシスト一時停止警告灯…
…… 288

ワ

ワイパーブレードラバー……311
ワイパー・ウォッシャー
オートワイパー……117
フロントワイパー・ウォッシャー……116
ワイヤレス充電器……134